

第 25 回評価委員会

村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場
生活環境影響調査報告書

平成 29 年 7 月 14 日

宮 城 県

目次

■ 生活環境影響調査

1 生活環境影響調査の概要

1.1 調査実施期間	1
1.2 調査項目	1

2 環境モニタリングの結果及び評価

2.1 生活環境保全上の支障の有無の把握に関する環境モニタリング	8
2.1.1 大気環境調査	8
2.1.2 硫化水素連続調査	9
2.1.3 放流水及び河川水水質調査	9
2.2 処分場内廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれの把握に関する環境モニタリング	10
2.2.1 浸透水及び地下水水質調査	10
2.3 処分場内の状況把握に関する環境モニタリング	11
2.3.1 発生ガス等調査、下流地下水状況調査及び放流水状況調査	11
2.3.2 地中温度及び地下水位調査	12
2.3.3 多機能性覆土状況調査及び地表ガス調査	13
2.3.4 バイオモニタリング	13
2.4 環境モニタリングの評価（総括）	15

< 資料 >

■ 生活環境影響調査結果（詳細）

1 大気環境調査

1.1 大気環境調査結果表	16
1.2 県内他地域及び全国平均と処分場の大気調査結果の比較表	17
1.3 大気環境調査結果図	18
1.3.1 大気環境調査測定結果図（地点毎）	18
1.3.2 大気環境調査測定結果図（項目毎）	20
1.4 硫化水素連続調査結果表	25
1.5 硫化水素連続調査結果図	26

2 放流水及び河川水水質調査

2.1 放流水及び河川水水質測定結果表	27
2.1.1 放流水及び河川水水質測定結果表	27
2.1.2 放流水水質測定結果表（ダイオキシン類）	28
2.1.3 放流水及び河川水水質測定結果図	29

3 浸透水及び地下水水質調査

3.1 浸透水及び地下水水質測定結果表.....	40
3.1.1 浸透水及び地下水水質測定結果表.....	40
3.1.2 浸透水及び地下水水質調査結果表（ダイオキシン類）.....	43
3.2 浸透水及び地下水水質測定結果図.....	48
4 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査	
4.1 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果表.....	66
4.2 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果図.....	72
4.2.1 発生ガス測定結果図.....	72
4.2.2 浸透水・下流地下水・放流水水質測定結果図.....	75
5 地中温度及び地下水位調査	
5.1 地中温度調査.....	83
5.1.1 地中温度測定結果表.....	83
5.1.2 地中温度平均値変化図.....	84
5.1.3 地中温度測定結果図.....	85
5.2 地下水位調査.....	93
5.2.1 地下水位調査結果表.....	93
5.2.2 廃棄物埋立区域外の地下水の水位図.....	94
5.2.3 廃棄物埋立区域内の浸透水の水位図①.....	95
5.2.4 廃棄物埋立区域内の浸透水の水位図②.....	96
5.2.5 日降雨量一覧表.....	97
6 バイオモニタリング調査	
6.1 バイオモニタリング調査結果.....	98
■ 最終処分場の廃止基準項目等とその経年変化（～平成 29 年 3 月）	
1 廃棄物処理法による最終処分場の廃止基準及び達成状況	
1.1 最終処分場の廃止基準及び達成状況一覧表.....	99
1.2 廃棄物処理法基準及び地下水環境基準一覧表.....	100
2 廃棄物処理法による最終処分場の廃止基準項目等の経年変化	
2.1 鉛.....	101
2.2 砒素.....	102
2.3 1,4-ジオキサン.....	103
2.4 BOD.....	104
2.5 ほう素.....	105
2.6 ふっ素.....	106
2.7 ダイオキシン類.....	107
2.8 発生ガス量.....	108
2.9 硫化水素濃度.....	109
2.10 メタン濃度.....	110
2.11 地中温度.....	111

■ 生活環境影響調査

1 生活環境影響調査の概要

村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場（以下、「処分場」という。）に係る処分場内廃棄物による周辺の生活環境への影響を把握し、地域住民の安全安心を確保するために、生活環境影響調査（以下、「環境モニタリング」という。）を実施したものである。

本報告では、平成 28 年 10 月から平成 29 年 3 月まで実施した環境モニタリングの結果を示す。

1.1 調査実施期間

平成 28 年 10 月から平成 29 年 3 月まで

1.2 調査項目

モニタリング計画は、表 I に示すとおりである。調査実施期間における調査実績は表 II に示すとおりである。

なお、各調査の調査位置は、図 I ～図 VII に示した。

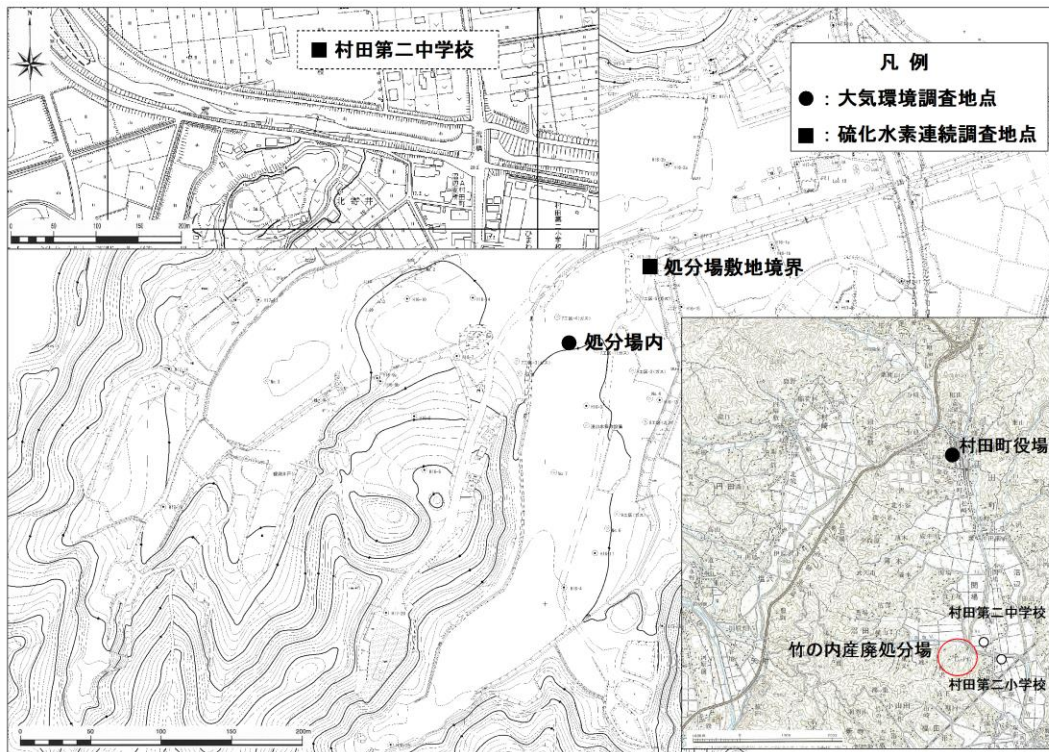
表 I モニタリング計画

調査目的	調査名	調査項目		調査地点数	調査箇所	調査頻度等
処分場による生活環境保全上の支障の有無の把握	大気環境調査	大気環境基準項目 指針値設定項目	塩化ビニルモノマー、1,3-ブタジエン、ジクロロメタン、アクリロニトリル、クロホルム、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、トリクロロエレン、テトラクロロエレン、水銀及びその化合物	2 地点	処分場内 村田町役場	年 4 回
		その他項目	硫化水素、メタン、アンモニア			
	硫化水素連続調査	硫化水素、風向、風速		2 地点	処分場内敷地境界 村田第二中学校	通年（24 時間連続）
	放流水水質調査	排水基準項目	総水銀（水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物）、鉛及びその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、1,4-ジメチルベンゼン、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、アンモニア等（アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物）、pH、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量、ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量）、ノルマルヘキサン抽出物質含有量（動植物油脂類含有量）、フェノール含有量、銅含有量、亜鉛含有量、溶解性鉄含有量、溶解性マンガ含有量、クロム含有量、大腸菌群数	1 地点	放流水採取地点	年 4 回
			ダイオキシン類			
			その他項目			
河川水水質調査	環境基準健康項目	鉛、六価クロム、砒素、総水銀、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジメチルベンゼン	2 地点	荒川上流側 荒川下流側	年 4 回	
	環境基準生活環境項目	pH、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量、溶存酸素量、大腸菌群数				
	その他項目	アンモニア（アンモニア、アンモニウム化合物）、無機体炭素、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、透視度、流量、電気伝導率				
バイオモニタリング	AOD 試験*1による半数致死濃度 （*1:水族環境診断法：Aquatic Organisms environment Diagnostics）		2 地点	荒川上流側 荒川下流側	年 4 回	
処分場内廃棄物により汚染された浸透水等の地下水の拡散又はそのおそれの把握	浸透水及び地下水水質調査	地下水等検査項目	総水銀、鉛、六価クロム、砒素、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、1,4-ジメチルベンゼン、塩化ビニルモノマー、アルキル水銀、カドミウム、全シアン、ホリ塩化ビニル、トリクロロエレン、テトラクロロエレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、チオラム、シマジン、チオベンカルブ、セレン	21 地点	浸透水 11 地点 No. 3b, No. 5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b 地下水 10 地点 Loc. 1, Loc. 1a, Loc. 1b, Loc. 3, H16-1b, H16-15, H17-19, H26-1a, H26-1b, H26-2 ※平成 28 年 2 月より調査箇所を、No. 3 及び No. 5 を No. 3b 及び No. 5b へ変更	年 4 回
		その他項目	BOD、pH、SS、ほう素、ふっ素、アンモニア（アンモニア、アンモニウム化合物）、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオン、硫酸イオン、重炭酸イオン、硫化物イオン、水温、電気伝導率、酸化還元電位			年 1 回 （浸透水のみ）
		ダイオキシン類（H16-1b を除く）	年 4 回			
		ダイオキシン類（H16-1b を除く）	年 2 回			
処分場の状況の把握	発生ガス等調査	発生ガス	発生ガス量、メタン、二酸化炭素、硫化水素、酸素、孔内温度（管頭下 1m）、気象（気温、気圧）	17 地点	No. 3, No. 3a, No. 3b, No. 5, No. 5a, No. 5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b, 7-2, 7-4	月 1 回
		浸透水	電気伝導率、酸化還元電位、塩化物イオン、硫酸イオン、透視度、水温、水位、pH	13 地点	No. 3b, No. 5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b, 7-2, 7-4,	
	下流地下水状況調査	電気伝導率、酸化還元電位、塩化物イオン、硫酸イオン、透視度、水温、水位、pH		8 地点	Loc. 1, Loc. 1a, Loc. 1b, H16-1b, H16-15, H26-1a, H26-1b, H26-2	
	放流水状況調査	電気伝導率、酸化還元電位、塩化物イオン、硫酸イオン、透視度、水温、pH		1 地点	放流水採取地点	
	地中温度調査	鉛直方向 1m 毎の温度、帯水域の温度		22 地点	廃棄物埋立区域内 11 地点 No. 3, No. 5, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b	年 4 回
	地下水位調査	地下水位、降雨量			廃棄物埋立区域外 11 地点 Loc. 1, Loc. 1a, Loc. 1b, Loc. 3, Loc. 4, H16-1b, H16-15, H17-19, H26-1a, H26-1b, H26-2 ※H16-1b は地下水位調査を除く	通年（1 時間毎）
	多機能性覆土状況調査	硫化水素		26 地点	多機能性覆土施工箇所 13 地点 A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-6, B-1, B-2, B-3, B-4, B-5, B-6, B-7 多機能性覆土隣接地等 13 地点	年 1 回
	地表ガス調査			5 地点	平成 22 年度表層ガス調査において、比較的高いガス濃度の硫化水素が検出された地点の周辺	

表Ⅱ H28年度環境モニタリングの実績

調査名	調査地点	調査頻度等	H28年度調査													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
大気環境調査	2地点 (処分場内, 村田町役場)	年4回		●		●						◆			◆	
硫化水素連続調査	2地点 (処分場内敷地境界1, 村田第二中学校)	24時間連続	●	●	●	●	●	●	●	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
放流水水質調査	1地点 (放流水採取地点)	年4回		●		●						◆			◆	
		ダイオキシン類は年2回			●								◆			
河川水水質調査	2地点 (荒川上流, 荒川下流)	年4回		●		●						◆			◆	
浸透水及び地下水水質調査	浸透水 11地点 (No.3b, No.5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b)	年4回		●		●						◆			◆	
	地下水 10地点 (Loc.1, Loc.1a, Loc.1b, Loc.3, H16-15, H16-1b, H17-19, H26-1a, H26-1b, H26-2)	年1回 (浸透水のみ)				●										
	※1 H16-1bはダイオキシン類を除く ※2 平成28年2月より調査箇所を, No.3及びNo.5をNo.3b及びNo.5bへ変更	ダイオキシン類は年2回			●							◆				
発生ガス等調査	発生ガス 17地点 (No.3, No.3a, No.3b, No.5, No.5a, No.5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, 7-2, 7-4, H26-3a, H26-3b) 浸透水 13地点 (No.3b, No.5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, 7-2, 7-4, H26-3a, H26-3b)	月1回	●	●	●	●	●	●	●	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
下流地下水状況調査	8地点 (Loc.1, Loc.1a, Loc.1b, H16-1b, H16-15, H26-1a, H26-1b, H26-2)	月1回	●	●	●	●	●	●	●	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
放流水状況調査	1地点 (放流水採取地点)	月1回	●	●	●	●	●	●	●	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
地中温度調査	廃棄物埋立区域内 11地点 (No.3, No.5, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b)	年4回		●		●						◆			◆	
地下水位調査	廃棄物埋立区域外 11地点 (Loc.1, Loc.1a, Loc.1b, Loc.3, Loc.4, H16-1b, H16-15, H17-19, H26-1a, H26-1b, H26-2) ※H16-1bは地下水位調査を除く	通年(1時間毎)	●	●	●	●	●	●	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
多機能性覆土状況調査	多機能性覆土施工箇所 13地点 (A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-6, B-1, B-2, B-3, B-4, B-5, B-6, B-7) 多機能性覆土隣接地等 13地点	年1回			●											
地表ガス調査	5地点 (平成22年度表層ガス調査において、比較的高いガス濃度の硫化水素が検出された地点)	年1回			●											
バイオモニタリング	2地点 (荒川上流, 荒川下流)	年4回		●		●						◆			◆	

● : H28上半期
◆ : H28下半期



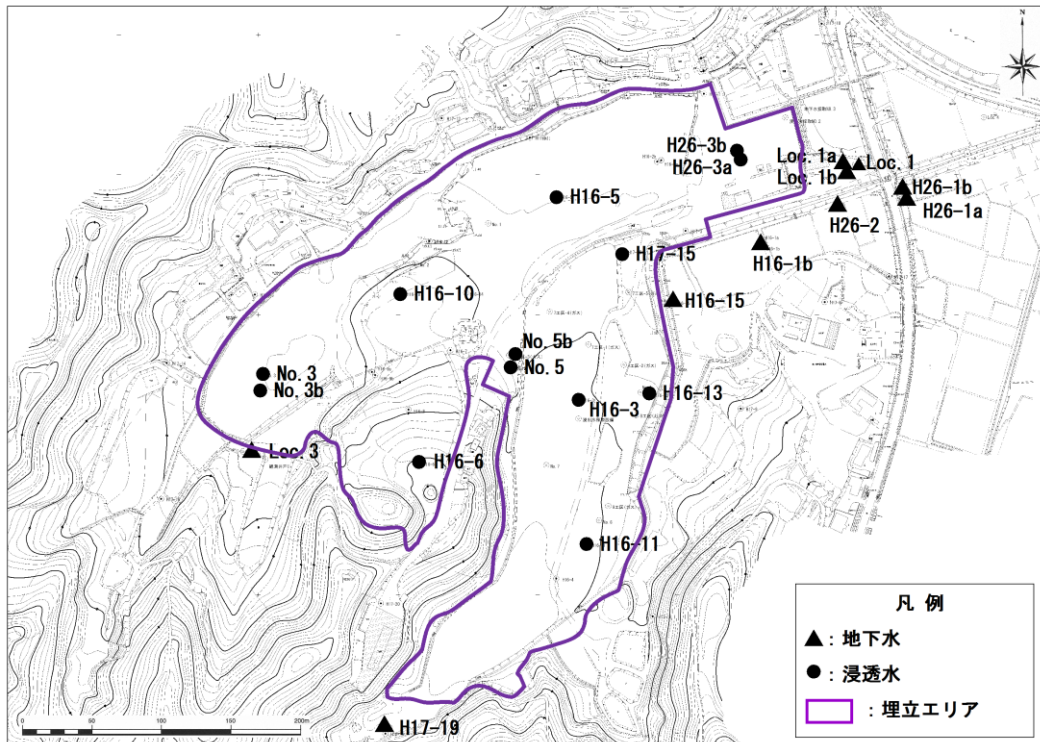
右下図：国土地理院発行 5 万分の 1 地形図「白石」を加工

図 I 大気環境調査及び硫化水素連続調査地点図



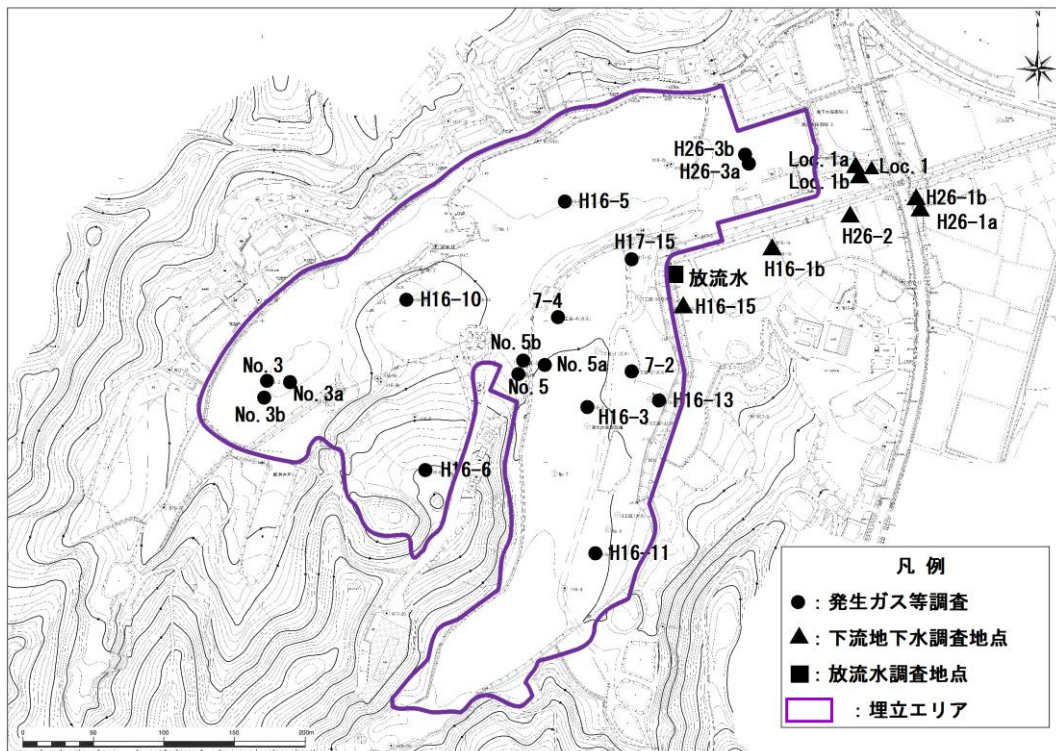
村田町都市計画基本図（2 千 5 百分の 1）を加工

図 II 放流水及び河川水の水質調査、バイオモニタリング地点図

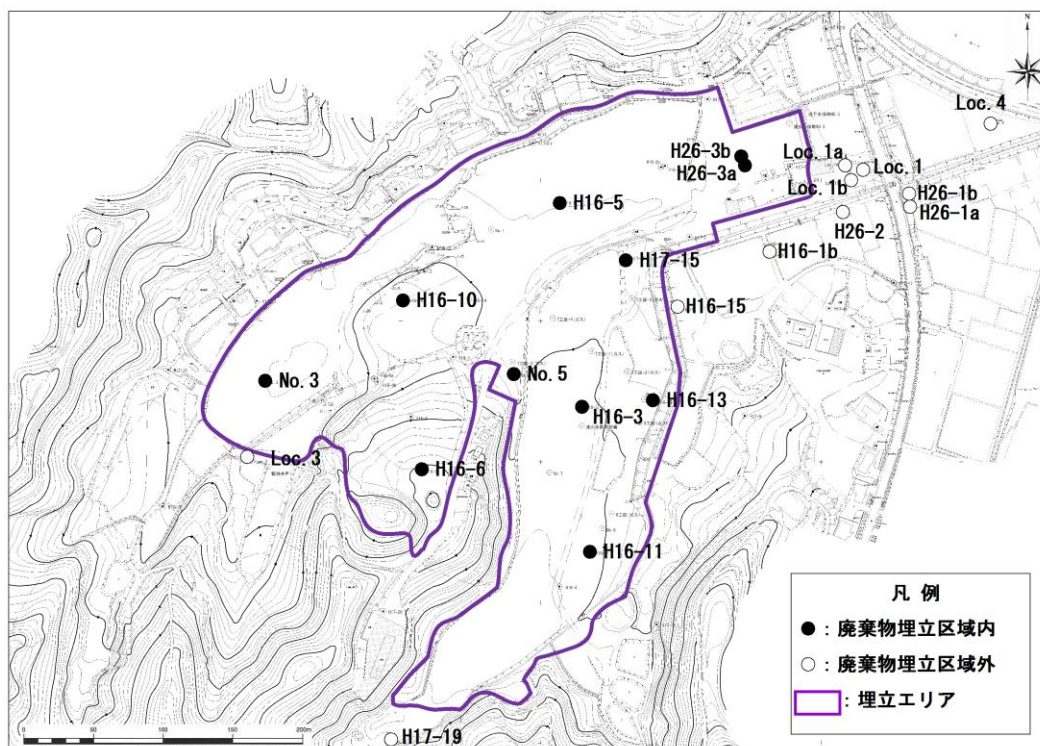


※ 平成 28 年 2 月より調査箇所を，No.3 及び No.5 を No.3b 及び No.5b へ変更

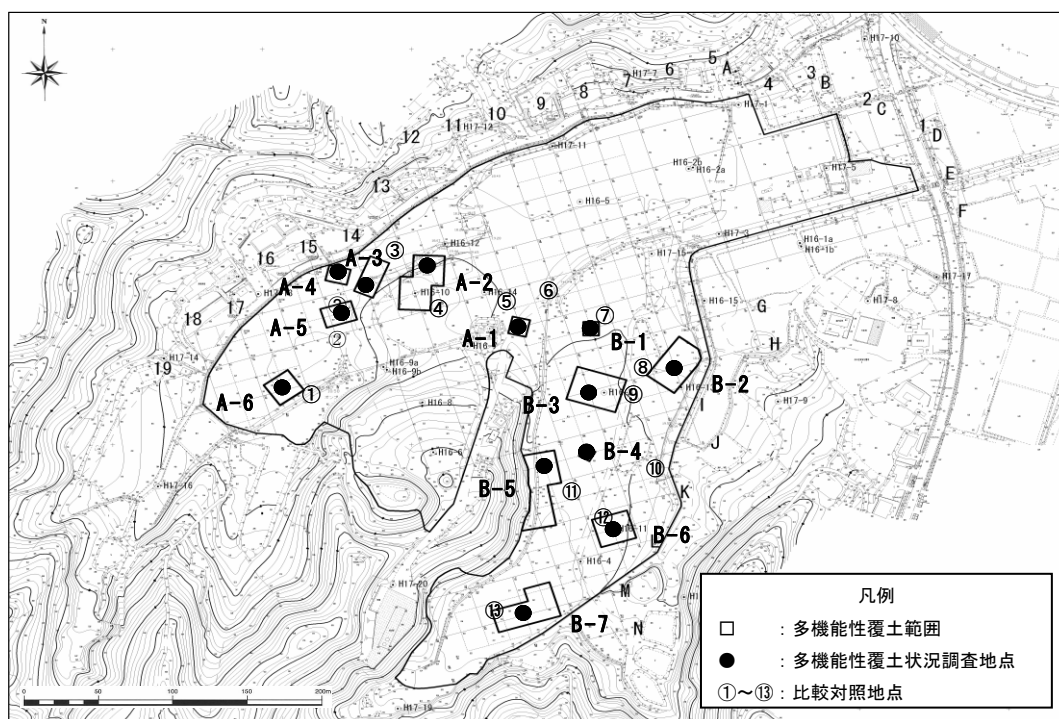
図Ⅲ 浸透水及び地下水水質調査地点図



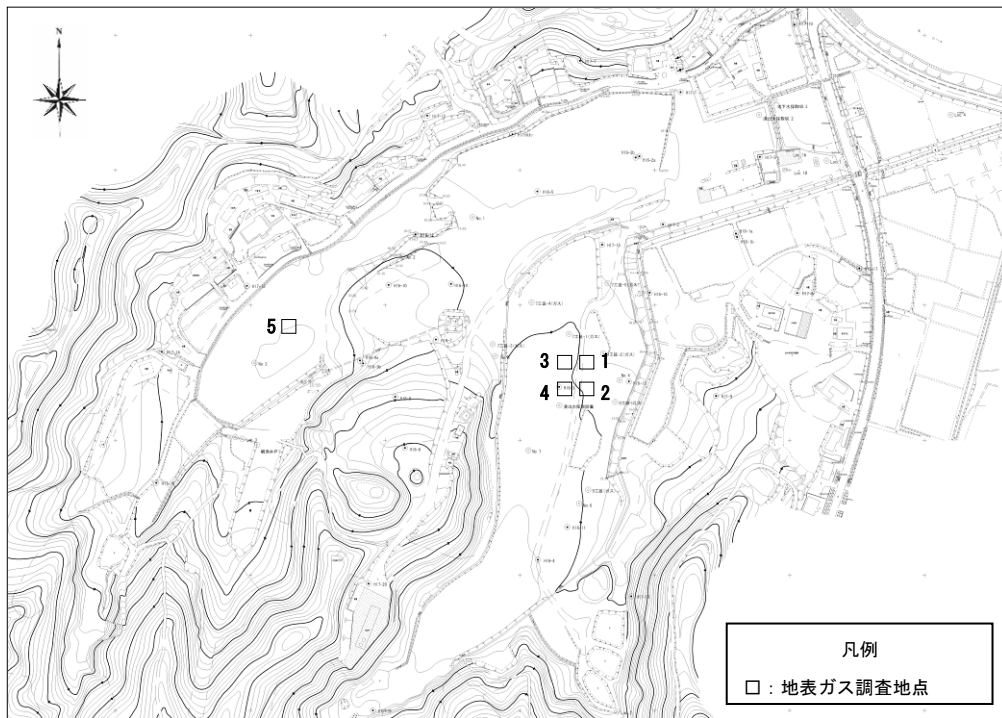
図Ⅳ 発生ガス等調査，下流地下水状況調査及び放流水状況調査地点図



図V 地中温度及び地下水位調査地点図



図VI 多機能性覆土状況調査地点図



図Ⅶ 地表ガス調査地点図

2 環境モニタリングの結果及び評価

本調査期間における環境モニタリング結果の概要を以下に示す。

2.1 生活環境保全上の支障の有無の把握に関する環境モニタリング

2.1.1 大気環境調査

処分場の発生ガスによる生活環境保全上の支障の有無を把握するため、11月及び2月の2回に処分場内と対照地点（処分場から4km以上離れた村田町役場）の2地点で大気環境調査を実施した。調査項目は13物質とし、環境基準が定められている4物質（ジクロロメタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン）、指針値が定められている6物質（塩化ビニルモノマー、1,3-ブタジエン、アクリロニトリル、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、水銀及びその化合物）については、基準値や指針値及び対照地点と比較し、その他の3物質（硫化水素、メタン、アンモニア）については、対照地点と比較した。

大気中の調査結果を表1-1～表1-3、図1-1～図1-17に示す。

- 処分場内の調査地点における環境基準が定められている4物質の濃度は、いずれも環境基準を満たしており、対照地点と同程度の値であった。
- 処分場内の調査地点における指針値が定められている6物質の濃度は、いずれも指針値を満たしており、対照地点と同程度の値であった。
- 環境基準又は指針値が定められている10物質について、県内の有害大気汚染物質モニタリング地点（8地点）における平成27年度の測定結果と比較すると、ほぼ同程度の濃度レベルであった。
- 処分場内の調査地点における硫化水素濃度は、定量下限値*（0.0001ppm）未満であった。
- 以上のことから、処分場の発生ガスが大気環境に及ぼす影響は、ほとんどないものと判断される。

※ 炎光光度検出器（FPD）付ガスクロマトグラフによる測定における定量下限値

2.1.2 硫化水素連続調査

硫化水素による生活環境保全上の支障の有無を把握するため、処分場の敷地境界 1 地点と村田第二中学校 1 地点の合計 2 地点において、調査期間中 30 秒毎に 24 時間連続で硫化水素を測定した。

村田町竹の内地区は、悪臭防止法に基づく規制は適用されないが、この法令を準用し、硫化水素の規制基準として示される濃度範囲（臭気強度 2.5 (0.02ppm) ~3.5 (0.2ppm)）のうち最も低い（厳しい）濃度である 0.02ppm を管理目標基準濃度として処分場等の濃度と比較した。

硫化水素の連続調査結果を、表 1-4 及び図 1-18 に示す。

- すべての月で、硫化水素の値は定量下限値※（0.0002ppm）を下回った。
- 平成 21 年度以降において管理目標基準濃度とした 0.02ppm を超えるような濃度は測定されていない。

※ 高感度毒性ガスモニターによる測定（検知原理：検知テープ光電光度法）における定量下限値

2.1.3 放流水及び河川水水質調査

処分場からの放流水による生活環境保全上の支障の有無を把握するため、放流水 1 地点と河川水 2 地点（放流水と河川水が合流する地点よりも上流側及び下流側）で 11 月、2 月に水質調査を実施した。ダイオキシンについては、放流水 1 地点で、12 月に 1 回調査を実施している。

放流水及び河川水水質調査結果を表 2-1～表 2-2 及び図 2-1～図 2-32 に示す。

(1) 放流水

- 処分場からの放流水の水質は、準用する管理型最終処分場の放流水基準に適合していた。
- 浸透水の一部観測孔で地下水等検査項目基準を超過した 3 項目（砒素、1,4-ジオキサン、BOD）について、放流水では、砒素は定量下限値（0.001mg/L）未満で、1,4-ジオキサン、BOD については検出されたものの、放流水基準に適合していた。
- 過去に放流水基準を超過した大腸菌群数については、11 月に 72（個/cm³）、2 月に 20（個/cm³）と、放流水基準 3000（個/cm³）を大きく下回っていた。

(2) 河川水

- 河川水の水質は、放流水の合流地点より上流側と下流側で同程度の値を示し、放流水が荒川の水質に及ぼす影響は認められない。
- 浸透水の一部観測孔で地下水等検査項目基準を超過した 3 項目（砒素、1,4-ジオキサン、BOD）について、河川水では砒素、1,4-ジオキサン共に定量下限値未満で、BOD は上流側と下流側で同程度の値を示した。

2.2 処分場内廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれの把握に関する環境モニタリング

2.2.1 浸透水及び地下水水質調査

処分場内の廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれを把握するため、場内の浸透水観測井戸 11 地点 (No.3b, No.5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b) 及び処分場周辺の地下水観測井戸 10 地点 (Loc.1, Loc.1a, Loc.1b, Loc.3, H16-1b, H16-15, H17-19, H26-1a, H26-1b, H26-2) 合計 21 地点で 11 月, 2 月に水質調査を実施した。その結果は、次のとおりであった。なお、測定回数を年 1 回とした 17 項目については、上期の 7 月に浸透水 11 地点で実施している。

浸透水及び地下水水質調査結果を表 3-1～表 3-7 及び図 3-1～図 3-54 に示す。

(1) 処分場内の浸透水

- 浸透水は、一部の観測井戸で BOD, 1,4-ジオキサン, 砒素が地下水等検査項目基準, ダイオキシン類, ふっ素及びほう素が環境基準を超過したが、それ以外の項目は基準に適合していた。
- BOD については, No.3b, No.5b, H16-3, H16-5, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, で地下水等検査項目基準に適合しなかった。
- 1,4-ジオキサン, 砒素については, H16-5, H16-13 で地下水等検査項目基準に適合しなかった。
- 地下水等検査項目基準に適合しなかった項目 (BOD, 1,4-ジオキサン, 砒素) の経年変化をみると、いずれも観測値にばらつきはあるものの、横ばい傾向にある。
- ダイオキシン類については, H16-5 で指標とする環境基準を超える値が検出された。発生源について、同族体組成から推定すると、燃焼由来と考えられる。
- ふっ素及びほう素については, No.3b, No.5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15 で地下水環境基準に適合しなかった。経年変化を見ると, H16-13 のほう素については、緩やかな低下傾向が認められる。そのほかの地点については、ふっ素及びほう素共に、横ばい傾向にある。

(2) 処分場周辺の地下水

- すべての地点で、地下水等検査項目基準及び地下水環境基準に適合していた。
- 浸透水の一部観測孔で地下水等検査項目基準を超過した 3 項目 (砒素, 1,4-ジオキサン, BOD) について、地下水では、1,4-ジオキサンは定量下限値 (0.005mg/L) 未満で、砒素, BOD については検出されたものの、地下水等検査項目基準に適合していた。
- ダイオキシン類について、処分場下流側の H26-1a, H26-2 の地下水で環境基準を超えて検出されたが、水質中の浮遊物質濃度が 330～450mg/L と高く、浮遊物質中のダイオキシン類が影響したものと推察される。また、発生源について、同族体組成から推定すると農薬由来と考えられる。

2.3 処分場内の状況把握に関する環境モニタリング

2.3.1 発生ガス等調査, 下流地下水状況調査及び放流水状況調査

処分場の状況を確認するため、処分場内の観測井戸 17 地点 (No.3, No.3a, No.3b, No.5, No.5a, No.5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, 7-2, 7-4, H26-3a, H26-3b) で、硫化水素等の発生ガスについて毎月調査を実施した。また、13 地点 (No.3b, No.5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, 7-2, 7-4, H26-3a, H26-3b) で浸透水についての調査を毎月実施した。

下流地下水状況調査として処分場下流側の観測井戸 8 地点 (Loc.1, Loc.1a, Loc.1b, H16-1b, H16-15, H26-1a, H26-1b, H26-2), 放流水状況調査として 1 地点 (放流水採取地点) で水質調査を毎月実施した。その結果は、次のとおりであった。

硫化水素等の定期状況調査の結果を表 4-1～表 4-6 及び図 4-1～図 4-14 に示す。

(1) 発生ガス

- 硫化水素濃度は、No.5 で 12 月に 160ppm であったが、それ以外は 100ppm 以下であった。
- メタン濃度は 0～100vol% の範囲で測定され、No.3 で 100vol% (平成 29 年 3 月), H16-11 で 83vol% (平成 28 年 12 月), H16-13 で 80vol% (平成 28 年 12 月) と他の地点よりメタン濃度が高い傾向を示した。
- 発生ガス量は、H16-5 が最大 0.97L/分 (平成 29 年 1 月), H16-6 が最大 0.83L/分 (平成 28 年 12 月) と、他の地点より高い数値を示しているが、全観測地点で 1L/分以下であり、経年変化は減少傾向か横ばい傾向であった。

(2) 浸透水

- 硫酸イオン濃度は、No.5b で最大で 220mg/L (平成 28 年 10 月) を示し、H16-5 で最大 170mg/L (平成 28 年 11 月) を示した。その他の地点は 100mg/L 以下で横ばい傾向であった。
- 塩化物イオン濃度は、H16-13 で最大で 840mg/L (平成 28 年 12 月) を示し、H16-5 で最大 380mg/L (平成 28 年 11 月) を示した。その他の地点は 200mg/L 以下で横ばい傾向であった。
- 電気伝導率は H16-13 で最大で 620mS/m (平成 28 年 12 月) と高い値を示したが、塩化物イオン濃度の推移と同様の傾向を示し、塩化物イオンによるものと考えられる。その他の地点は 48～260mS/m の範囲で横ばいに推移した。

(3) 下流地下水

- 硫酸イオン濃度が定量限界値未満～43mg/L, 塩化物イオン濃度が 6～220mg/L, 電気伝導率が 29～91mS/m の範囲で推移した。

(4) 放流水

- 硫酸イオン濃度は 4.5～6.6mg/L, 塩化物イオン濃度は 69～130mg/L, 電気伝導率は 110～190mS/m の範囲で推移した。

2.3.2 地中温度及び地下水位調査

廃棄物埋立区域内外の地中温度及び地下水位の状況を把握するために、浸透水観測井戸 11 地点 (No.3, No.5, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b) 及び地下水観測井戸 11 地点 (Loc.1, Loc.1a, Loc.1b, Loc.3, Loc.4, H16-1b, H16-15, H17-19, H26-1a, H26-1b, H26-2), 合計 22 地点の地中温度と、H16-1b を除く 21 地点の地下水位の変動を調査した。地中温度は 11 月, 2 月の 2 回計測を実施し, 地下水位変動は調査期間中 1 時間毎に連続測定した。地下水位は, 実測値を用いて平成 21 年度以降の地下水位データの補正を実施している。なお, 浸透水観測井戸は, 廃棄物層の下限 (難透水性岩盤層より上側) まで掘削している。

地中温度調査結果を表 5-1～表 5-4 及び図 5-1～図 5-10 に, 地下水位調査結果を表 5-5 及び図 5-12～図 5-14, 日降雨量一覧を表 5-6 にそれぞれ示す。

(1) 地中温度

1) 11 月調査時

- 廃棄物埋立区域内の調査地点のうち最も温度が高かった地点*は H16-13 で 26.9℃ (深度 11m) であり, 廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc.1a 最深部 (14.2℃, 深度 20m) と比較してみると, その温度差は 12.7℃であった。
- 廃棄物埋立区域内の調査地点のうち二番目に温度が高かった地点は H16-3 で 24.5℃ (深度 16～17m) であり, Loc.1a との温度差は 10.3℃であった。
- なお, 平成 27 年 11 月調査時の最高温度*と比べ, H16-13 は 1.4℃低く, H16-3 は 1.5℃低くなり, Loc.1a との温度差でも, H16-13 が 0.4℃, H16-3 は 0.5℃差が小さくなった。

2) 2 月調査時

- 廃棄物埋立区域内の調査地点のうち最も温度が高かった地点*は H16-13 で 27.2℃ (深度 11m) であり, 廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc.1a 最深部 (14.1℃, 深度 20m) と比較してみると, その温度差は 13.1℃であった。
- 廃棄物埋立区域内の調査地点のうち二番目に温度が高かった地点は H16-3 で 24.3℃ (深度 14m) であり, Loc.1a との温度差は 10.2℃であった。
- なお, 平成 28 年 2 月調査時の最高温度*と比べ, H16-13 は 0.6℃低く, H16-3 は 1.1℃低くなった。Loc.1a との温度差をみると, 昨年度に比べ対照地点 Loc.1a の温度が 0.8℃下がった影響により, H16-13 は 0.2℃差が開いたが, H16-3 は 0.3℃差が小さくなった。

3) 地中温度調査の総括

- 廃棄物埋立区域内の最も高かった地中温度と廃棄物埋立区域外の地中温度の差は, 緩やかな低下傾向にはあるものの, 依然として埋立区域内の方が高いことから, 廃棄物埋立区域の内部では, 微生物による廃棄物の分解反応が継続していると考えられる。

※ 地表からの影響を受けにくいと考えられる管頭からの深度 5m 以深かつ水面以下の最高温度

(2) 地下水水位調査

- 上流側地下水 H17-19 と埋立区域内の H16-11 の水頭差は最高水位時に 2.9m、最低水位時に 3.4m であり、勾配は 14.7～17.3% であるため、常時高標高部から低標高部に向かって地下水が流下しているものと考えられる。
- 埋め立て区域内の上流側 H16-11 と下流側 H26-3a の水頭差は最高水位時に 1.2m、最低水位では 1.1m であり、勾配は 3.5～3.8% であるため、常時地下水は処分場西側（高標高部）から東側（低標高部）に向かって流下しているが、埋立区域外に比べて勾配が小さく地下水が流動しにくい状態であると考えられる。最高水位時には、低標高側の H26-3a と高標高側 H17-15 の間で水位の逆転が起こっているため、処分場出口付近（1 工区：土砂やコンクリートガラ等）によって地下水の流れがせき止められている状態であると考えられる。
- 下流側地下水 Loc.1a と Loc.4 の水頭差は、最高水位時に 1.6m、最低水位時に 1.4m であり、勾配は 13.4～14.7% であるため、処分場出口付近から荒川にかけて常時地下水が流動していると考えられる。

2.3.3 多機能性覆土状況調査及び地表ガス調査

多機能性覆土調査については、年 1 回実施することとしており、上期の 6 月に実施済みで下期の調査には含まれていない。6 月の調査では、硫化水素濃度が定量下限値未満である事を確認している。

2.3.4 バイオモニタリング

処分場からの放流水に含まれる物質の周辺環境への複合影響、特に流下する河川の生物生息環境への影響を確認するため、魚類を用いた水族環境診断法（AOD 試験）を実施した。試験に当たっては、放流水が流下する荒川において、放流水が合流する地点よりも上流側及び下流側で河川水を採取し、試験室で採取した試料をそれぞれ濃縮した。濃縮段階を 100%～1000% の 5 段階で設定した試験液（100ml）中に、アカヒレ（7 匹ずつ）を供試魚として投入飼育し、一定時間（48 時間）における状態を定期的に観察し、半数致死濃度を求める作業を行うものである。この作業は、河川水試料のほか、標準溶液や試験前の飼育水槽水についても行う。採取した河川水の半数致死濃度（以下「AOD 値」という。）を上流側と下流側で比較したところ、結果は以下のおりであった。なお、この診断法においては、AOD 値が 400% 以上ならば、河川で魚類の生育に支障がない通常の河川水であるとされている。試験は、11 月、2 月に実施した。調査結果を表 6-1、図 6-2 に示す。

(1) 11 月調査

- 11 月の調査では AOD 値が荒川上流で 600%、荒川下流で 520% であった。
- 測定日当日～1 週間前に降雨はなかった。荒川の流量は、 $0.46\text{m}^3/\text{s}$ （上流側）で、放流量は $0.0009\text{m}^3/\text{s}$ であったため、流量比は 511 倍であった。

(2) 2 月調査

- 2 月の調査では AOD 値が荒川上流で 410%、荒川下流で 720% であった。

- 測定日当日～1週間前に降雨はなかった。荒川の流量は、 $0.5\text{m}^3/\text{s}$ （上流側）で、放流水量は $0.0006\text{m}^3/\text{s}$ であったため、流量比は833倍であった。

(3) バイオモニタリング試験総括

- H28年度下期は、すべての測定時期でAOD値が400%以上であった。これらのことから、放流水の魚毒性は荒川の生態系に影響を及ぼさないレベルであったと考えられる。

2.4 環境モニタリングの評価（総括）

平成 28 年度下期においては、後述するような課題を残すものの、処分場敷地境界における硫化水素濃度、処分場下流側地下水の水質は法令に規定される規制基準等を満たしており、また、有害物質の拡散による大気汚染、放流水の影響による放流先公共用水域の水質悪化や浸透水から地下水への拡散は認められなかった。よって、本調査期間においては、処分場から発生するガス及び処分場の浸透水等に起因する周辺生活環境への影響はきわめて小さいものと判断される。

処分場の環境モニタリングの結果から、課題は次のとおりである。

- 処分場内（埋立区域内）の観測井戸では、地中温度が周辺（対照地点を Loc.1a とした場合）よりも 13℃程度高い地点、浸透水では、1,4-ジオキサン、BOD、砒素が廃棄物処理法に定める地下水等検査項目基準を超える地点、ダイオキシン類、ふっ素及びほう素が地下水環境基準を超える地点があることなど、処分場内はまだ安定した状況に至っていない。
- 1,4-ジオキサンについては、変動はあるものの地下水で検出されていないが、浸透水では H16-5、H16-13 で地下水等検査項目基準を超過していることから、今後も継続したモニタリングからその挙動について注視し、周辺地下水への影響を判断していく必要がある。
- 発生ガス等調査の結果、発生ガス量は、対象期間中、全観測地点で 1L/分以下であり、経年変化では概ね減少傾向か横ばい傾向であるものの、一部の観測井戸では最大で 0.97L/分（H16-5、H29 年 1 月）、0.83L/分（H16-6、H28 年 12 月）と、他の地点より高い数値を示している。また、メタン濃度は No.3 で高い値を示しており、今後もガスの発生量やメタン濃度の変動に注視する必要がある。

このようなことから、引き続きモニタリングを実施して、処分場の状況及び生活環境への影響を把握し、処分場の状況に応じた適切な対応を図る必要がある。また、処分場の安定化に向け、必要なデータの集積と解析を進め、将来に向けた適切な維持管理となる取組を継続する必要がある。

< 資料 >

■ 生活環境影響調査結果（詳細）

1 大気環境調査

1.1 大気環境調査結果表

表 1-1 大気環境調査結果表（H28 年 11 月 16 日）

No.	測定項目 物質名	単位	測定地点		検出下限値	定量下限値	環境基準・指針値
			最終処分場	村田町役場			
1	塩化ビニルモノマー	μg/m ³	ND	(0.0047)	0.0025	0.0083	10
2	1,3-ブタジエン	μg/m ³	0.027	0.056	0.004	0.013	2.5
3	ジクロロメタン	μg/m ³	0.30	0.32	0.004	0.014	150
4	アクリロニトリル	μg/m ³	0.012	0.018	0.0022	0.0073	2
5	クロロホルム	μg/m ³	0.14	0.15	0.004	0.0140	18
6	1,2-ジクロロエタン	μg/m ³	0.062	0.060	0.0028	0.009	1.6
7	ベンゼン	μg/m ³	0.51	0.70	0.003	0.012	3
8	トリクロロエチレン	μg/m ³	0.12	0.081	0.007	0.022	200
9	テトラクロロエチレン	μg/m ³	(0.024)	(0.020)	0.009	0.031	200
10	水銀及びその化合物	ngHg/m ³	1.2	1.4	0.01	0.033	40
11	硫化水素	ppm	ND	ND	-	0.0001	-
12	メタン	mg/m ³	1.4	1.4	-	0.1	-
13	アンモニア	ppm	ND	ND	-	0.1	-

備考

()内の数値は、検出下限値以上、定量下限値未満の濃度を示す。

NDとは、検出下限値未満を示す。ただし、硫化水素、アンモニア、メタンは、定量下限値未満を示す。

水銀濃度単位“ngHg/m³”は、金属水銀換算濃度を示す。(環境省の調査結果に示す濃度単位とした)

の数值は、環境省が定める基準値を示し、それ以外の数値は、指針値を示す。

表 1-2 大気環境調査結果表（H29 年 2 月 8 日）

No.	測定項目 物質名	単位	測定地点		検出下限値	定量下限値	環境基準・指針値
			最終処分場	村田町役場			
1	塩化ビニルモノマー	μg/m ³	ND	ND	0.004	0.012	10
2	1,3-ブタジエン	μg/m ³	0.017	0.036	0.0026	0.0088	2.5
3	ジクロロメタン	μg/m ³	0.32	0.39	0.003	0.011	150
4	アクリロニトリル	μg/m ³	ND	ND	0.0026	0.0086	2
5	クロロホルム	μg/m ³	0.11	0.12	0.005	0.018	18
6	1,2-ジクロロエタン	μg/m ³	0.051	0.049	0.004	0.014	1.6
7	ベンゼン	μg/m ³	0.64	0.78	0.004	0.013	3
8	トリクロロエチレン	μg/m ³	0.47	0.12	0.005	0.018	200
9	テトラクロロエチレン	μg/m ³	ND	ND	0.006	0.021	200
10	水銀及びその化合物	ngHg/m ³	1.4	1.4	0.015	0.051	40
11	硫化水素	ppm	ND	ND	-	0.0001	-
12	メタン	mg/m ³	1.6	1.5	-	0.1	-
13	アンモニア	ppm	ND	ND	-	0.1	-

備考

()内の数値は、検出下限値以上、定量下限値未満の濃度を示す。

NDとは、検出下限値未満を示す。ただし、硫化水素、アンモニア、メタンは、定量下限値未満を示す。

水銀濃度単位“ngHg/m³”は、金属水銀換算濃度を示す。(環境省の調査結果に示す濃度単位とした)

の数值は、環境省が定める基準値を示し、それ以外の数値は、指針値を示す。

1.2 県内他地域及び全国平均と処分場の大気調査結果の比較表

表 1-3 県内他地域及び全国平均と処分場の大気調査結果の比較表

測定項目	県内他地域及び全国平均												モニタリング対象地域												環境基準	指針値		
	H27実施主体及び測定地点名											H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28				
	宮城県			環境省	仙台市				H27 最小値	H27 最大値	H27 全国 平均	処分場 中央	村田町 役場	処分場 中央	村田町 役場	処分場 中央	村田町 役場	処分場 中央	村田町 役場	処分場 中央	村田町 役場	処分場 中央	村田町 役場	処分場 中央			村田町 役場	
	塩釜 一般環境 大気測定 局	名取 自動車 排出ガス 測定局	大河原 合同庁舎 一般環境 大気測定 局	国設 箕岳局	榴岡局	中野局	五橋局	将監局																				
トリクロロエチレン	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.040	0.060	0.26	0.029	0.032	0.045	0.038	0.030	0.029	0.26	0.48	0.75	0.42	0.36	0.3	1.9	0.19	0.56	0.15	0.75	0.12	0.42	0.15	0.30	0.14	200	-
テトラクロロエチレン	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.055	0.055	0.066	0.036	0.050	0.042	0.045	0.035	0.035	0.066	0.14	0.06	0.05	0.06	0.05	0.04	0.04	0.06	0.06	0.03	0.01	0.03	0.02	0.03	0.03	200	-
ベンゼン	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.66	1.0	0.62	0.36	0.66	0.67	0.86	0.94	0.36	1.0	1.0	0.83	1.0	0.64	0.77	0.93	1.2	0.92	1.0	0.59	0.6325	0.47	0.535	0.54	0.64	3	-
ジクロロメタン	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.81	0.93	0.85	0.49	0.74	0.86	0.89	1.0	0.49	1.0	1.7	1.3	1.1	0.84	0.99	0.48	0.52	0.52	0.51	0.41	0.4725	0.39	0.47	0.46	0.4875	150	-
アクリロニトリル	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.46	0.78	0.13	0.018	0.020	0.025	0.025	0.034	0.018	0.78	0.083	0.004	0.008	0.002	0.008	0.01	0.02	0.021	0.02	0.020	0.024	0.012	0.014	0.010	0.013	-	2
クロロホルム	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.14	0.39	0.19	0.13	0.17	0.14	0.34	0.15	0.13	0.39	0.26	0.17	0.16	0.13	0.14	0.10	0.11	0.14	0.16	0.11	0.12	0.13	0.14	0.14	0.17	-	18
塩化ビニルモノマー	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.004	0.017	0.009	0.013	0.012	0.014	0.011	0.010	0.004	0.017	0.041	0.004	0.004	0.008	0.008	0.006	0.007	0.012	0.013	0.000	0.002	0.002	0.002	0.000	0.001	-	10
1,2-ジクロロエタン	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.096	0.098	0.091	0.12	0.15	0.14	0.15	0.14	0.091	0.15	0.19	0.109	0.12	0.08	0.09	0.09	0.09	0.172	0.16	0.14	0.13	0.09	0.10	0.07	0.06	-	1.6
1,3-ブタジエン	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.061	0.16	0.069	0.020	0.061	0.067	0.11	0.13	0.020	0.16	0.11	0.08	0.12	0.06	0.09	0.10	0.16	0.08	0.08	0.04	0.05	0.05	0.07	0.02	0.04	-	2.5
水銀及びその化合物	(ng/m^3)	1.5	1.6	1.6	1.4	1.9	1.8	1.8	1.8	1.4	1.9	2.0	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.8	1.7	1.9	1.6	1.7	1.5	1.6	1.5	1.6	-	40

注1: 平均値の算出に際して、測定結果が定量下限値未満の場合は、定量下限値の1/2として算出している。
 注2: 全国平均は環境省及び地方公共団体が実施したモニタリング結果を環境省が取りまとめたものである。

1.3 大気環境調査結果図

1.3.1 大気環境調査測定結果図（地点毎）

(1) 有害大気汚染物質

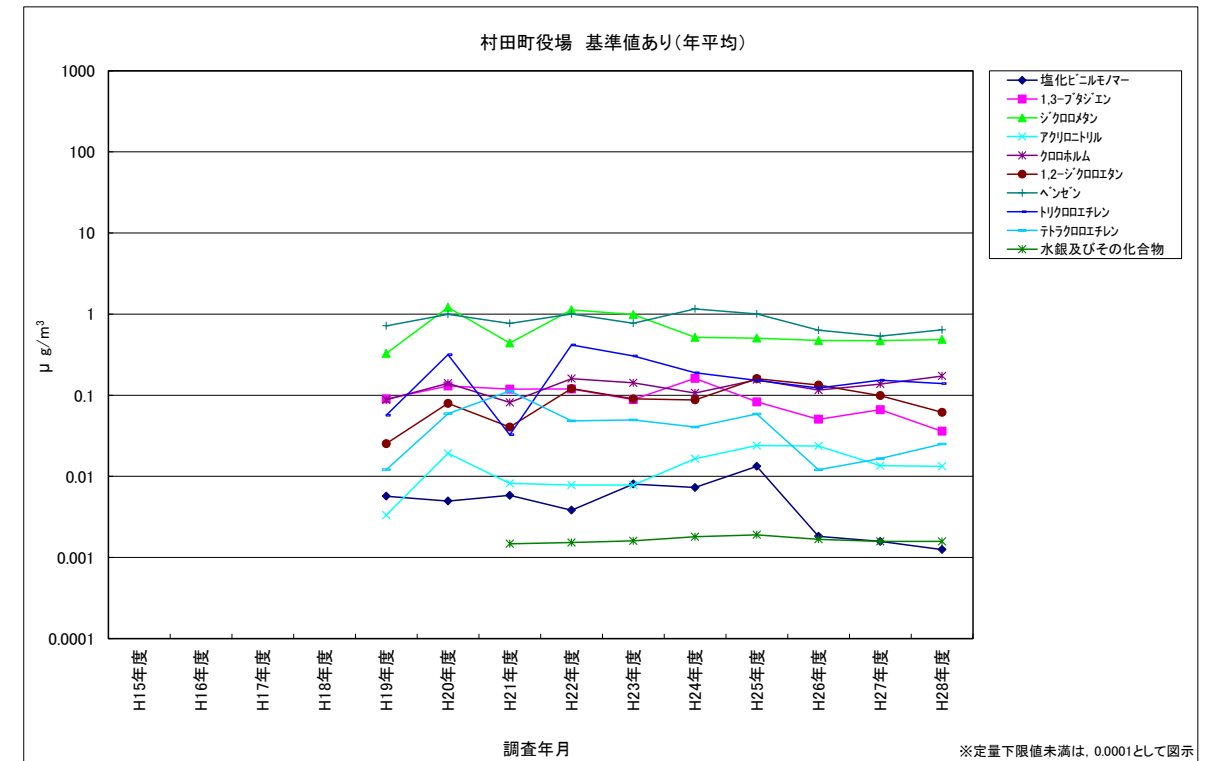
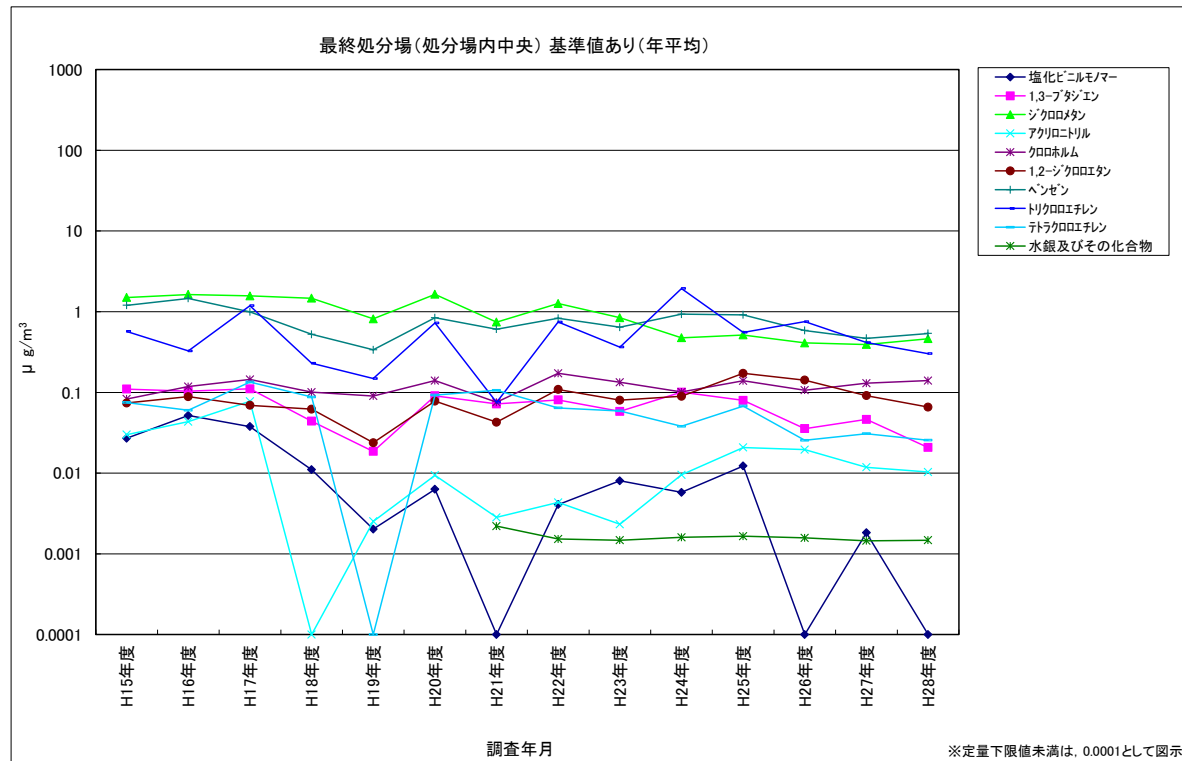
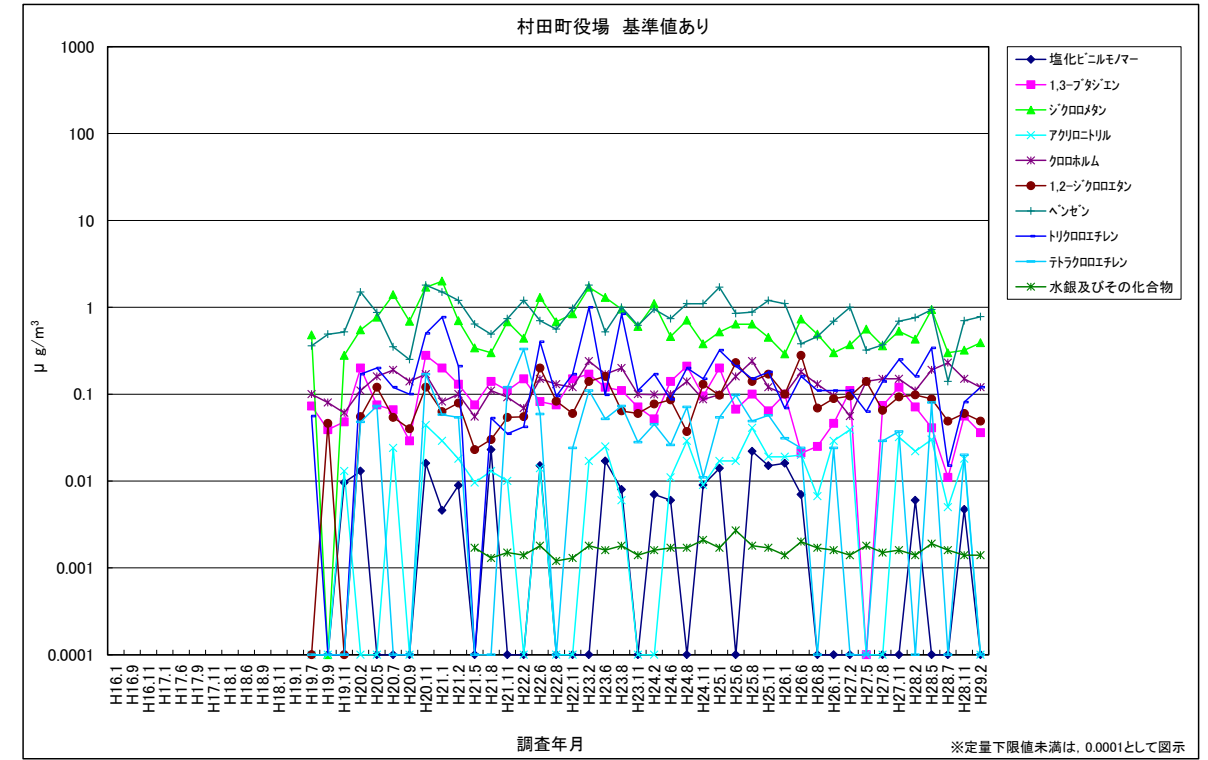
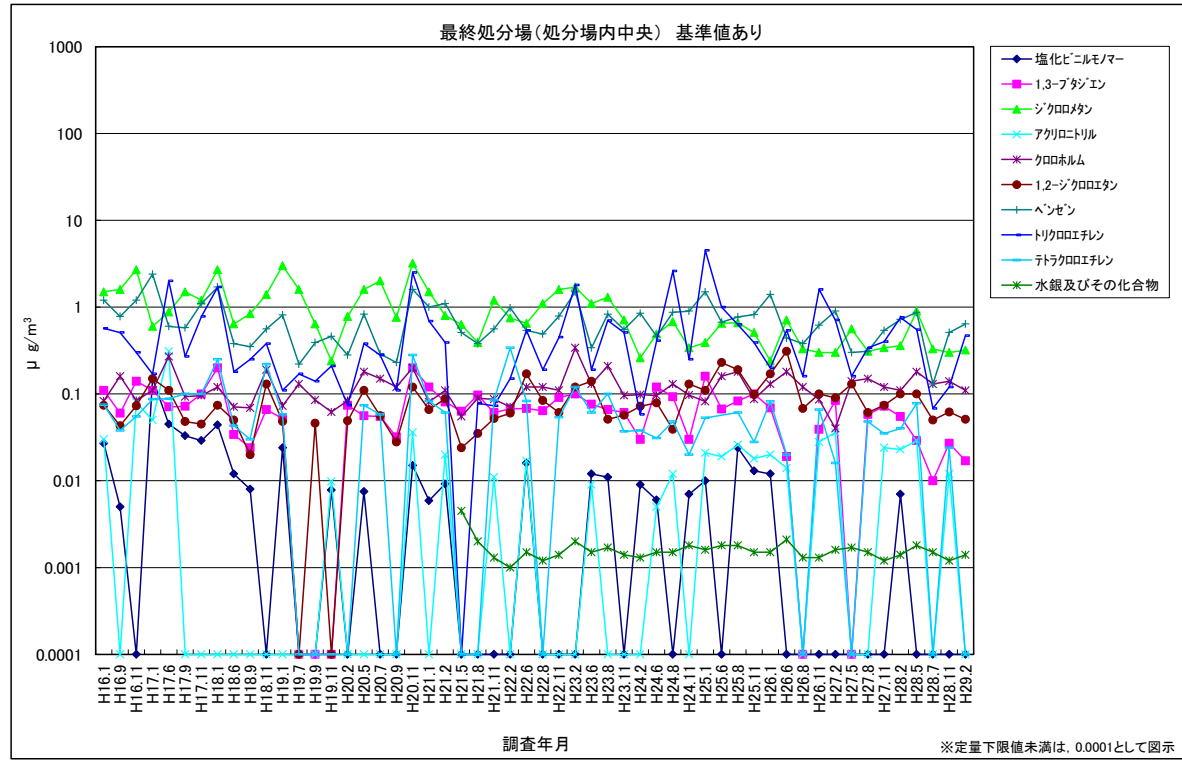


図 1-1 処分場内（中央）

図 1-2 村田町役場

(2) その他事項

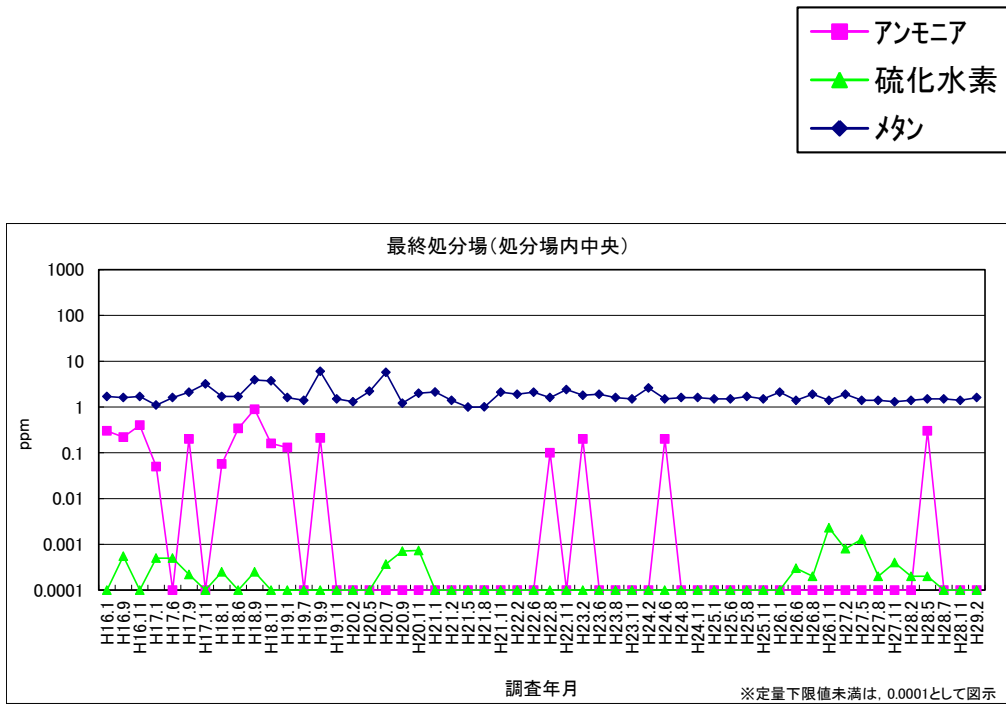


図 1-3 処分場内（中央）

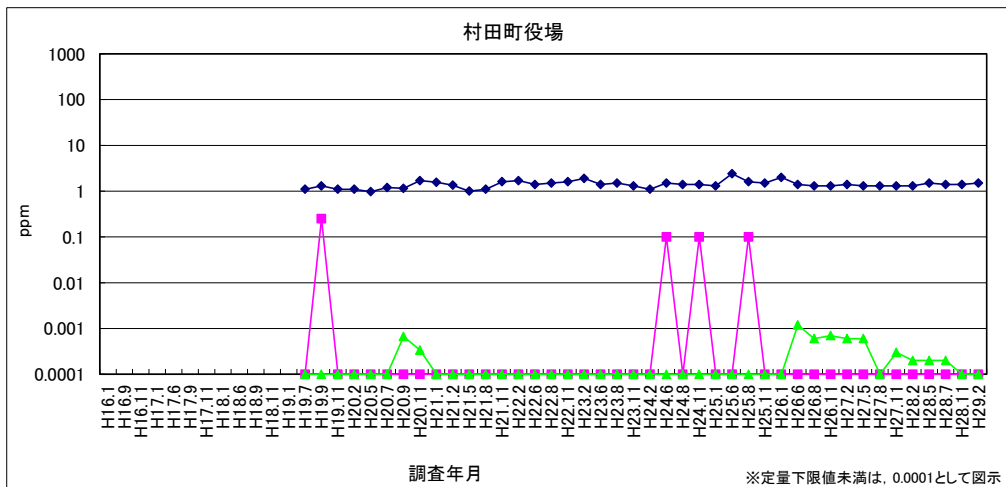


図 1-4 村田町役場

1.3.2 大気環境調査測定結果図（項目毎）

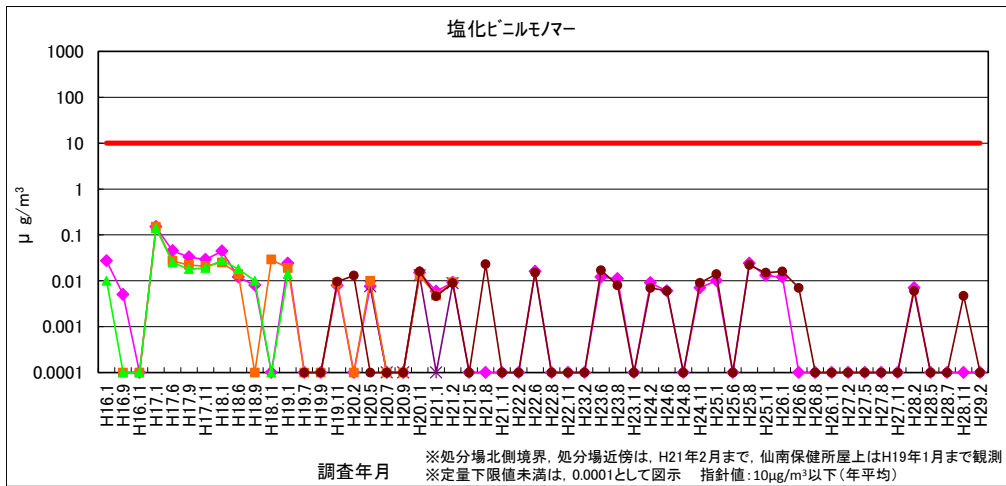


図 1-5 塩化ビニルモノマー

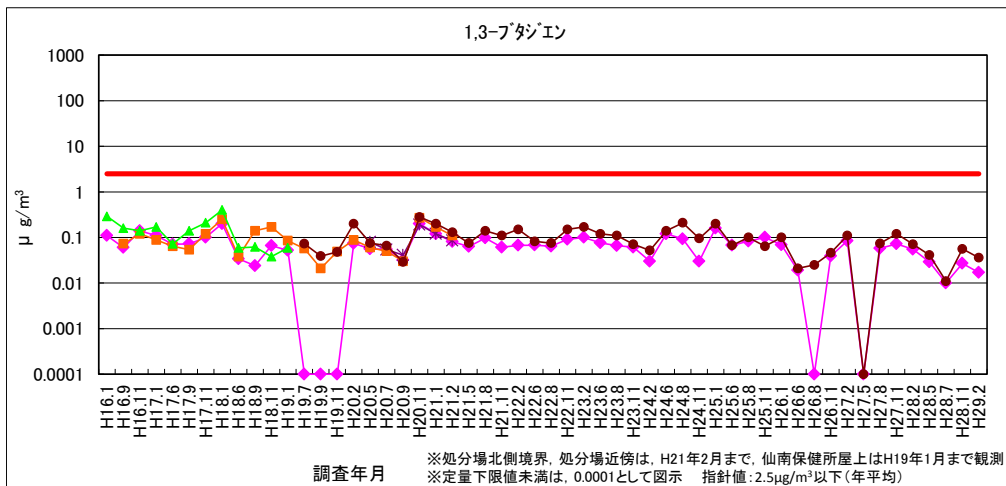


図 1-6 1,3-ブタジエン

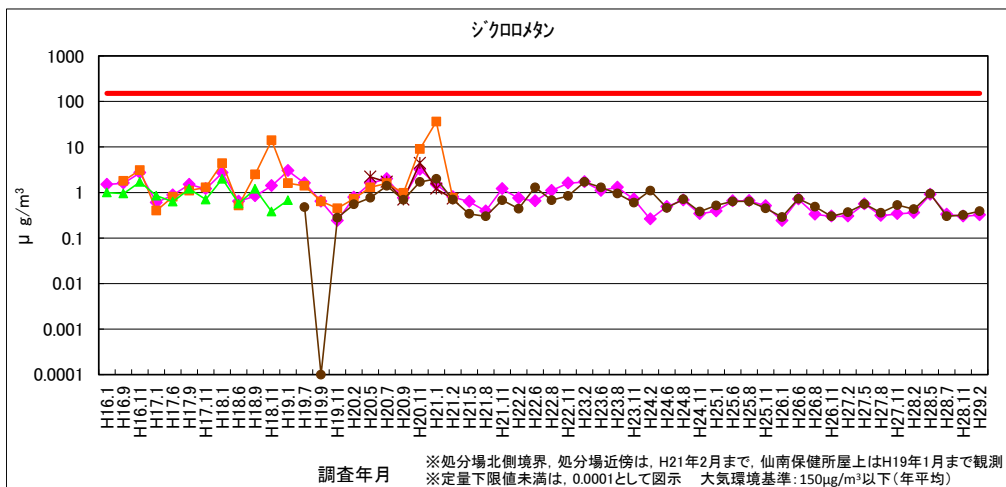
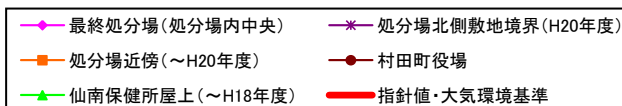


図 1-7 ジクロロメタン



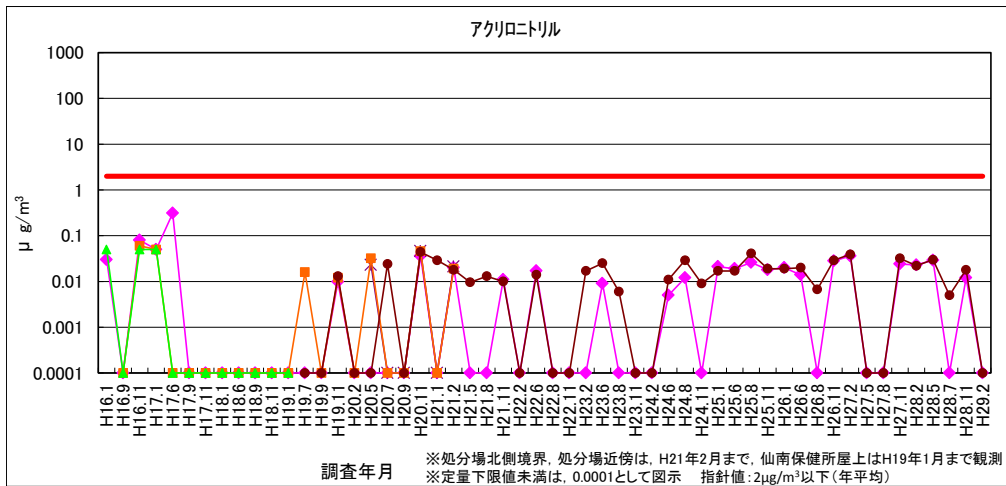


図 1-8 アクリロニトリル

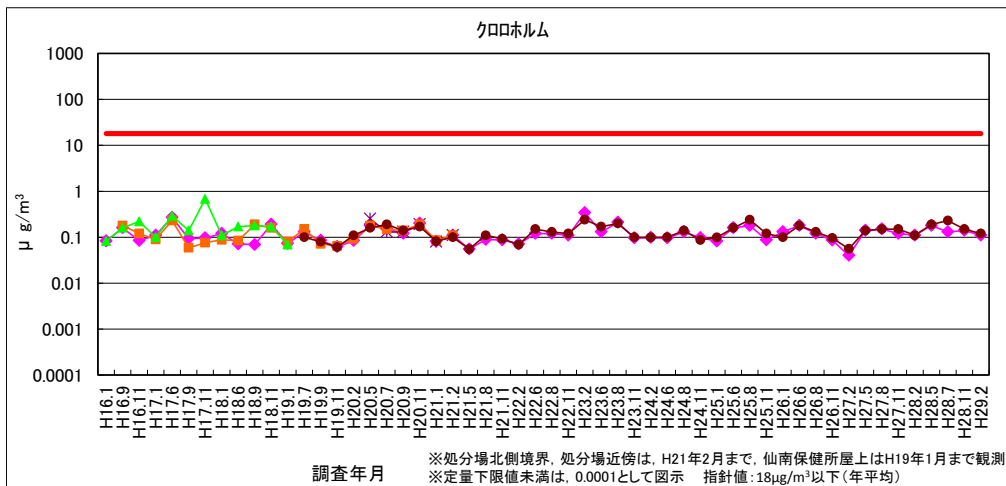


図 1-9 クロホルム

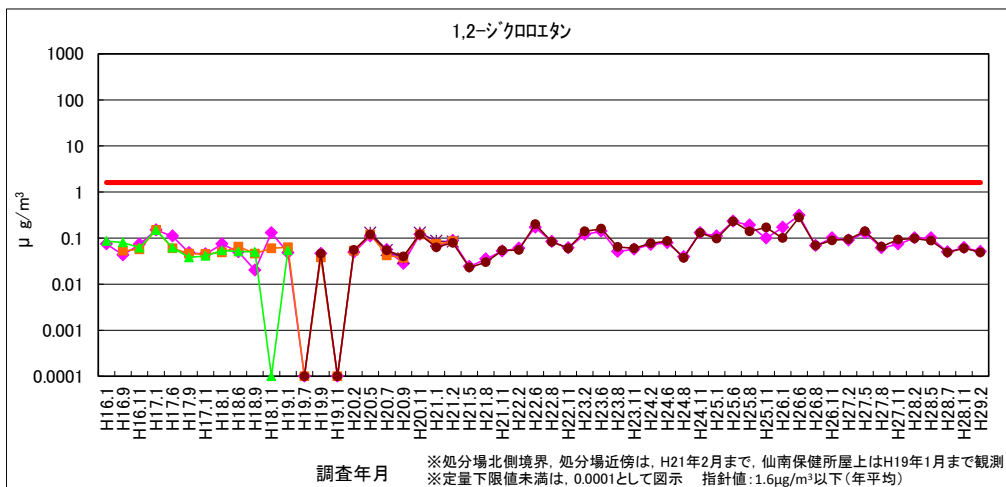
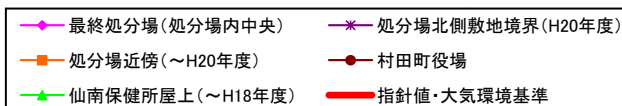


図 1-10 1,2-ジクロロエタン



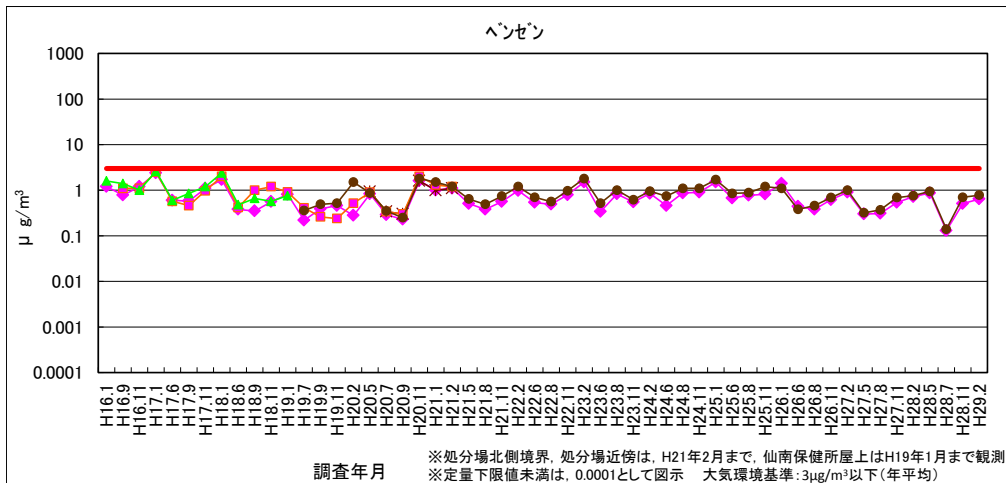


図 1-11 ベンゼン

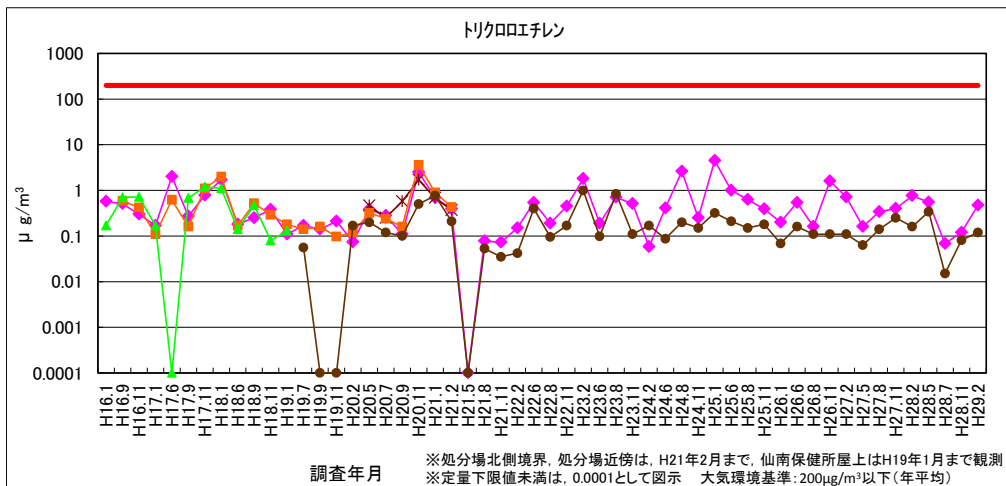


図 1-12 トリクロロエチレン

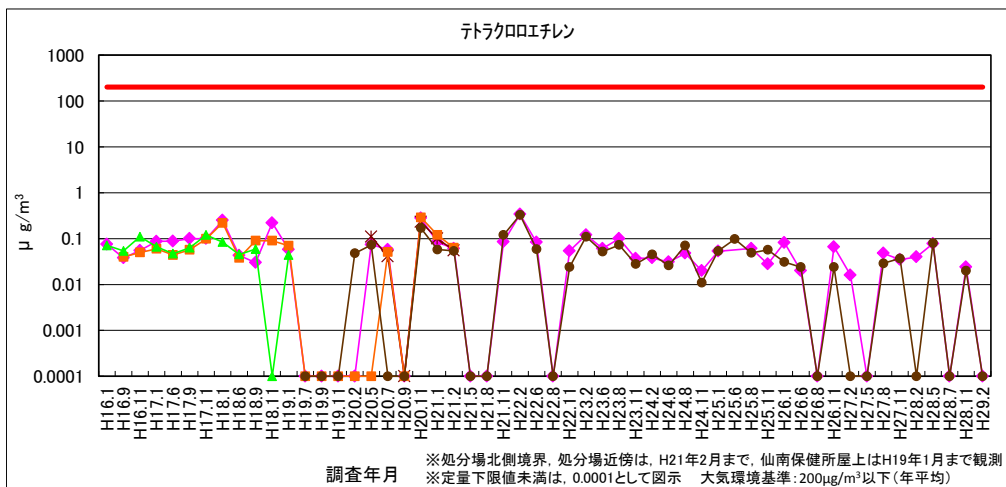
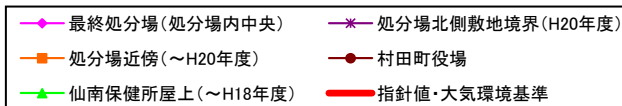


図 1-13 テトラクロロエチレン



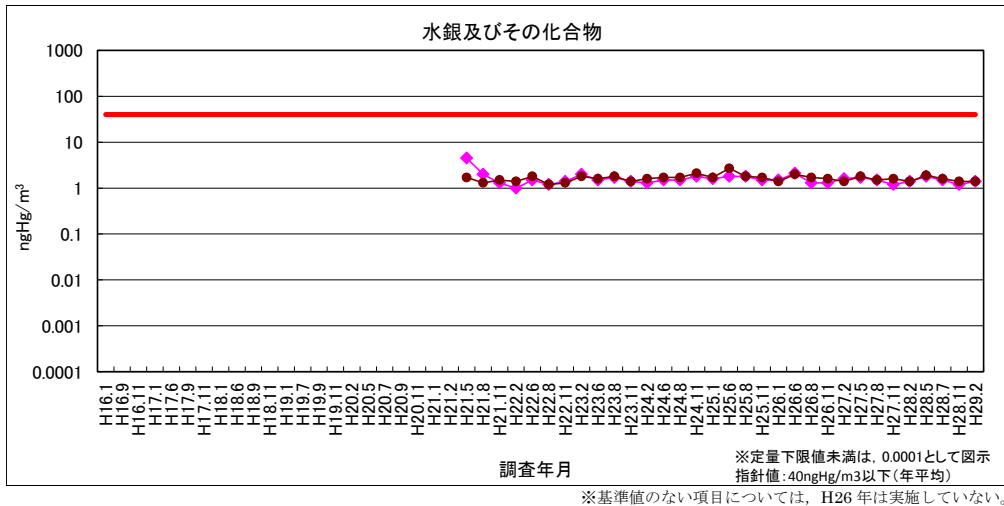


図 1-14 水銀及びその化合物

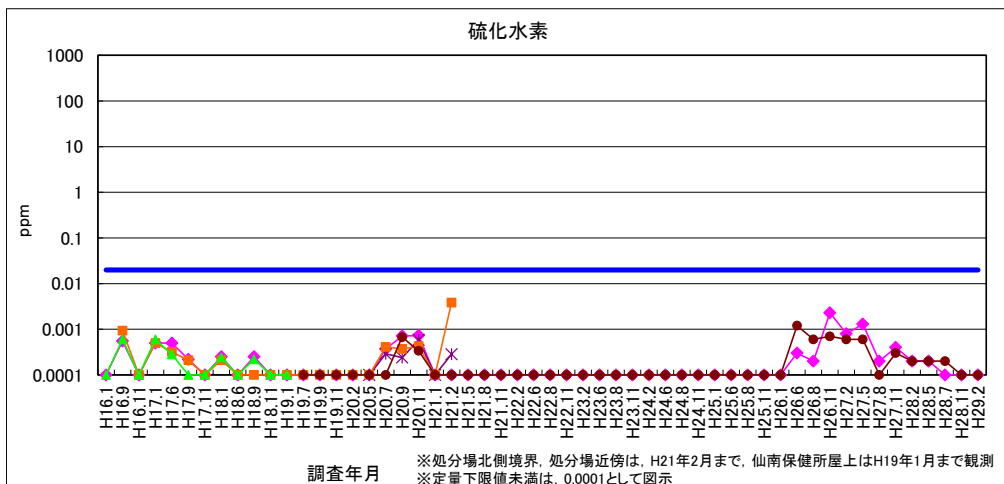


図 1-15 硫化水素

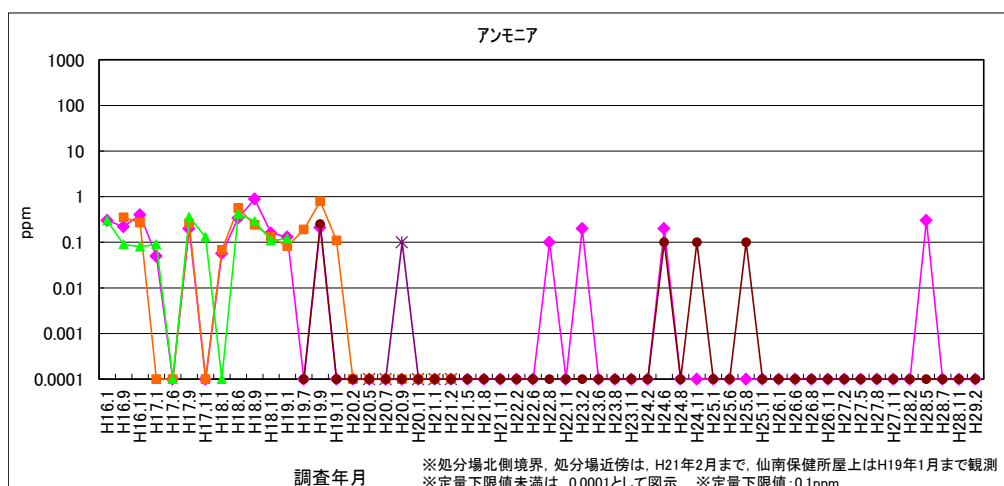


図 1-16 アンモニア

- ◆ 最終処分場(処分場内中央)
- 処分場近傍(～H20年度)
- ▲ 仙南保健所屋上(～H18年度)
- ◆ 処分場北側敷地境界(H20年度)
- 村田町役場
- ◆ 指針値・大気環境基準
- 敷地境界管理目標値

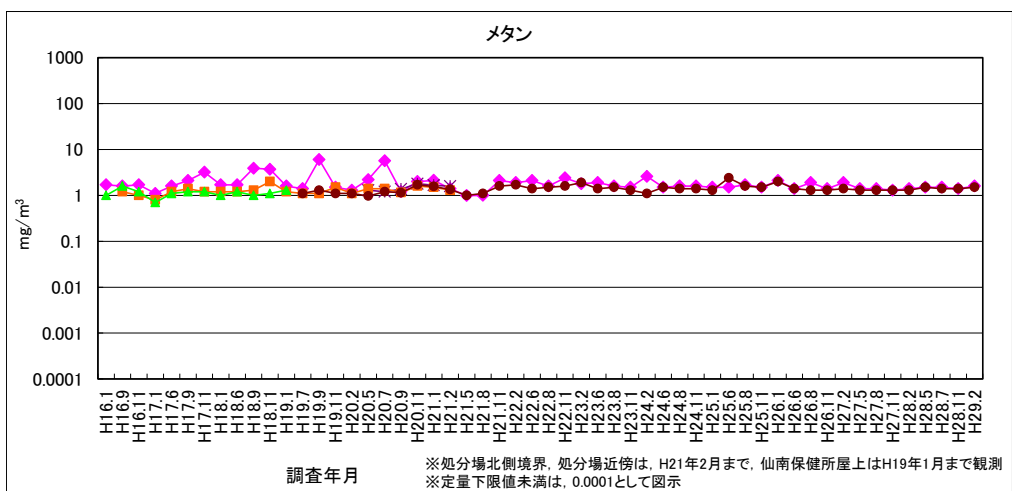
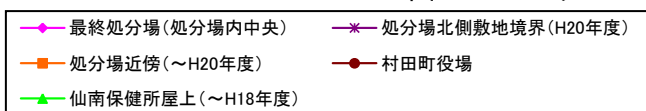


図 1-17 メタン



1.4 硫化水素連続調査結果表

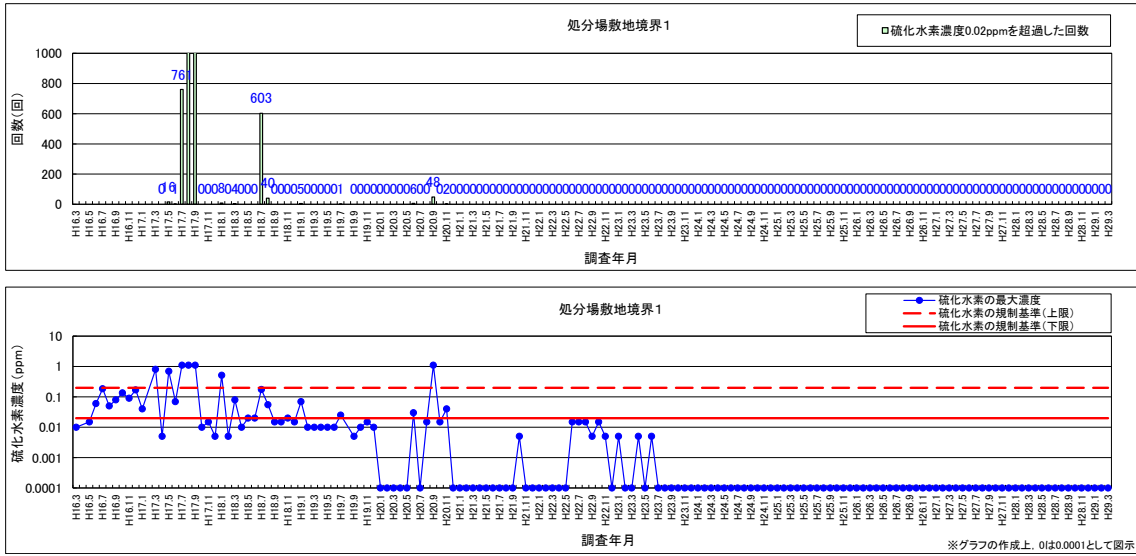
表 1-4 H19~H28 年度 硫化水素連続モニタリング測定結果表

		平成19年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	0	1	—	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.010	0.010	0.010	0.025	—	0.005	0.010	0.015	0.010	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2	超過回数	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.010	0.020	0.015	0.005	0.025	0.010	0.010	0.005	0.000	0.005	0.000	0.000
村田第二中学校	超過回数	0	12	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.005	0.035	0.030	0.015	0.015	0.040	0.015	0.015	0.010	0.010	0.000	0.005
		平成20年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	6	0	0	48	0	2	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.030	0.000	0.015	1.105	0.015	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校	超過回数	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.015	0.015	0.015	0.005	0.030	0.005	0.005	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000
		平成21年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.005	0.005	0.010	0.005	0.005	0.005	0.005	0.010	0.000	0.000	0.005	0.005
村田第二中学校	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.010	0.010	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.000	0.000	0.005
		平成22年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.015	0.015	0.015	0.005	0.015	0.005	0.000	0.000	0.005	0.000
処分場敷地境界2	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.010	0.015	0.010	0.005	0.015	0.010	0.005	0.005	0.005	0.015	0.010	0.005
村田第二中学校	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.015	0.010	0.005	0.010	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
		平成23年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.005	0.000	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.015	0.010	0.010	0.010	0.005	0.005	0.005	0.005	0.000	0.005	0.000	0.000
村田第二中学校	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.005	0.010	0.015	0.005	0.010	0.005	0.005	0.005	0.000	0.005	0.005	0.000
		平成24年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.010	0.010	0.000	0.000	0.010	0.000
村田第二中学校	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.005	0.000	0.000	0.000	0.005
		平成25年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.015	0.010	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		平成26年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		平成27年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
		平成28年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分場敷地境界1	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校	超過回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

超過回数: 悪臭防止法に定める硫化水素濃度の規制基準として示される濃度範囲のうち最も低い(厳しい)濃度である0.02ppmを超過して検出された回数
 : 超過回数が1以上 : H28年度下期測定月
 最大濃度: 硫化水素の最大濃度(ppm)

1.5 硫化水素連続調査結果図

(1) 処分場敷地境界



(2) 村田第二中学校

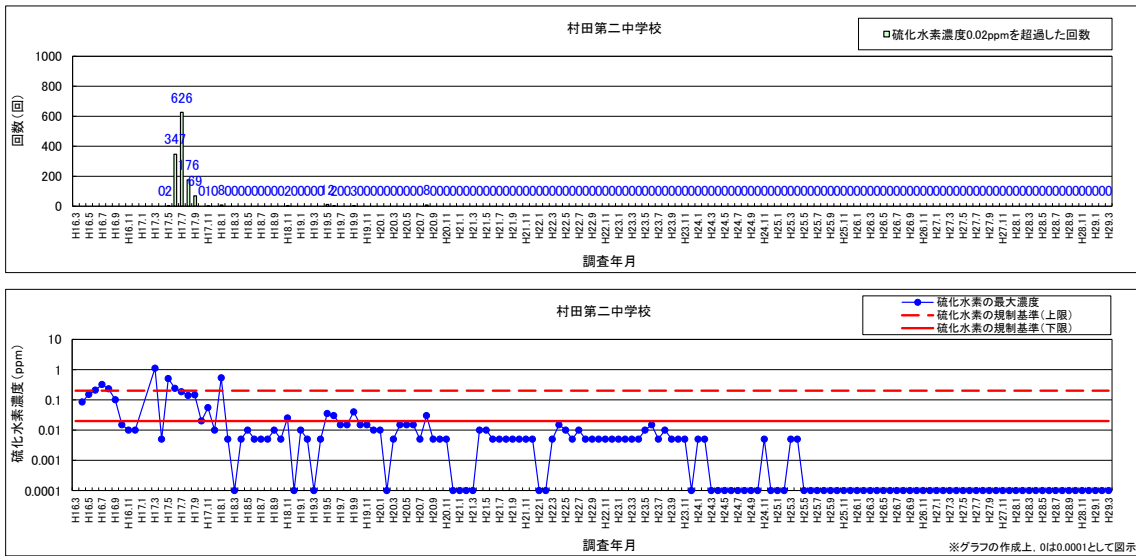


図 1-18 硫化水素連続調査結果図

2 放流水及び河川水水質調査

2.1 放流水及び河川水水質測定結果表

2.1.1 放流水及び河川水水質測定結果表

表 2-1 放流水及び河川水水質結果一覧表

分析項目	単位	定量 下限値	放流水		河川				廃棄物処理法 放流水基準 (※1)
			放流水		荒川上流 (岩淵堰)		荒川下流 (荒川橋下)		
			平成28年11月9日	平成29年2月1日	平成28年11月9日	平成29年2月1日	平成28年11月9日	平成29年2月1日	
アルキル水銀化合物	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	検出されないこと
総水銀	mg/L	0.0005	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.005
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001	-	-	-	-	-	-	0.03
鉛及びその化合物	mg/L	0.002	0.002未満	0.002未満	0.002	0.002	0.002	0.002未満	0.1
有機燐化合物	mg/L	0.1	0.1未満	0.1未満	-	-	-	-	1
六価クロム化合物	mg/L	0.02	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.5
砒素及びその化合物	mg/L	0.001	0.001未満	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001未満	0.1
シアン化合物	mg/L	0.1	-	-	-	-	-	-	1
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	0.003
トリクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	0.1
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	0.1
ジクロロメタン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	0.2
四塩化炭素	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	1
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004	-	-	-	-	-	-	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	0.02
チウラム	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	0.06
シマジン	mg/L	0.0003	-	-	-	-	-	-	0.03
チオベンカルブ	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	0.2
ベンゼン	mg/L	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.1
セレン及びその化合物	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	0.1
ほう素及びその化合物	mg/L	0.02	2.8	2.3	0.06	0.03	0.05	0.03	50
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.08	0.96	0.8	0.14	0.08未満	0.11	0.08	15
アモニウム化合物	mg/L	0.04	-	-	0.06	0.11	0.10	0.10	200 *2
亜硝酸化合物	mg/L	0.2	23	10	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	200 *2
硝酸化合物	mg/L	0.2	-	-	0.5	0.6	0.5	0.6	-
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.2	0.2未満	0.2未満	0.5	0.6	0.5	0.6	-
水素イオン濃度 (pH)	pH	-	8.0(18℃)	7.8(16℃)	7.7(18℃)	7.5(17℃)	7.7(18℃)	7.5(17℃)	5.8-8.6
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.5	6.4	9.1	1.9	2.2	2.0	2.6	60
浮遊物質 (SS)	mg/L	1	3	2	110	12	170	22	60
揮発性抽出物質 (総油)	mg/L	0.5	0.5未満	0.8	-	-	-	-	5
揮発性抽出物質 (動植物油)	mg/L	0.5	1.0	1.0	-	-	-	-	30
フェノール類含有量	mg/L	0.02	0.05	0.03	-	-	-	-	5
銅含有量	mg/L	0.03	0.03未満	0.03未満	-	-	-	-	3
亜鉛含有量	mg/L	0.02	0.02未満	0.02未満	-	-	-	-	2
溶解性鉄含有量	mg/L	0.02	0.06	0.07	-	-	-	-	10
溶解性マンガン含有量	mg/L	0.02	0.09	0.27	-	-	-	-	10
クロム含有量	mg/L	0.02	0.02未満	0.02未満	-	-	-	-	2
大腸菌群数	個/cm ³	0	72	20	150	14	130	31	3000
溶存酸素量	mg/L	0.5	3.8	11	12	14	11	13	-
無機体炭素	mg/L	1	120	130	6	6	7	8	-
塩化物イオン	mg/L	0.2	110	130	11	20	11	19	-
硫酸イオン	mg/L	0.02	5.0	5.1	15	13	14	12	-
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005	0.035	0.038	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.5
採取時刻	-	-	13:55	13:58	10:40	10:30	9:57	9:50	-
採取時の天候	-	-	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	-
気温	℃	-	7.7	10.1	11.4	5.8	10.8	3.4	-
水温	℃	-	9.2	4.0	9.9	3.7	9.0	2.3	-
色相	-	-	淡黄色	淡黄色	濃黄色	淡黄色	濃黄色	淡黄色	-
臭気	-	-	微酸化水素臭	微酸化水素臭	微土臭	微土臭	微土臭	微土臭	-
濁り	-	-	無	無	有	無	有	微濁	-
透明度	cm	-	50以上	50以上	7	50以上	4	32	-
流量	m ³ /s	-	0.0009	0.0006	0.46	0.50	0.58	0.53	-
pH (現地)	pH	-	8.01	7.58	7.70	7.91	7.79	8.32	-
電気伝導率	mS/m	-	190	182	15.6	17.4	15.9	19.7	-
ORP (可搬型ORPメーターにより現地で測定)	mV	-	64	57	161	93	124	115	-
ORP (本装置機に付する機器) [0.7189×電位-221.36+492]	mV	-	282	278	378	315	342	338	-

*1 放流水基準とは、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令 (昭和52年3月14日総理府・厚生省第1号) 別表第一等 () : 基準値超過

*2 アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量

2.1.2 放流水水質測定結果表（ダイオキシン類）

表 2-2 ダイオキシン類測定結果表（放流水）

採取試料	採取日	測定結果				基準値 (pg-TEQ/L)
		TotalTEQ (pg-TEQ/L)	PCDDs+P CDFs (pg-TEQ/L)	Co-PCB (pg-TEQ/L)	SS (mg/L)	
放流水	平成 28 年 12 月 13 日	0.0015	0.0014	0.000099	<1	10 (排水基準)

注1) 放流水については、定量下限値未満のものは 0 として各異性体を合計して TotalTEQ を算出した。

注2) 測定結果における PCDDs+PCDFs と Co-PCB の和が TotalTEQ 値と異なるのは、TotalTEQ の算出方法が各 2,3,7,8-位塩素置換異性体の毒性当量を計算し、その合計値をもって有効数字 2 桁で数値を丸めることとなっており、個々の異性体の毒性当量についての丸めの操作を行わないことによる。

注3) ダイオキシン類対策特別措置法施行規則（平成 11 年 12 月 27 日総理府令第 67 号）別表第二

2.1.3 放流水及び河川水水質測定結果図

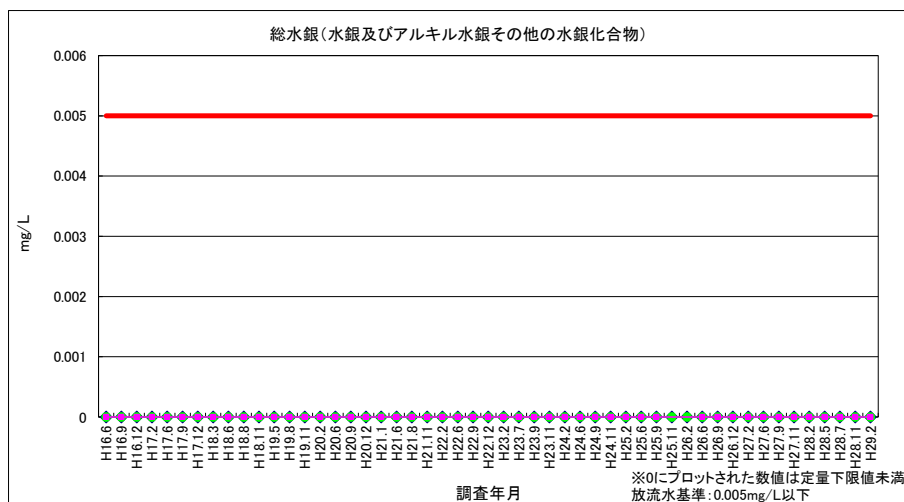


図 2-1 総水銀 (放流水・河川水)

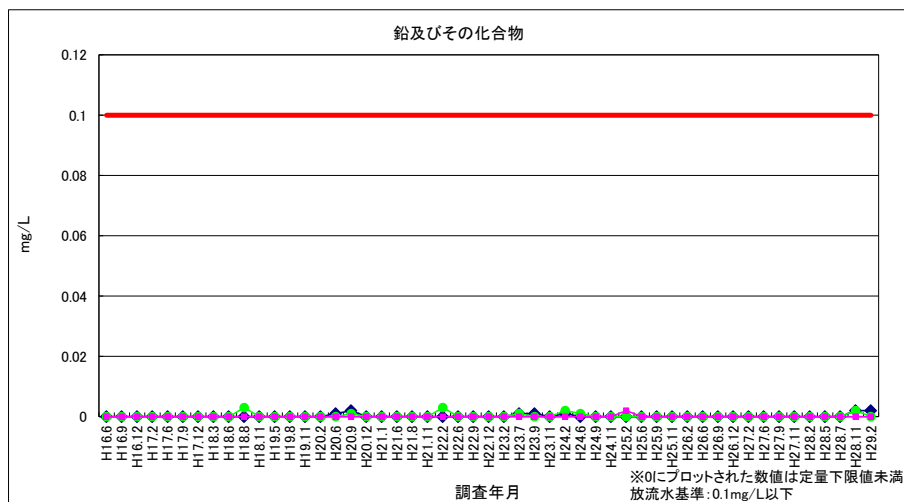


図 2-2 鉛及びその化合物 (放流水・河川水)

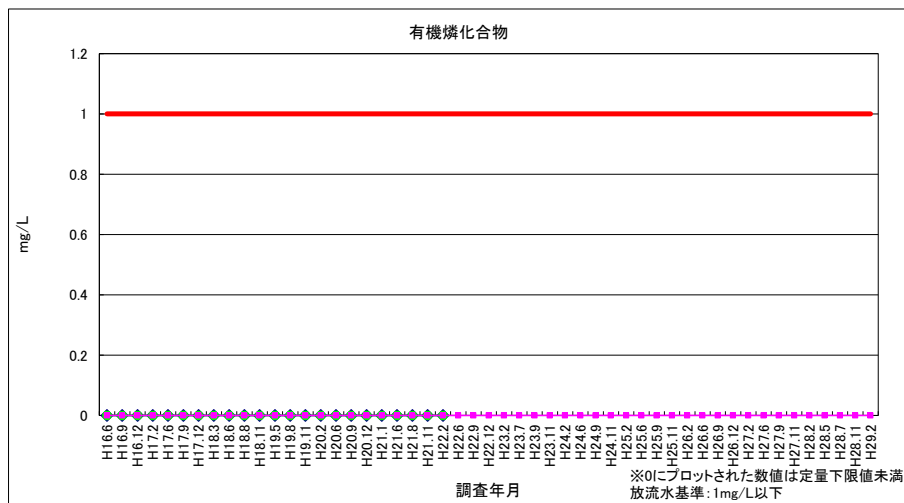
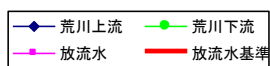


図 2-3 有機燐化合物 (放流水・河川水)



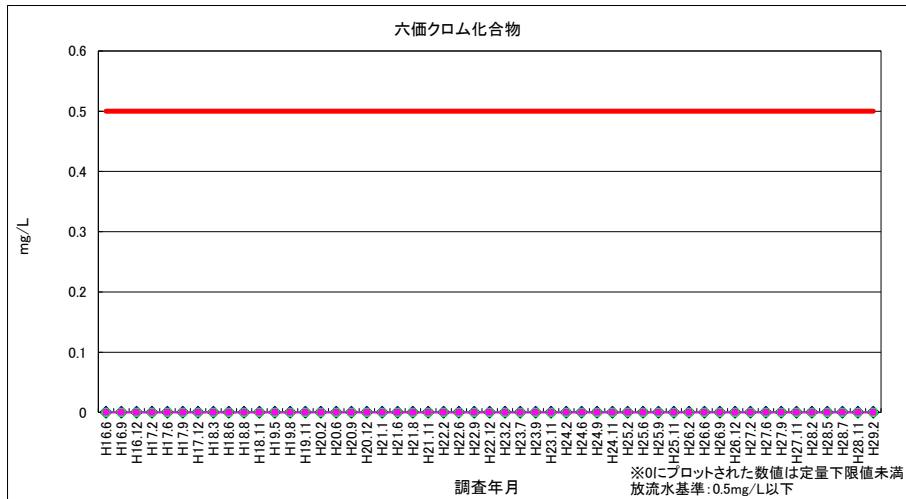


図 2-4 六価クロム化合物（放流水・河川水）

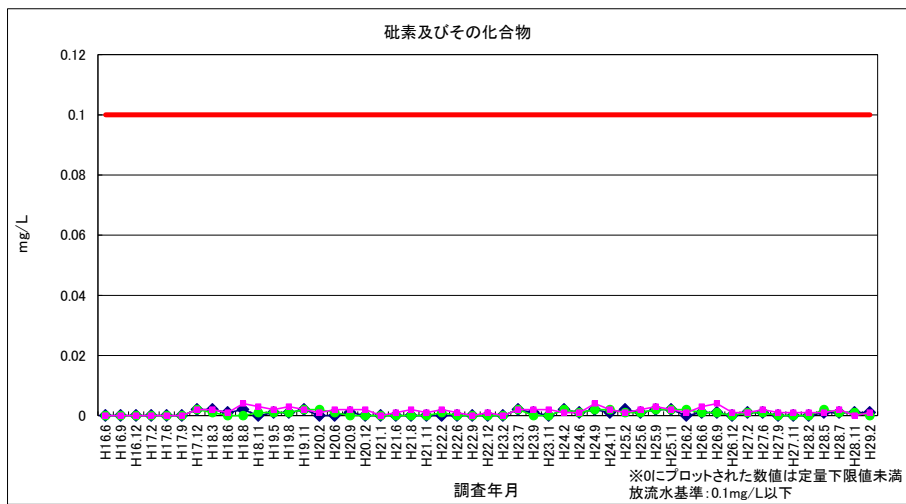


図 2-5 砒素及びその化合物（放流水・河川水）

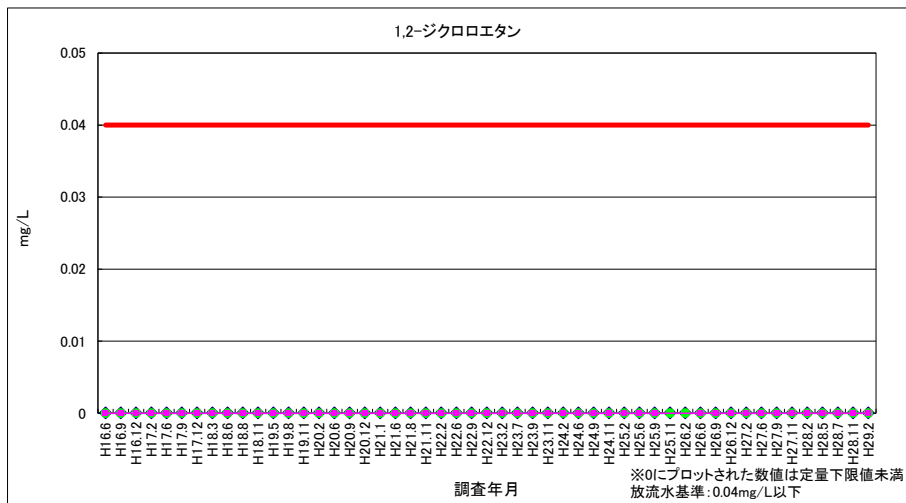
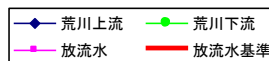


図 2-6 1,2-ジクロロエタン（放流水・河川水）



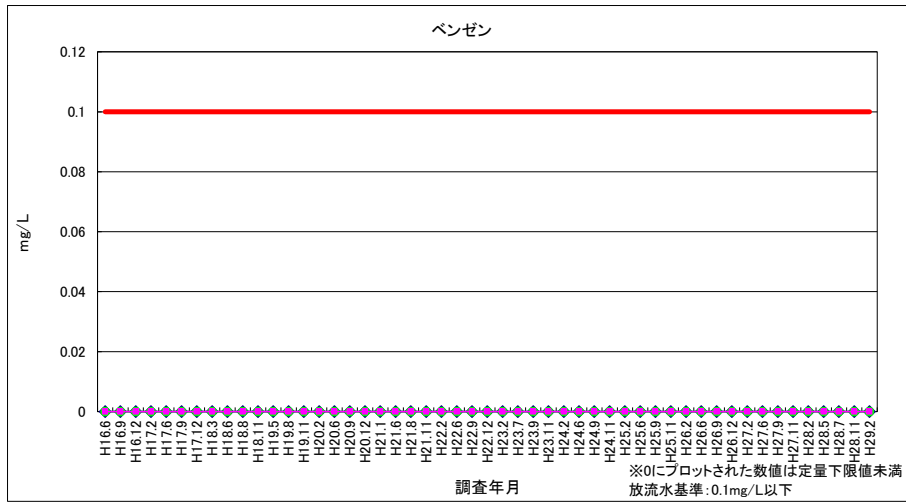


図 2-7 ベンゼン（放流水・河川水）

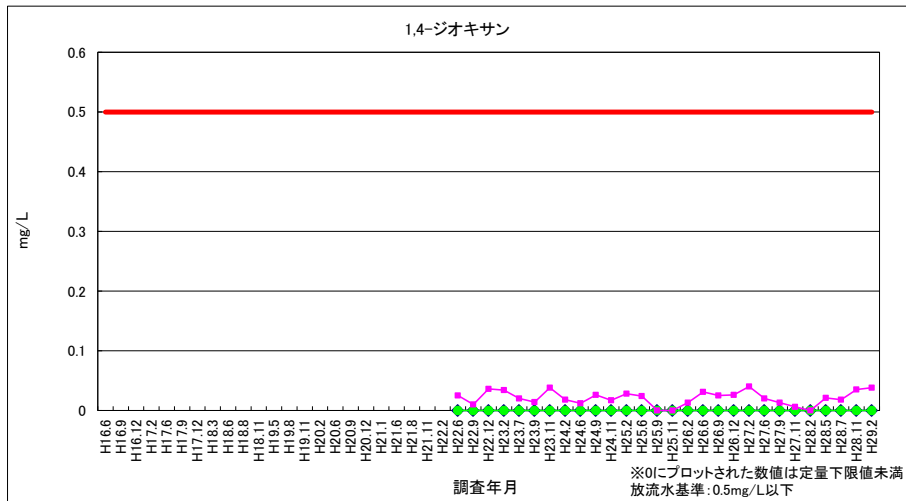


図 2-8 1,4-ジオキサン（放流水・河川水）

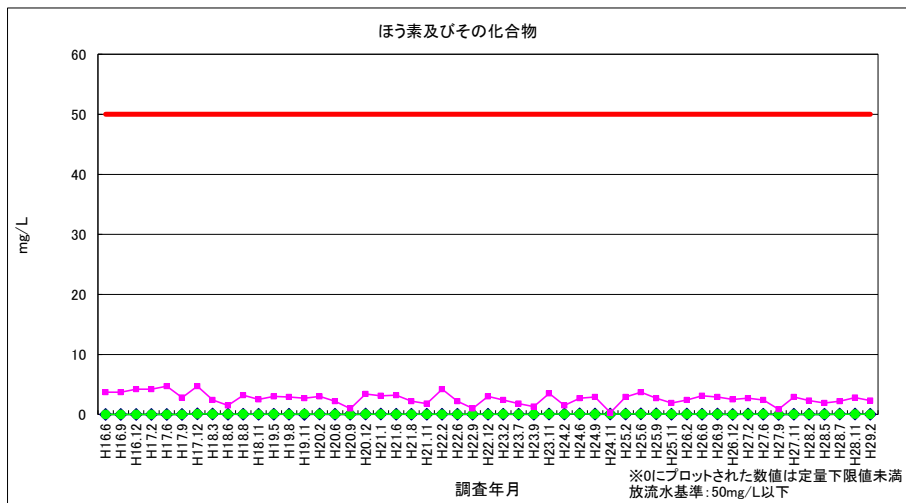
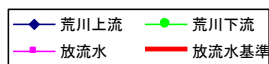


図 2-9 ほう素及びその化合物（放流水・河川水）



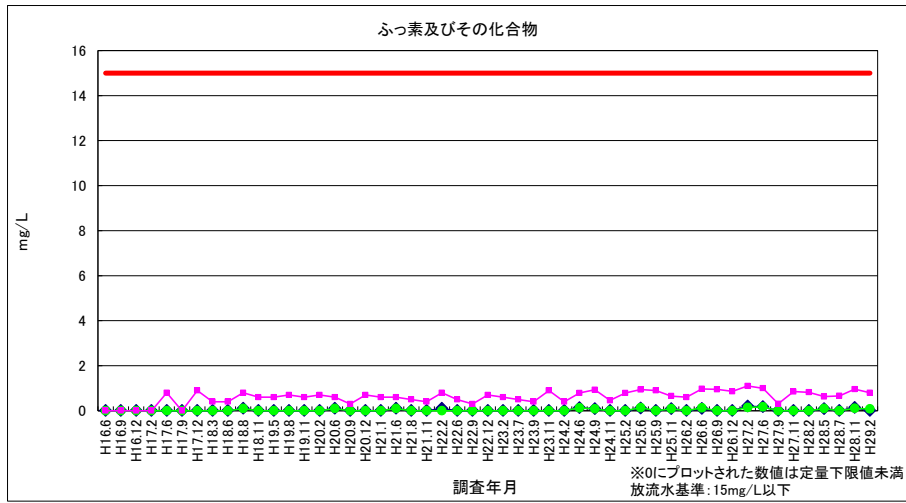


図 2-10 ふっ素及びその化合物（放流水・河川水）

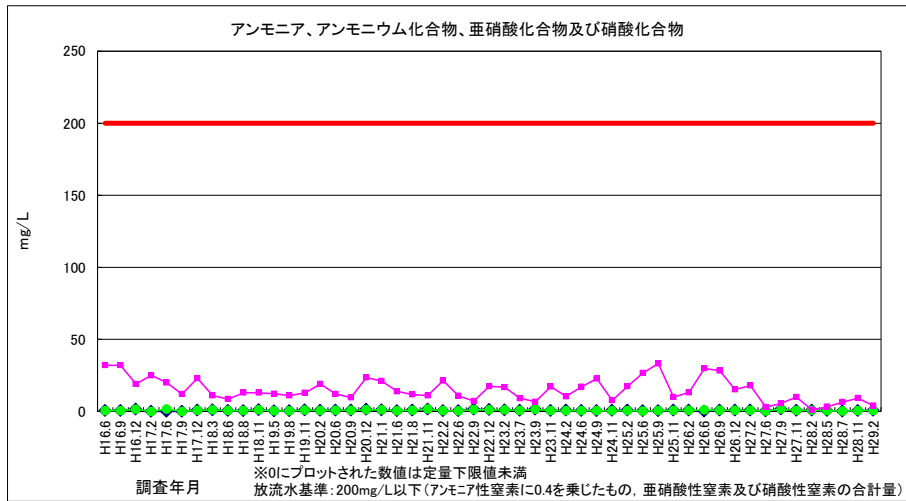


図 2-11 アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物（放流水・河川水）

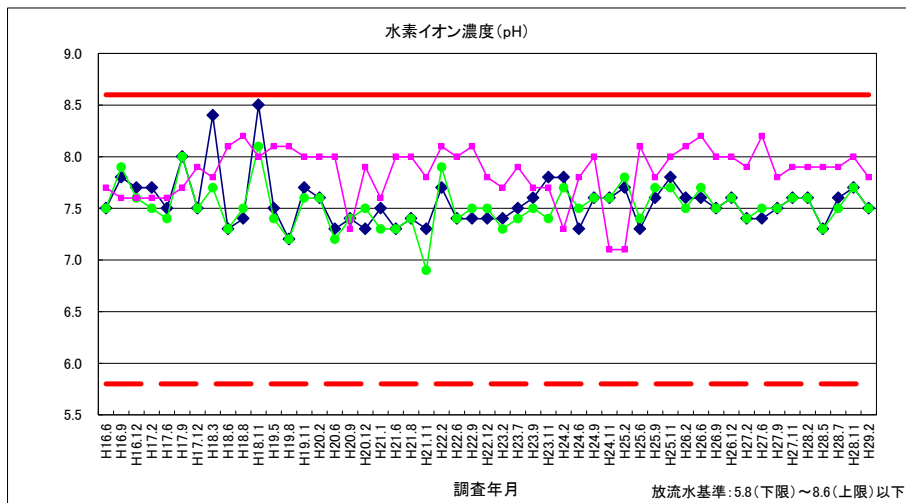


図 2-12 水素イオン濃度 (pH)（放流水・河川水）



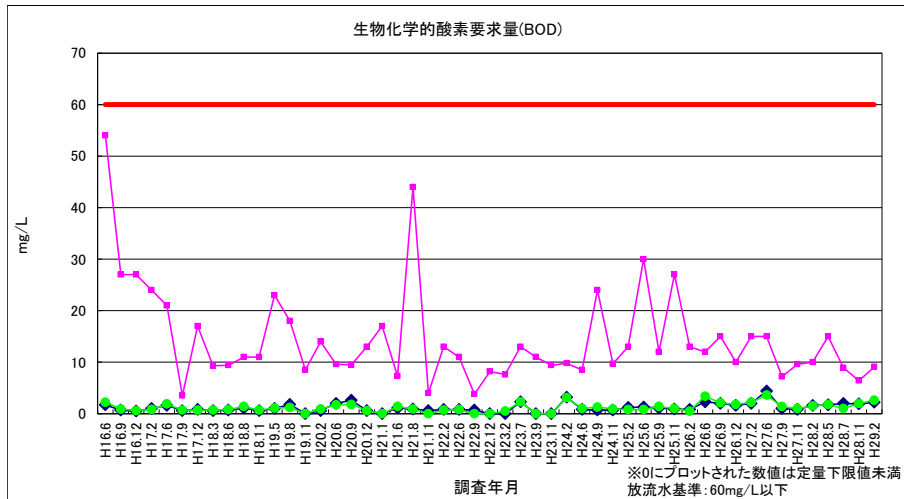


図 2-13 生物化学的酸素要求量 (BOD) (放流水・河川水)

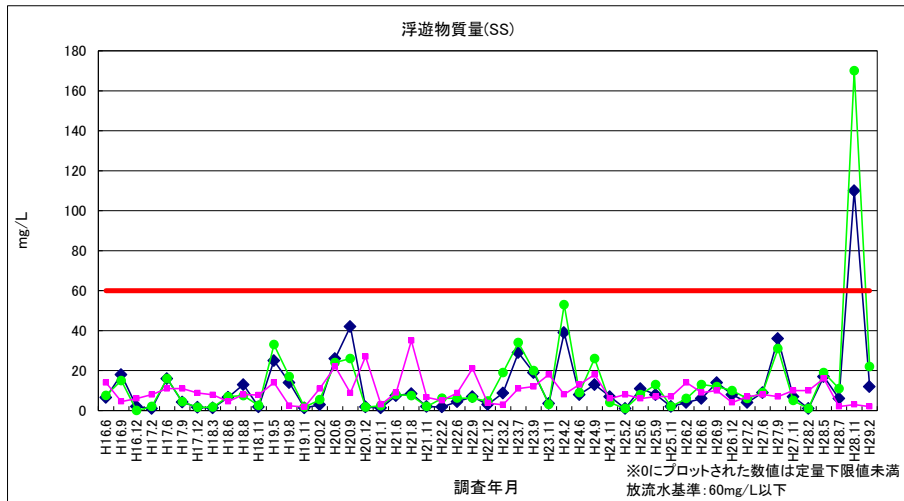


図 2-14 浮遊物質 (SS) (放流水・河川水)

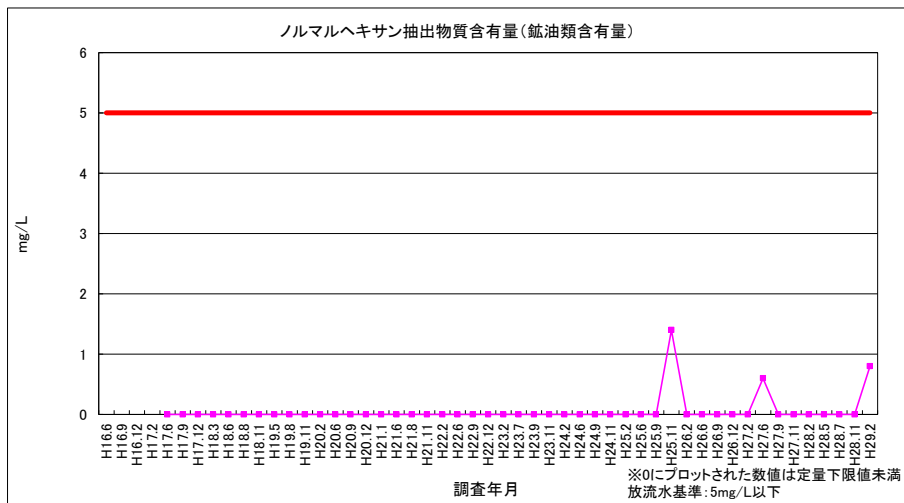
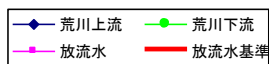


図 2-15 ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (放流水)



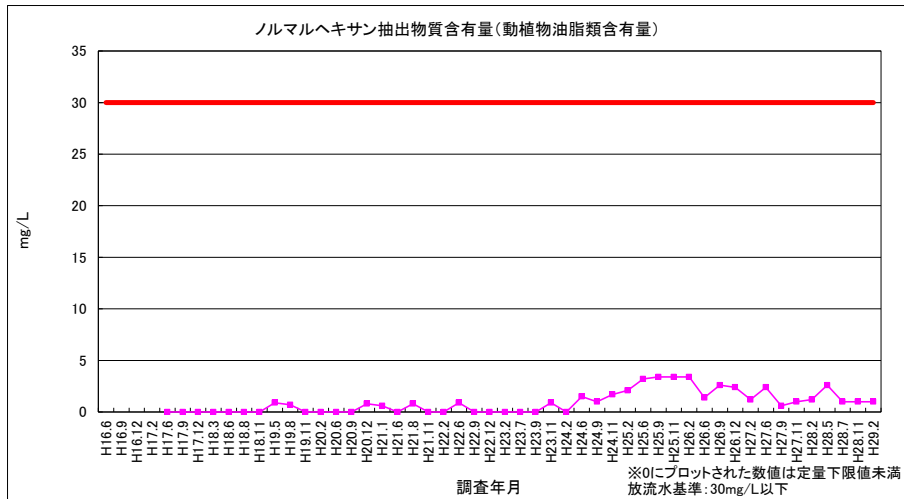


図 2-16 ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (放流水)

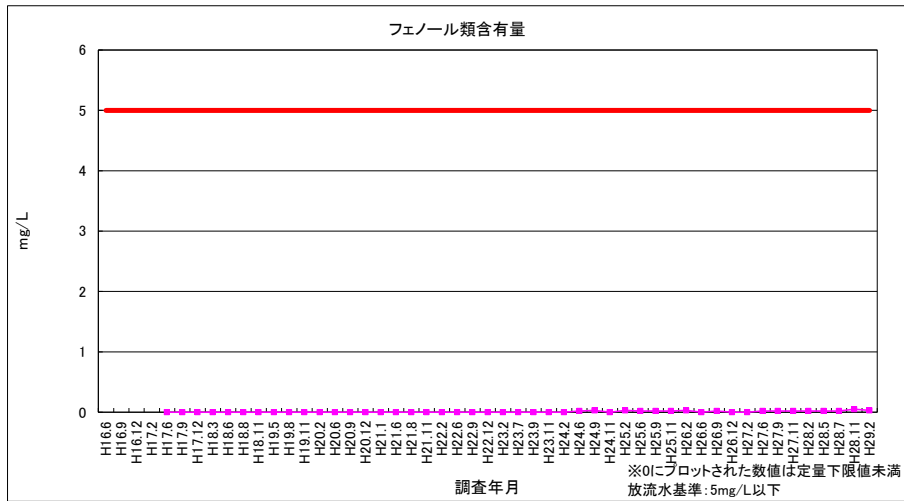


図 2-17 フェノール類含有量 (放流水)

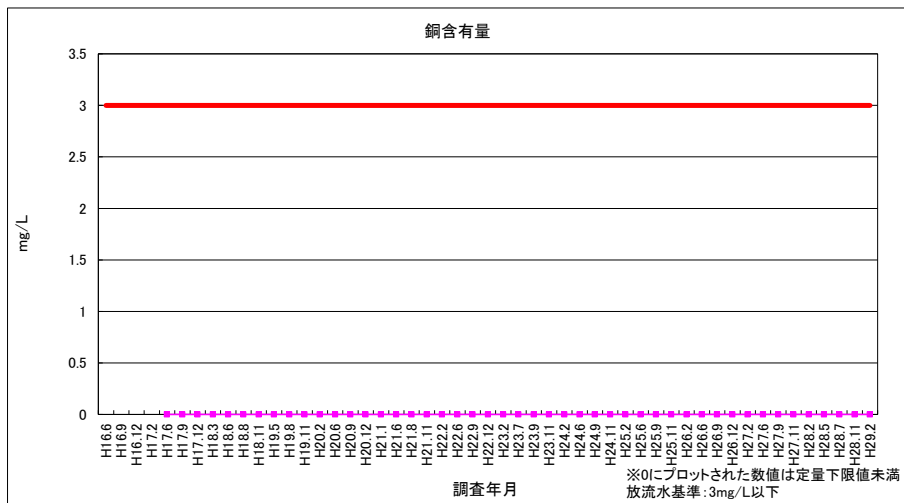
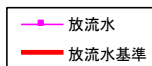


図 2-18 銅含有量 (放流水)



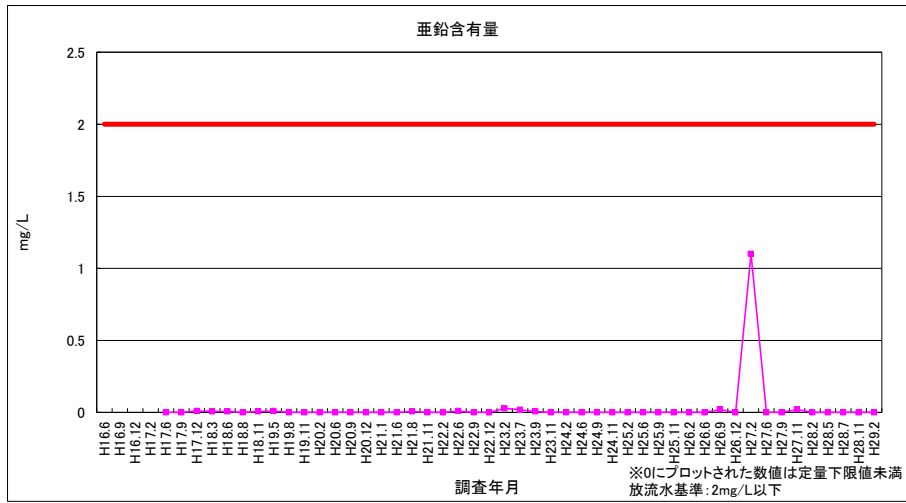


図 2-19 亜鉛含有量 (放流水)

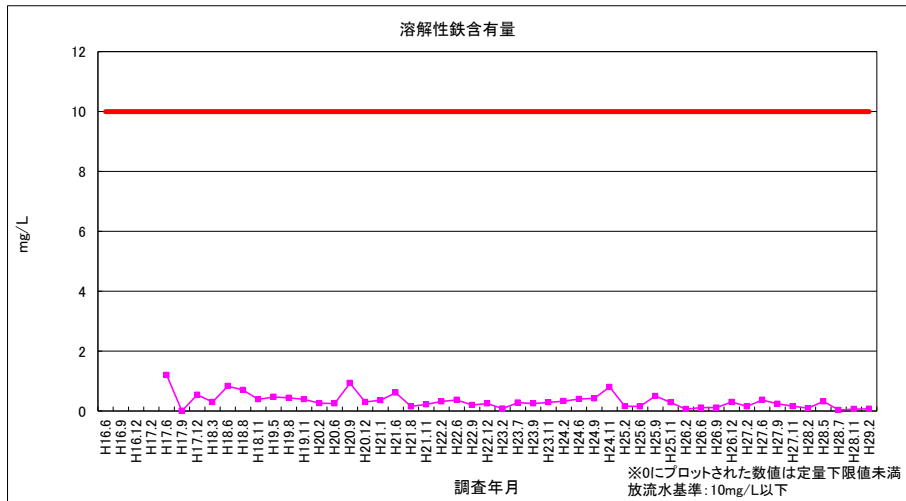


図 2-20 溶解性鉄含有量 (放流水)

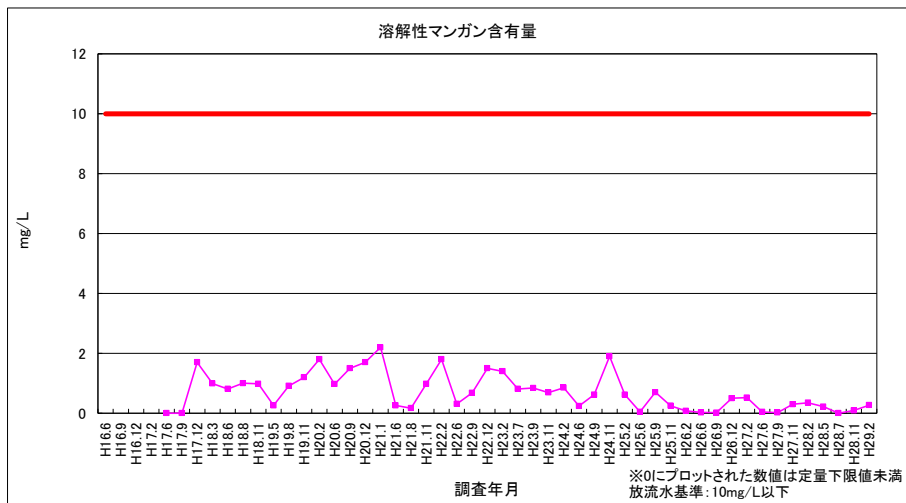
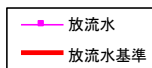


図 2-21 溶解性マンガン含有量 (放流水)



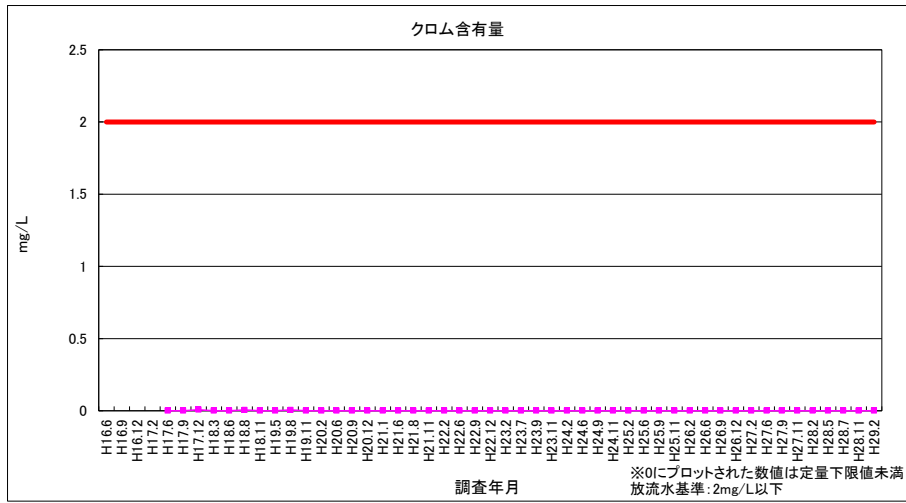


図 2-22 クロム含有量 (放流水)

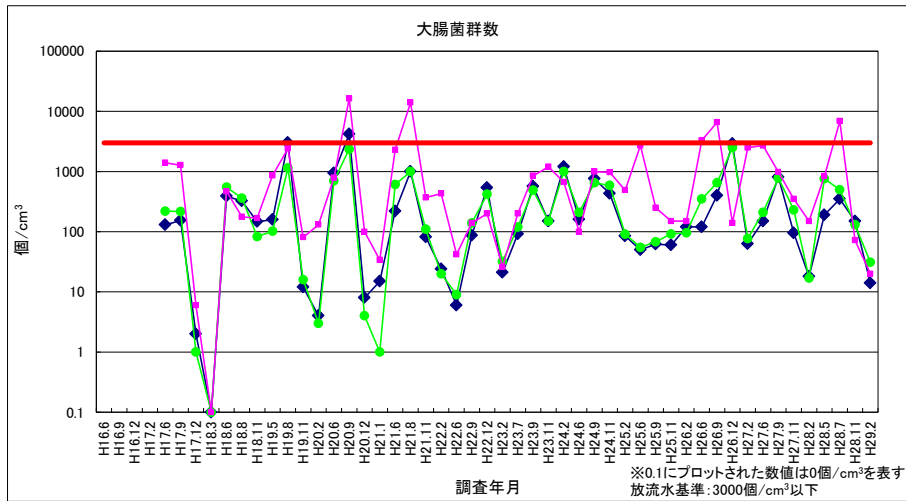


図 2-23 大腸菌群数 (放流水・河川水)

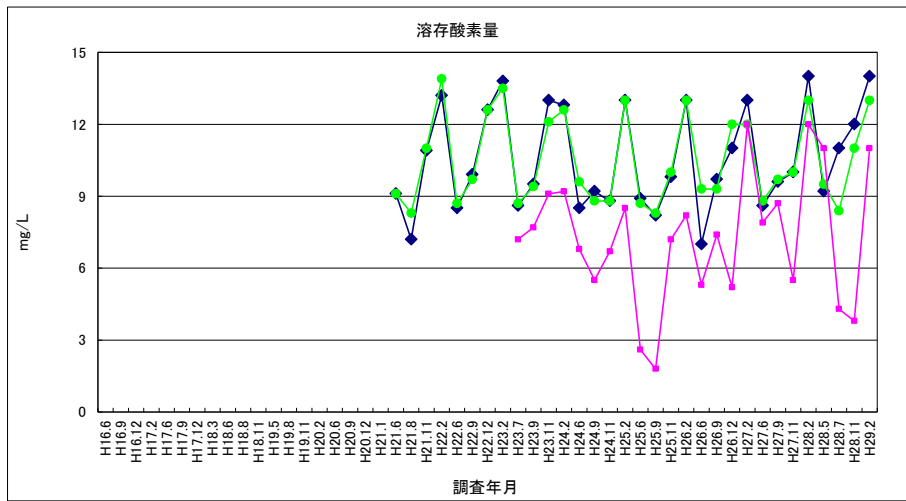
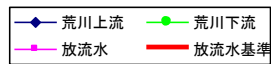


図 2-24 溶存酸素量 (河川水・放流水)



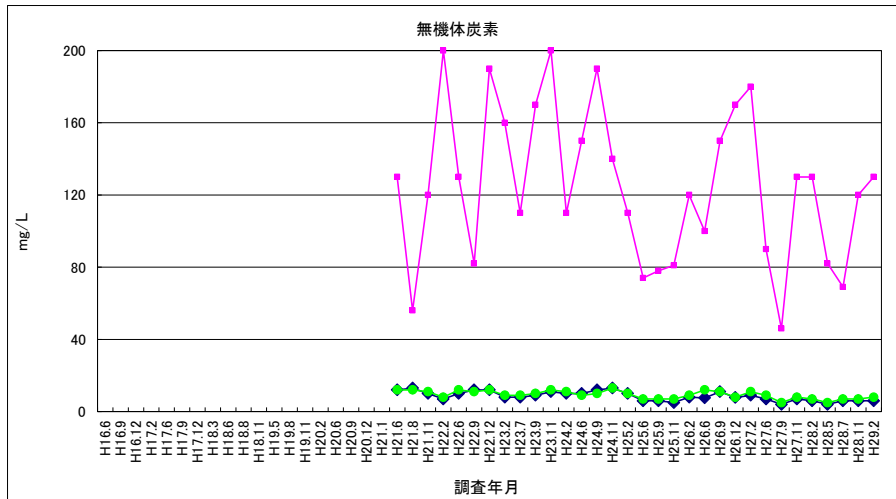


図 2-25 無機体炭素（放流水・河川水）

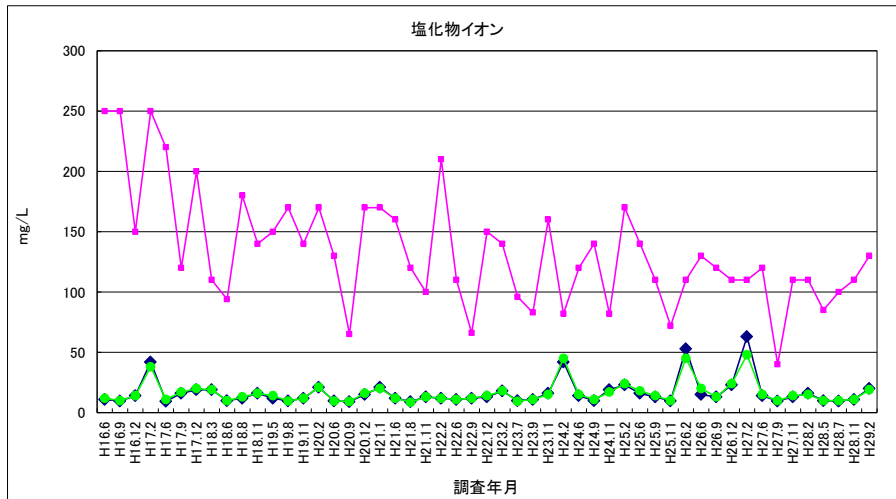


図 2-26 塩化物イオン（放流水・河川水）

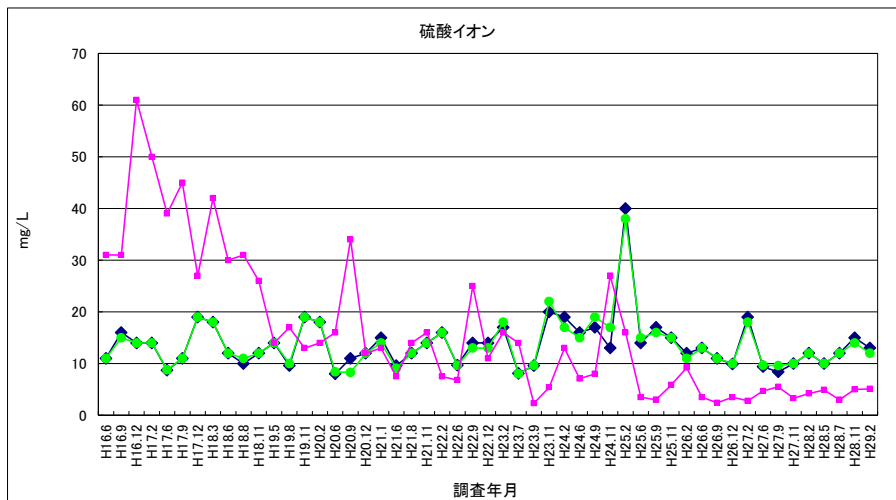
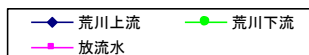


図 2-27 硫酸イオン（放流水・河川水）



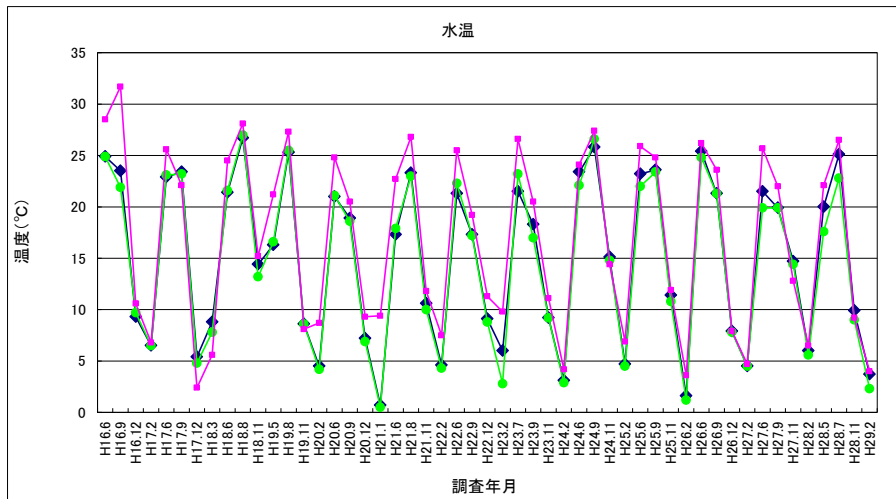


図 2-28 水温（放流水・河川水）

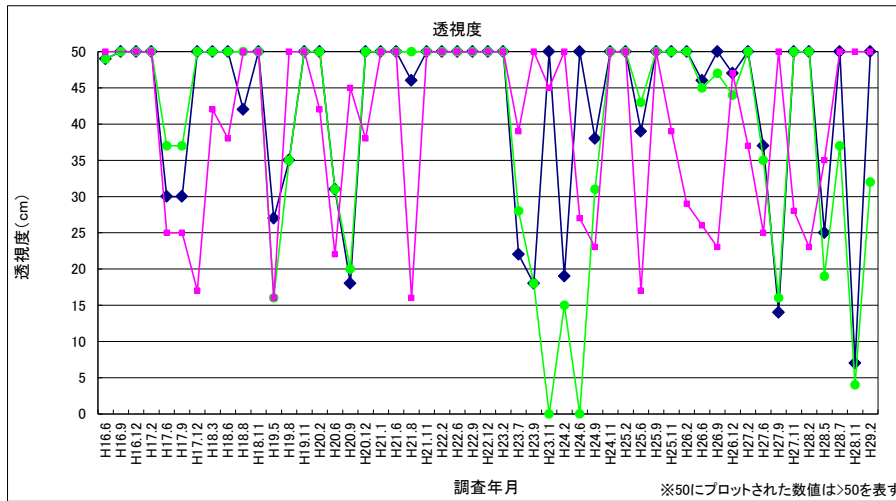


図 2-29 透視度（放流水・河川水）

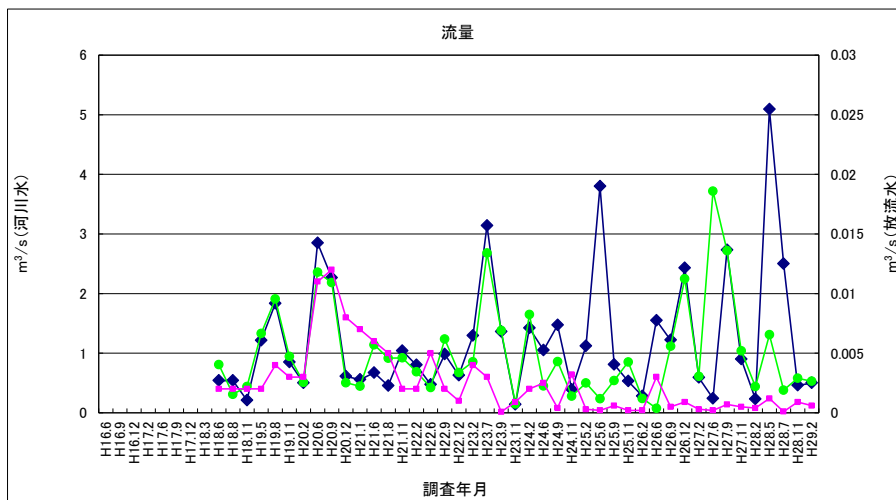
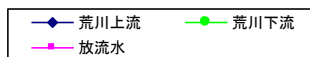


図 2-30 流量（放流水・河川水）



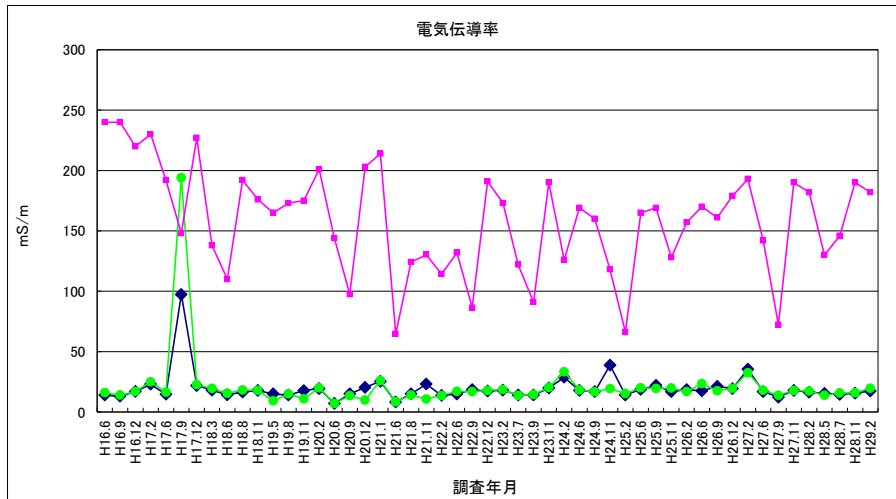


図 2-31 電気伝導率（放流水・河川水）

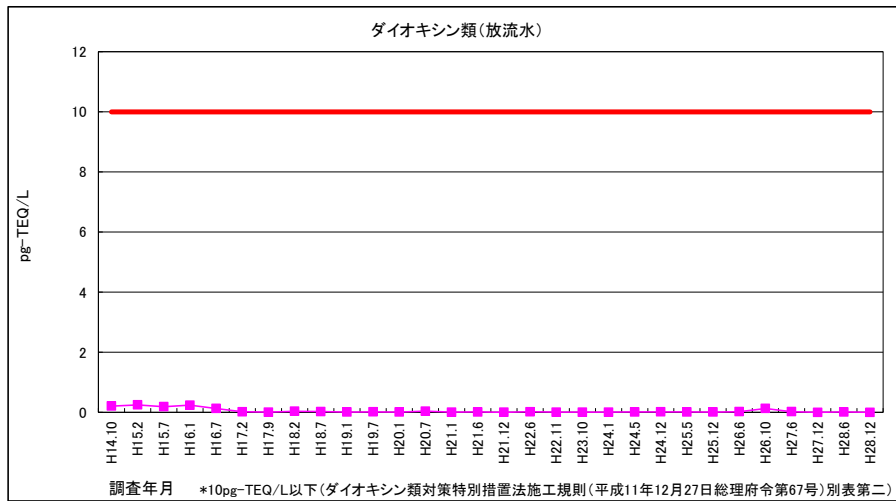
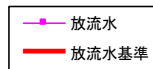


図 2-32 ダイオキシン類（放流水）



3.1.2 浸透水及び地下水水質調査結果表（ダイオキシン類）

表 3-4 ダイオキシン類測定結果表（浸透水・地下水）

採取試料	採取日	測定結果				基準値 (pg-TEQ/L)
		TotalTEQ (pg-TEQ/L)	PCDDs+P CDFs (pg-TEQ/L)	Co-PCB (pg-TEQ/L)	SS (mg/L)	
地下水	Loc.1	H28.12.13	0.070	0.066	0.0040	<1
	Loc.1a	H28.12.13	0.078	0.074	0.0040	13
	Loc.1b	H28.12.13	0.092	0.088	0.0040	27
	Loc.3	H28.12.13	0.078	0.074	0.0041	7
	H16-15	H28.10.12	0.11	0.10	0.0040	22
	H17-19	H28.12.13	0.072	0.068	0.0040	12
	H26-1a	H28.10.12	1.3	0.79	0.52	330
	H26-1b	H28.12.13	0.071	0.067	0.0040	4
	H26-2	H28.10.12	1.5	1.4	0.045	450
浸透水	No.3b	H28.10.12	0.037	0.029754	0.0075903	3
	No.5b	H28.10.12	0.041	0.029563	0.0109410	7
	H16-3	H28.12.13	0.089	0.075735	0.0128972	16
	H16-5	H28.10.12	3.6	3.4	0.23	30
	H16-6	H28.12.13	0.094	0.063524	0.0306937	3
	H16-10	H28.10.12	0.043	0.031072	0.0120774	5
	H16-11	H28.12.13	0.076	0.062722	0.0134224	8
	H16-13	H28.10.12	0.27	0.20	0.069	12
	H17-15	H28.10.12	0.052	0.037313	0.0149300	19
	H26-3a	H28.10.12	0.21	0.18	0.026	47
	H26-3b	H28.10.12	0.10	0.091	0.0096	30

1
(環境基準)

：基準値超過

注1) 地下水、浸透水については、検出下限値未満のものは検出下限値の 1/2 の値を用いて各異性体の TEQ を算出した。

注2) 測定結果における PCDD+PCDF と Co-PCB の和が TotalTEQ 値と異なるのは、TotalTEQ の算出方法が各 2,3,7,8-位塩素置換異性体の毒性等量を計算し、その合計値をもって有効数字 2 桁で数値を丸めることとなっており、個々の異性体の毒性等量についての丸めの操作を行わないことによる。

基準値：ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準（平成 11 年 12 月 27 日環境庁告示第 68 号）別表を準用。

表 3-5 H16-5 のダイオキシン類分析組成表

試料名:		H16-5					試料採取月日		平成28年10月12日	
		実測濃度(Cs)	検出下限	定量下限	毒性等価係数	毒性等量 TEQ				
		pg/L	pg/L	pg/L	WHO/IPCS(2006)	(pg-TEQ/L)				
ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン	1,3,6,8-TeCDD	19	0.03	0.13	× 0	0				
	1,3,7,9-TeCDD	9.1	0.03	0.13	× 0	0				
	1,2,3,8-TeCDD	1.6	0.03	0.13	× 0	0				
	2,3,7,8-TeCDD	0.13	0.03	0.13	× 1	0.13				
	TeCDDs	36				0.13				
	1,2,3,6,8-PeCDD	6.0	0.07	0.20	× 0	0				
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.93	0.07	0.20	× 1	0.93				
	PeCDDs	29				0.93				
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	1.3	0.08	0.30	× 0.1	0.13				
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	2.7	0.08	0.27	× 0.1	0.27				
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	1.9	0.1	0.4	× 0.1	0.19				
	HxCDDs	33				0.59				
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	16	0.1	0.4	× 0.01	0.16				
	HpCDDs	30				0.16				
OCDD	40	0.07	0.24	× 0.0003	0.012					
Total PCDDs	170				1.8220					
ポリ塩化ジベンゾフラン	2,4,6,8-TeCDF	1.4	0.03	0.13	× 0	0				
	1,2,7,8-TeCDF	1.0	0.03	0.13	× 0	0				
	2,3,7,8-TeCDF	0.55	0.03	0.13	× 0.1	0.055				
	TeCDFs	26				0.055				
	1,2,4,6,8-PeCDF	1.7	0.08	0.26	× 0	0				
	1,2,3,7,8-PeCDF	1.2	0.02	0.08	× 0.03	0.036				
	2,3,4,7,8-PeCDF	1.9	0.07	0.22	× 0.3	0.57				
	PeCDFs	29				0.606				
	1,2,4,6,8,9-HxCDF	0.6	0.1	0.3	× 0	0				
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	2.3	0.07	0.24	× 0.1	0.23				
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	2.4	0.1	0.3	× 0.1	0.24				
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	(0.18)	0.07	0.20	× 0.1	0.018				
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	2.9	0.07	0.24	× 0.1	0.29				
	HxCDFs	24				0.778				
	1,2,3,4,6,8,9-HpCDF	1.6	0.09	0.32	× 0	0				
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	8.2	0.1	0.4	× 0.01	0.082				
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.83	0.08	0.29	× 0.01	0.0083					
HpCDFs	12				0.0903					
OCDF	1.7	0.2	0.5	× 0.0003	0.00051					
Total PCDFs	93				1.52981					
Total (PCDDs+PCDFs)		260				3.4				
コブラナーポリ塩化ビフェニル	3,3',4,4'-TeCB	#77	45	0.1	0.4	× 0.0001	0.0045			
	3,4,4',5'-TeCB	#81	2.0	0.07	0.22	× 0.0003	0.0006			
	3,3',4,4',5'-PeCB	#126	1.9	0.08	0.27	× 0.1	0.19			
	3,3',4,4',5,5'-HxCB	#169	0.72	0.08	0.27	× 0.03	0.0216			
	2,3,3',4,4'-PeCB	#105	100	0.1	0.3	× 0.00003	0.003			
	2,3,4,4',5'-PeCB	#114	8.5	0.08	0.27	× 0.00003	0.000255			
	2,3',4,4',5'-PeCB	#118	330	0.05	0.19	× 0.00003	0.0099			
	2',3,4,4',5'-PeCB	#123	4.7	0.07	0.22	× 0.00003	0.000141			
	2,3,3',4,4',5'-HxCB	#156	32	0.1	0.3	× 0.00003	0.00096			
	2,3,3',4,4',5'-HxCB	#157	7.5	0.08	0.27	× 0.00003	0.000225			
	2,3',4,4',5,5'-HxCB	#167	13	0.05	0.17	× 0.00003	0.00039			
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB	#189	2.8	0.1	0.3	× 0.00003	0.00084			
	Total コブラナーPCB		550				0.23			
Total ダイオキシン類			810				3.6			

備考 1. 実測濃度

括弧内の数値は検出下限以上定量下限未満の数値である。

検出下限未満の場合は、"N.D."と表示した。

PCDDおよびPCDFの各合計値は、測定した全ての異性体濃度を反映している。

JIS Z8401によって数値を丸め、有効数字2桁で示した。ただし、表示する桁数は検出下限の桁までとする。

2. 毒性等価係数

WHO-TEF(2006)のTEFを用いた。

3. 毒性等量(TEQ)

毒性等量は、検出下限未満の実測濃度は検出下限の1/2値を用いて算出した。

表 3-6 H26-1a のダイオキシン類分析組成表

試料名: H26-1a		試料採取月日 平成28年10月12日				
		実測濃度(Cs) pg/L	検出下限 pg/L	定量下限 pg/L	毒性等価係数 WHO/IPCS(2006)	毒性等量 TEQ (pg-TEQ/L)
ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン	1,3,6,8-TeCDD	43	0.02	0.10	× 0	0
	1,3,7,9-TeCDD	15	0.02	0.10	× 0	0
	1,2,3,8-TeCDD	0.66	0.02	0.10	× 0	0
	2,3,7,8-TeCDD	(0.06)	0.02	0.10	× 1	0.06
	TeCDDs	61				0.06
	1,2,3,6,8-PeCDD	5.2	0.04	0.12	× 0	0
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.19	0.04	0.12	× 1	0.19
	PeCDDs	11				0.19
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.23	0.07	0.23	× 0.1	0.023
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.54	0.07	0.25	× 0.1	0.054
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.68	0.07	0.25	× 0.1	0.068
	HxCDDs	7.5				0.145
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	10	0.07	0.25	× 0.01	0.1
	HpCDDs	21				0.1
	OCDD	190	0.09	0.28	× 0.0003	0.057
Total PCDDs	290				0.5520	
ポリ塩化ジベンゾフラン	2,4,6,8-TeCDF	2.4	0.02	0.07	× 0	0
	1,2,7,8-TeCDF	0.23	0.02	0.07	× 0	0
	2,3,7,8-TeCDF	0.13	0.02	0.07	× 0.1	0.013
	TeCDFs	6.4				0.013
	1,2,4,6,8-PeCDF	0.52	0.04	0.13	× 0	0
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.18	0.02	0.09	× 0.03	0.0054
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.22	0.04	0.14	× 0.3	0.066
	PeCDFs	4.0				0.0714
	1,2,4,6,8,9-HxCDF	0.79	0.05	0.17	× 0	0
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.49	0.02	0.07	× 0.1	0.049
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.37	0.05	0.15	× 0.1	0.037
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	N.D.	0.05	0.16	× 0.1	0.0025
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.32	0.06	0.21	× 0.1	0.032
	HxCDFs	4.6				0.1205
	1,2,3,4,6,8,9-HpCDF	4.0	0.07	0.22	× 0	0
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	2.8	0.06	0.20	× 0.01	0.028
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.38	0.07	0.25	× 0.01	0.0038
HpCDFs	7.6				0.0318	
OCDF	7.5	0.09	0.30	× 0.0003	0.00225	
Total PCDFs	30				0.23895	
Total (PCDDs+PCDFs)		320				0.79
コブラナーポリ塩化ビフェニル	3,3',4,4'-TeCB #77	24	0.07	0.23	× 0.0001	0.0024
	3,4,4',5'-TeCB #81	0.62	0.07	0.25	× 0.0003	0.000186
	3,3',4,4',5'-PeCB #126	5.0	0.07	0.23	× 0.1	0.5
	3,3',4,4',5,5'-HxCB #169 (0.12)	(0.12)	0.07	0.25	× 0.03	0.0036
	2,3,3',4,4'-PeCB #105	120	0.02	0.09	× 0.00003	0.0036
	2,3,4,4',5'-PeCB #114	6.7	0.07	0.23	× 0.00003	0.000201
	2,3',4,4',5'-PeCB #118	350	0.05	0.19	× 0.00003	0.0105
	2',3,4,4',5'-PeCB #123	4.7	0.07	0.23	× 0.00003	0.000141
	2,3,3',4,4',5'-HxCB #156	49	0.07	0.26	× 0.00003	0.00147
	2,3,3',4,4',5'-HxCB #157	12	0.07	0.25	× 0.00003	0.00036
	2,3',4,4',5,5'-HxCB #167	19	0.07	0.22	× 0.00003	0.00057
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB #189	1.6	0.07	0.23	× 0.00003	0.000048	
Total コブラナーPCB	600				0.52	
Total ダイオキシン類		920				1.3

備考 1. 実測濃度

括弧内の数値は検出下限以上定量下限未満の数値である。

検出下限未満の場合は、"N.D."と表示した。

PCDDおよびPCDFの各合計値は、測定した全ての異性体濃度を反映している。

JIS Z8401によって数値を丸め、有効数字2桁で示した。ただし、表示する桁数は検出下限の桁までとする。

2. 毒性等価係数

WHO-TEF(2006)のTEFを用いた。

3. 毒性等量(TEQ)

毒性等量は、検出下限未満の実測濃度は検出下限の1/2値を用いて算出した。

表 3-7 H26-2 のダイオキシン類分析組成表

試料名: H26-2		試料採取月日 平成28年10月12日				
		実測濃度(Cs) pg/L	検出下限 pg/L	定量下限 pg/L	毒性等価係数 WHO/IPCS(2006)	毒性等量 TEQ (pg-TEQ/L)
ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン	1,3,6,8-TeCDD	340	0.03	0.13	× 0	0
	1,3,7,9-TeCDD	130	0.03	0.13	× 0	0
	1,2,3,8-TeCDD	4.9	0.03	0.13	× 0	0
	2,3,7,8-TeCDD	(0.08)	0.03	0.13	× 1	0.08
	TeCDDs	480				0.08
	1,2,3,6,8-PeCDD	40	0.05	0.17	× 0	0
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.44	0.05	0.17	× 1	0.44
	PeCDDs	69				0.44
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.4	0.1	0.3	× 0.1	0.04
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	1.2	0.1	0.3	× 0.1	0.12
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	1.2	0.1	0.3	× 0.1	0.12
	HxCDDs	15				0.28
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	17	0.1	0.3	× 0.01	0.17
	HpCDDs	38				0.17
	OCDD	230	0.1	0.4	× 0.0003	0.069
Total PCDDs	840				1.039	
ポリ塩化ジベンゾフラン	2,4,6,8-TeCDF	16	0.03	0.10	× 0	0
	1,2,7,8-TeCDF	0.26	0.03	0.10	× 0	0
	2,3,7,8-TeCDF	0.18	0.03	0.10	× 0.1	0.018
	TeCDFs	22				0.018
	1,2,4,6,8-PeCDF	1.8	0.05	0.18	× 0	0
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.18	0.03	0.12	× 0.03	0.0054
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.32	0.05	0.18	× 0.3	0.096
	PeCDFs	8.2				0.1014
	1,2,4,6,8,9-HxCDF	2.6	0.07	0.23	× 0	0
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.85	0.03	0.10	× 0.1	0.085
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.52	0.07	0.20	× 0.1	0.052
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	N.D.	0.07	0.22	× 0.1	0.0035
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.60	0.08	0.28	× 0.1	0.06
	HxCDFs	9.6				0.2005
	1,2,3,4,6,8,9-HpCDF	11	0.09	0.30	× 0	0
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	3.8	0.08	0.27	× 0.01	0.038
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.9	0.1	0.3	× 0.01	0.009
HpCDFs	16				0.047	
OCDF	12	0.1	0.4	× 0.0003	0.0036	
Total PCDFs	67				0.3705	
Total (PCDDs+PCDFs)		900				1.4
コプラナーポリ塩化ビフェニル	3,3',4,4'-TeCB #77	4.6	0.1	0.3	× 0.0001	0.00046
	3,4,4',5'-TeCB #81	(0.2)	0.1	0.3	× 0.0003	0.00006
	3,3',4,4',5'-PeCB #126	0.4	0.1	0.3	× 0.1	0.04
	3,3',4,4',5,5'-HxCB #169	(0.1)	0.1	0.3	× 0.03	0.003
	2,3,3',4,4'-PeCB #105	9.9	0.03	0.12	× 0.00003	0.000297
	2,3,4,4',5'-PeCB #114	0.4	0.1	0.3	× 0.00003	0.000012
	2,3',4,4',5'-PeCB #118	23	0.07	0.25	× 0.00003	0.00069
	2',3,4,4',5'-PeCB #123	0.5	0.1	0.3	× 0.00003	0.000015
	2,3,3',4,4',5'-HxCB #156	3.5	0.1	0.4	× 0.00003	0.000105
	2,3,3',4,4',5'-HxCB #157	0.8	0.1	0.3	× 0.00003	0.000024
	2,3',4,4',5,5'-HxCB #167	1.5	0.1	0.3	× 0.00003	0.000045
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB #189	(0.2)	0.1	0.3	× 0.00003	0.000006
	Total コプラナーPCB	45				0.045
Total ダイオキシン類		950				1.5

備考 1. 実測濃度

括弧内の数値は検出下限以上定量下限未満の数値である。

検出下限未満の場合は、"N.D."と表示した。

PCDDおよびPCDFの各合計値は、測定した全ての異性体濃度を反映している。

JIS Z8401によって数値を丸め、有効数字2桁で示した。ただし、表示する桁数は検出下限の桁までとする。

2. 毒性等価係数

WHO-TEF(2006)のTEFを用いた。

3. 毒性等量(TEQ)

毒性等量は、検出下限未満の実測濃度は検出下限の1/2値を用いて算出した。

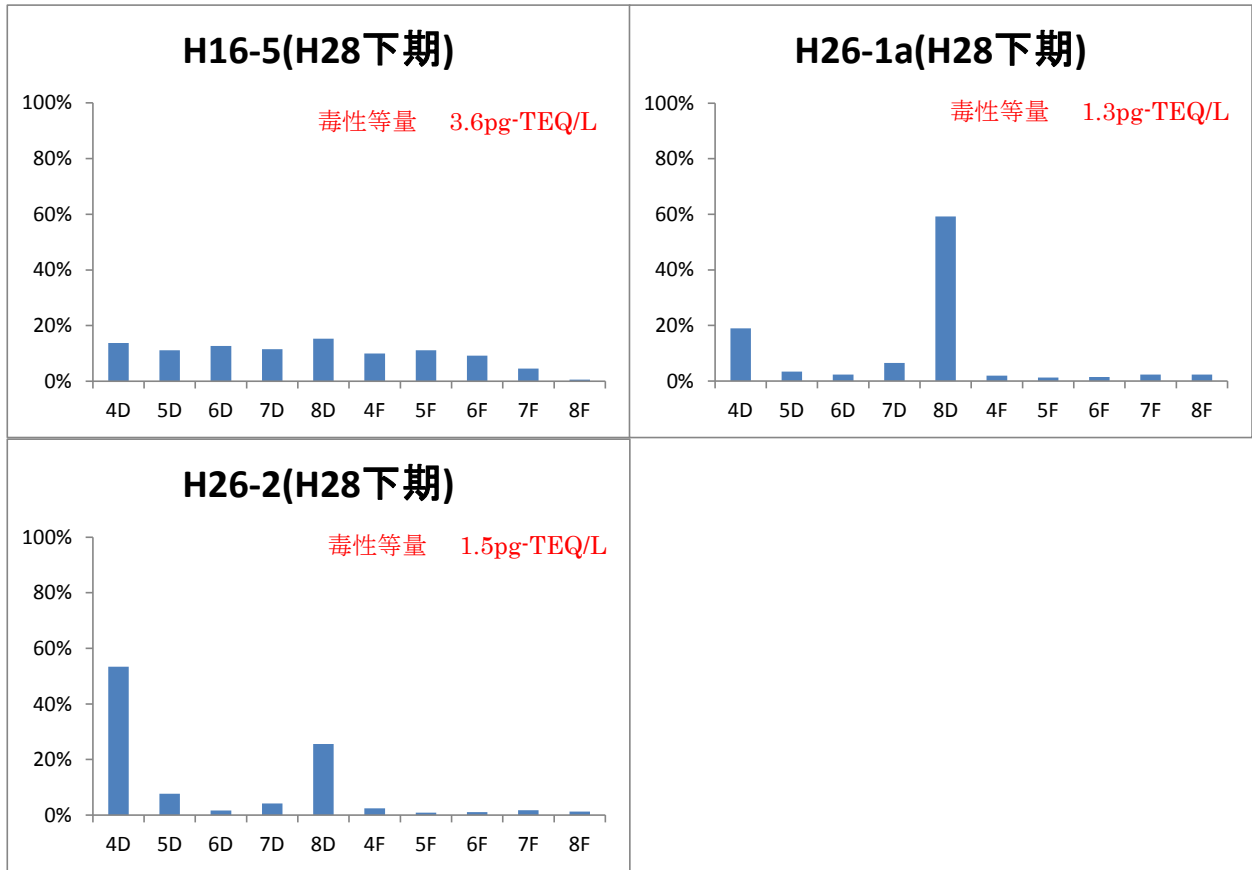


図 3-1 基準を超過した 3 地点の同族体の組成割合 (PCDDs/PCDFs)

焼却施設排出ガス

注) PCDDs,PCDFsの全濃度を1として組成比を算出したものと、
 Co-PCBsの全濃度を1としたものを示す

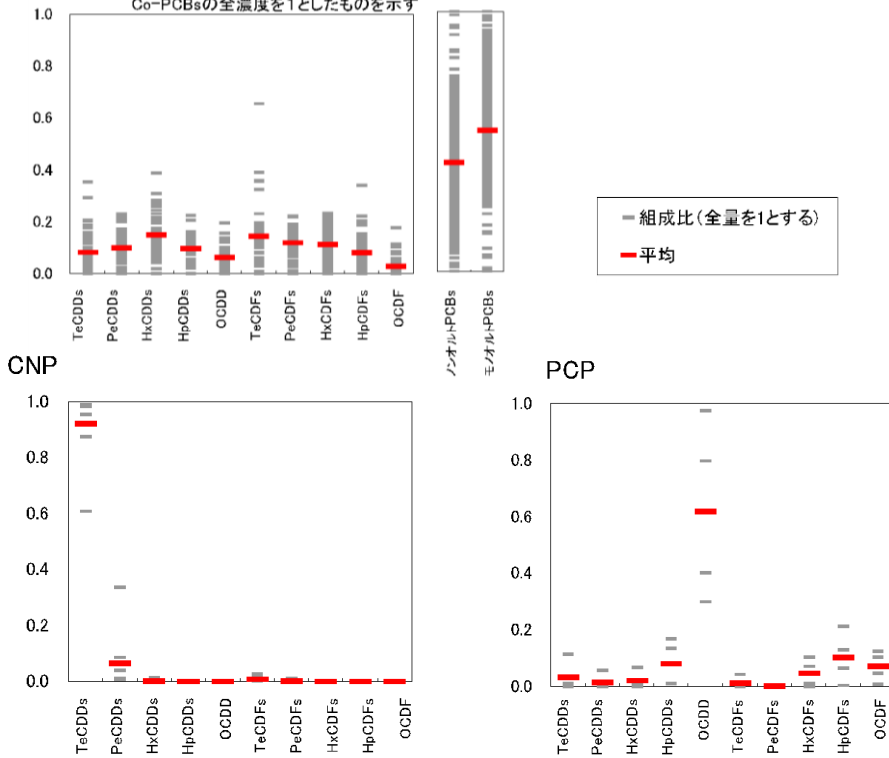
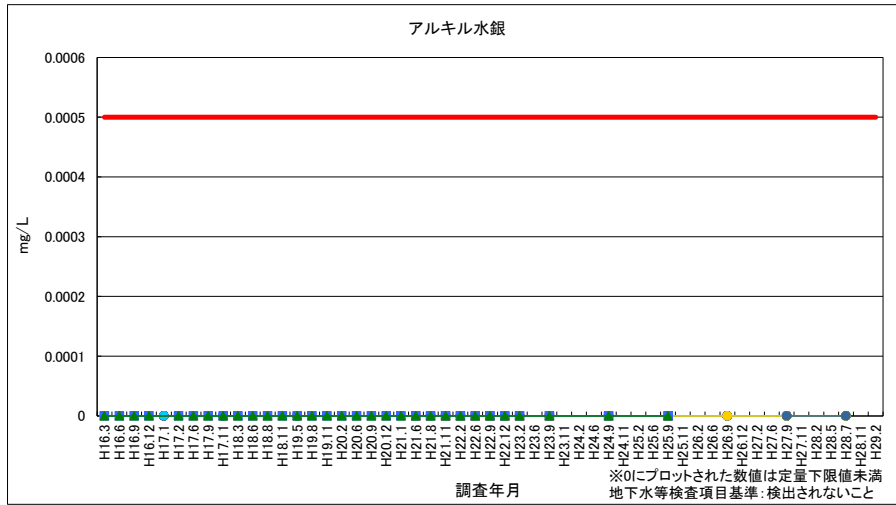


図 3-2 焼却由来, 農薬由来 (CNP, PCP), ダイオキシン類同族体組成割合

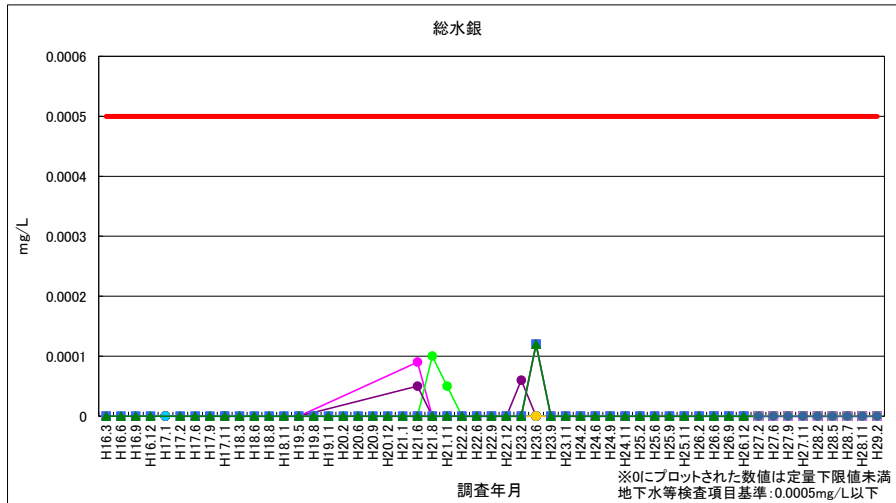
(出典:「ダイオキシン類挙動モデルハンドブック」H16.3 環境省)

3.2 浸透水及び地下水水質測定結果図



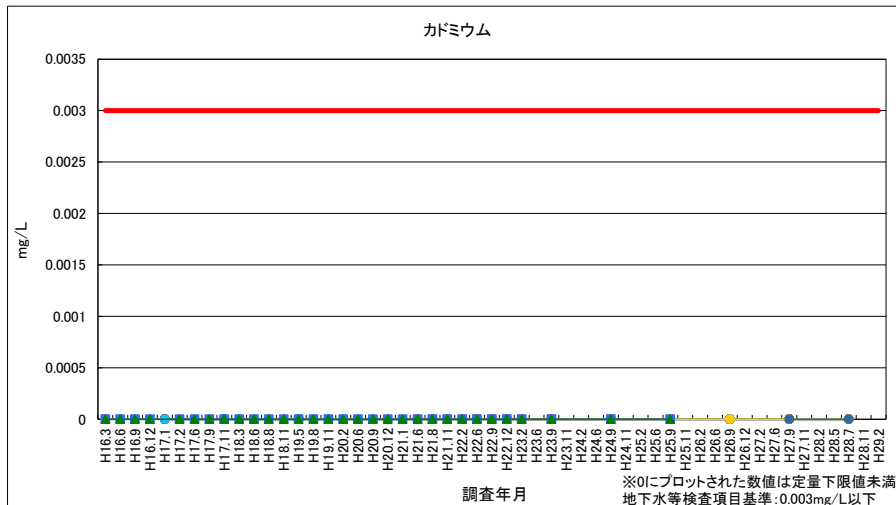
※Loc.1b の H18.8 以前と、Loc.3 の H19.8 以前は事業者設置井戸によるもの

図 3-3 アルキル水銀（浸透水・地下水）



※Loc.1b の H18.8 以前と、Loc.3 の H19.8 以前は事業者設置井戸によるもの

図 3-4 総水銀（浸透水・地下水）



※Loc.1b の H18.8 以前と、Loc.3 の H19.8 以前は事業者設置井戸によるもの

図 3-5 カドミウム（浸透水・地下水）

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準

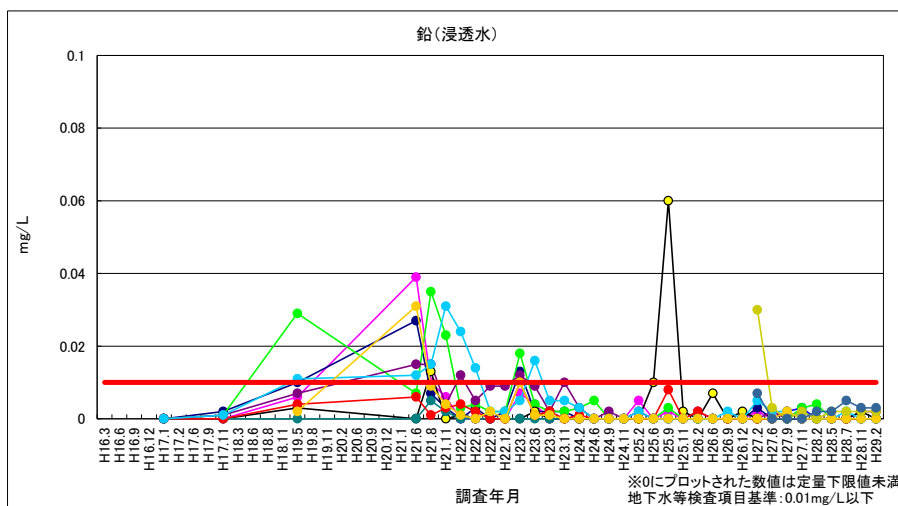


図 3-6 鉛 (浸透水)

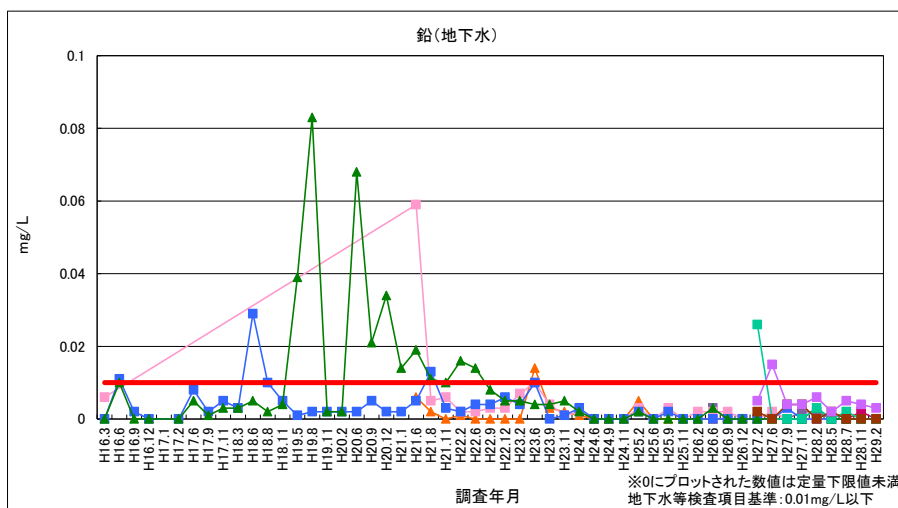


図 3-7 鉛 (地下水)

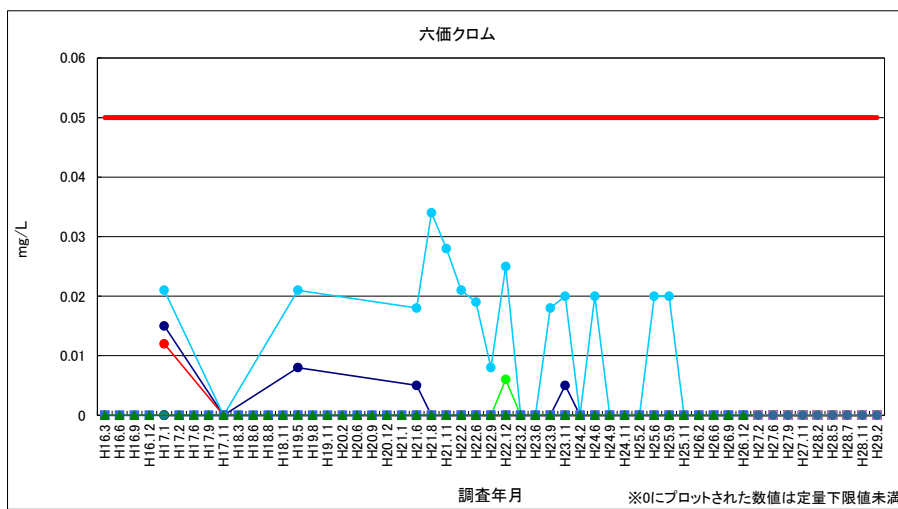


図 3-8 六価クロム (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準

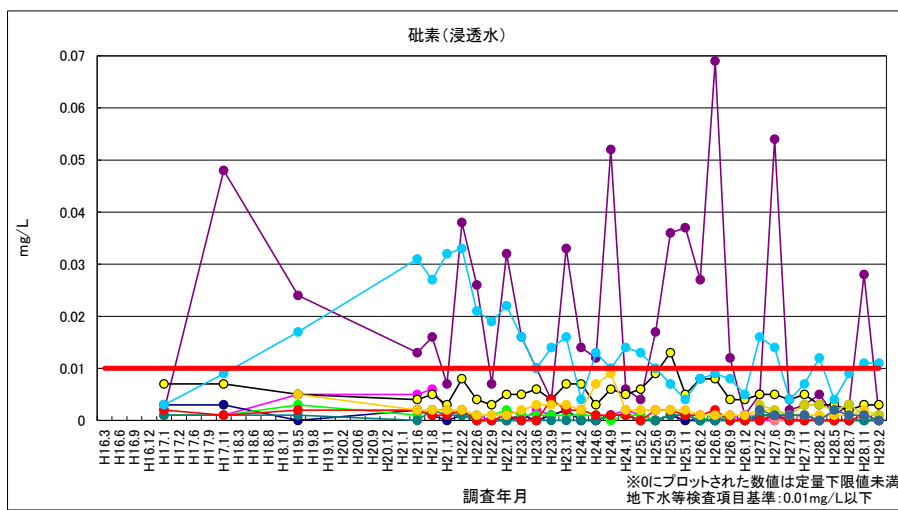


図 3-9 砒素 (浸透水)

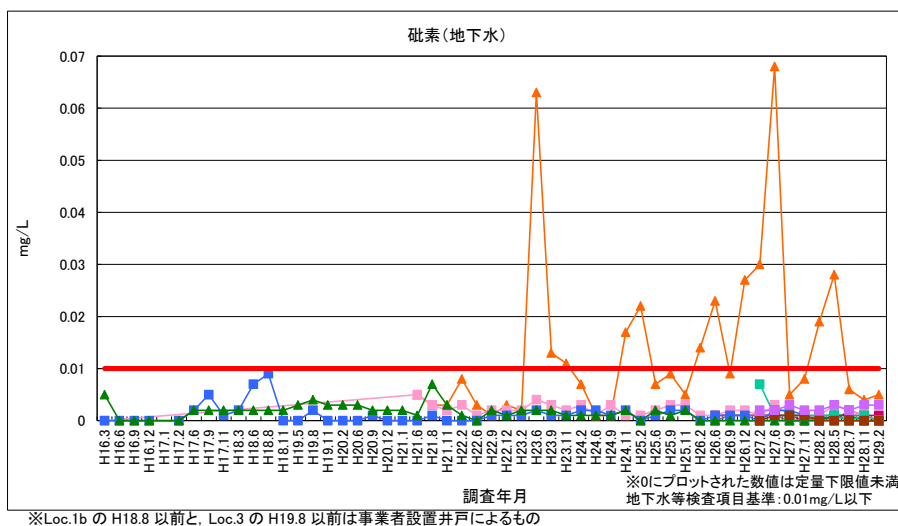


図 3-10 砒素 (地下水)

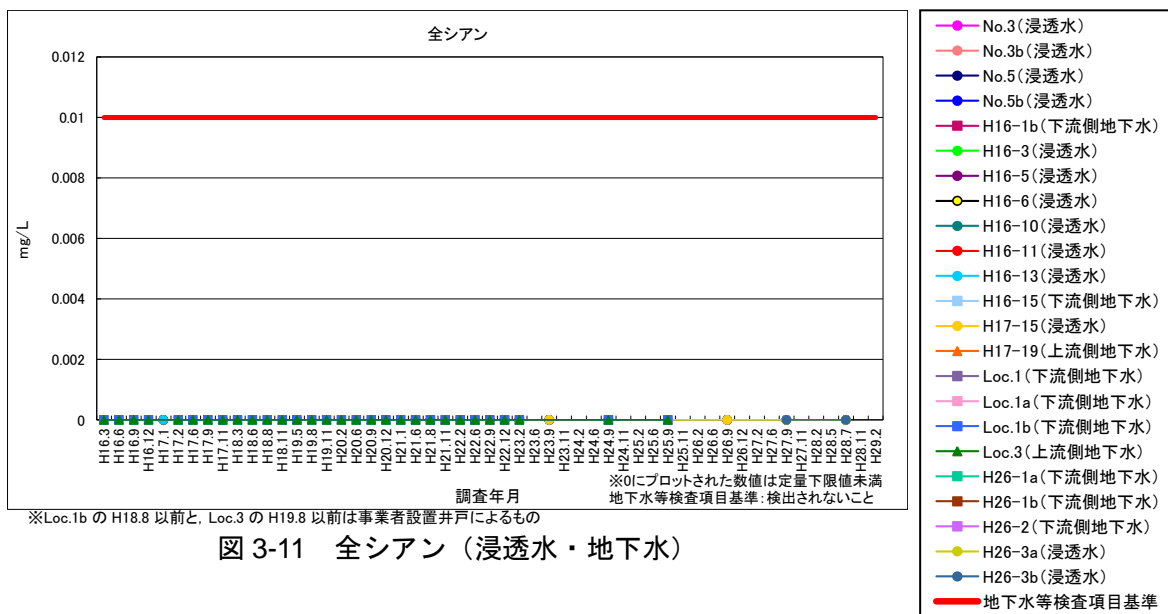


図 3-11 全シアン (浸透水・地下水)

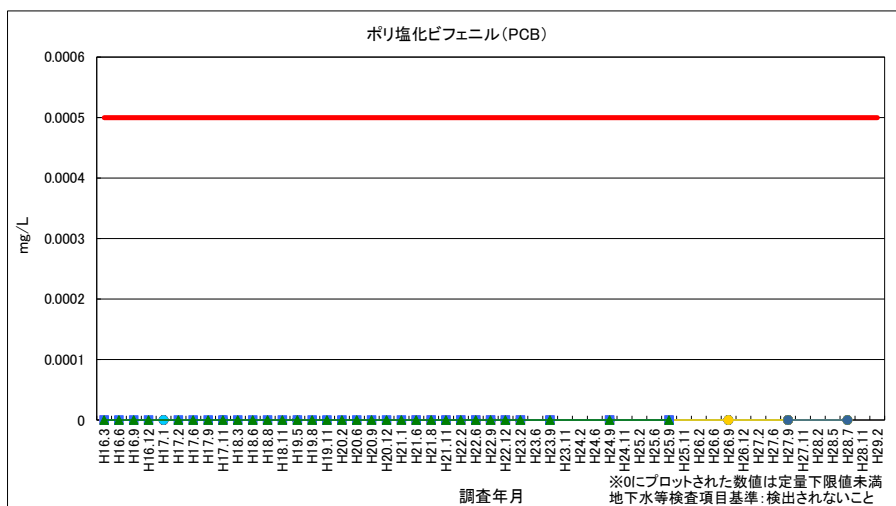


図 3-12 ポリ塩化ビフェニル (PCB) (浸透水・地下水)

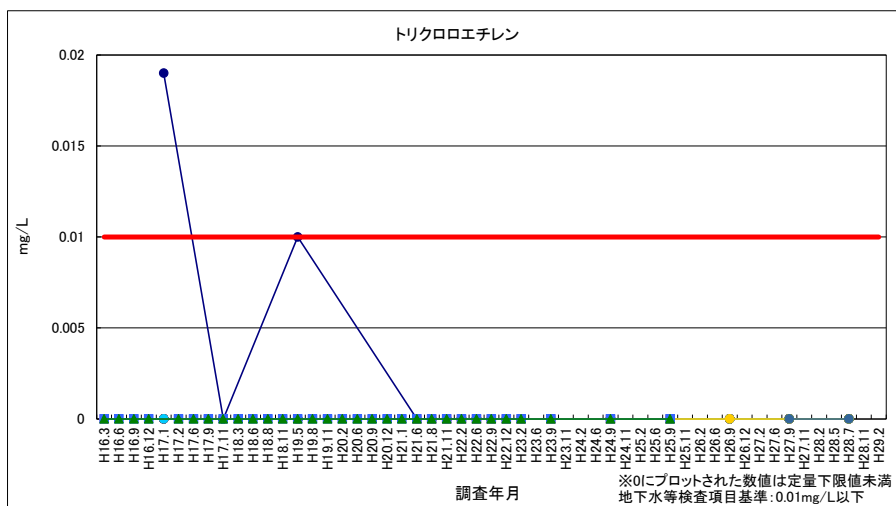


図 3-13 トリクロロエチレン (浸透水・地下水)

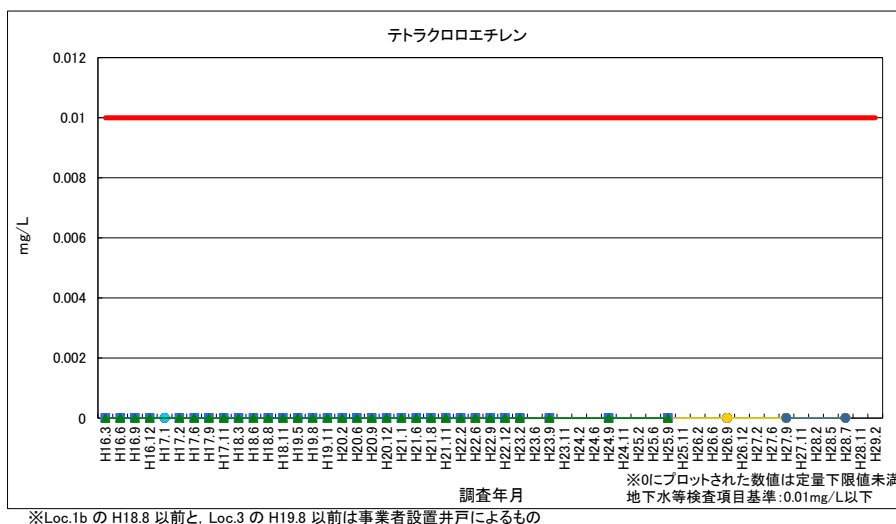


図 3-14 テトラクロロエチレン (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準

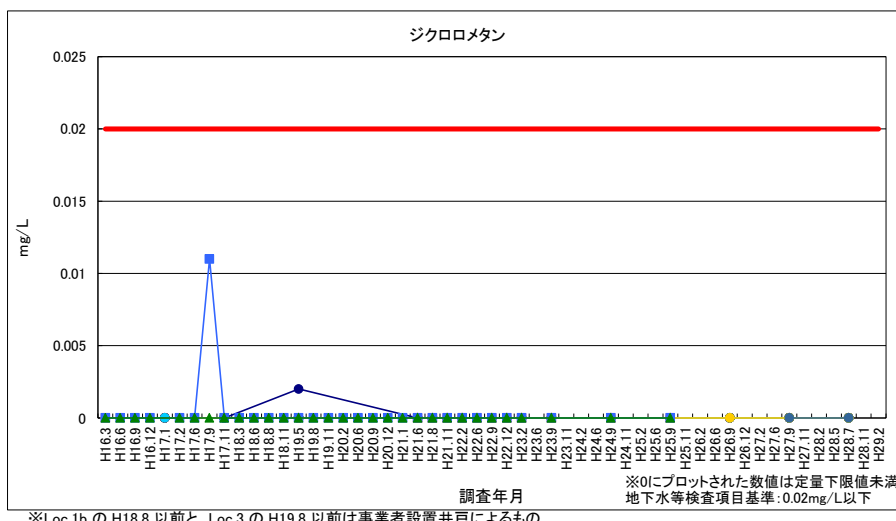


図 3-15 ジクロロメタン（浸透水・地下水）

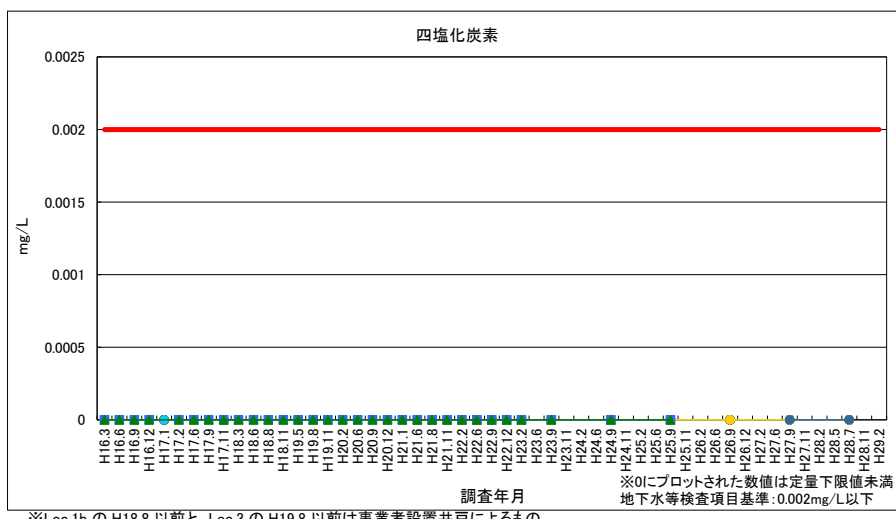


図 3-16 四塩化炭素（浸透水・地下水）

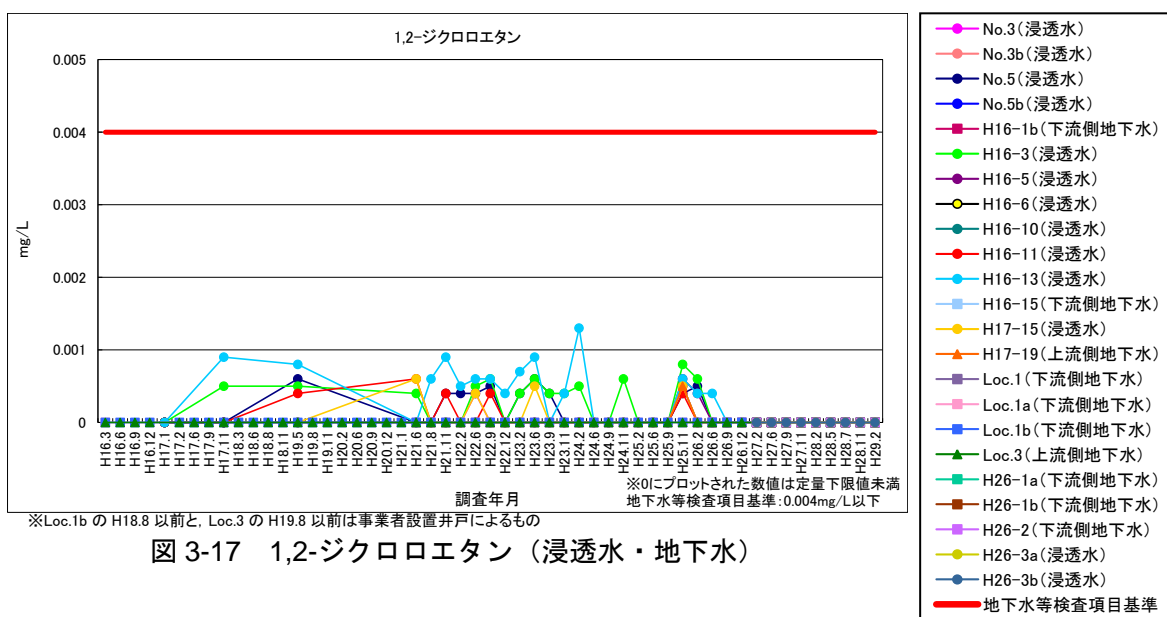


図 3-17 1,2-ジクロロエタン（浸透水・地下水）

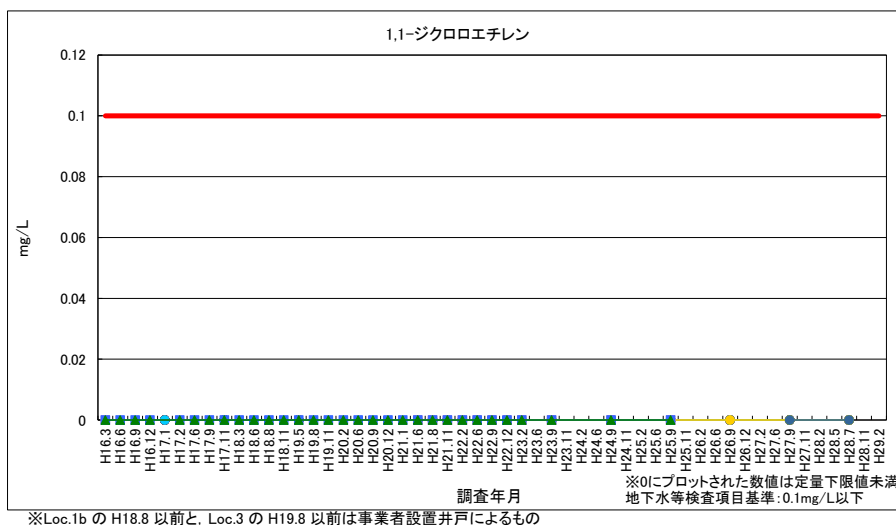


図 3-18 1,1-ジクロロエチレン (浸透水・地下水)

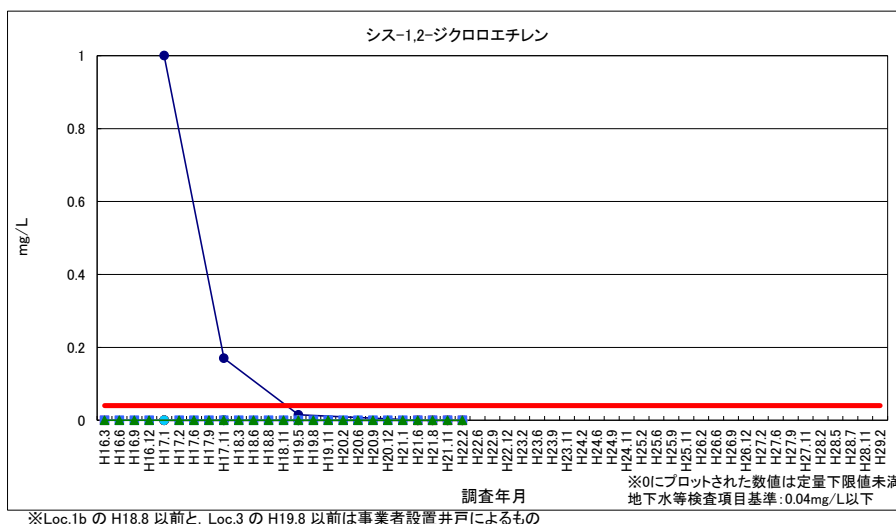


図 3-19 シス-1,2-ジクロロエチレン (浸透水・地下水)

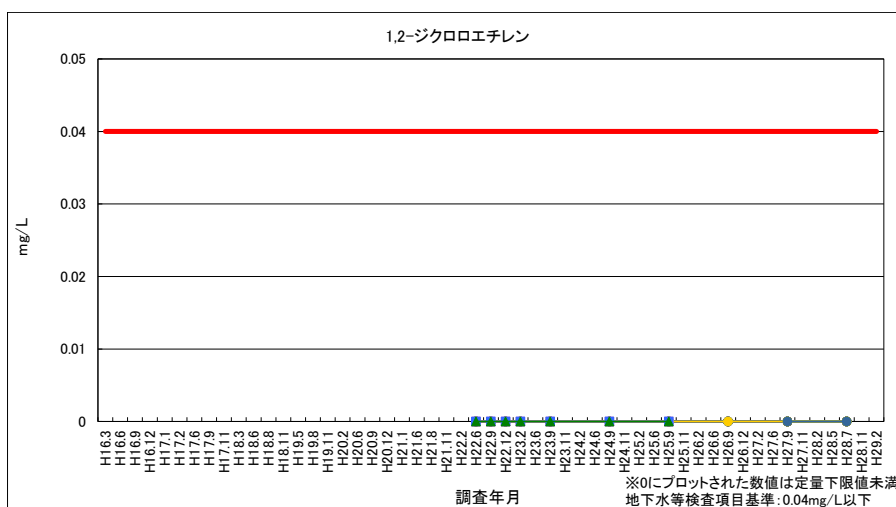


図 3-20 1,2-ジクロロエチレン (浸透水・地下水)

- ◆ No.3(浸透水)
- ◆ No.3b(浸透水)
- ◆ No.5(浸透水)
- ◆ No.5b(浸透水)
- ◆ H16-1b(下流側地下水)
- ◆ H16-3(浸透水)
- ◆ H16-5(浸透水)
- ◆ H16-6(浸透水)
- ◆ H16-10(浸透水)
- ◆ H16-11(浸透水)
- ◆ H16-13(浸透水)
- ◆ H16-15(下流側地下水)
- ◆ H17-15(浸透水)
- ◆ H17-19(上流側地下水)
- ◆ Loc.1(下流側地下水)
- ◆ Loc.1a(下流側地下水)
- ◆ Loc.1b(下流側地下水)
- ◆ Loc.3(上流側地下水)
- ◆ H26-1a(下流側地下水)
- ◆ H26-1b(下流側地下水)
- ◆ H26-2(下流側地下水)
- ◆ H26-3a(浸透水)
- ◆ H26-3b(浸透水)
- ◆ 地下水等検査項目基準

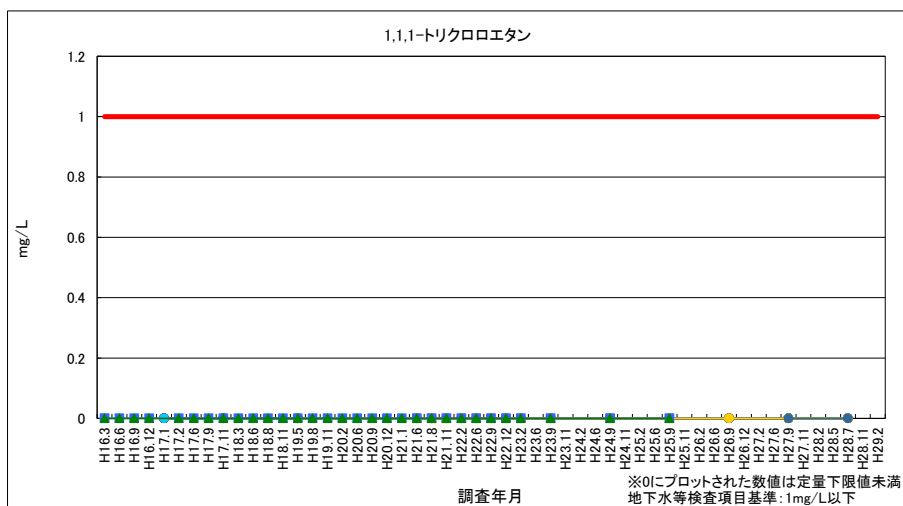


図 3-21 1,1,1-トリクロロエタン (浸透水・地下水)

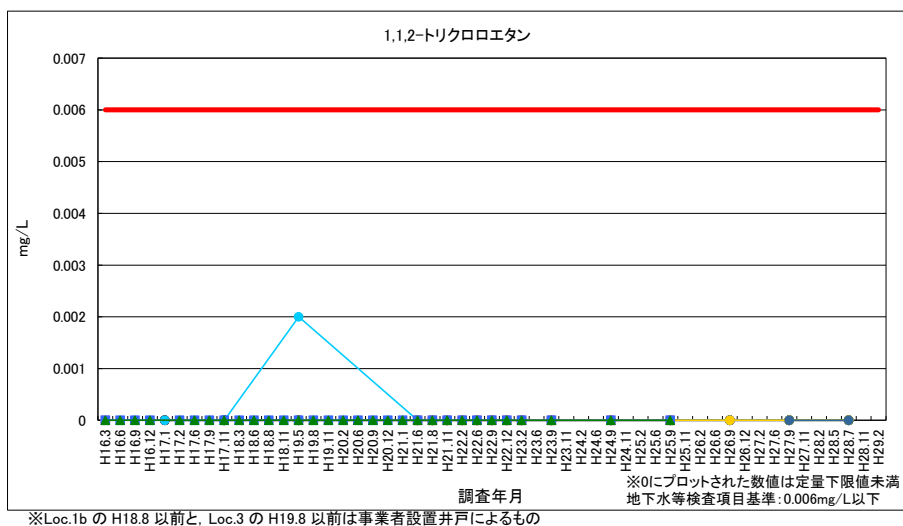


図 3-22 1,1,2-トリクロロエタン (浸透水・地下水)

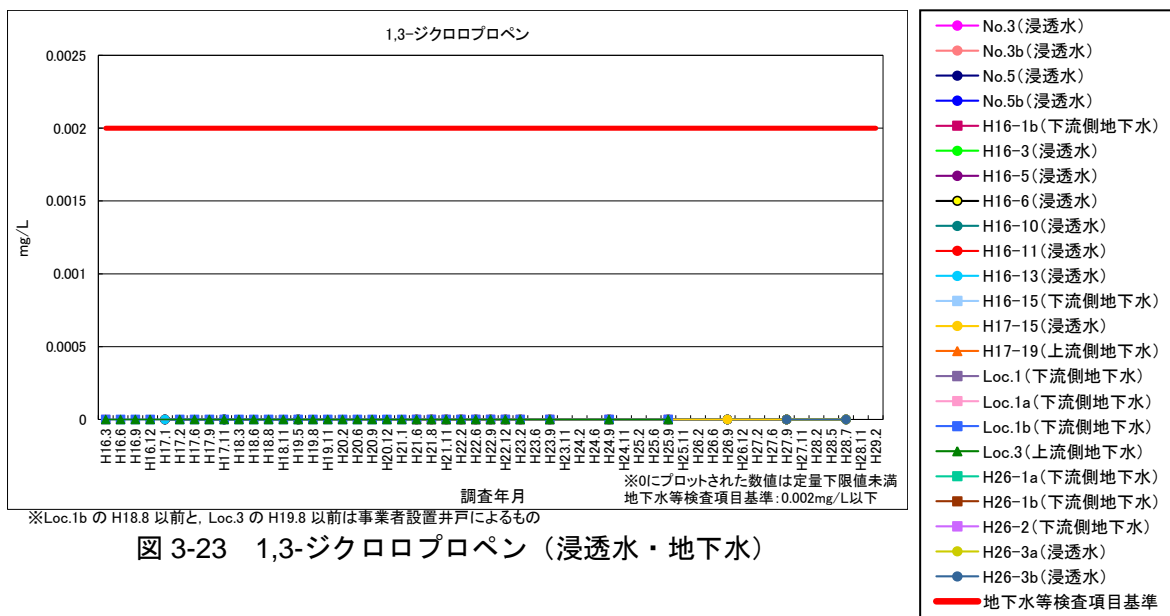


図 3-23 1,3-ジクロロプロペン (浸透水・地下水)

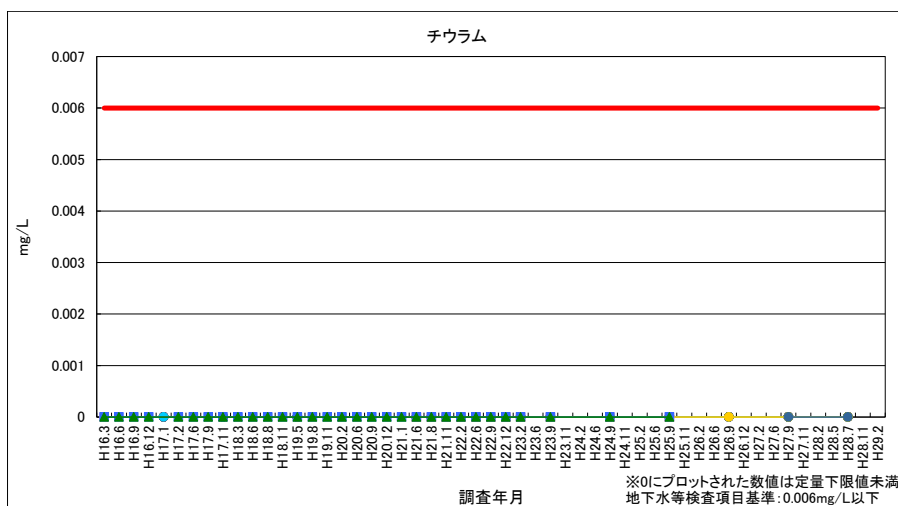


図 3-24 チウラム（浸透水・地下水）

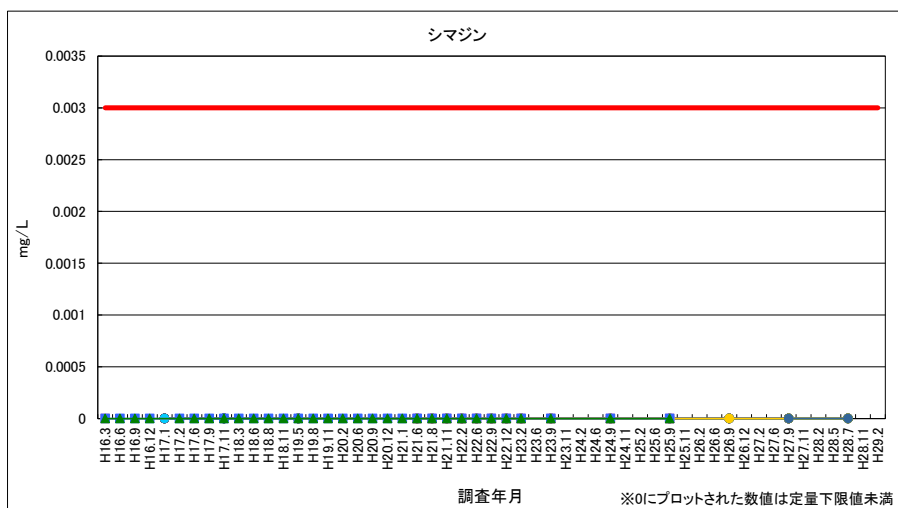


図 3-25 シマジン（浸透水・地下水）

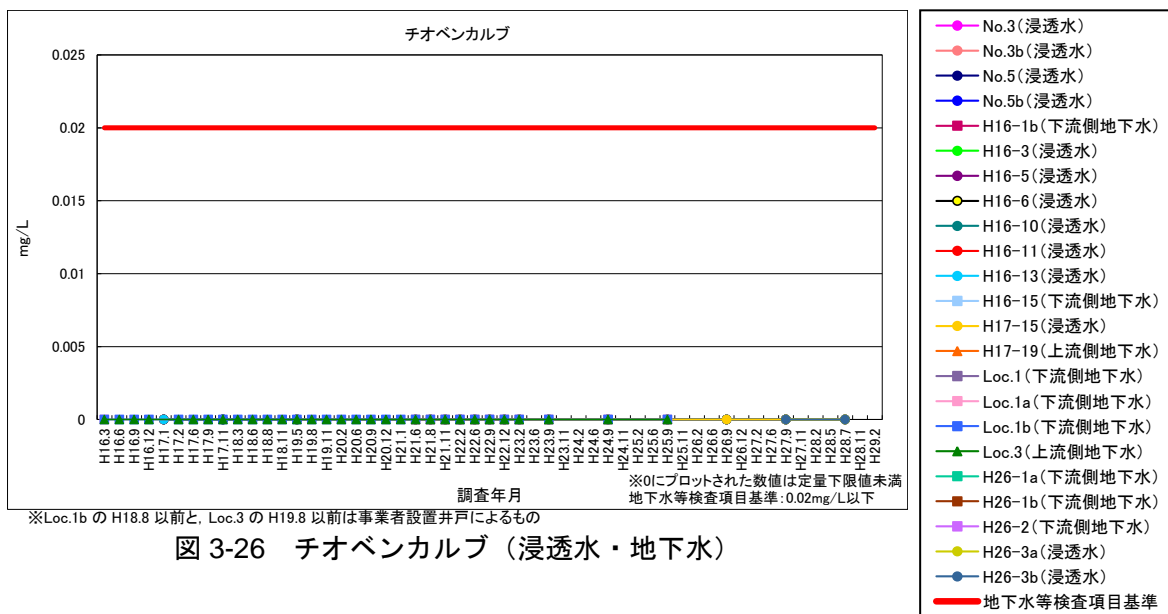


図 3-26 チオベンカルブ（浸透水・地下水）

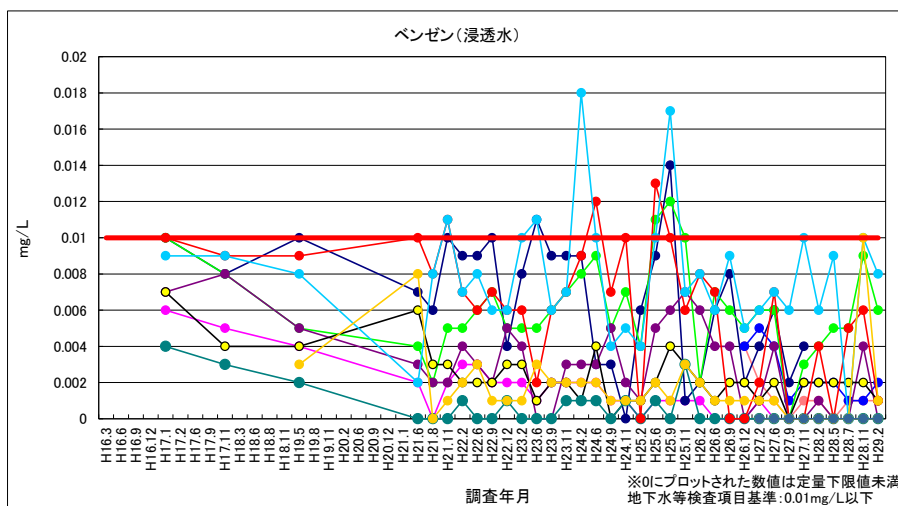


図 3-27 ベンゼン (浸透水)

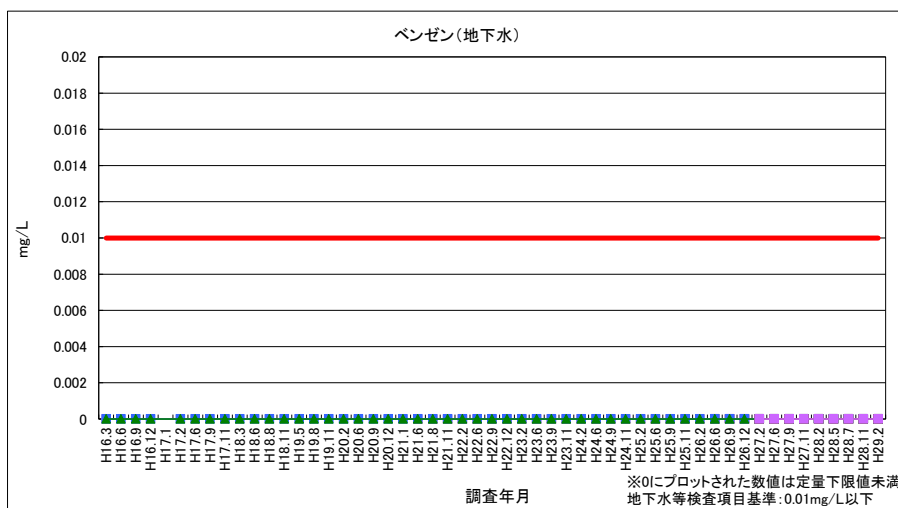


図 3-28 ベンゼン (地下水)

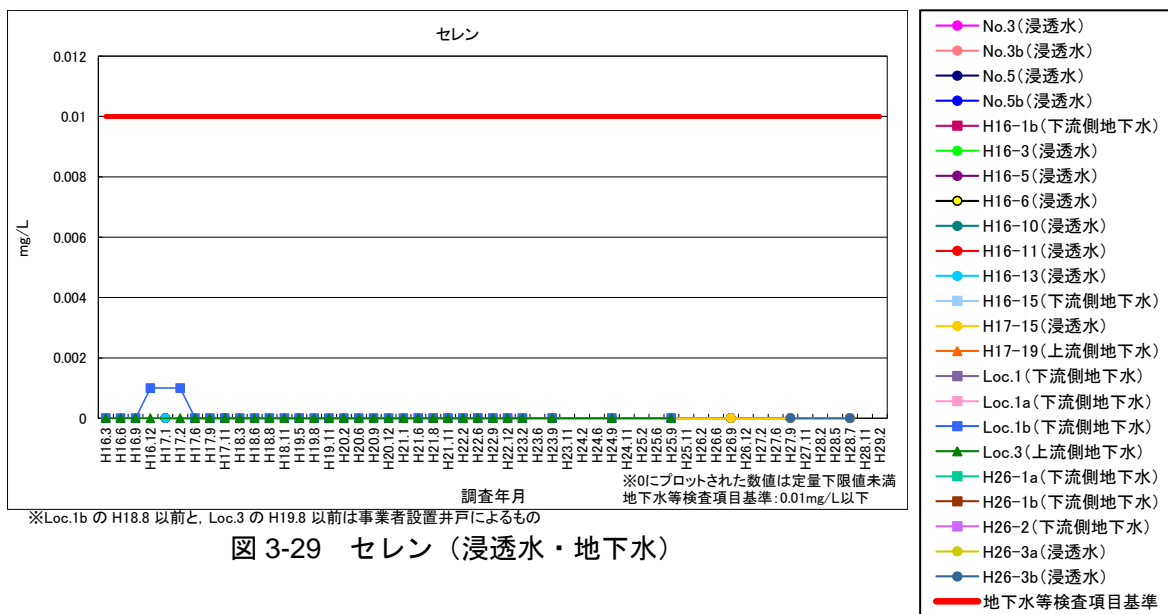


図 3-29 セレン (浸透水・地下水)

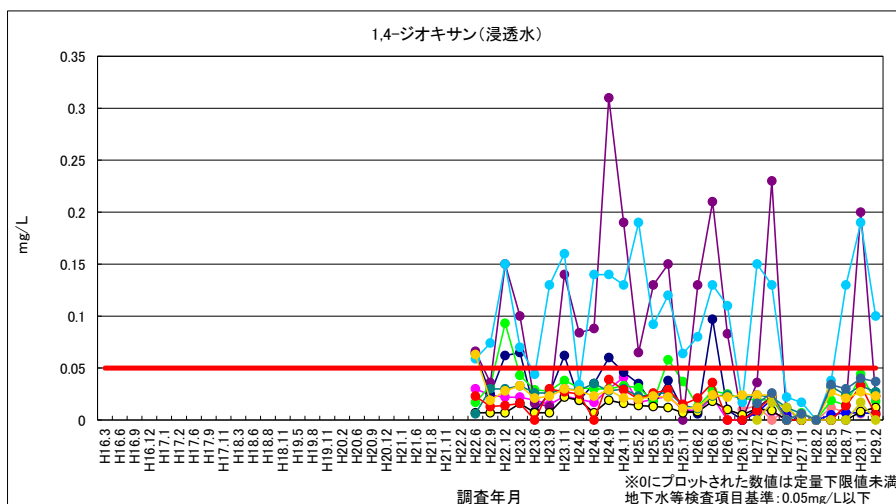


図 3-30 1,4-ジオキサン (浸透水)

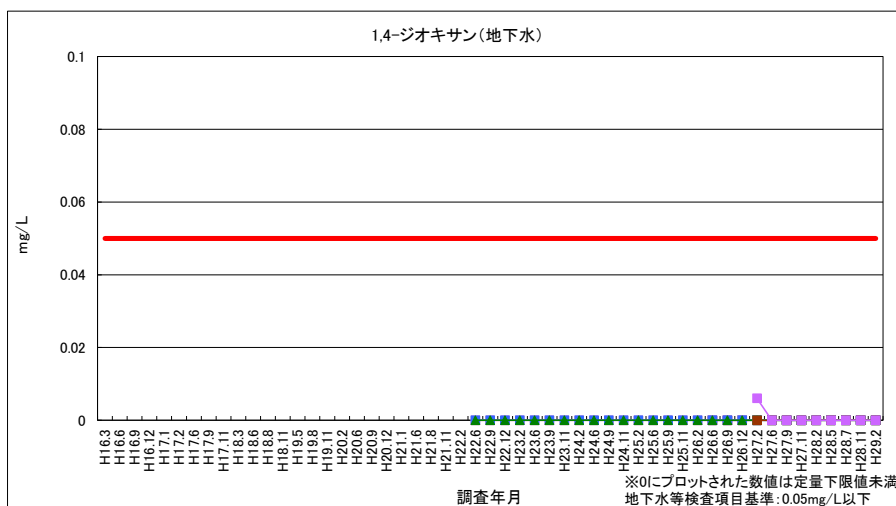


図 3-31 1,4-ジオキサン (地下水)

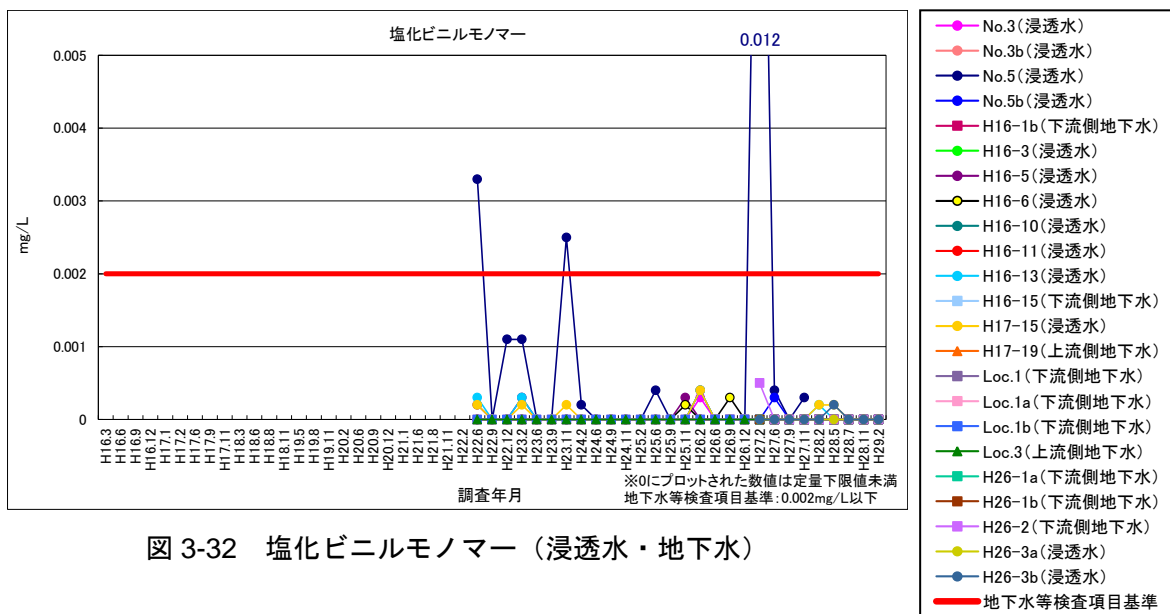


図 3-32 塩化ビニルモノマー (浸透水・地下水)

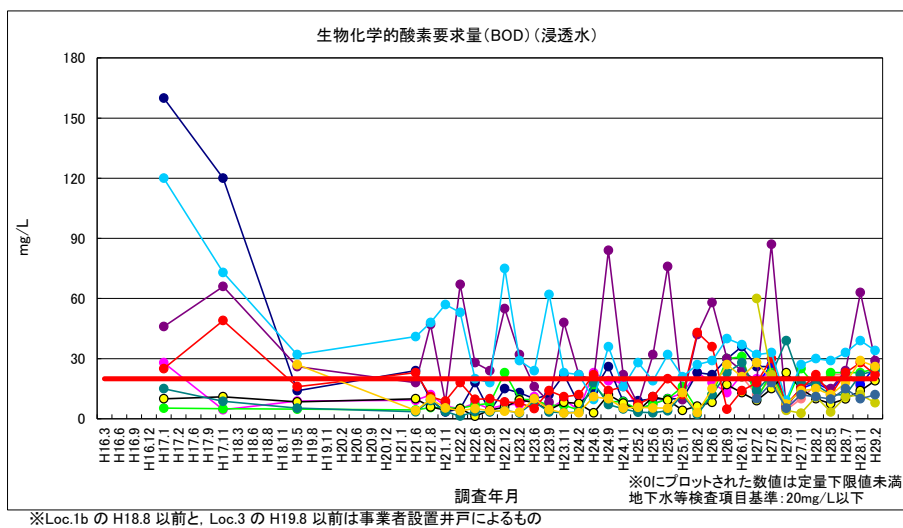


図 3-33 生物化学的酸素要求量 (BOD) (浸透水)

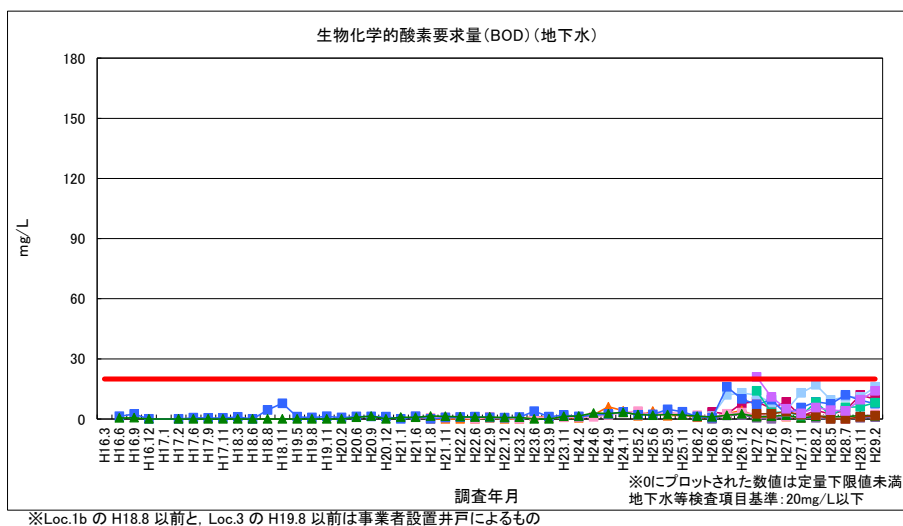


図 3-34 生物化学的酸素要求量 (BOD) (地下水)

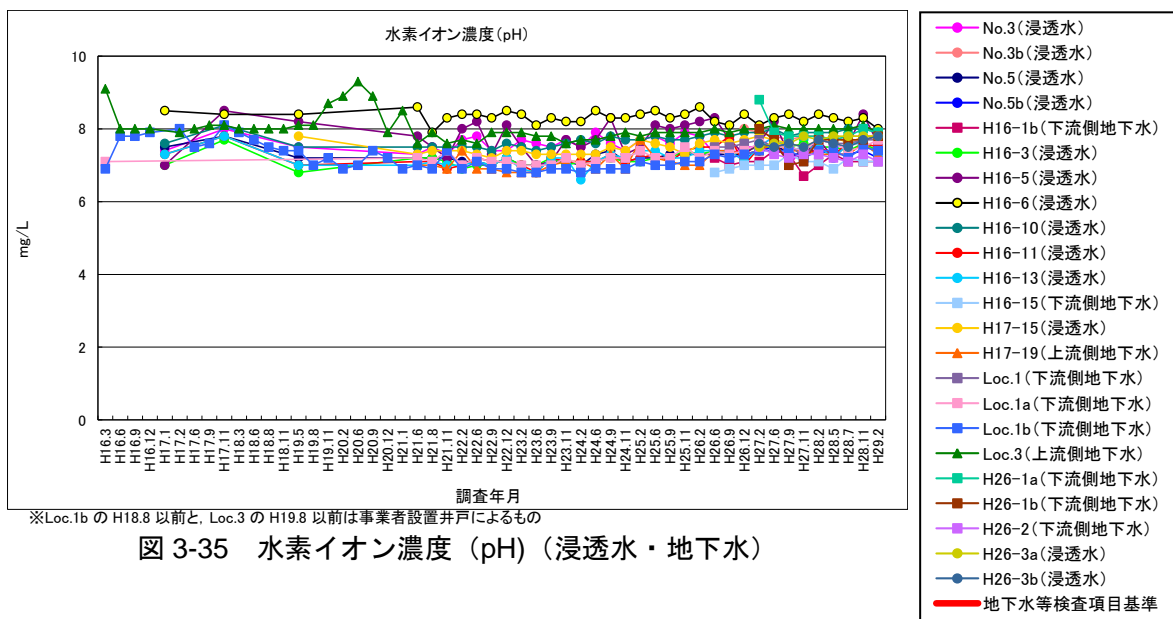


図 3-35 水素イオン濃度 (pH) (浸透水・地下水)

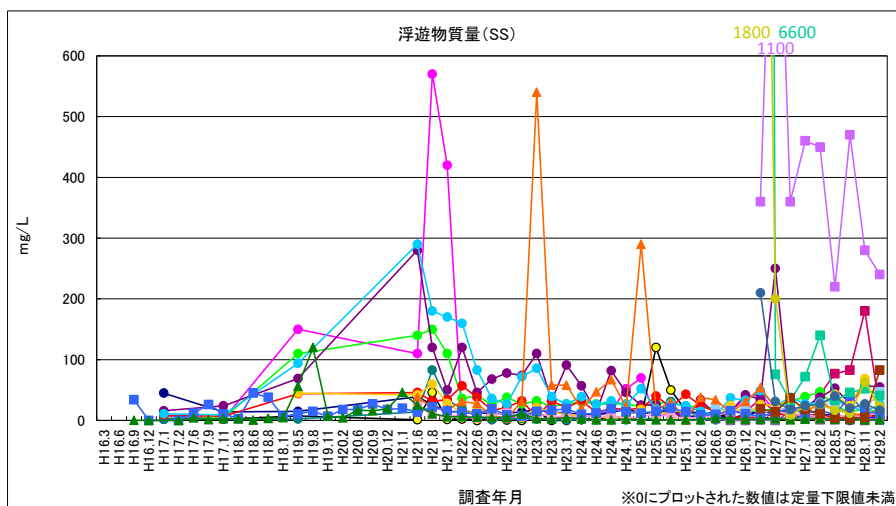


図 3-36 浮遊物質 (SS) (浸透水・地下水)

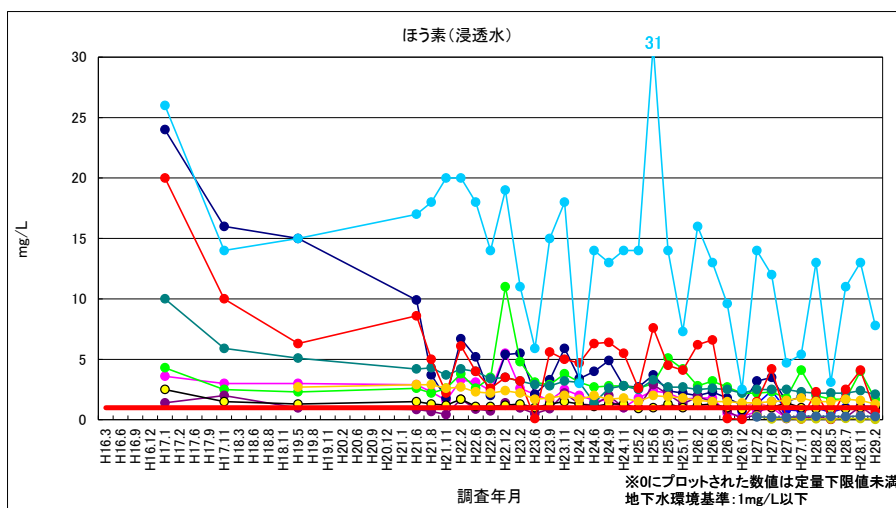


図 3-37 ほう素 (浸透水)

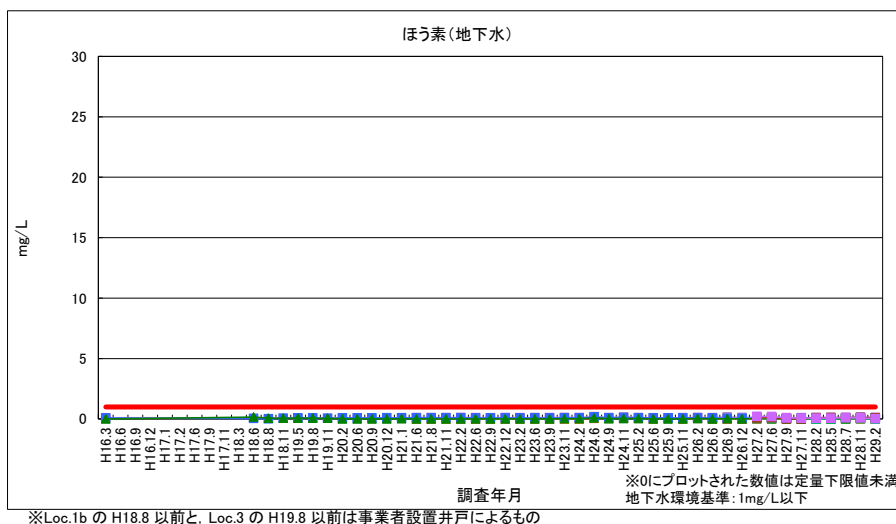


図 3-38 ほう素 (地下水)

- No.3 (浸透水)
- No.3b (浸透水)
- No.5 (浸透水)
- No.5b (浸透水)
- H16-1b (下流側地下水)
- H16-3 (浸透水)
- H16-5 (浸透水)
- H16-6 (浸透水)
- H16-10 (浸透水)
- H16-11 (浸透水)
- H16-13 (浸透水)
- H16-15 (下流側地下水)
- H17-15 (浸透水)
- ▲ H17-19 (上流側地下水)
- Loc.1 (下流側地下水)
- Loc.1a (下流側地下水)
- Loc.1b (下流側地下水)
- ▲ Loc.3 (上流側地下水)
- H26-1a (下流側地下水)
- H26-1b (下流側地下水)
- H26-2 (下流側地下水)
- H26-3a (浸透水)
- H26-3b (浸透水)
- 地下水環境基準

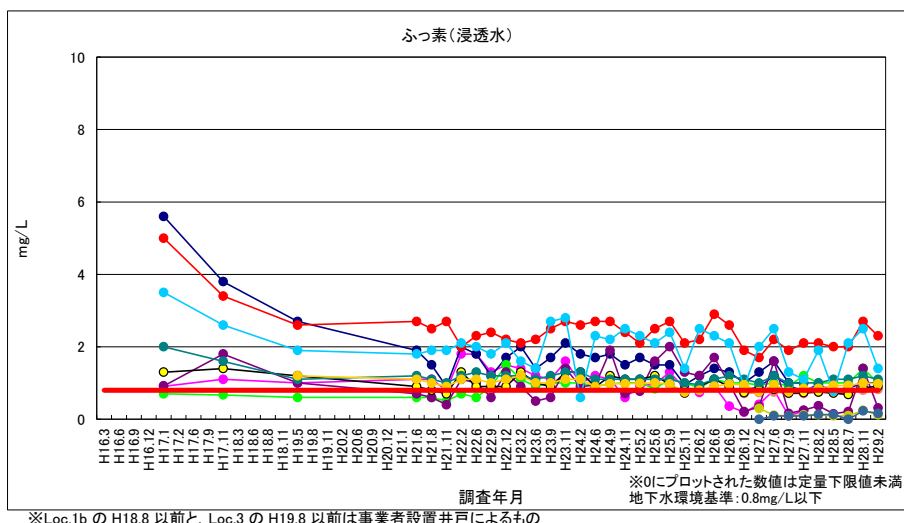


図 3-39 ふっ素 (浸透水)

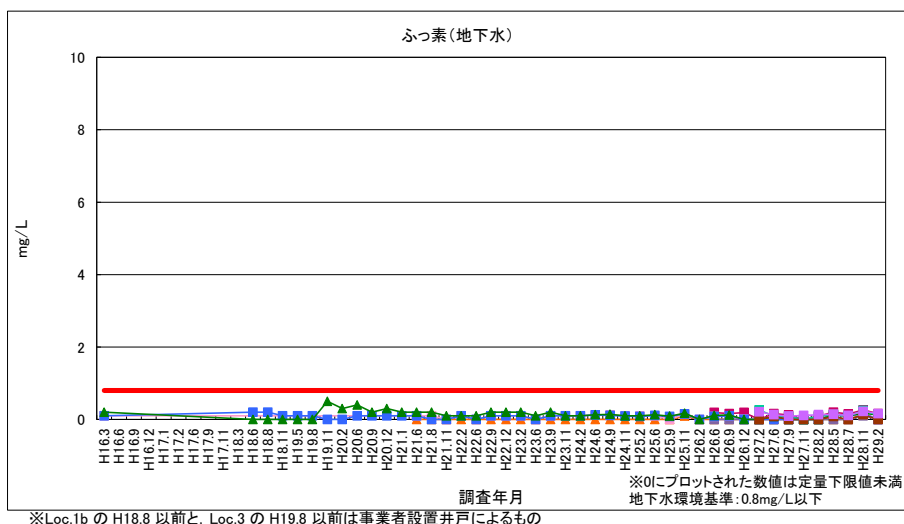


図 3-40 ふっ素 (地下水)

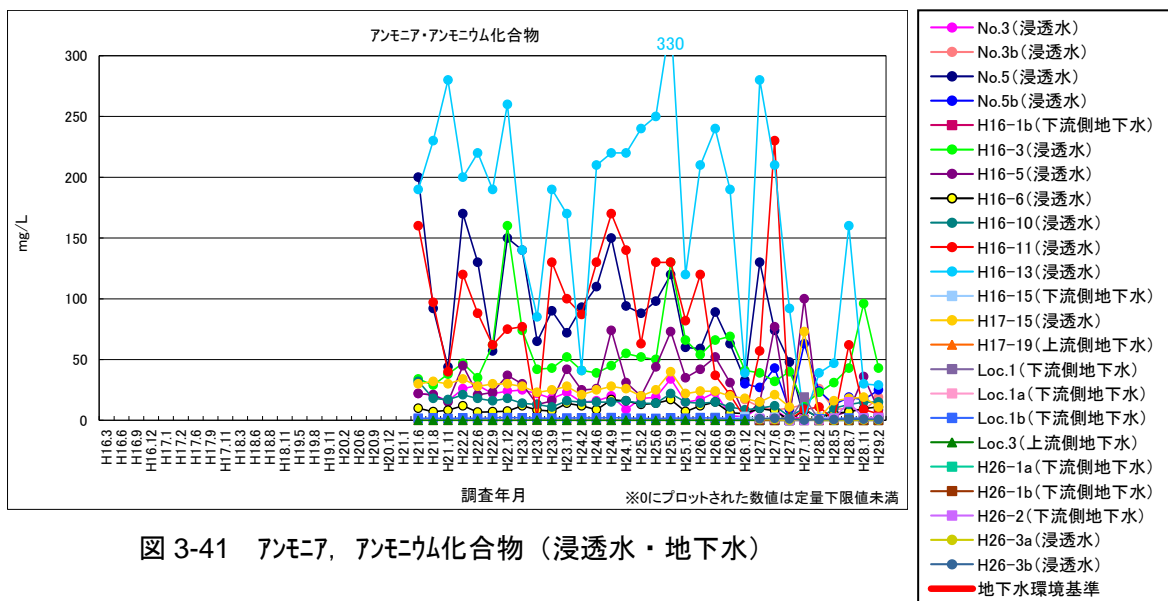


図 3-41 アンモニア, アンモニウム化合物 (浸透水・地下水)

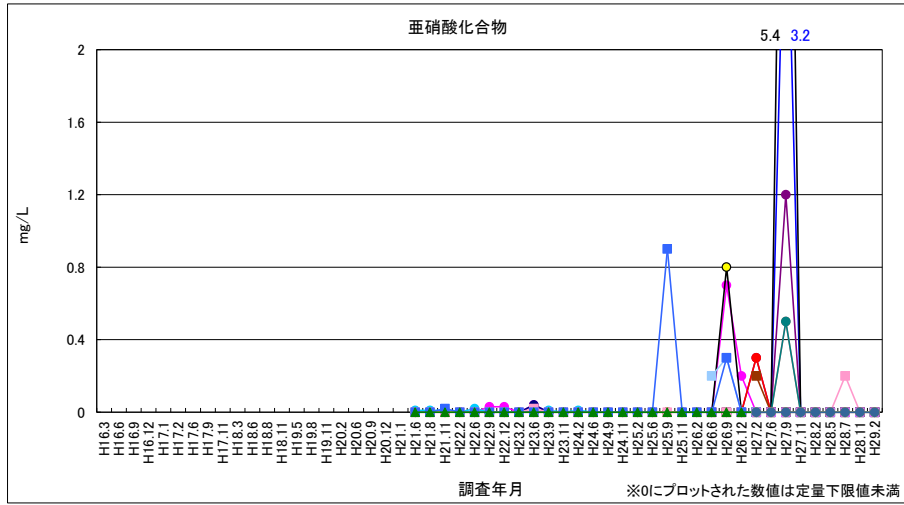


図 3-42 亜硝酸化合物（浸透水・地下水）

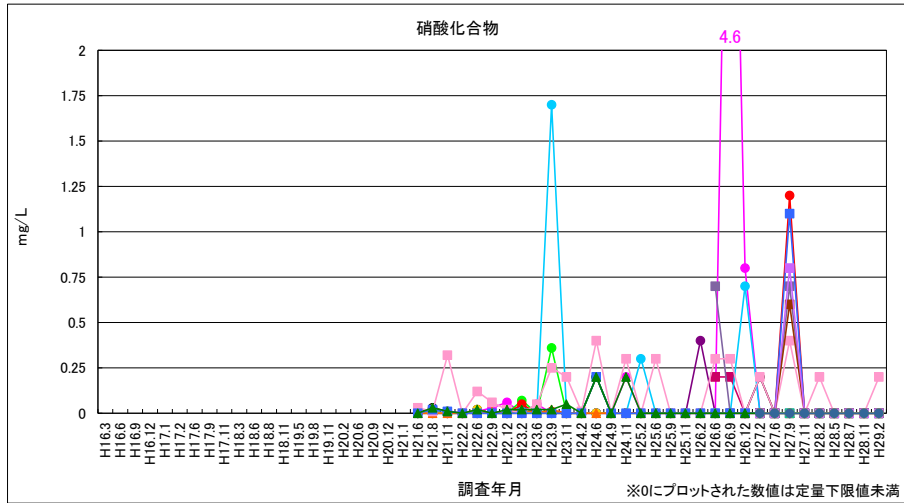


図 3-43 硝酸化合物（浸透水・地下水）

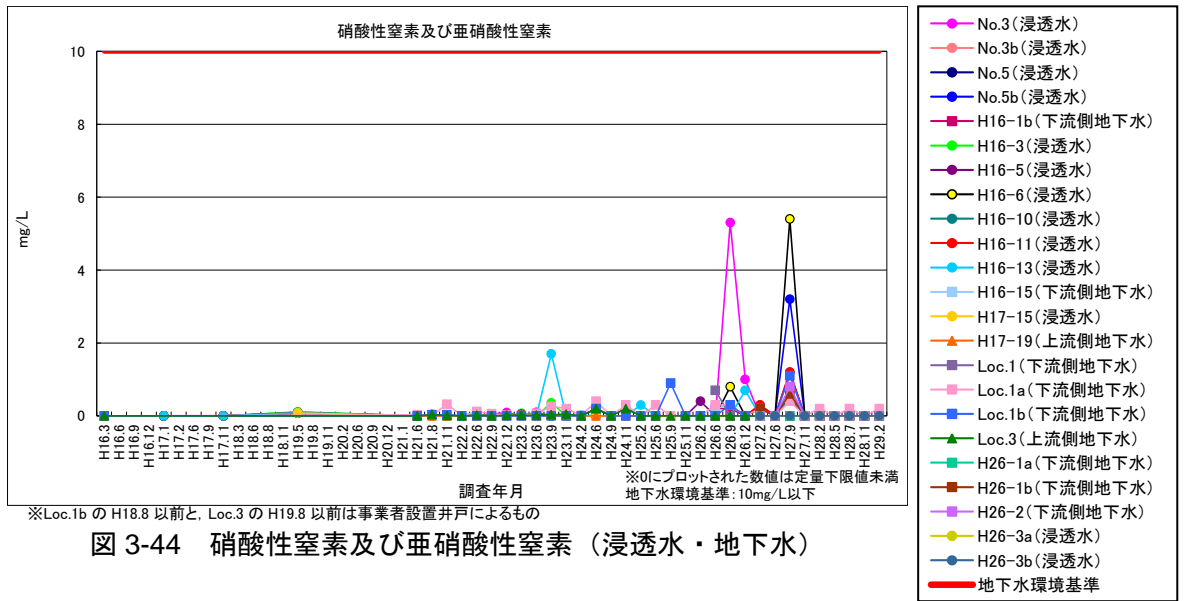


図 3-44 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（浸透水・地下水）

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- ▲ H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水環境基準

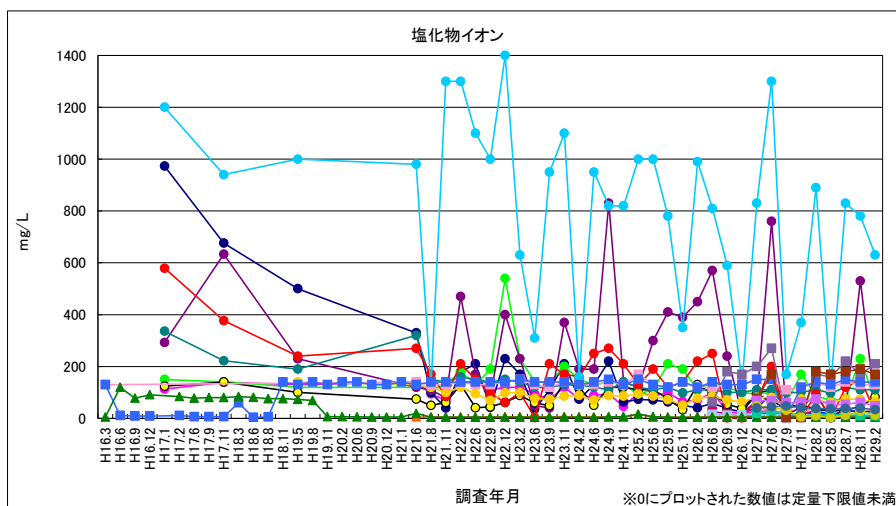


図 3-45 塩化物イオン（浸透水・地下水）

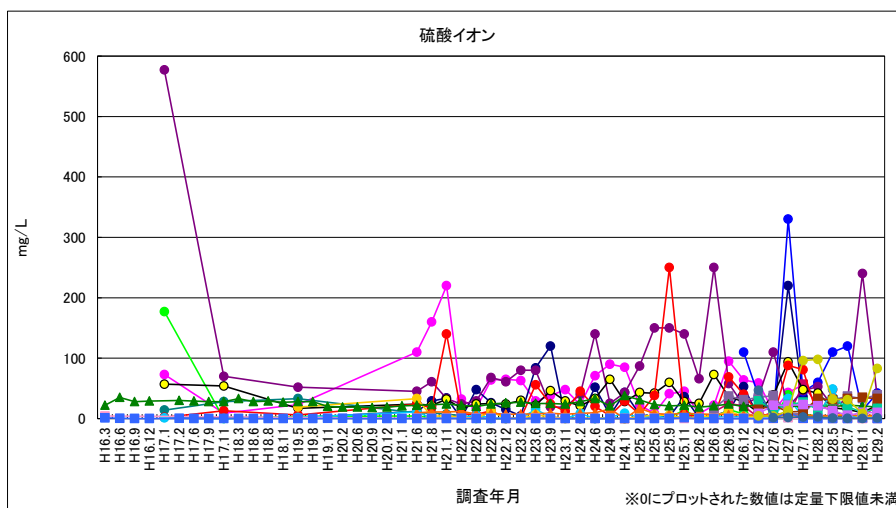


図 3-46 硫酸イオン（浸透水・地下水）

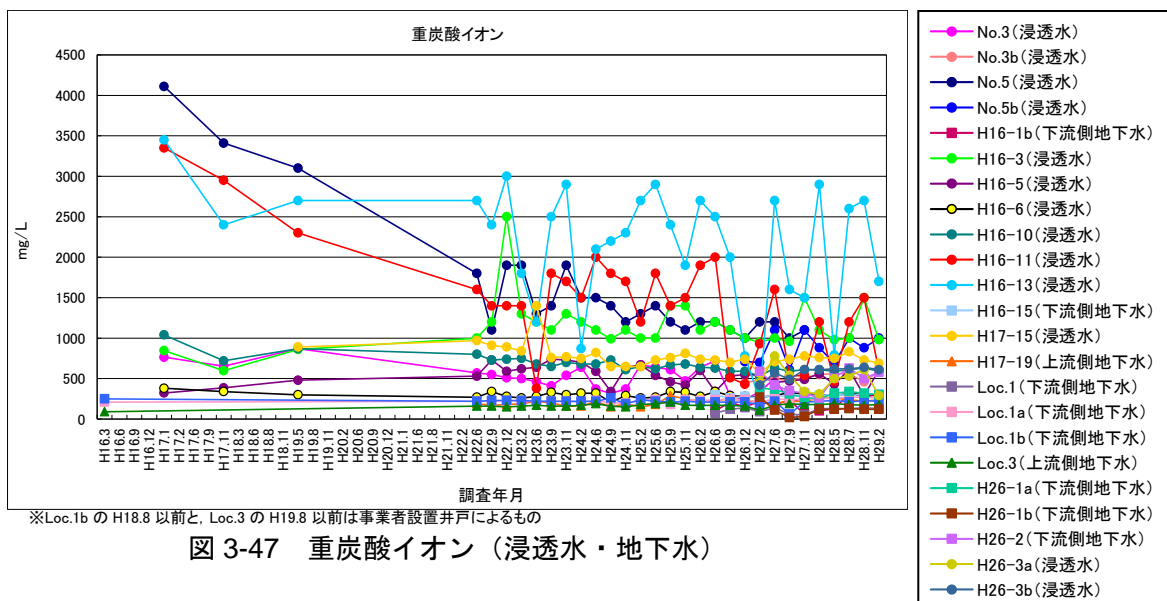


図 3-47 重炭酸イオン（浸透水・地下水）

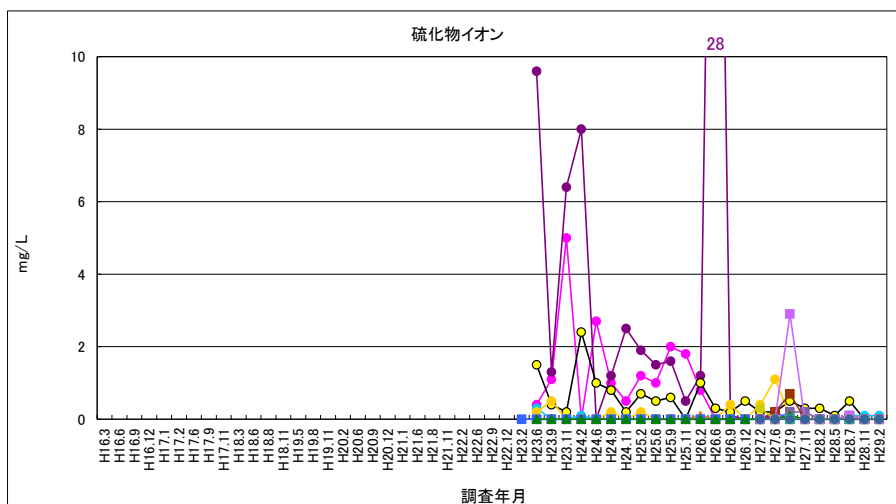
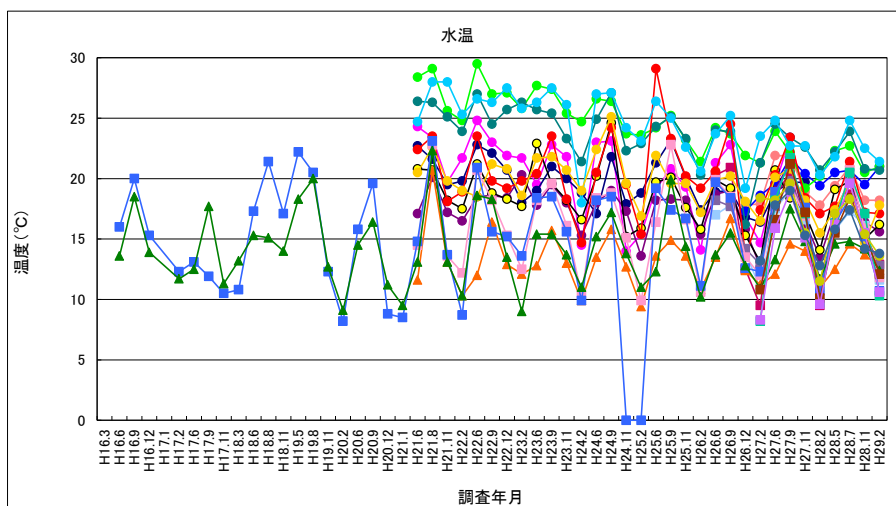


図 3-48 硫化物イオン（浸透水・地下水）



※Loc.1bのH18.8以前と、Loc.3のH19.8以前は事業者設置井戸によるもの

図 3-49 水温（浸透水・地下水）

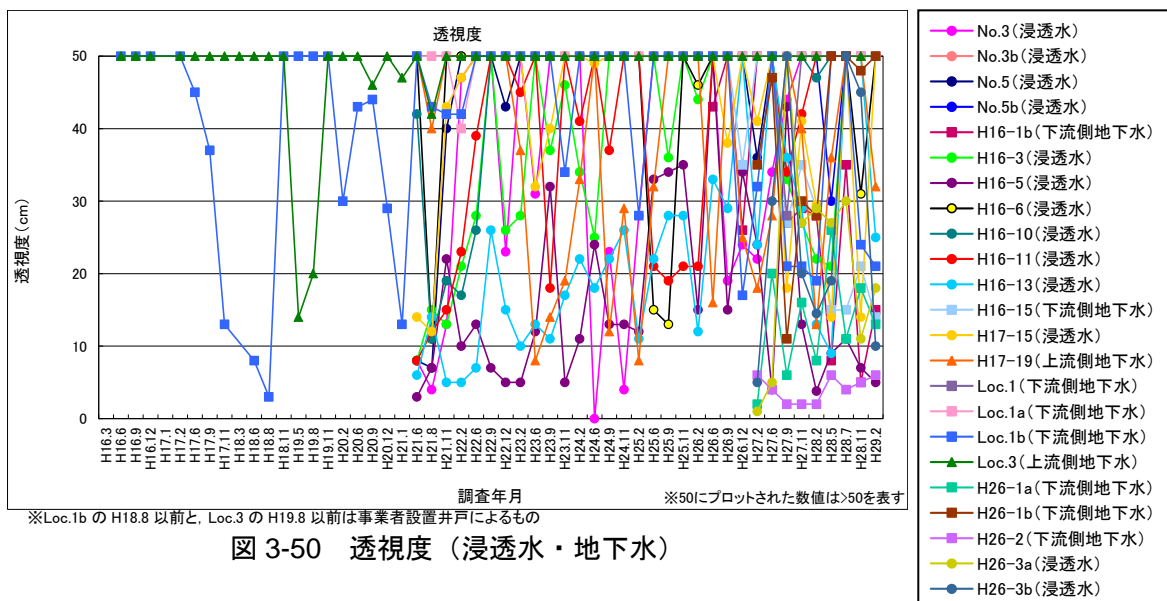


図 3-50 透視度（浸透水・地下水）

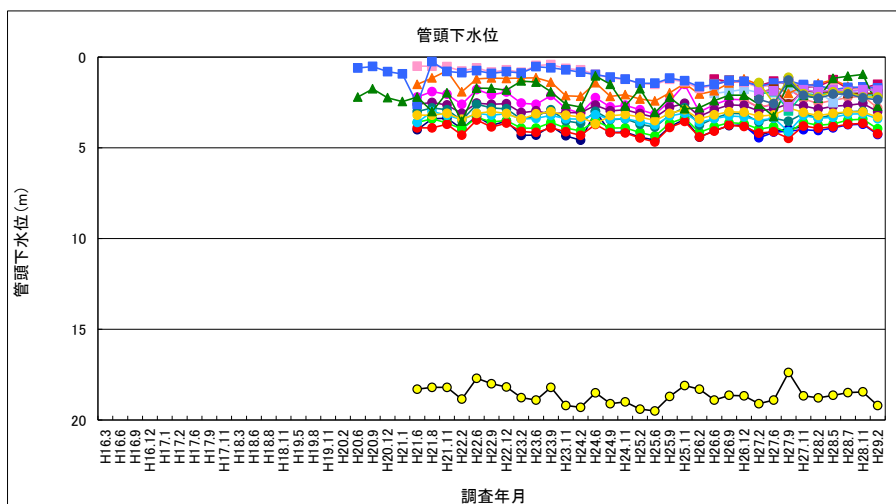
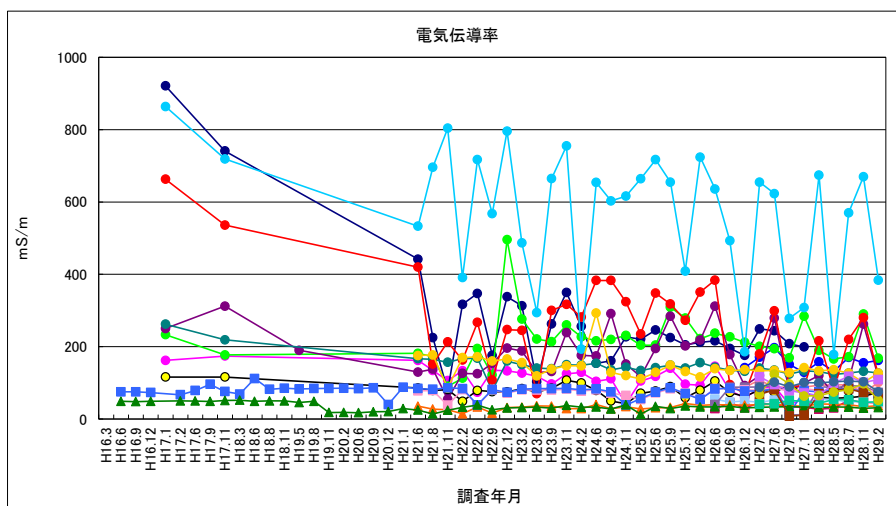
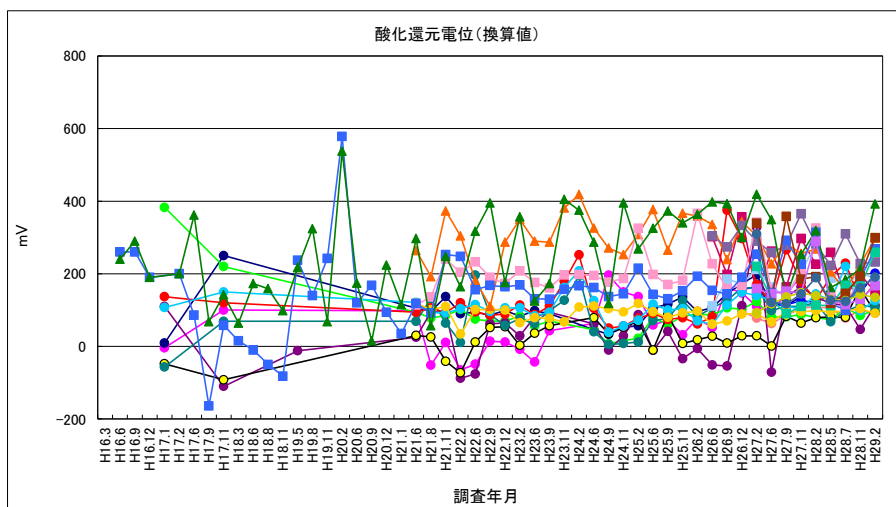


図 3-51 管頭下水位（浸透水・地下水）



※Loc.1bのH18.8以前と、Loc.3のH19.8以前は事業者設置井戸によるもの

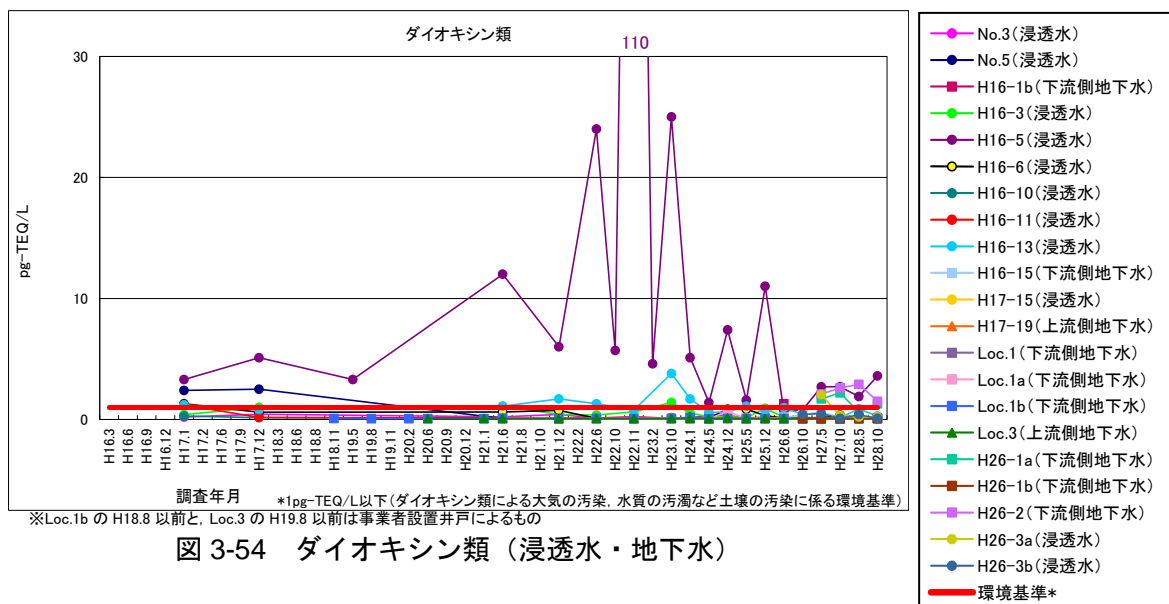
図 3-52 電気伝導率（浸透水・地下水）



※Loc.1bのH18.8以前と、Loc.3のH19.8以前は事業者設置井戸によるもの

図 3-53 酸化還元電位（浸透水・地下水）

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)



4 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査

4.1 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果表

表 4-1 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果表（H28年10月4日）

調査年月日：平成28年10月4日（気圧：1004hPa）

地点名		浸透水観測井戸																	
調査項目		7-2	7-4	H16-10	H16-11	No.3	No.3a	No.3b	No.5	No.5a	No.5b	H16-3	H16-5	H16-6	H16-13	H17-15	H26-3a	H26-3b	
水位	(m)	-1.52	-1.61	-1.59	-2.27	-	-	-0.63	-	-	-2.11	-2.20	-1.77	-16.64	-1.13	-2.46	-0.34	-0.46	
孔内温度(管頭下1m)	(°C)	24.3	27.5	21.5	25.5	24.4	24.9	24.9	26.2	25.6	25.5	24.2	24.9	26.0	25.5	23.4	22.8	22.4	
気温	(°C)	24.9	27.0	24.6	26.6	26.9	25.6	27.1	26.5	26.4	27.1	25.5	23.9	27.1	26.6	23.9	23.4	23.4	
水質	水温	(°C)	23.4	22.3	22.0	20.0	-	-	20.8	-	-	22.3	21.8	20.1	18.1	22.4	21.1	19.9	19.5
	透視度	(cm)	50以上	50以上	50以上	50以上	-	-	50以上	-	-	50以上	50以上	34	50以上	39	50以上	50以上	50以上
	pH		6.9	7.0	7.6	7.2	-	-	7.5	-	-	7.0	7.3	6.9	8.2	7.0	7.3	7.1	7.0
	硫酸イオン	(mg/l)	2.6	2.3	0.6	0.9	-	-	0.3	-	-	220	0.9	40	18	0.3	0.8	3.6	0.2
	塩化物イオン	(mg/l)	3	8	110	130	-	-	15	-	-	19	49	17	39	320	42	29	40
	電気伝導率	(mS/m)	73	94	120	230	-	-	50	-	-	150	150	100	52	300	130	95	100
	酸化還元電位 (mV)	130	120	93	120	-	-	93	-	-	120	97	93	95	110	130	140	110	
発生ガス	硫化水素	(ppm)	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.9	0.2未満	0.2未満	1.0	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	6.0	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満
	二酸化炭素	(%)	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満	1.0	0.25未満	0.25	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満	0.25未満
	酸素	(%)	16	16	12	16	8	14	14	6未満	14	14	13	8	6未満	13	16	17	19
	メタン	(%)	0	0	10	2	75	0	8	0	0	0	28	50	34	8	7	0	0
	発生ガス量	(L/min)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.10	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.31	0.01未満	0.01未満	0.01	0.01未満

地点名		下流地下水観測井戸							放流水		
調査項目		Loc.1	Loc.1a	Loc.1b	H16-1b	H16-15	H26-1a	H26-1b	H26-2		
水位	(m)	-0.22	-0.17	0.02	-0.33	-0.61	-1.02	-0.78	-0.81	-	
水質	水温	(°C)	21.4	21.0	22.0	20.5	20.8	21.4	21.6	18.0	20.8
	透視度	(cm)	50以上	50以上	25	50以上	8	11	48	2	50以上
	pH		7.3	7.2	7.2	6.8	6.9	7.3	7.5	7.0	7.9
	硫酸イオン	(mg/l)	34	0.1未満	0.1未満	3.6	0.7	24	30	22	6.5
	塩化物イオン	(mg/l)	180	140	140	6	13	12	160	84	69
	電気伝導率	(mS/m)	89	85	79	43	46	55	80	56	110
	酸化還元電位 (mV)	160	140	100	130	210	100	140	160	210	

※表中の硫化水素等の発生ガスの濃度は、ボーリング孔の管頭下1mでの値です。

※地点名7-2, 7-4, H16-10, H16-11はガス抜き管です。ガス抜き管では、発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しています。処理後の硫化水素濃度は、いずれも0.2ppm未満でした。

※平成23年度より、処分場地下水及び放流水の水質の変動状況を把握するため、処分場下流側の地下水(Loc.1a, Loc.1b)と放流水を毎月測定しています。

※地点名No.3a, No.3b, No.5a, No.5bは、噴出防止工で新設されたガス抜き管です。発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しており、処理後の硫化水素濃度はいずれも0.2ppm未満でした。

表 4-2 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果表（H28年11月8日）

調査年月日：平成28年11月8日（気圧：1010hPa）

地点名		浸透水観測井戸																	
調査項目		7-2	7-4	H16-10	H16-11	No.3	No.3a	No.3b	No.5	No.5a	No.5b	H16-3	H16-5	H16-6	H16-13	H17-15	H26-3a	H26-3b	
水位	(m)	-2.18	-2.22	-2.18	-2.88	-	-	-1.25	-	-	-2.77	-2.77	-2.03	-17.48	-2.46	-2.80	-1.19	-1.26	
孔内温度(管頭下1m)	(°C)	12.1	13.9	10.8	14.8	14.8	11.7	14.7	15.3	14.7	17.3	12.8	12.8	10.7	14.4	16.3	9.6	10.3	
気温	(°C)	10.7	10.9	9.9	10.3	10.3	10.3	10.3	10.4	11.8	10.4	11.2	10.8	10.7	9.9	10.1	11.7	11.7	
水質	水温	(°C)	19.5	18.6	20.3	16.9	-	-	18.2	-	-	20.0	20.1	17.0	14.9	19.5	17.6	15.5	15.8
	透視度	(cm)	34	50以上	50以上	50以上	-	-	50以上	-	-	50以上	50以上	25	50以上	50以上	50以上	50以上	50以上
	pH		7.0	7.0	7.8	7.3	-	-	7.6	-	-	7.1	7.3	8.2	8.4	7.2	7.4	7.6	7.1
	硫酸イオン	(mg/l)	0.6	0.3	0.9	0.9	-	-	1.1	-	-	20	0.5	170	9.3	0.1未満	0.6	40	0.7
	塩化物イオン	(mg/l)	16	17	120	130	-	-	20	-	-	23	200	380	40	410	74	20	40
	電気伝導率	(mS/m)	140	110	130	230	-	-	76	-	-	140	260	210	57	410	130	49	48
	酸化還元電位 (mV)	130	100	20	110	-	-	54	-	-	98	79	-59	38	100	87	120	130	
発生ガス	硫化水素	(ppm)	0.2未満	4.0	0.2	2.0	6.0	0.2未満	0.2未満	60	0.2未満	0.2未満	0.2未満	50	6.0	0.2未満	0.2未満	0.2未満	
	二酸化炭素	(%)	0.25未満	0.25未満	0.5	3.0	0.7	1.5	0.8	3.0	1.4	3.0	2.2	1.0	0.25未満	3.0	0.25未満	0.25未満	
	酸素	(%)	18	9	10	6未満	6未満	14	12	6未満	15	10	12	12	6未満	6	17	18	20
	メタン	(%)	0	54	49	63	70	0	8	14	1	1	22	25	42	56	12	0	0
	発生ガス量	(L/min)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.15	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.61	0.17	0.01未満	0.01未満	0.01未満

地点名		下流地下水観測井戸								放流水	
調査項目		Loc.1	Loc.1a	Loc.1b	H16-1b	H16-15	H26-1a	H26-1b	H26-2		
水位	(m)	-0.46	-0.42	-0.20	-0.62	-0.92	-1.07	-0.98	-0.85	-	
水質	水温	(°C)	15.9	15.6	15.6	15.4	15.2	16.4	16.6	14.6	8.6
	透視度	(cm)	50以上	50以上	24	47	39	25	34	4	50以上
	pH		7.6	7.6	7.4	6.8	6.6	7.4	7.7	7.0	7.9
	硫酸イオン	(mg/l)	43	0.1未満	0.1未満	0.3	0.7	11	31	15	5.5
	塩化物イオン	(mg/l)	220	140	150	13	17	11	170	88	120
	電気伝導率	(mS/m)	53	52	49	29	31	34	47	38	180
	酸化還元電位 (mV)	310	310	290	190	220	180	250	170	260	

※表中の硫化水素等の発生ガスの濃度は、ボーリング孔の管頭下1mでの値です。

※地点名7-2, 7-4, H16-10, H16-11はガス抜き管です。ガス抜き管では、発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しています。処理後の硫化水素濃度は、いずれも0.2ppm未満でした。

※平成23年度より、処分場地下水及び放流水の水質の変動状況を把握するため、処分場下流側の地下水(Loc.1a, Loc.1b)と放流水を毎月測定しています。

※地点名No.3a, No.3b, No.5a, No.5bは、噴出防止工で新設されたガス抜き管です。発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しており、処理後の硫化水素濃度はいずれも0.2ppm未満でした。

表 4-3 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果表（H28年12月6日）

調査年月日:平成28年12月6日（気圧:1000hPa）

地点名		浸透水観測井戸																	
調査項目		7-2	7-4	H16-10	H16-11	No.3	No.3a	No.3b	No.5	No.5a	No.5b	H16-3	H16-5	H16-6	H16-13	H17-15	H26-3a	H26-3b	
水位	(m)	-2.45	-2.52	-2.50	-3.17	-	-	-1.58	-	-	-3.10	-3.06	-2.18	-17.88	-2.60	-2.98	-1.37	-1.44	
孔内温度(管頭下1m)	(°C)	12.4	9.5	9.7	9.8	9.0	8.4	9.9	8.3	9.3	10.1	11.2	9.1	9.3	9.4	8.3	11.3	11.3	
気温	(°C)	7.8	7.8	7.6	6.8	8.1	8.1	8.1	7.6	7.6	7.6	7.3	8.2	7.9	7.8	7.7	11.8	11.8	
水質	水温	(°C)	19.5	17.5	20.0	17.0	-	-	18.3	-	-	19.9	19.4	16.4	14.9	20.5	17.2	14.0	14.8
	透視度	(cm)	50以上	50以上	50以上	50以上	-	-	50以上	-	-	50以上	45	13	50以上	39	50以上	30	40
	pH		7.0	7.0	7.8	7.3	-	-	7.5	-	-	7.1	7.2	7.6	8.3	7.2	7.5	7.5	7.4
	硫酸イオン	(mg/l)	0.1未満	0.1未満	0.7	0.8	-	-	2.2	-	-	37	0.1	79	11	0.1未満	0.4	75	0.3
	塩化物イオン	(mg/l)	20	24	110	140	-	-	24	-	-	27	89	230	43	840	73	10	40
	電気伝導率	(mS/m)	140	59	130	250	-	-	50	-	-	150	190	160	48	620	140	68	98
発生ガス	酸化還元電位	(mV)	130	100	30	120	-	-	51	-	-	81	83	-49	-7	93	80	150	140
	硫化水素	(ppm)	0.2未満	6.0	1.2	0.5	4.0	0.2未満	0.2未満	160	0.2未満	0.2	0.2未満	2.0	50	11	0.2未満	0.2未満	0.2未満
	二酸化炭素	(%)	3.0	4.0	1.0	7.5	1.5	1.0	1.2	10.0	1.5	4.5	2.0	2.5	0.25未満	8.0	0.5	0.25未満	0.25未満
	酸素	(%)	12	6未満	6未満	6未満	6未満	15	11	6未満	14	10	10	6未満	6未満	6未満	11	20	18
	メタン	(%)	8	64	64	83	96	0	26	36	3	0	56	36	40	80	9	0	0
発生ガス量	(L/min)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.05	0.01未満	0.01未満	0.02	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.83	0.04	0.01未満	0.01未満	0.01未満	

地点名		下流地下水観測井戸							放流水		
調査項目		Loc.1	Loc.1a	Loc.1b	H16-1b	H16-15	H26-1a	H26-1b		H26-2	
水位	(m)	-0.27	-0.22	-0.04	-0.51	-0.98	-1.07	-0.84	-0.83	-	
水質	水温	(°C)	13.6	13.2	13.1	13.5	13.8	14.1	14.0	13.3	7.0
	透視度	(cm)	50以上	23	16	50以上	11	20	21	3	50以上
	pH		7.6	7.4	7.3	6.7	6.5	7.3	7.5	6.9	7.9
	硫酸イオン	(mg/l)	34	0.2	0.1未満	0.4	0.6	6.9	31	21	6.6
	塩化物イオン	(mg/l)	190	140	150	14	18	11	170	80	130
	電気伝導率	(mS/m)	89	85	74	47	51	47	71	54	180
酸化還元電位	(mV)	180	220	230	160	210	130	150	150	200	

※表中の硫化水素等の発生ガスの濃度は、ボーリング孔の管頭下1mでの値です。

※地点名7-2, 7-4, H16-10, H16-11はガス抜き管です。ガス抜き管では、発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しています。処理後の硫化水素濃度は、いずれも0.2ppm未満でした。

※平成23年度より、処分場地下水及び放流水の水質の変動状況を把握するため、処分場下流側の地下水(Loc.1a, Loc.1b)と放流水を毎月測定しています。

※地点名No.3a, No.3b, No.5a, No.5bは、噴出防止工で新設されたガス抜き管です。発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しており、処理後の硫化水素濃度はいずれも0.2ppm未満でした。

表 4-4 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果表（H29年1月10日）

調査年月日：平成29年1月10日（気圧：1001hPa）

地点名		浸透水観測井戸																	
調査項目		7-2	7-4	H16-10	H16-11	No.3	No.3a	No.3b	No.5	No.5a	No.5b	H16-3	H16-5	H16-6	H16-13	H17-15	H26-3a	H26-3b	
水位	(m)	-2.76	-2.81	-2.83	-3.44	-	-	-1.87	-	-	-3.42	-3.34	-2.40	-18.21	-2.80	-3.14	-1.56	-1.67	
孔内温度(管頭下1m)	(°C)	8.5	9.6	7.1	12.0	8.1	8.6	9.6	10.4	9.8	15.8	9.7	6.1	8.1	7.9	7.2	9.1	7.1	
気温	(°C)	9.8	10.3	9.4	9.7	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.5	10.1	9.2	10.4	10.1	9.4	9.3	9.3	
水質	水温	(°C)	19.3	17.0	21.0	16.2	-	-	17.5	-	-	20.8	19.6	15.2	15.4	21.0	17.4	12.5	13.7
	透視度	(cm)	50以上	50以上	50以上	50以上	-	-	50以上	-	-	50以上	50以上	10	50以上	7	50以上	36	15
	pH		6.9	7.2	7.8	7.3	-	-	7.6	-	-	7.1	7.3	7.3	7.9	7.2	7.5	7.5	7.3
	硫酸イオン	(mg/l)	0.2	0.1未満	0.4	0.1未満	-	-	0.5	-	-	29	0.1未満	72	7.7	0.8	0.4	67	0.5
	塩化物イオン	(mg/l)	13	39	110	110	-	-	33	-	-	25	76	150	65	780	70	7	39
	電気伝導率	(mS/m)	130	120	130	240	-	-	57	-	-	150	170	150	53	610	66	64	99
酸化還元電位	(mV)	130	99	28	120	-	-	56	-	-	100	73	12	31	93	64	120	140	
発生ガス	硫化水素	(ppm)	1.0	8.0	0.2	1.3	1.0	0.2未満	0.2未満	2.0	0.2	0.2未満	0.2未満	0.6	62	0.2	0.2未満	0.2未満	0.2未満
	二酸化炭素	(%)	4.0	4.5	0.5	6.0	1.5	0.8	1.0	8.0	1.5	4.0	1.3	3.0	0.25未満	5.0	0.25未満	0.25未満	0.25未満
	酸素	(%)	10	6	10	6未満	6未満	17	15	6未満	13	12	12	6未満	6未満	8	18	18	19
	メタン	(%)	15	53	59	77	97	0	10	7	8	0	45	68	47	58	7	0	0
	発生ガス量	(L/min)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.12	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.97	0.82	0.10	0.01未満	0.01未満	0.01未満

地点名		下流地下水観測井戸							放流水		
調査項目		Loc.1	Loc.1a	Loc.1b	H16-1b	H16-15	H26-1a	H26-1b		H26-2	
水位	(m)	-0.35	-0.30	-0.11	-0.52	-0.98	-1.06	-0.91	-0.81	-	
水質	水温	(°C)	11.5	10.5	10.7	11.7	12.4	11.8	11.8	11.7	3.9
	透視度	(cm)	50以上	34	10	41	17	25	50以上	5	50以上
	pH		7.5	7.4	7.2	6.7	6.7	7.5	7.6	7.0	7.9
	硫酸イオン	(mg/l)	32	0.1	0.1未満	0.3	0.5	9.5	29	22	4.5
	塩化物イオン	(mg/l)	180	130	140	14	16	11	160	86	120
	電気伝導率	(mS/m)	91	75	72	47	48	58	71	68	190
酸化還元電位	(mV)	170	200	220	180	220	120	150	160	200	

※表中の硫化水素等の発生ガスの濃度は、ボーリング孔の管頭下1mでの値です。

※地点名7-2, 7-4, H16-10, H16-11はガス抜き管です。ガス抜き管では、発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しています。処理後の硫化水素濃度は、いずれも0.2ppm未満でした。

※平成23年度より、処分場地下水及び放流水の水質の変動状況を把握するため、処分場下流側の地下水(Loc.1a, Loc.1b)と放流水を毎月測定しています。

※地点名No.3a, No.3b, No.5a, No.5bは、噴出防止工で新設されたガス抜き管です。発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しており、処理後の硫化水素濃度はいずれも0.2ppm未満でした。

表 4-5 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果表（H29 年 2 月 7 日）

調査年月日：平成29年2月7日（気圧：1000hPa）

地点名		浸透水観測井戸																	
調査項目		7-2	7-4	H16-10	H16-11	No.3	No.3a	No.3b	No.5	No.5a	No.5b	H16-3	H16-5	H16-6	H16-13	H17-15	H26-3a	H26-3b	
水位	(m)	-2.74	-2.93	-2.88	-3.52	-	-	-1.94	-	-	-3.45	-3.41	-2.49	-18.26	-2.86	-3.13	-1.36	-1.46	
孔内温度(管頭下1m)	(°C)	4.8	3.9	5.4	3.6	5.4	4.7	6.2	8.7	5.3	9.6	3.1	4.3	5.4	5.3	6.1	4.8	5.1	
気温	(°C)	0.4	0.2	3.2	-0.3	3.9	2.9	3.2	2.5	1.1	2.1	-0.2	3.5	1.6	-0.1	3.8	4.9	4.9	
水質	水温	(°C)	17.5	15.5	17.3	15.2	-	-	16.1	-	-	19.2	19.5	14.0	13.7	18.8	14.9	10.3	11.2
	透視度	(cm)	50以上	50以上	50以上	38	-	-	50以上	-	-	28	50以上	20	50以上	17	50以上	40	11
	pH		7.0	7.2	7.8	7.3	-	-	7.7	-	-	7.2	7.3	7.6	7.9	7.2	7.6	7.4	7.2
	硫酸イオン	(mg/l)	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.4	-	-	0.5	-	-	71	0.1未満	52	14	0.1	0.3	70	2.8
	塩化物イオン	(mg/l)	11	38	110	80	-	-	43	-	-	21	75	100	84	700	67	10	36
	電気伝導率	(mS/m)	130	59	71	200	-	-	56	-	-	150	170	61	54	550	58	57	82
	酸化還元電位 (mV)	140	110	38	140	-	-	62	-	-	94	78	32	36	110	64	150	160	
発生ガス	硫化水素	(ppm)	0.2	4.0	0.2未満	0.2未満	2.0	0.2未満	0.2未満	1.0	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	68	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満
	二酸化炭素	(%)	8.0	5.0	0.7	2.0	1.6	0.25未満	0.7	10	1.5	2.0	1.7	4.0	0.25未満	7.0	0.3	0.25未満	0.25未満
	酸素	(%)	8	8	6未満	13	6未満	12	14	6未満	14	14	12	6未満	6未満	6	14	20	14
	メタン	(%)	7	65	71	2	98	0	11	1	0	0	40	52	44	58	7	0	0
	発生ガス量	(L/min)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.24	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.16	0.69	0.05	0.01未満	0.01未満	0.01未満

地点名		下流地下水観測井戸								放流水	
調査項目		Loc.1	Loc.1a	Loc.1b	H16-1b	H16-15	H26-1a	H26-1b	H26-2		
水位	(m)	-0.50	-0.45	-0.24	-0.48	-1.01	-1.05	-1.03	-0.86	-	
水質	水温	(°C)	10.0	9.5	8.8	9.7	11.0	9.5	9.9	9.8	4.0
	透視度	(cm)	50以上	40	16	50以上	23	21	50以上	7	43
	pH		7.4	7.2	7.1	6.8	6.6	7.4	7.4	6.8	7.9
	硫酸イオン	(mg/l)	34	0.2	0.3	0.8	0.6	17	31	16	5.7
	塩化物イオン	(mg/l)	190	140	150	14	17	12	170	90	120
	電気伝導率	(mS/m)	78	74	72	49	48	49	70	64	180
	酸化還元電位 (mV)	160	210	200	140	240	200	140	150	120	

※表中の硫化水素等の発生ガスの濃度は、ボーリング孔の管頭下1mでの値です。

※地点名7-2, 7-4, H16-10, H16-11はガス抜き管です。ガス抜き管では、発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しています。処理後の硫化水素濃度は、いずれも0.2ppm未満でした。

※平成23年度より、処分場地下水及び放流水の水質の変動状況を把握するため、処分場下流側の地下水(Loc.1a, Loc.1b)と放流水を毎月測定しています。

※地点名No.3a, No.3b, No.5a, No.5bは、噴出防止工で新設されたガス抜き管です。発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しており、処理後の硫化水素濃度はいずれも0.2ppm未満でした。

表 4-6 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果表（H29 年 3 月 7 日）

調査年月日：平成29年3月7日（気圧：995hPa）

地点名		浸透水観測井戸																	
調査項目		7-2	7-4	H16-10	H16-11	No.3	No.3a	No.3b	No.5	No.5a	No.5b	H16-3	H16-5	H16-6	H16-13	H17-15	H26-3a	H26-3b	
水位	(m)	-2.84	-2.91	-2.91	-3.37	-	-	-1.97	-	-	-3.53	-3.47	-2.54	-18.33	-2.86	-3.16	-1.63	-1.68	
孔内温度(管頭下1m)	(°C)	7.4	6.4	5.9	7.5	6.3	6.1	7.5	10.4	7.8	11.3	6.9	5.5	7.1	6.9	7.4	5.0	5.3	
気温	(°C)	4.9	6.0	4.9	5.8	4.8	4.8	4.8	5.0	5.0	5.0	5.7	4.8	6.6	6.1	4.8	4.8	4.8	
水質	水温	(°C)	17.0	14.4	18.4	16.4	-	-	17.2	-	-	18.9	18.5	14.0	14.9	18.5	16.6	10.9	12.2
	透視度	(cm)	50以上	50以上	50以上	50以上	-	-	50以上	-	-	50以上	44	22	50以上	25	50以上	48	34
	pH		7.0	7.2	7.7	7.2	-	-	7.7	-	-	7.2	7.3	7.5	8.0	7.2	7.5	7.3	7.3
	硫酸イオン	(mg/l)	0.1未満	0.1未満	0.5	0.4	-	-	0.1未満	-	-	51	0.1未満	75	5.9	0.1未満	0.1未満	62	3.5
	塩化物イオン	(mg/l)	13	52	97	110	-	-	45	-	-	35	73	170	130	760	66	14	36
	電気伝導率	(mS/m)	140	66	120	220	-	-	60	-	-	170	170	150	70	600	62	63	98
	酸化還元電位 (mV)	140	94	39	120	-	-	48	-	-	85	78	7	5	95	48	160	160	
発生ガス	硫化水素	(ppm)	0.2未満	2.0	0.2未満	0.2未満	1.5	0.2未満	0.2未満	0.2	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	30	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満
	二酸化炭素	(%)	6.0	3.0	0.5	3.0	1.5	0.25未満	0.25未満	9.0	2.6	2.2	1.8	1.6	0.25未満	0.25未満	0.5	0.25未満	0.25未満
	酸素	(%)	12	6未満	14	6未満	6未満	20	16	6未満	15	16	14	12	6未満	8	18	20	21
	メタン	(%)	11	64	50	68	100	0	12	2	8	0	43	70	49	61	12	1	1
	発生ガス量	(L/min)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.17	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.52	0.61	0.01未満	0.01未満	0.01未満

地点名		下流地下水観測井戸								放流水	
調査項目		Loc.1	Loc.1a	Loc.1b	H16-1b	H16-15	H26-1a	H26-1b	H26-2		
水位	(m)	-0.49	-0.44	-0.27	-0.83	-0.91	-1.08	-1.03	-0.88	-	
水質	水温	(°C)	9.3	9.4	9.5	9.5	10.3	9.6	8.8	9.6	6.5
	透視度	(cm)	50以上	50以上	12	50以上	24	50以上	31	7	50以上
	pH		7.3	7.2	7.0	6.6	6.7	7.5	7.4	6.6	7.9
	硫酸イオン	(mg/l)	34	0.2	0.1未満	0.3	0.4	9.4	28	12	4.9
	塩化物イオン	(mg/l)	190	140	140	15	15	12	150	93	120
	電気伝導率	(mS/m)	77	74	72	51	46	69	43	56	170
	酸化還元電位 (mV)	190	200	210	170	210	140	110	160	190	

※表中の硫化水素等の発生ガスの濃度は、ボーリング孔の管頭下1mでの値です。

※地点名7-2, 7-4, H16-10, H16-11はガス抜き管です。ガス抜き管では、発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しています。処理後の硫化水素濃度は、いずれも0.2ppm未満でした。

※平成23年度より、処分場地下水及び放流水の水質の変動状況を把握するため、処分場下流側の地下水(Loc.1a, Loc.1b)と放流水を毎月測定しています。

※地点名No.3a, No.3b, No.5a, No.5bは、噴出防止工で新設されたガス抜き管です。発生したガスを2つの活性炭塔で吸着処理しており、処理後の硫化水素濃度はいずれも0.2ppm未満でした。

4.2 発生ガス等調査・下流地下水現況調査・放流水現況調査結果図

4.2.1 発生ガス測定結果図

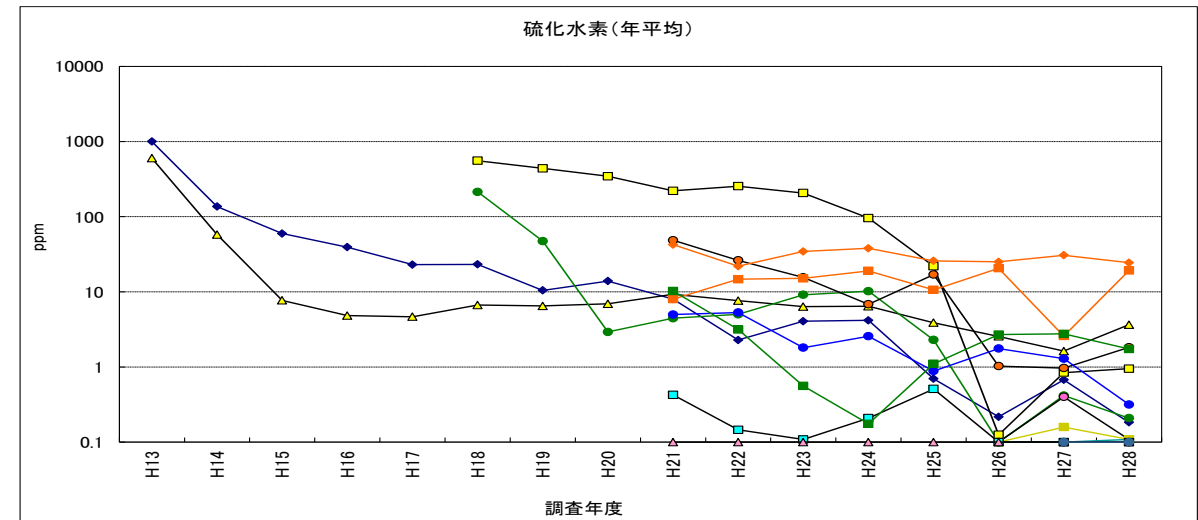
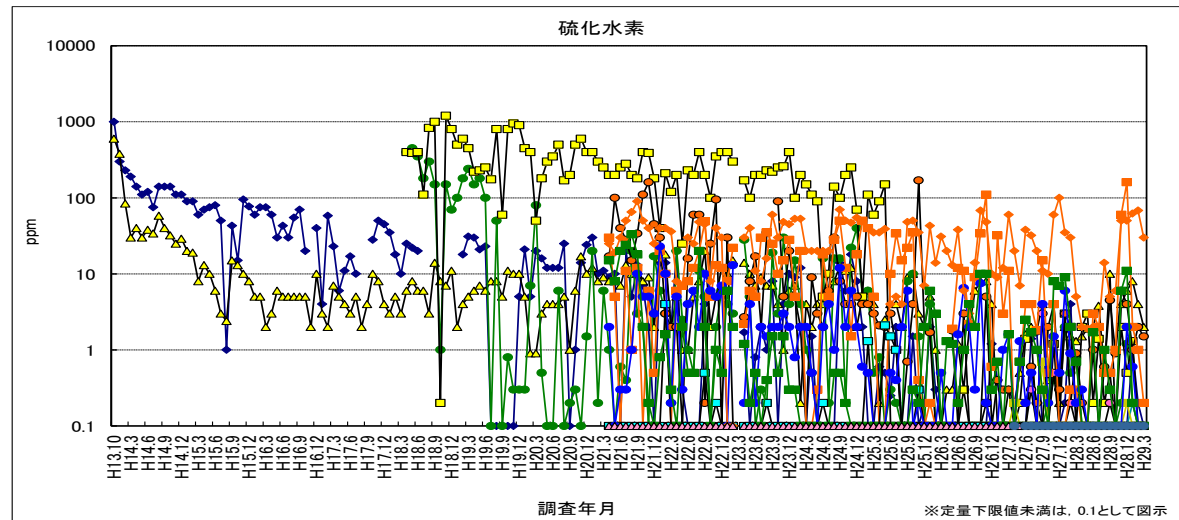
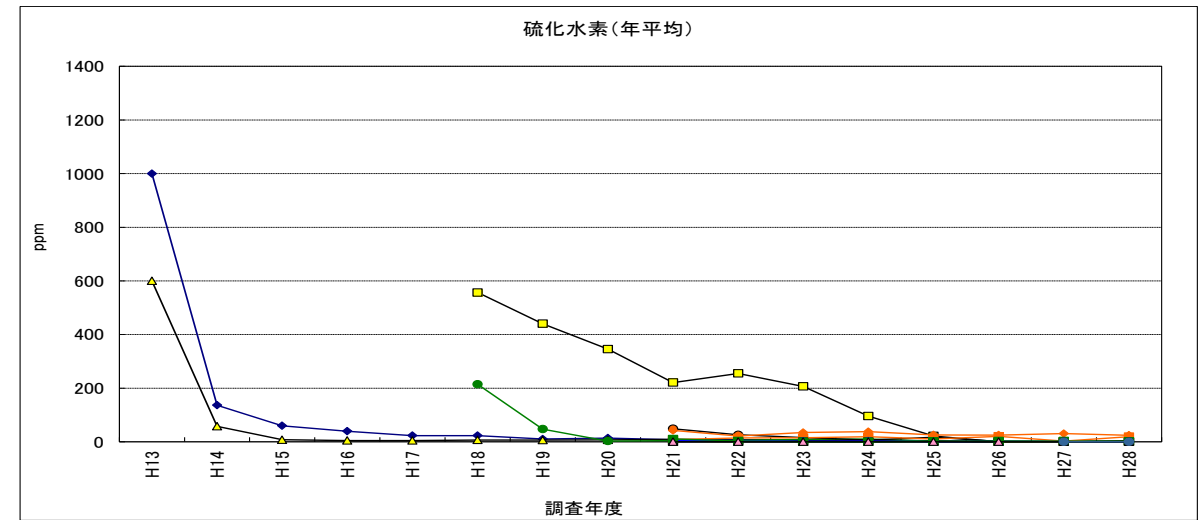
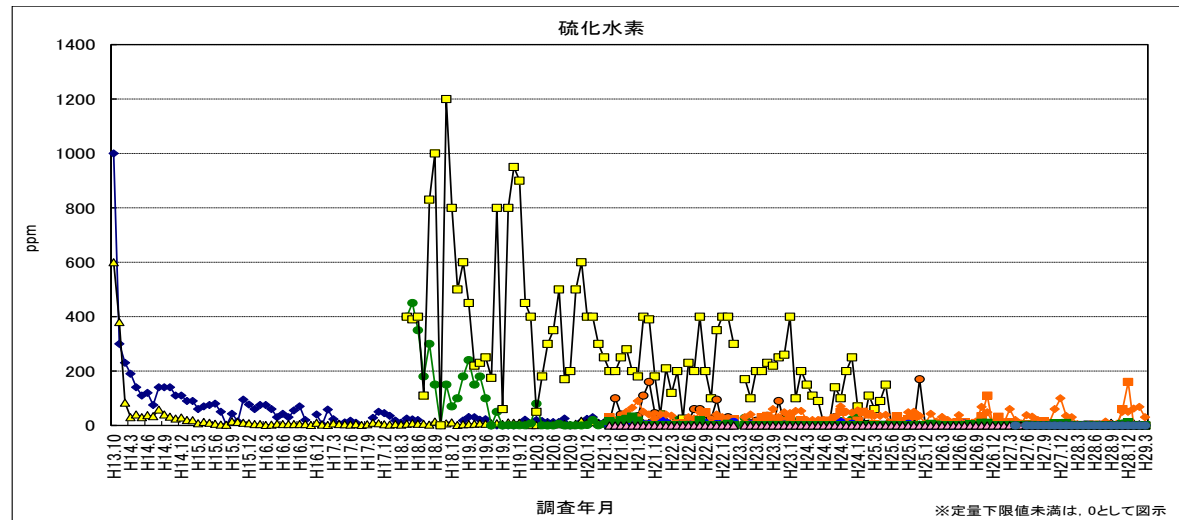
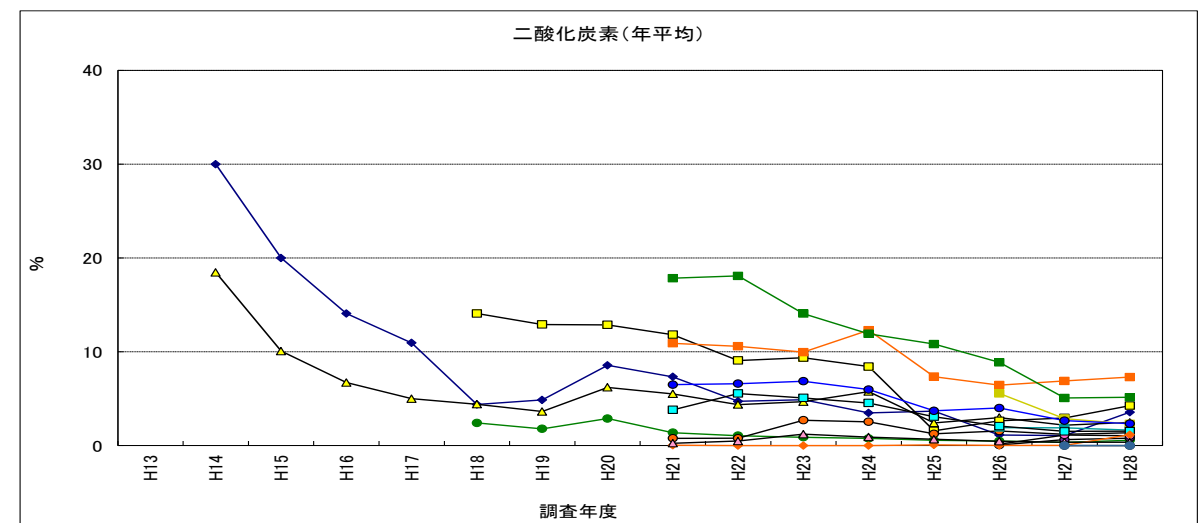
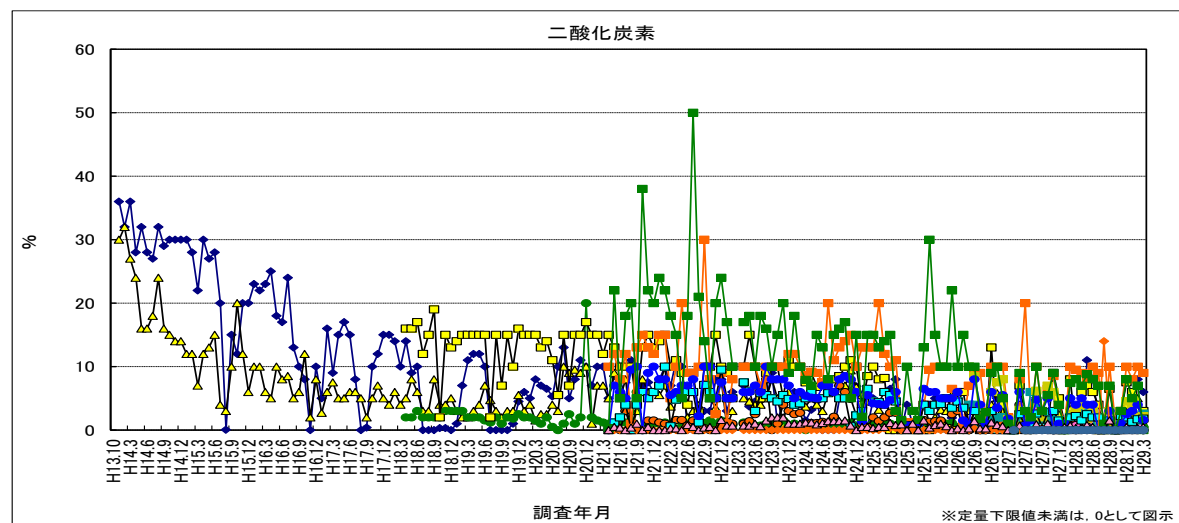


図 4-1 硫化水素（管頭下 1m で測定）※下図：対数表示



- ◆ 7-2
- ▲ 7-4
- H16-10
- H16-11
- No.3
- No.3a
- No.3b
- No.5
- No.5a
- No.5b
- H16-3
- H16-5
- H16-6
- H16-13
- ▲ H17-15
- H26-3a
- H26-3b

図 4-2 二酸化炭素（管頭下 1m で測定）

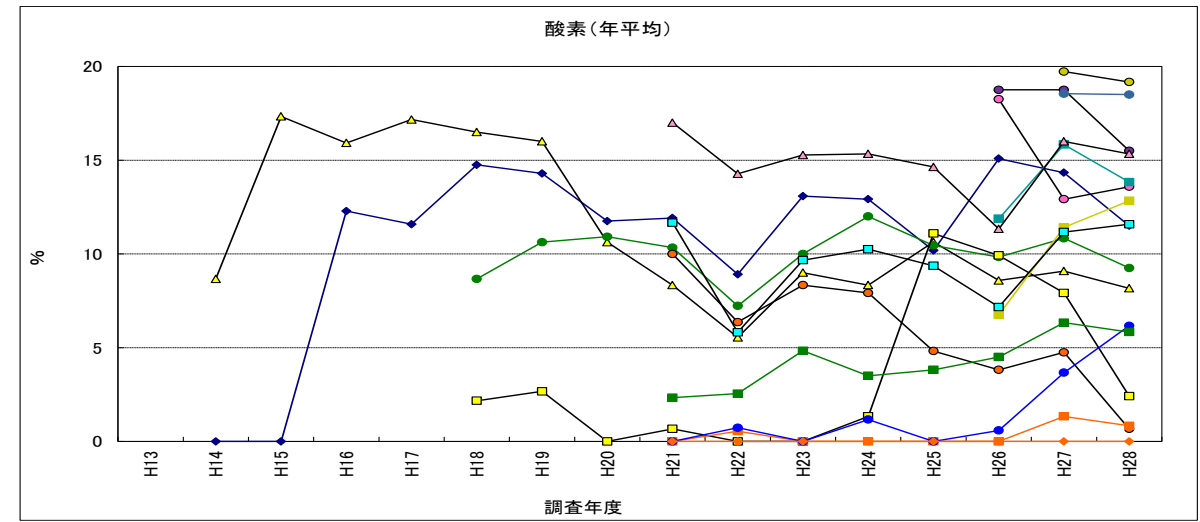
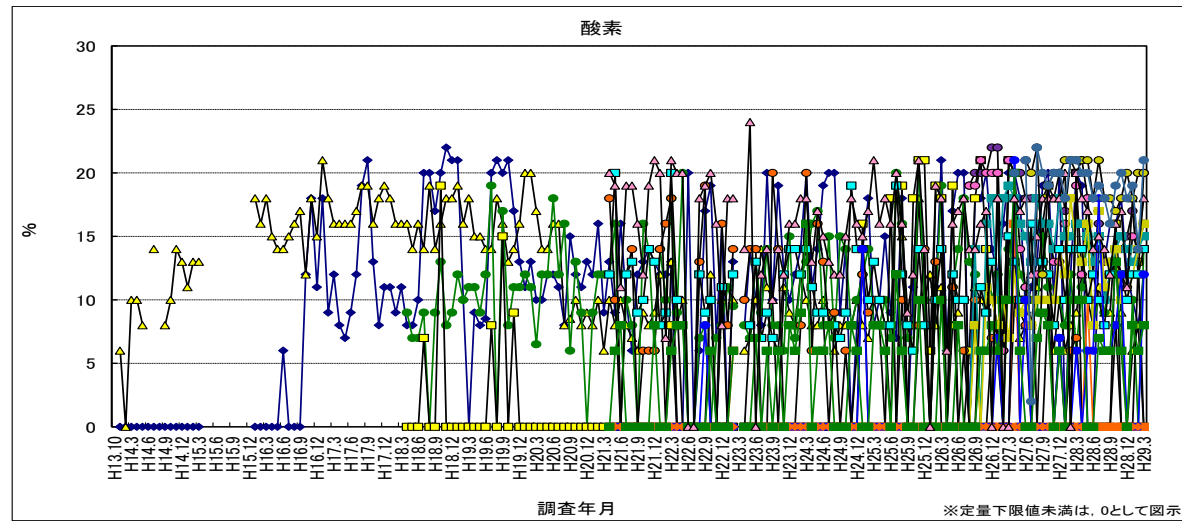


図 4-3 酸素 (管頭下1m で測定)

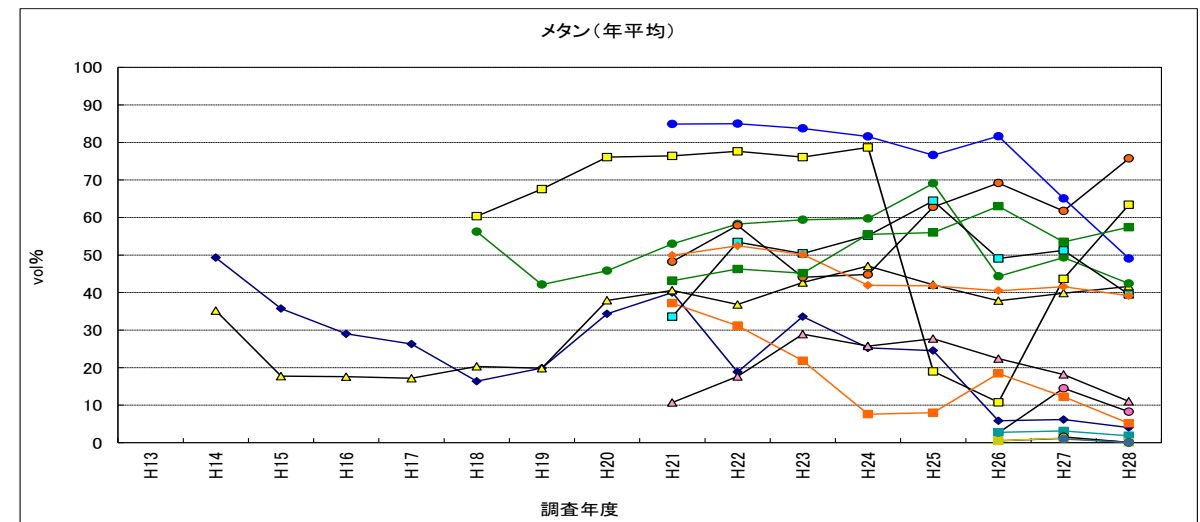
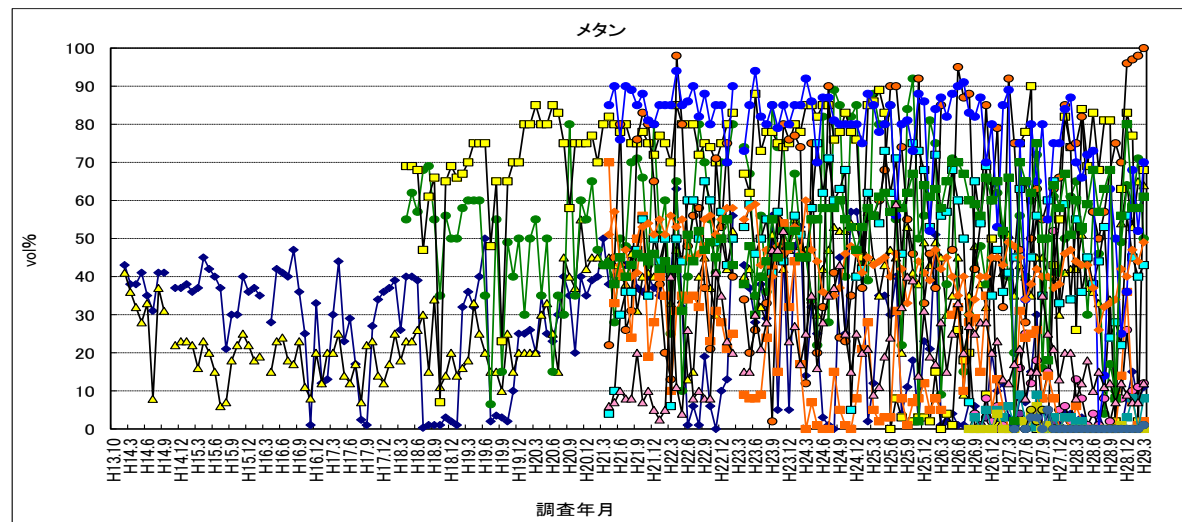
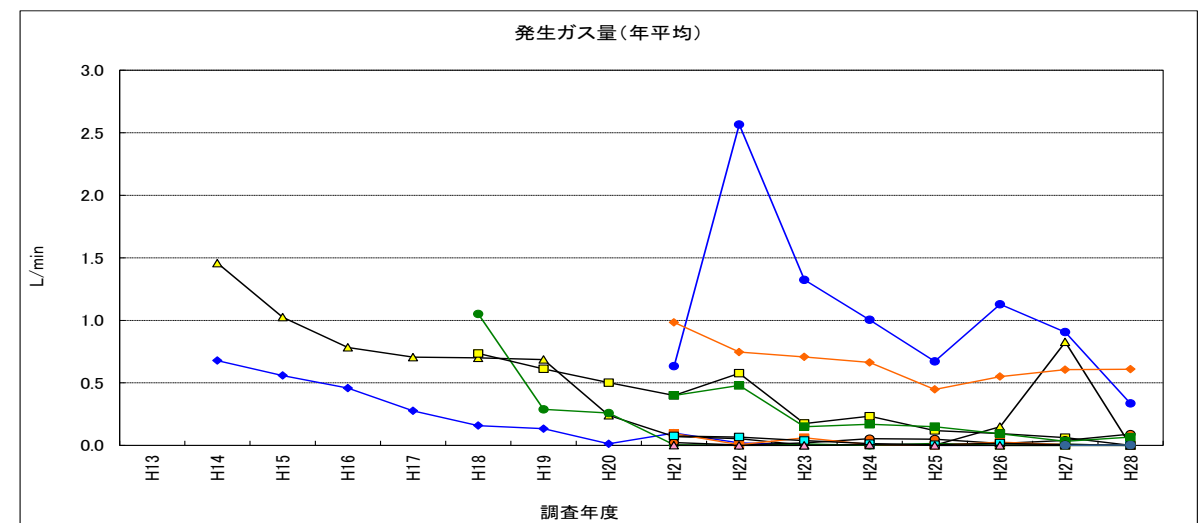
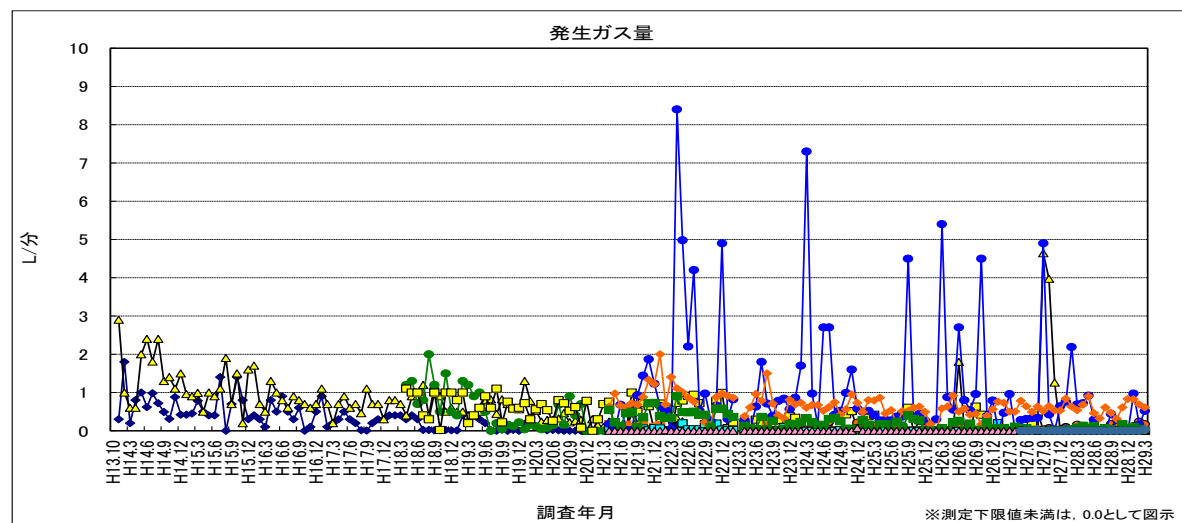


図 4-4 メタン (管頭下1m で測定)



- ◆ 7-2
- ▲ 7-4
- H16-10
- H16-11
- No.3
- No.3a
- No.3b
- No.5
- No.5a
- No.5b
- H16-3
- H16-5
- H16-6
- H16-13
- ▲ H17-15
- H26-3a
- H26-3b

図 4-5 発生ガス量

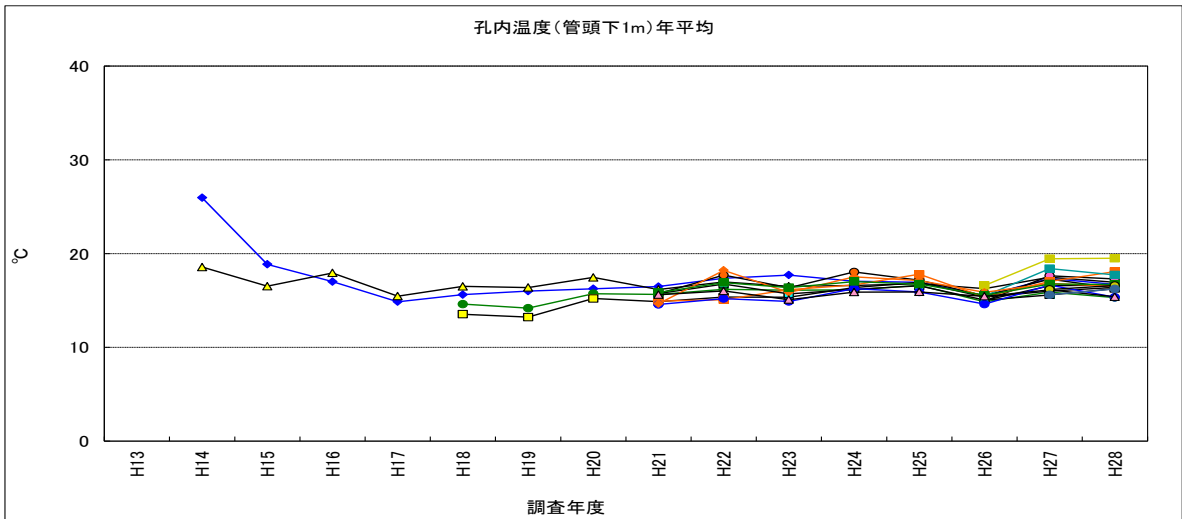
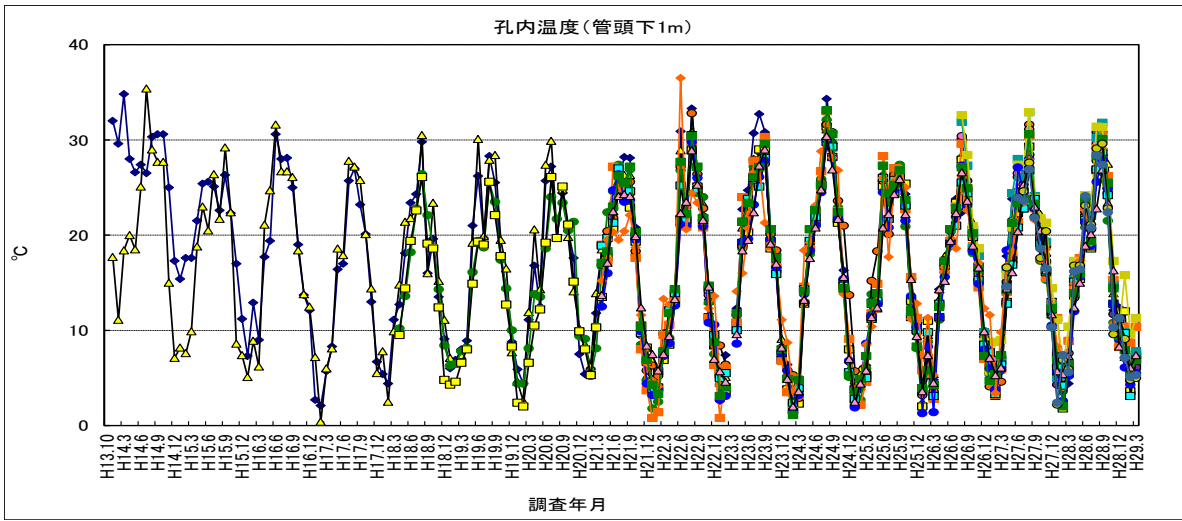


図 4-6 孔内温度 (管頭下 1m で測定)

- ◆ 7-2
- ▲ 7-4
- H16-10
- H16-11
- No.3
- No.3a
- No.3b
- No.5
- No.5a
- No.5b
- H16-3
- H16-5
- ◆ H16-6
- H16-13
- ▲ H17-15
- H26-3a
- H26-3b

4.2.2 浸透水・下流地下水・放流水水質測定結果図

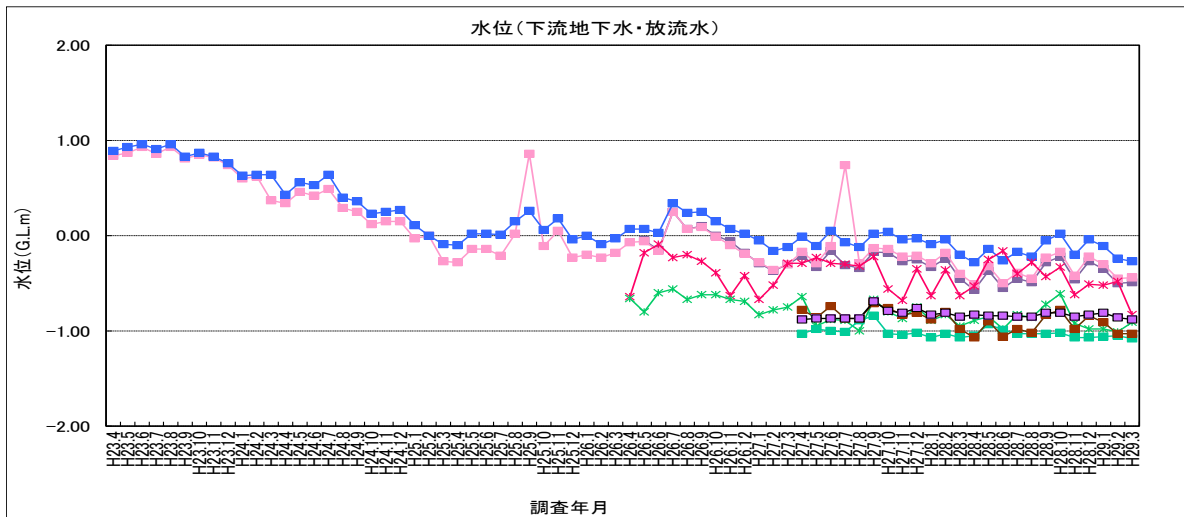
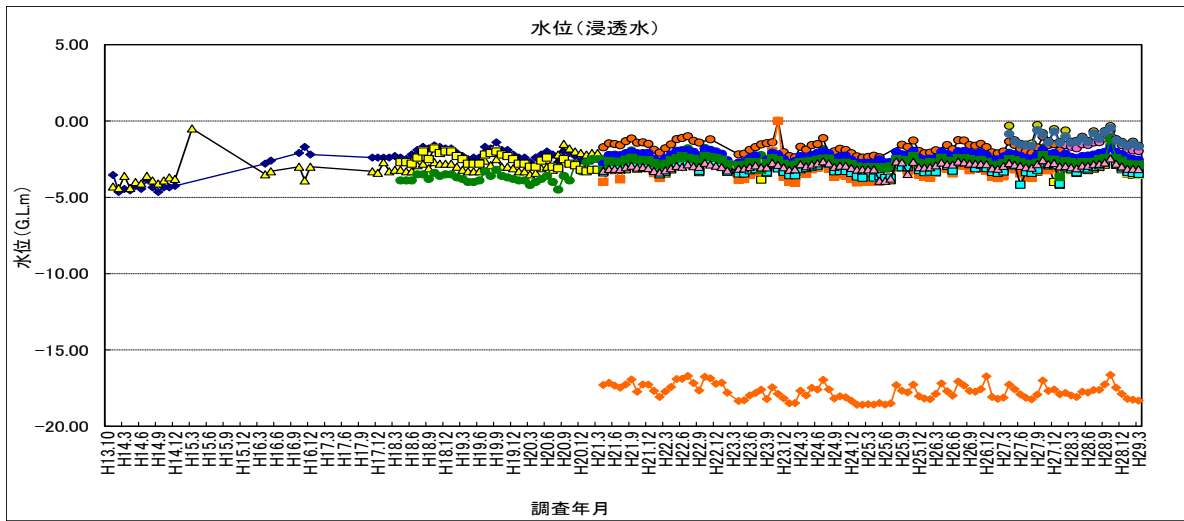


図 4-7 水位

- ◆ 7-2
- ▲ 7-4
- H16-10
- H16-11
- No.3
- No.3b
- No.5
- No.5b
- H16-3
- H16-5
- ◆ H16-6
- H16-13
- ▲ H17-15
- H26-3a
- H26-3b
- Loc1
- Loc1a
- Loc1b
- ◆ H16-1b
- ◆ H16-15
- H26-1a
- H26-1b
- H26-2

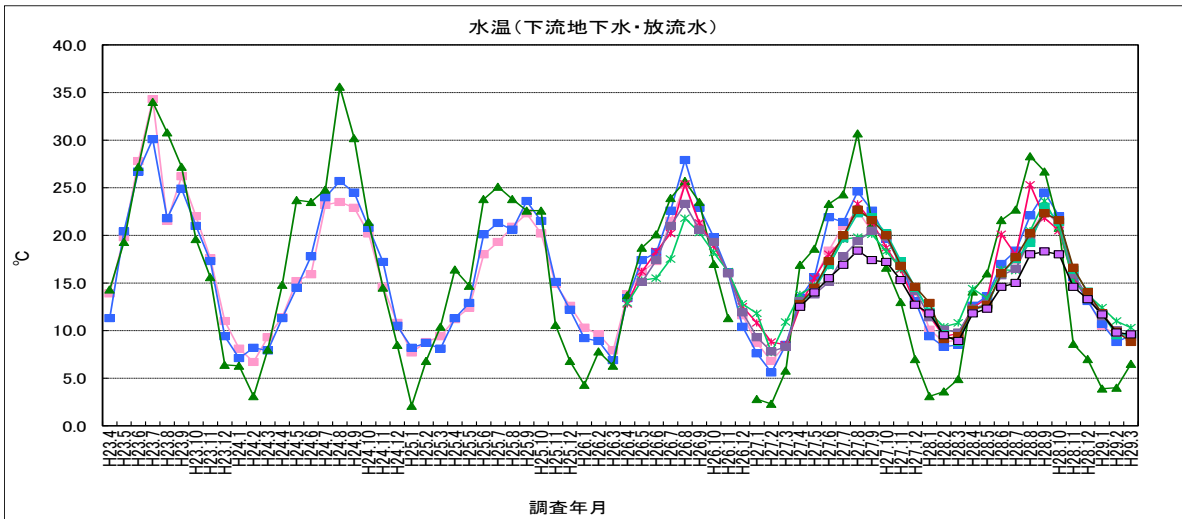
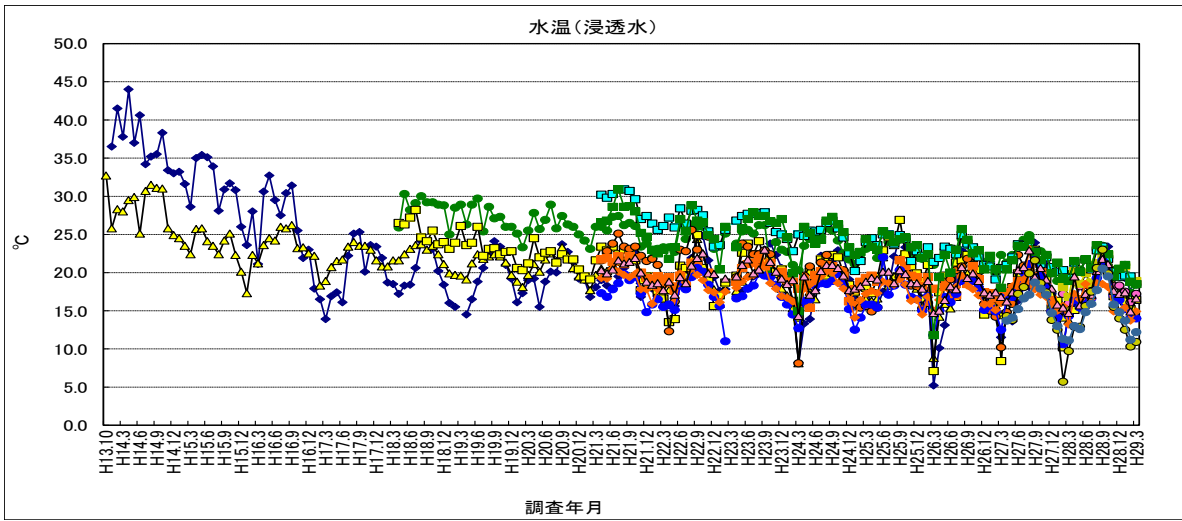
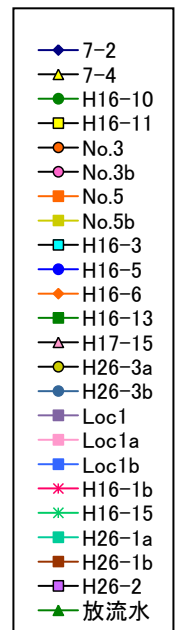


図 4-8 水温



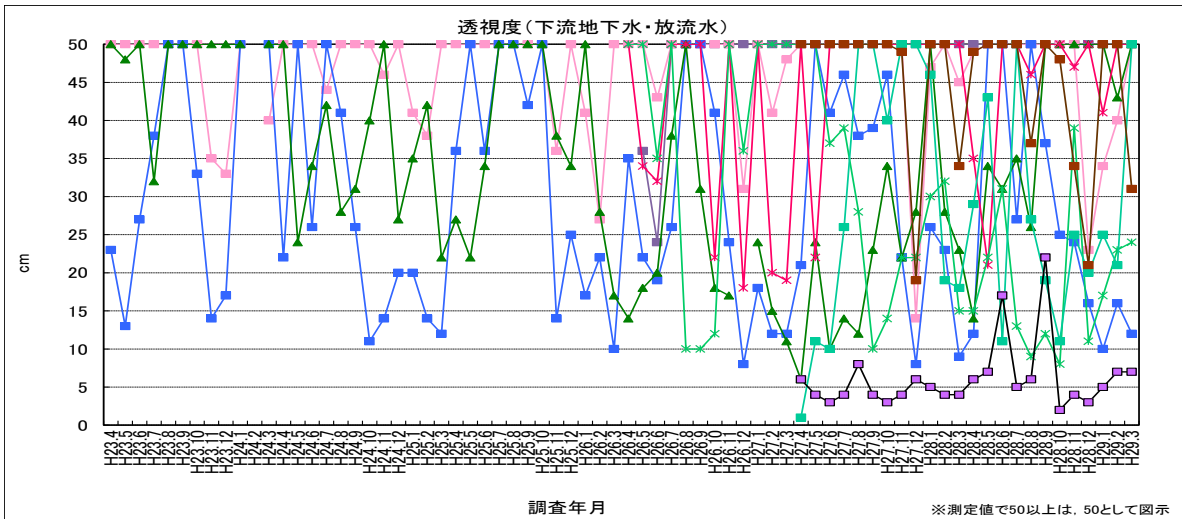
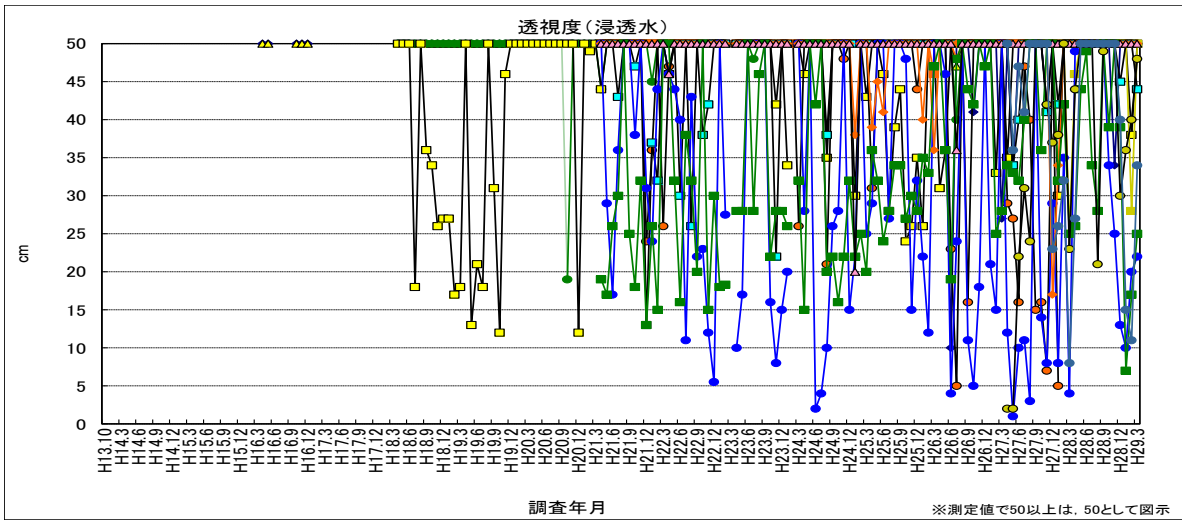


図 4-9 透視度

- ◆ 7-2
- ▲ 7-4
- H16-10
- H16-11
- No.3
- No.3b
- No.5
- No.5b
- H16-3
- H16-5
- ◆ H16-6
- H16-13
- ▲ H17-15
- H26-3a
- H26-3b
- Loc1
- Loc1a
- Loc1b
- ◆ H16-1b
- ◆ H16-15
- H26-1a
- H26-1b
- H26-2
- ▲ 放流水

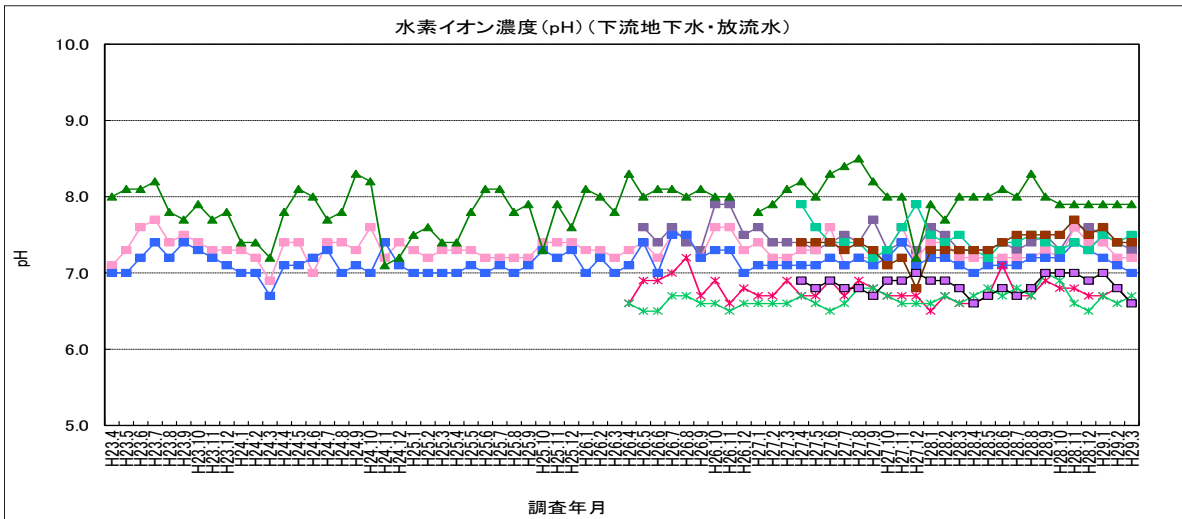
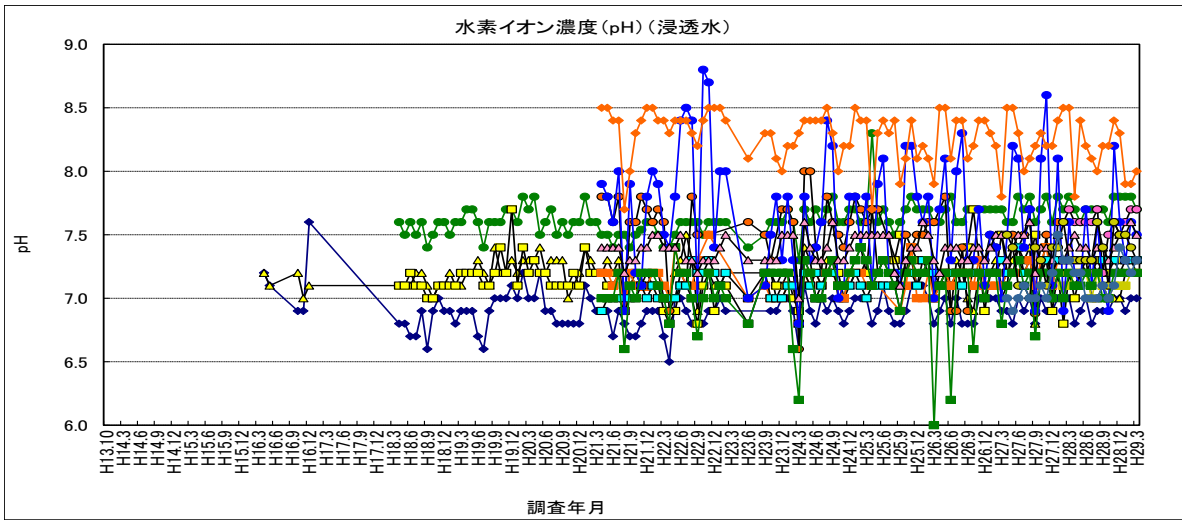
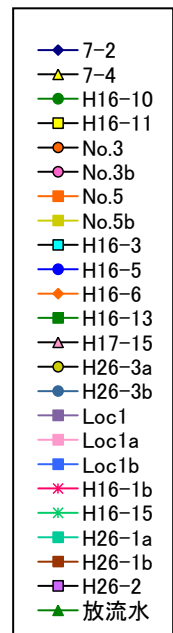
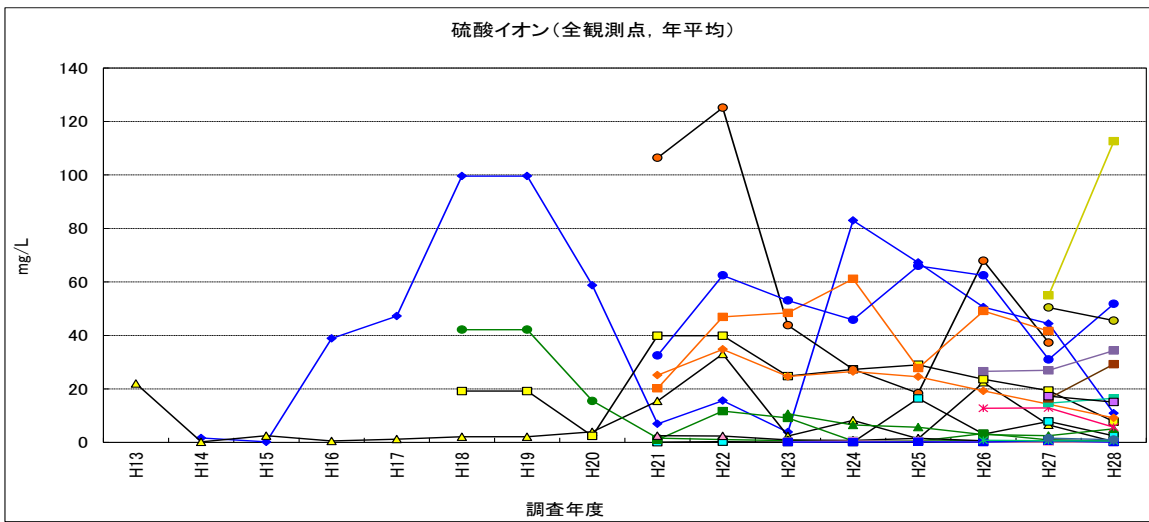
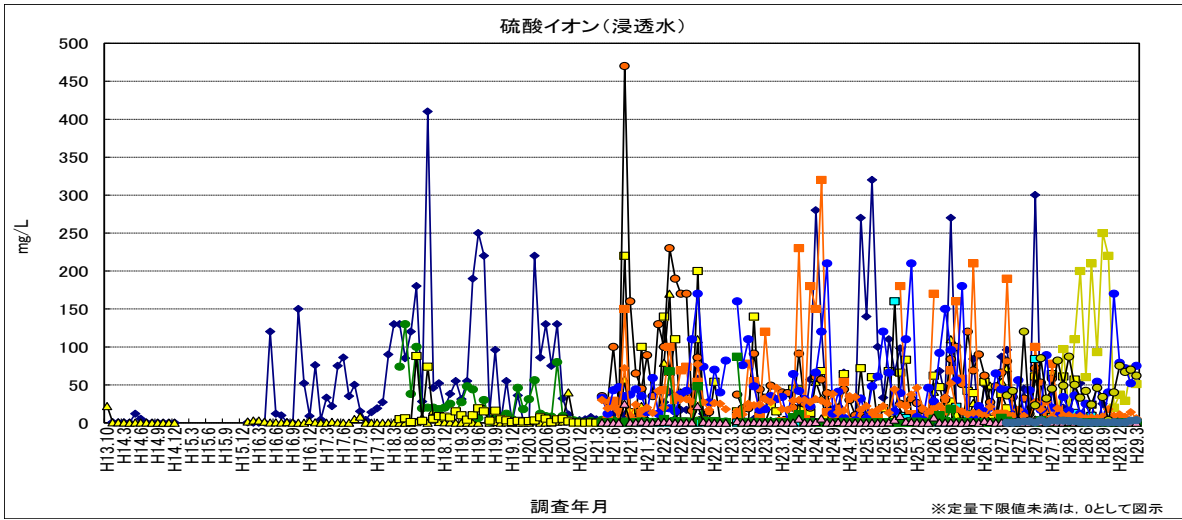


図 4-10 水素イオン濃度 (pH)





- ◆ 7-2
- ▲ 7-4
- H16-10
- H16-11
- No.3
- ◇ No.3b
- No.5
- No.5b
- H16-3
- H16-5
- H16-6
- H16-13
- ▲ H17-15
- H26-3a
- H26-3b
- Loc1
- Loc1a
- Loc1b
- ★ H16-1b
- ★ H16-15
- H26-1a
- H26-1b
- H26-2
- ▲ 放流水

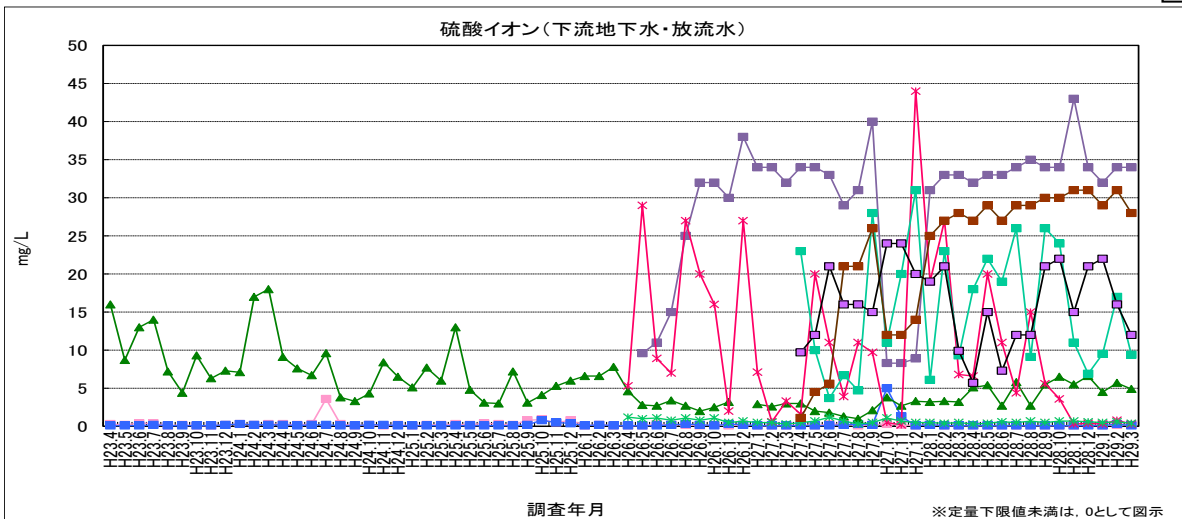


図 4-11 硫酸イオン

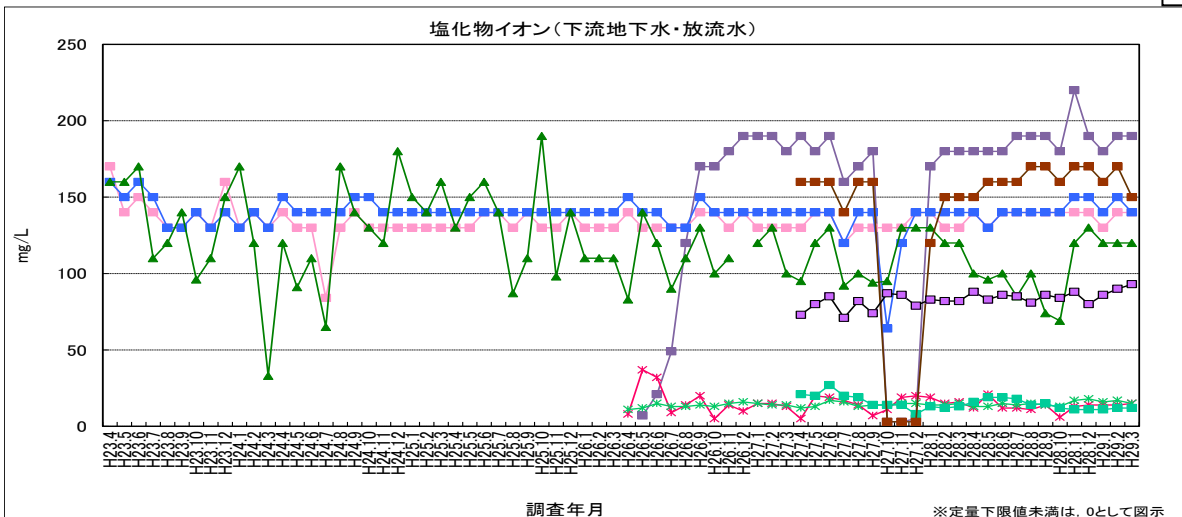
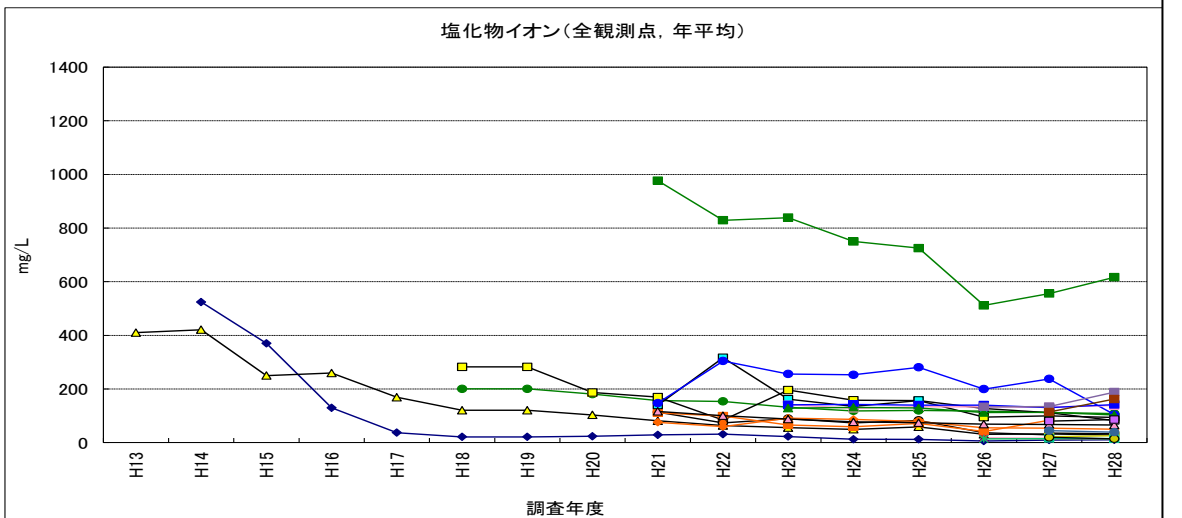
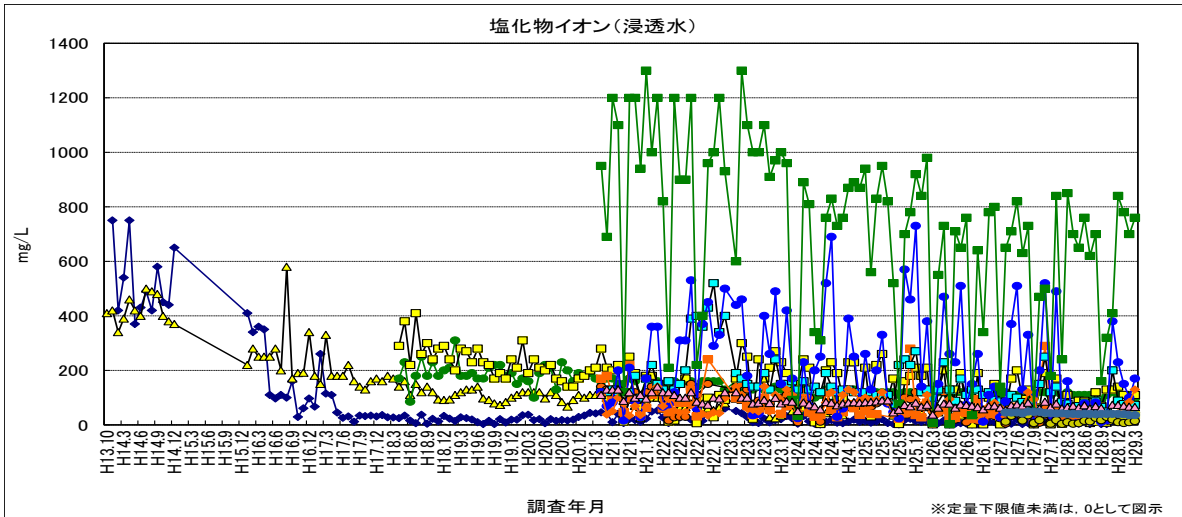
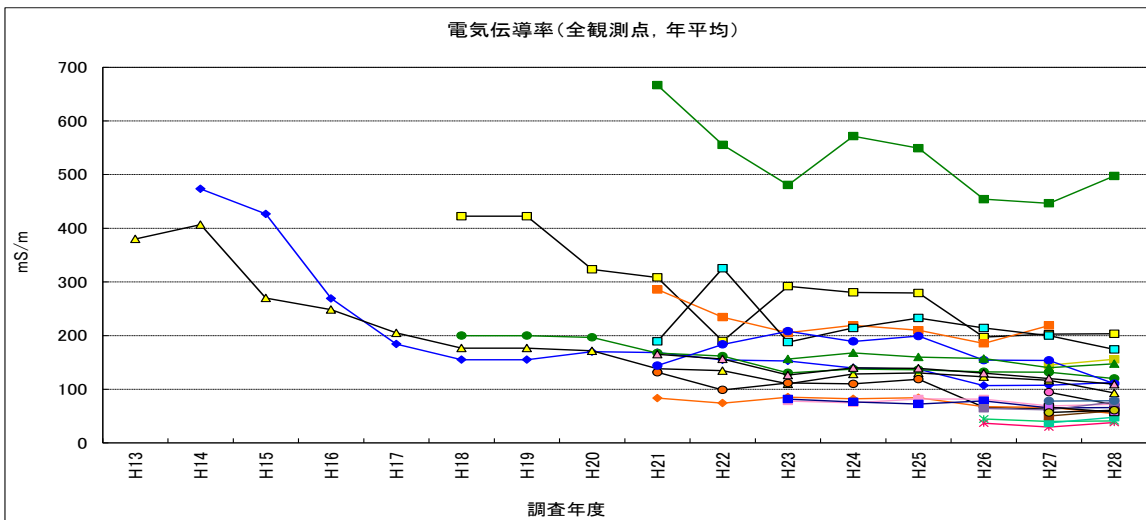
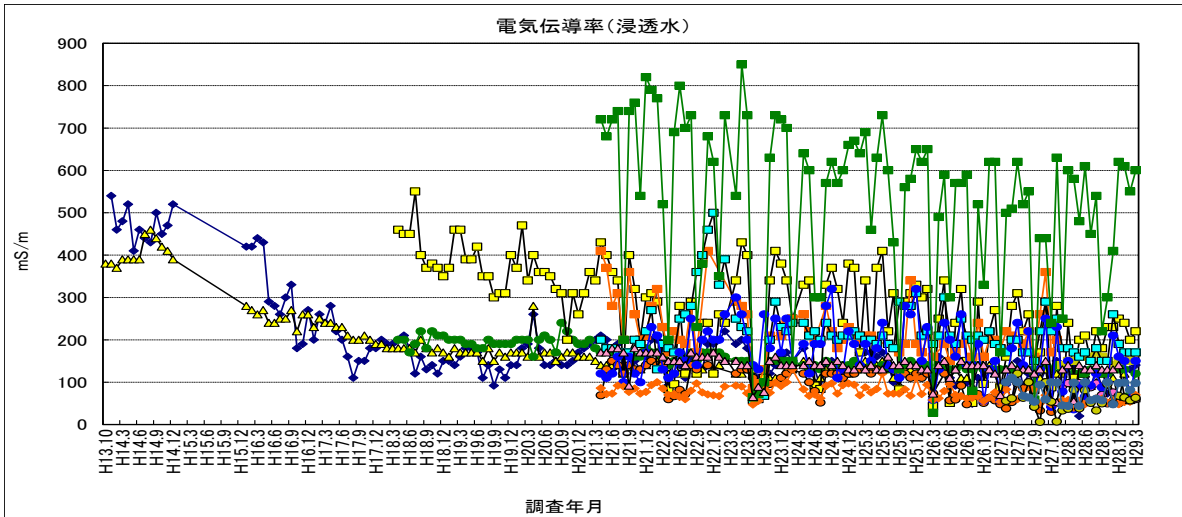


図 4-12 塩化物イオン



- ◆ 7-2
- ▲ 7-4
- H16-10
- H16-11
- No.3
- No.3b
- No.5
- No.5b
- H16-3
- H16-5
- H16-6
- H16-13
- ▲ H17-15
- H26-3a
- H26-3b
- Loc1
- Loc1a
- Loc1b
- H16-15
- H26-1a
- H26-1b
- H26-2
- ▲ 放流水

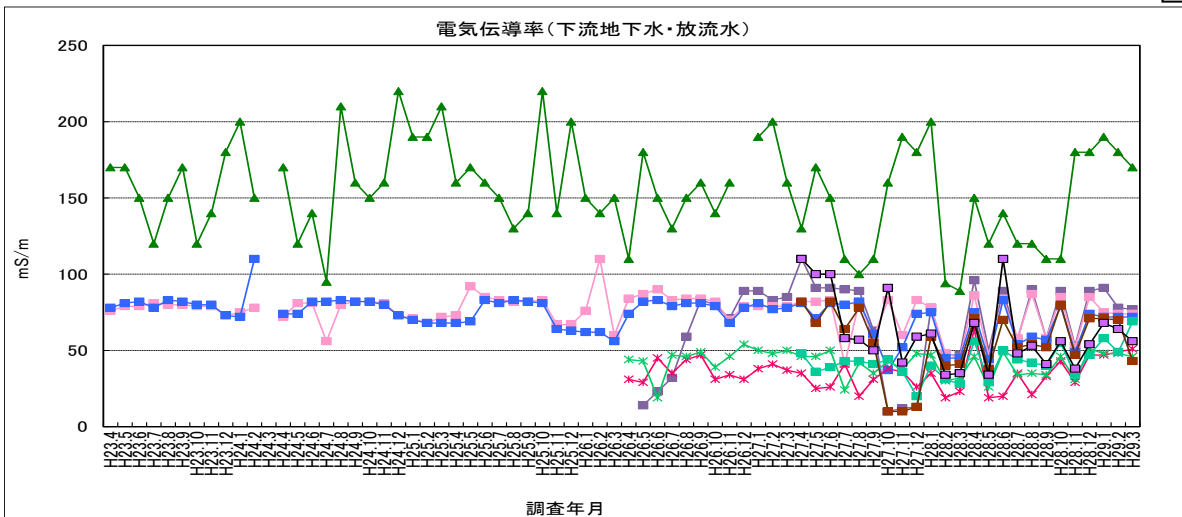
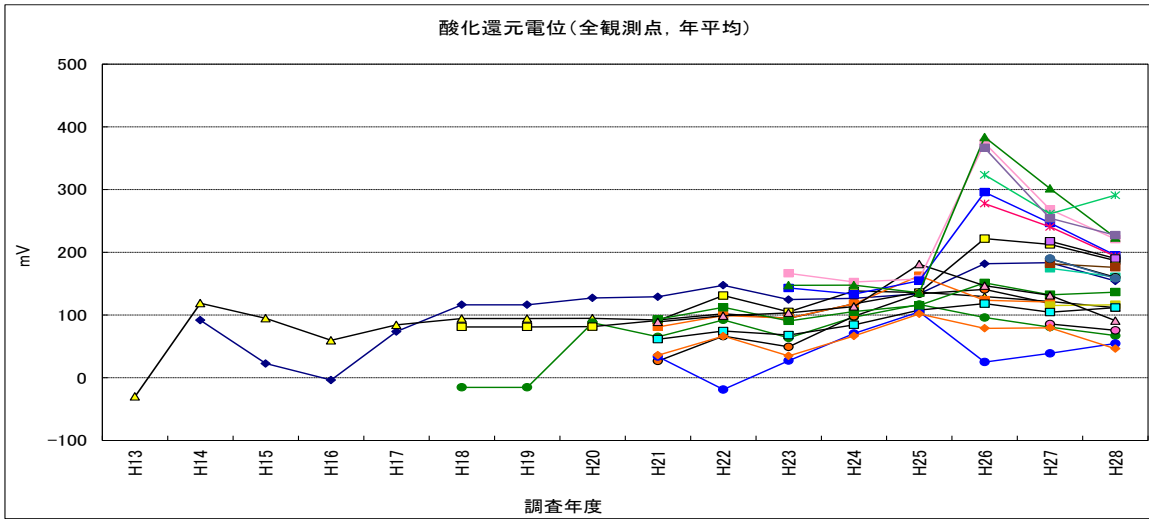
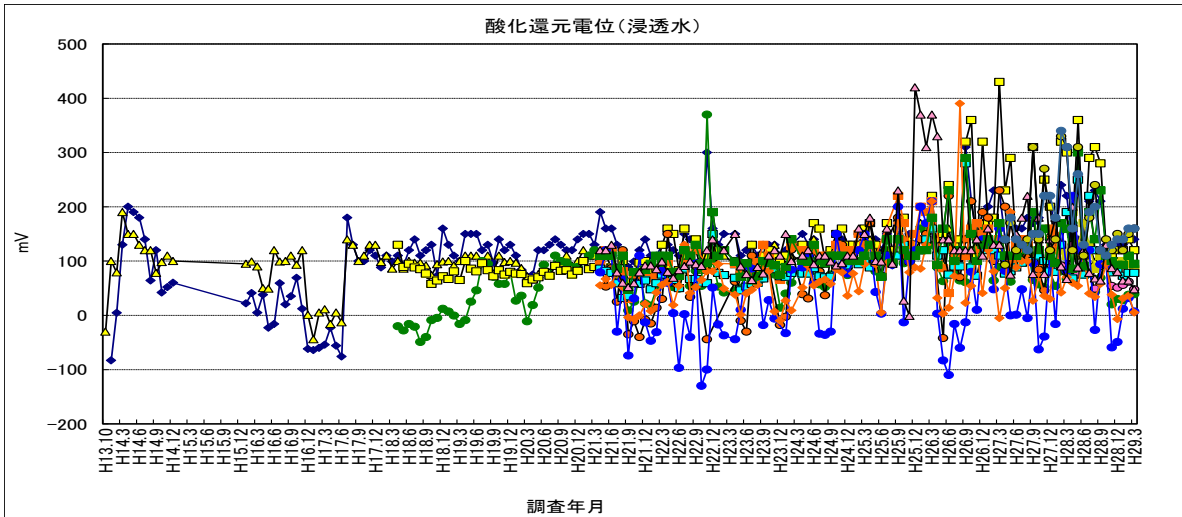


图 4-13 電気伝導率



- ◆ 7-2
- ▲ 7-4
- H16-10
- H16-11
- No.3
- ◇ No.3b
- No.5
- ▣ No.5b
- H16-3
- H16-5
- H16-6
- H16-13
- ▲ H17-15
- H26-3a
- H26-3b
- Loc1
- Loc1a
- Loc1b
- ★ H16-1b
- ★ H16-15
- H26-1a
- H26-1b
- H26-2
- ▲ 放流水

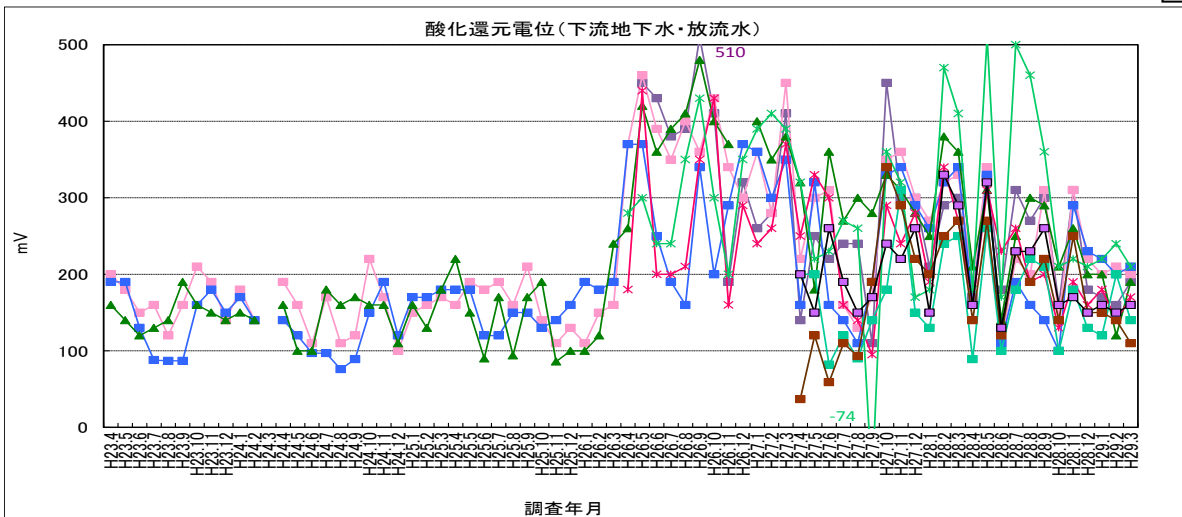


図 4-14 酸化還元電位

5 地中温度及び地下水位調査

5.1 地中温度調査

5.1.1 地中温度測定結果表

表 5-1 地中温度測定結果表 (H28 年 11 月 10 日)

Table with columns for location (区分, 地点名, 測定時刻, 管頭下 水位 (m)), depth (観測点の深度 (m) 1m-31m), and temperature data for 平成28年11月10日.

※ :15~20℃ :20~25℃ :25~30℃ :データなし
※水銀棒温度計・ガラス棒温度計(アルコール)と比較し、データを補正した(補正値:+1.3℃)。

表 5-2 地中温度測定結果表 (H27 年 11 月 19 日)

Table with columns for location (区分, 地点名, 測定時刻, 管頭下 水位 (m)), depth (観測点の深度 (m) 1m-31m), and temperature data for 平成27年11月19日.

※ :15~20℃ :20~25℃ :25~30℃ :データなし
※水銀計・ガラス温度計と比較し、データを補正した(補正値:+2.1℃)。

表 5-3 地中温度測定結果表 (H29 年 2 月 2 日)

Table with columns for location (区分, 地点名, 測定時刻, 管頭下 水位 (m)), depth (観測点の深度 (m) 1m-31m), and temperature data for 平成29年2月2日.

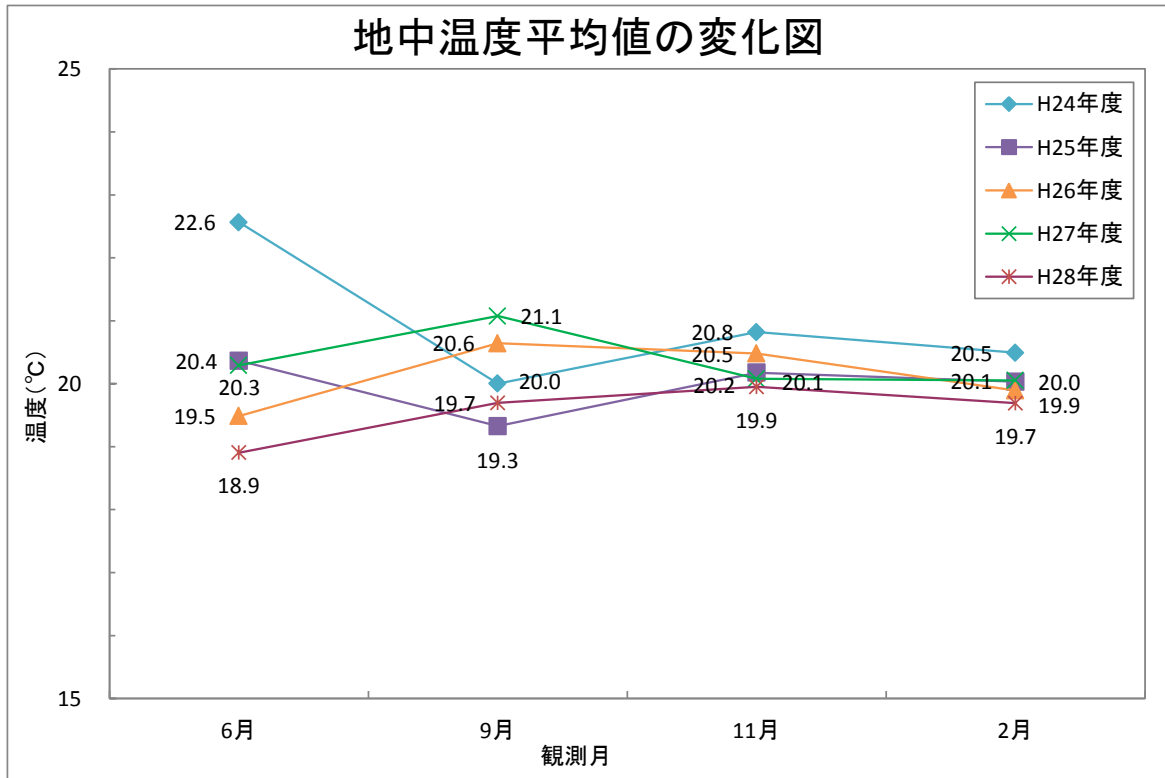
※ :15~20℃ :20~25℃ :25~30℃ :データなし
※水銀棒温度計・ガラス棒温度計(アルコール)と比較し、データを補正した(補正値:+1.2℃)。

表 5-4 地中温度測定結果表 (H28 年 2 月 18 日)

Table with columns for location (区分, 地点名, 測定時刻, 管頭下 水位 (m)), depth (観測点の深度 (m) 1m-31m), and temperature data for 平成28年2月18日.

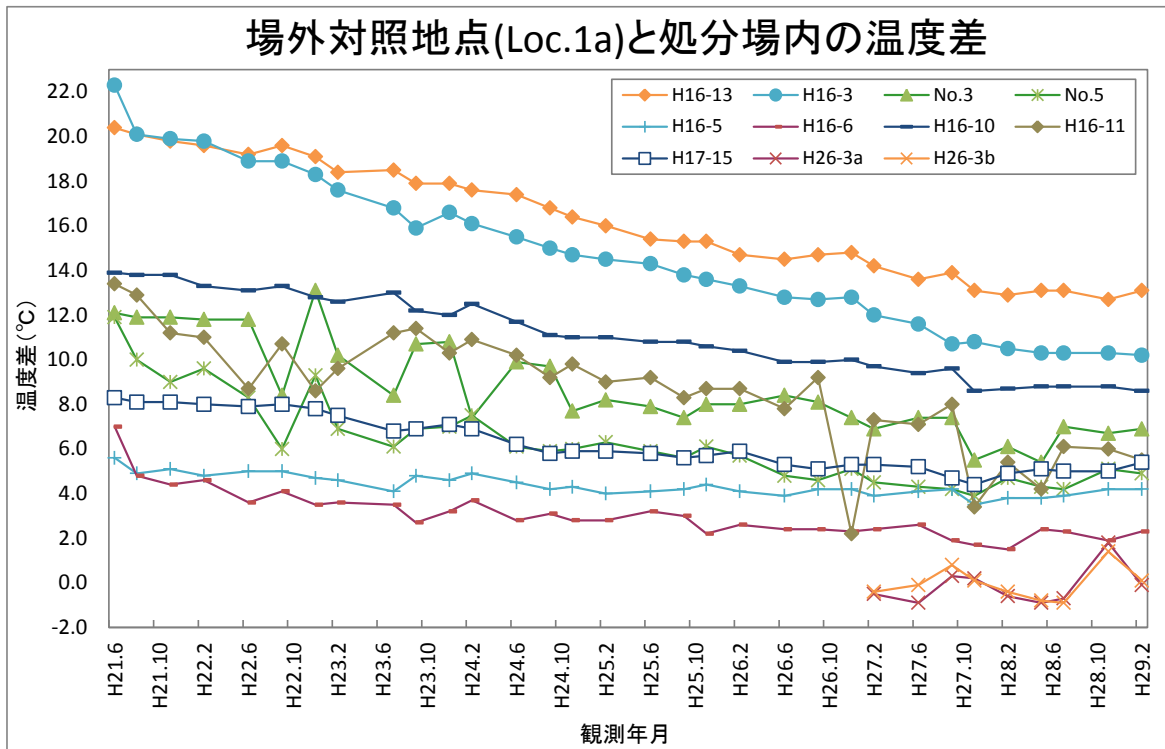
※ :15~20℃ :20~25℃ :25~30℃ :データなし
※水銀計・ガラス温度計(アルコール)と比較し、データを補正した(補正値:+1.7℃)。

5.1.2 地中温度平均值変化図



※ 処分場内で継続して観測を行っている全観測孔9地点（5m～最深部）の平均値

図 5-1 地中温度平均値の変化図



※ 処分場内観測孔の5m以下かつ水面以下の最高温度と対照地点の温度差

図 5-2 処分場内と場外対照地点（Loc.1a）との温度差の変化

5.1.3 地中温度測定結果図

(1) 廃棄物埋立区域外の地下水の地中温度変化図

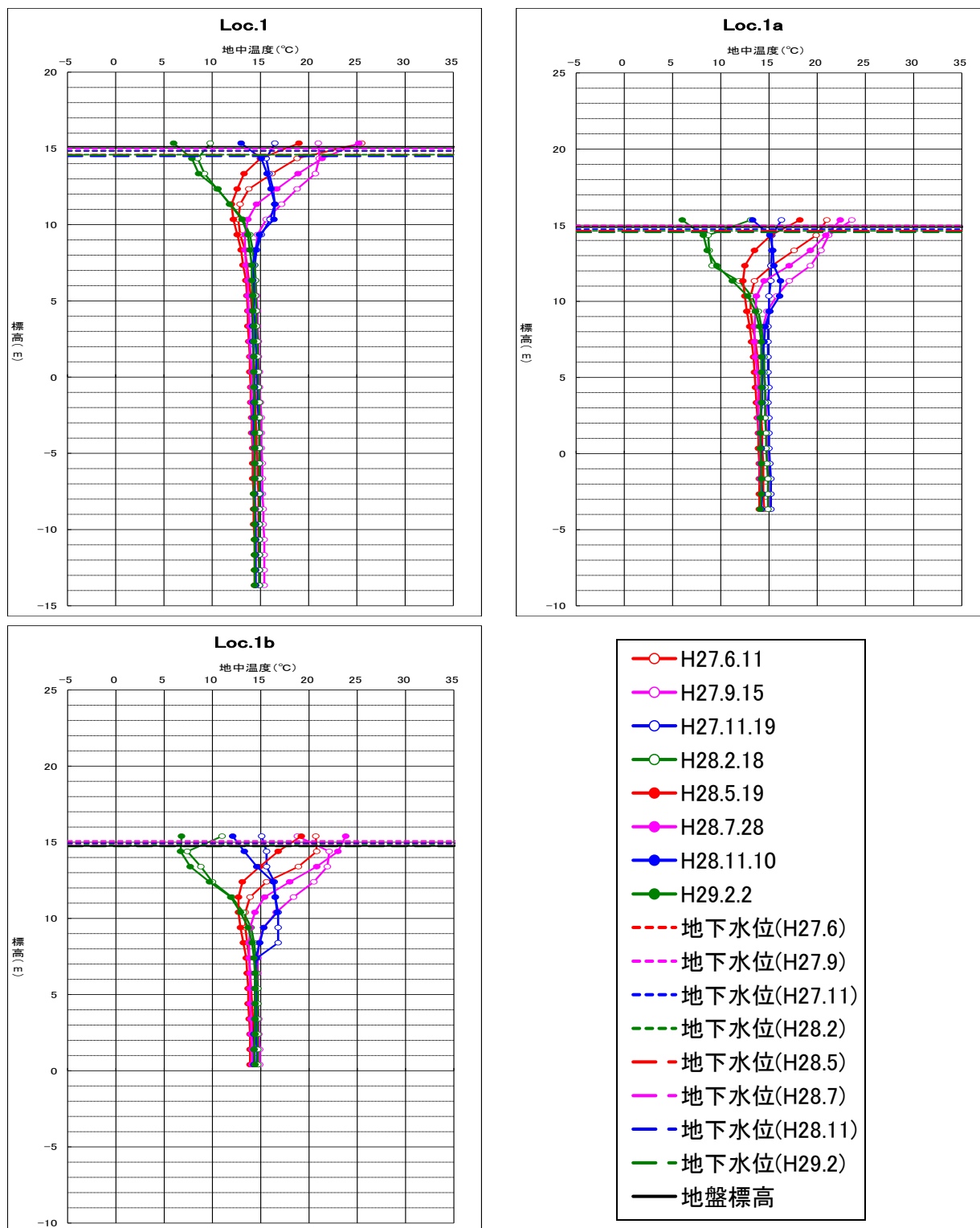


図 5-3 地中温度変化図 (地下水) ①

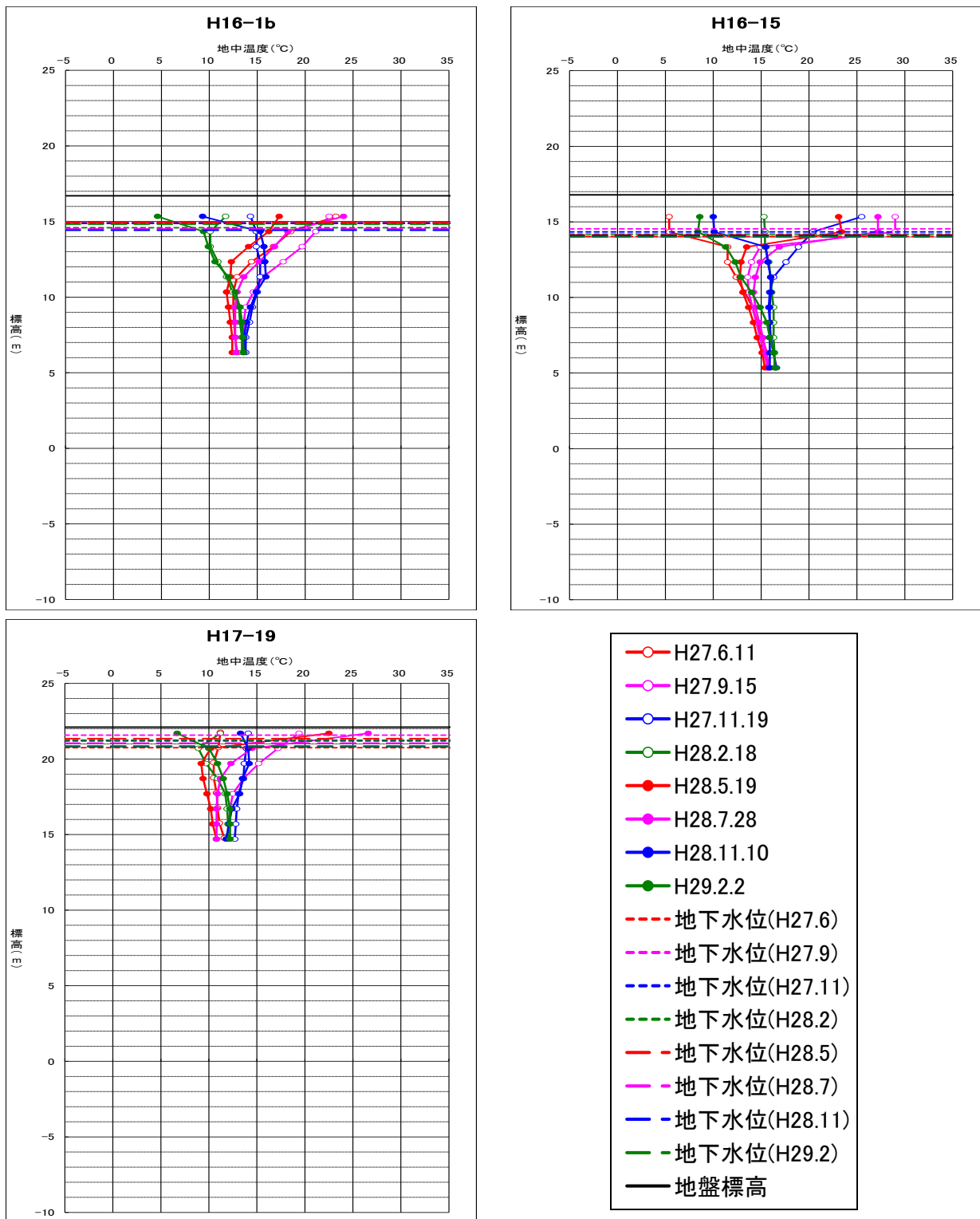


图 5-4 地中温度变化图 (地下水) ②

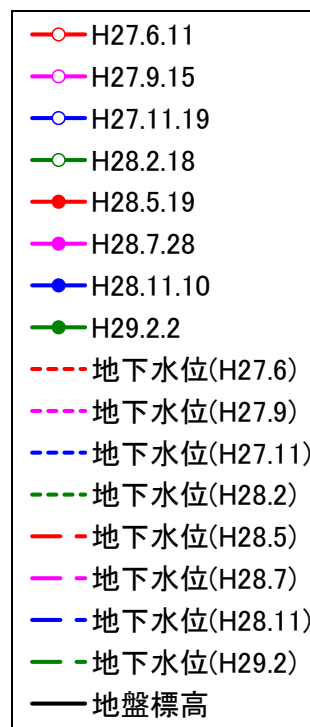
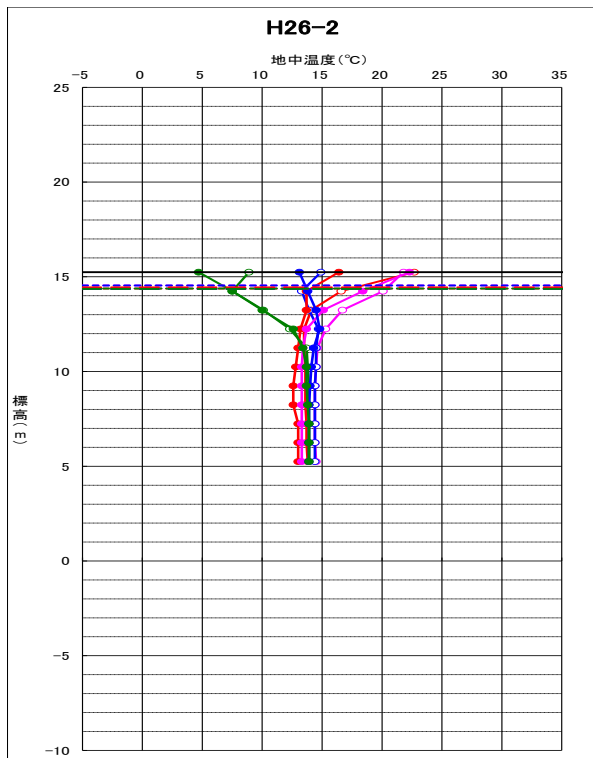
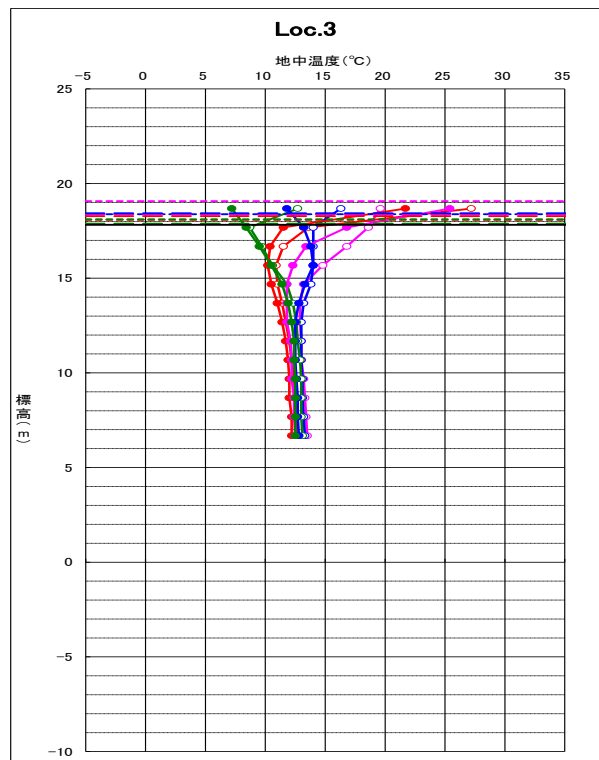
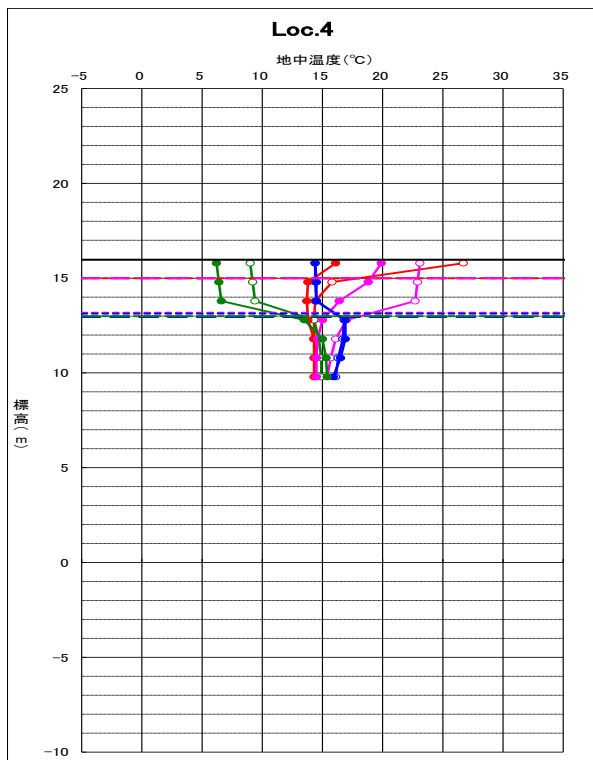


图 5-5 地中温度变化图 (地下水) ③

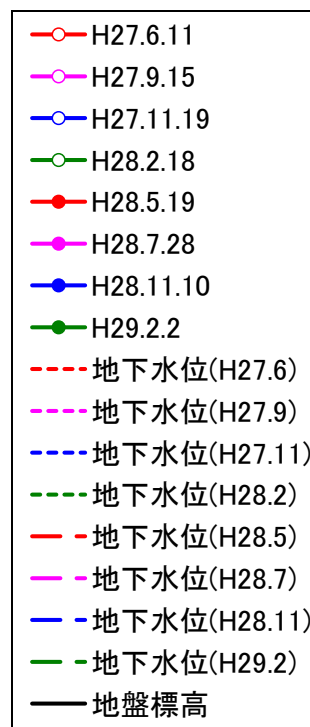
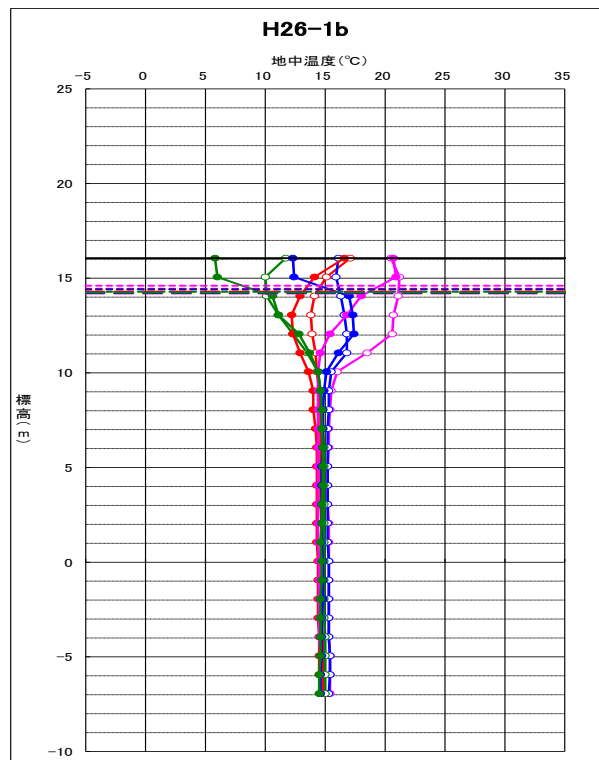
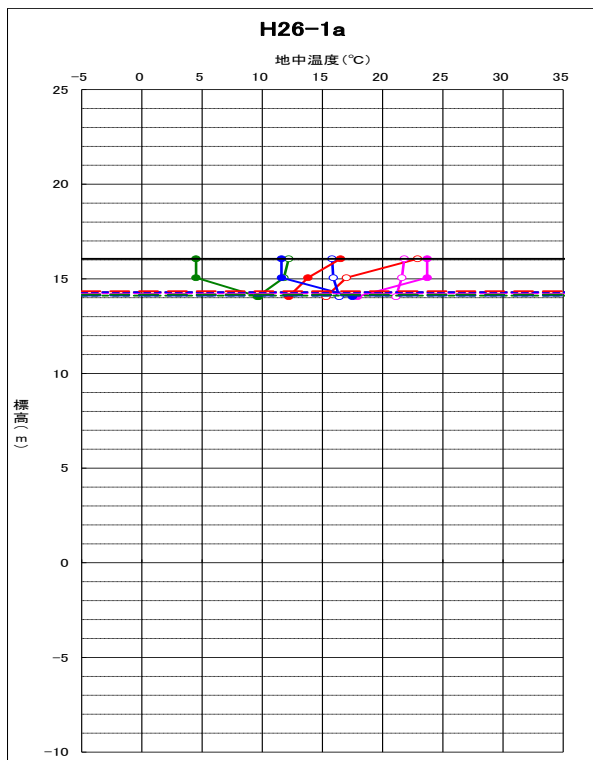


图 5-6 地中温度变化图 (地下水) ④

(2) 廃棄物埋立区域内の浸透水の地中温度変化図

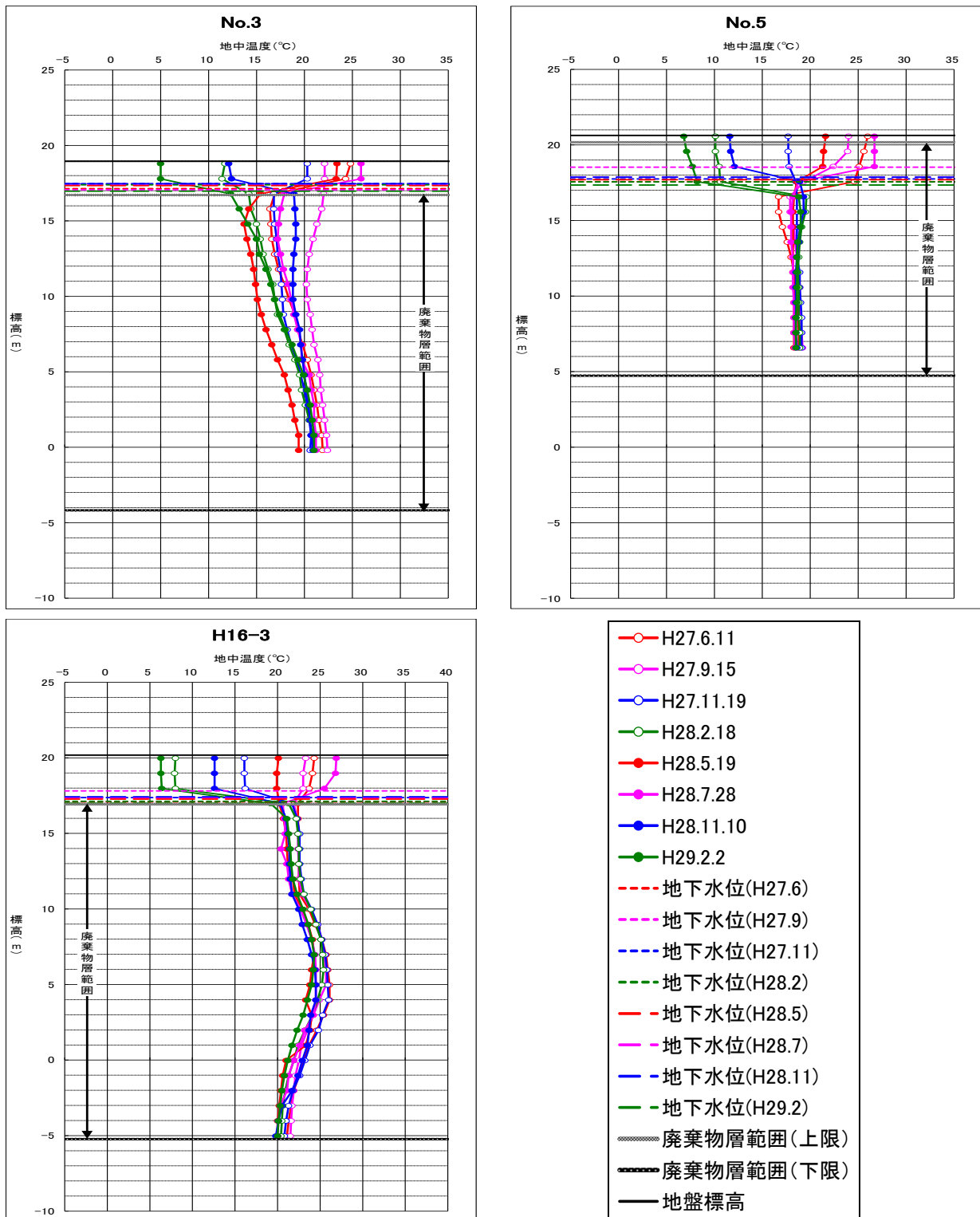


図 5-7 地中温度変化図 (浸透水) ①

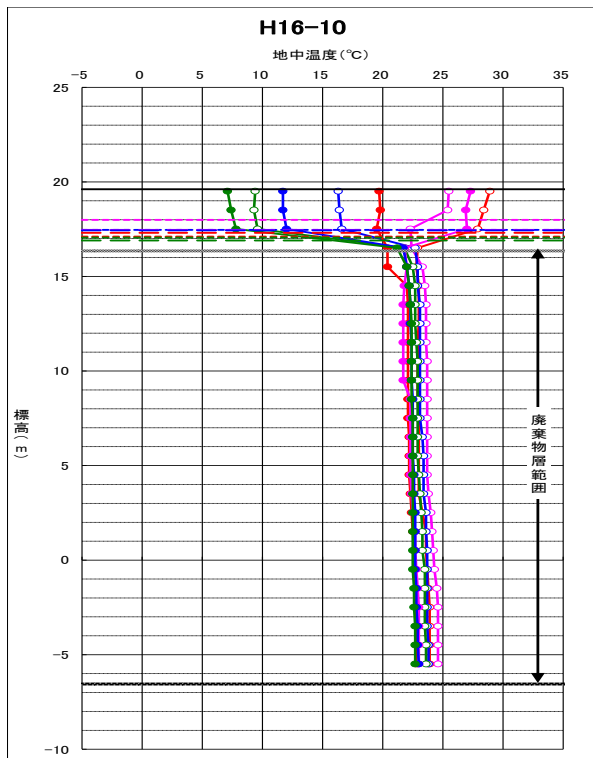
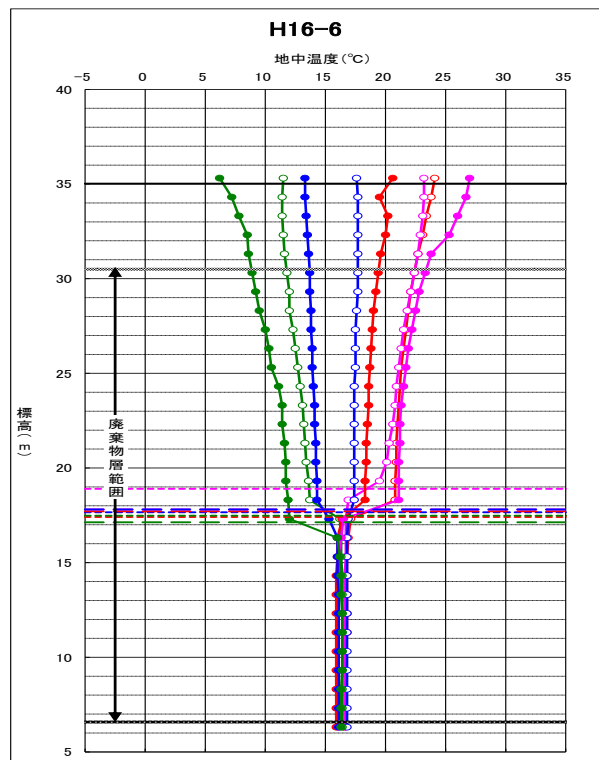
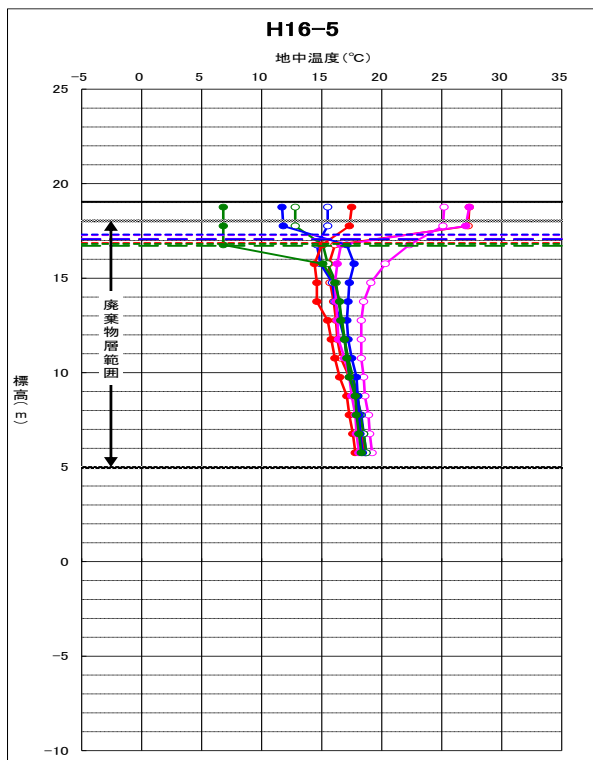
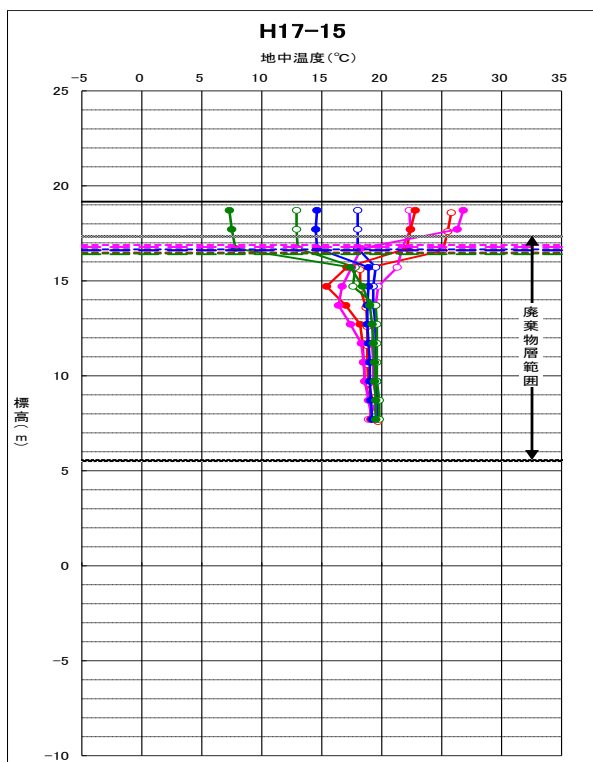
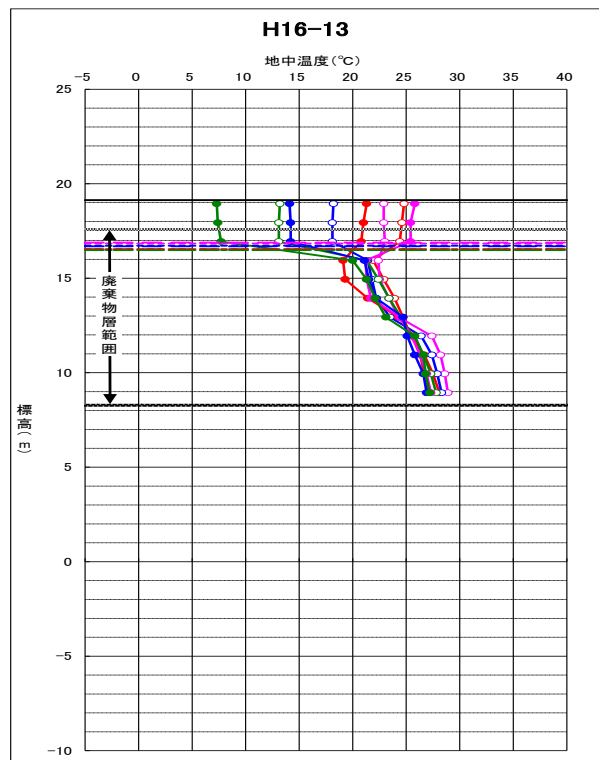
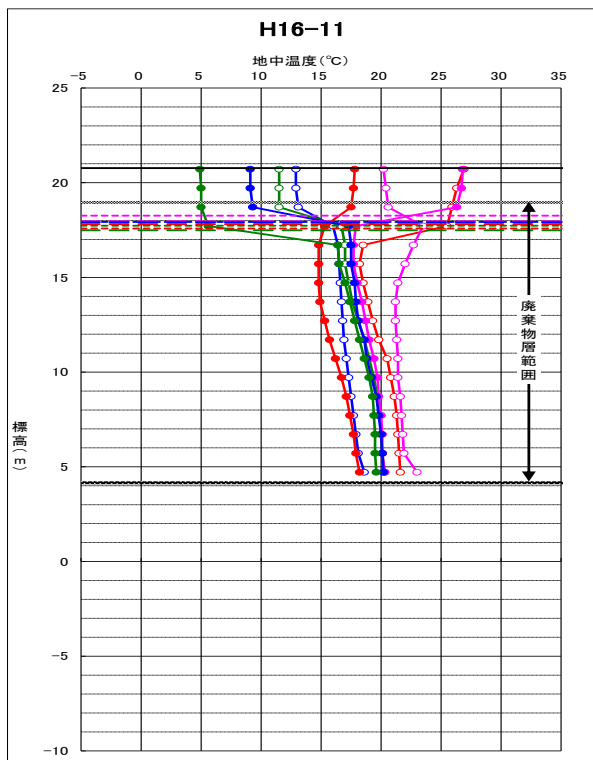
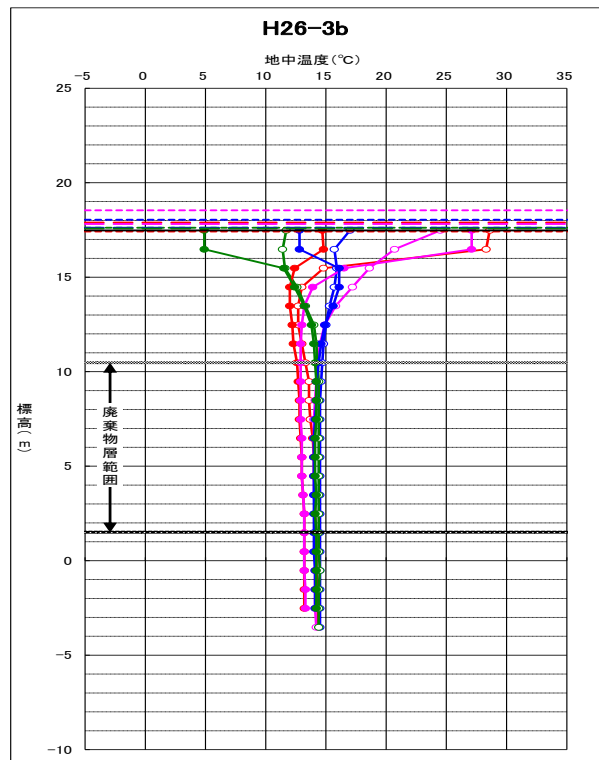
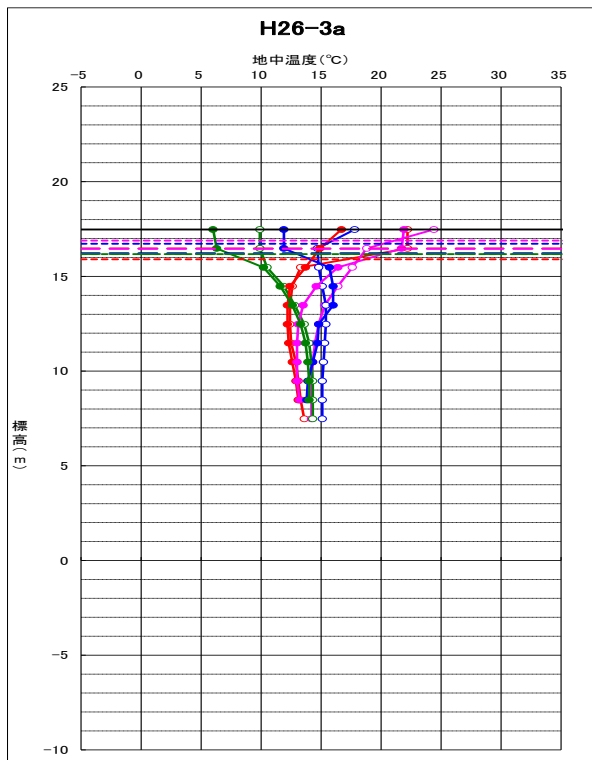


图 5-8 地中温度变化图 (浸透水) ②



- H27.6.11
- H27.9.15
- H27.11.19
- H28.2.18
- H28.5.19
- H28.7.28
- H28.11.10
- H29.2.2
- - - 地下水位(H27.6)
- - - 地下水位(H27.9)
- - - 地下水位(H27.11)
- - - 地下水位(H28.2)
- - - 地下水位(H28.5)
- - - 地下水位(H28.7)
- - - 地下水位(H28.11)
- - - 地下水位(H29.2)
- 廃棄物層範圍(上限)
- 廃棄物層範圍(下限)
- 地盤標高

图 5-9 地中温度变化图 (浸透水) ③



- H27.6.11
- H27.9.15
- H27.11.19
- H28.2.18
- H28.5.19
- H28.7.28
- H28.11.10
- H29.2.2
- - - 地下水位(H27.6)
- - - 地下水位(H27.9)
- - - 地下水位(H27.11)
- - - 地下水位(H28.2)
- - - 地下水位(H28.5)
- - - 地下水位(H28.7)
- - - 地下水位(H28.11)
- - - 地下水位(H29.2)
- ▨ 廃棄物層範圍(上限)
- ▨ 廃棄物層範圍(下限)
- 地盤標高

图 5-10 地中温度变化图 (浸透水) ④

5.2 地下水位調査

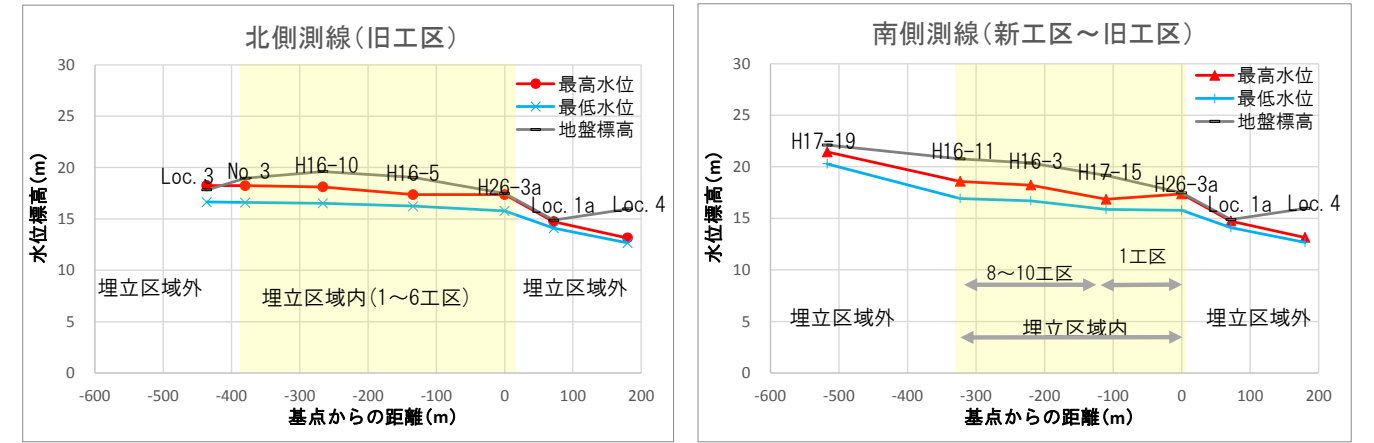
5.2.1 地下水位調査結果表

表 5-5 平成 28 年度下期の最高水位・最低水位の一覧（水位補正後）

区分	孔番	H25年度上期		H25年度下期		H26年度上期		H26年度下期		H27年度上期		H27年度下期		H28年度上期		H28年度下期			
		水位標高(m)	高低差(m)	水位標高(m)	高低差(m)	水位標高(m)	高低差(m)	水位標高(m)	高低差(m)	水位標高(m)	高低差(m)	水位標高(m)	高低差(m)	水位標高(m)	高低差(m)	水位標高(m)	高低差(m)		
廃棄物埋立区域外	上流	Loc.3	最高	17.79	18.01	18.15	17.86	18.40	18.33	18.32	18.25	18.25	18.32	18.25	18.32	18.25	18.32	18.25	18.32
			最低	16.44	16.74	17.00	16.86	17.86	17.86	16.99	16.92	16.64	16.64	16.92	16.64	16.92	16.64	16.92	16.64
	H17-19	最高	21.50	21.69	21.78	22.25	22.25	22.10	21.39	21.80	21.44	21.44	21.80	21.44	21.80	21.44	21.80	21.44	21.80
		最低	19.81	20.28	20.31	20.50	20.50	19.76	20.48	20.39	20.29	20.29	20.39	20.29	20.39	20.29	20.39	20.29	20.39
	Loc.1	最高	-	-	-	14.95	14.95	15.72	15.12	15.17	14.98	14.98	15.12	14.98	15.12	14.98	15.12	14.98	15.12
		最低	-	-	-	14.78	14.78	14.77	14.49	14.51	14.50	14.50	14.49	14.50	14.49	14.50	14.49	14.50	14.49
	Loc.1a	最高	15.13	15.00	15.25	14.97	15.63	15.63	14.90	15.06	14.74	14.74	15.06	14.74	15.06	14.74	15.06	14.74	15.06
		最低	14.41	14.46	14.59	14.38	14.48	14.48	14.26	14.19	14.11	14.11	14.26	14.11	14.26	14.11	14.26	14.11	14.26
	Loc.1b	最高	15.13	14.96	15.17	14.63	14.45	15.95	14.81	14.37	14.78	14.78	14.37	14.26	14.26	14.37	14.26	14.37	14.26
		最低	14.51	14.44	14.63	14.45	14.45	14.53	14.37	14.33	14.26	14.26	14.33	14.26	14.33	14.26	14.33	14.26	14.33
	Loc.4	最高	15.93	14.37	14.98	14.74	14.74	16.32	13.27	15.66	13.15	13.15	15.66	13.15	15.66	13.15	15.66	13.15	15.66
		最低	12.80	12.78	12.81	12.82	12.82	12.81	12.82	12.81	12.67	12.67	12.81	12.67	12.81	12.67	12.81	12.67	12.81
H16-15	最高	-	-	-	-	16.49	16.94	16.64	16.66	16.62	16.62	16.66	16.62	16.66	16.62	16.66	16.62	16.66	
	最低	-	-	-	-	16.37	16.11	16.00	15.92	16.01	16.01	15.92	16.01	15.92	16.01	15.92	16.01	15.92	
H26-1a	最高	-	-	-	15.30	14.81	17.23	15.18	16.10	15.03	15.03	16.10	15.03	16.10	15.03	16.10	15.03	16.10	
	最低	-	-	-	14.85	14.81	14.81	14.89	14.66	14.35	14.35	14.66	14.35	14.66	14.35	14.66	14.35	14.66	
H26-1b	最高	-	-	-	15.44	15.21	16.59	15.56	15.74	15.41	15.41	15.74	15.41	15.74	15.41	15.74	15.41	15.74	
	最低	-	-	-	15.22	15.21	15.21	14.98	14.98	14.97	14.97	14.98	14.97	14.98	14.97	14.98	14.97	14.98	
H26-2	最高	-	-	-	14.21	13.93	16.53	2.37	14.49	14.34	14.34	14.49	14.34	14.49	14.34	14.49	14.34	14.49	
	最低	-	-	-	14.21	13.93	14.16	14.16	14.16	14.16	14.16	14.16	14.16	14.16	14.16	14.16	14.16	14.16	
廃棄物埋立区域内	上流	No.3	最高	17.71	17.90	18.00	17.73	18.20	18.23	18.18	18.24	18.24	18.23	18.18	18.24	18.23	18.18	18.24	18.23
			最低	16.42	16.45	16.91	16.60	16.76	16.76	16.75	16.66	16.60	16.60	16.66	16.60	16.66	16.60	16.66	16.60
	H16-6	最高	17.73	18.01	18.20	17.80	18.80	18.37	18.37	18.46	18.46	18.46	18.37	18.46	18.37	18.46	18.37	18.46	18.37
		最低	16.25	16.52	17.01	16.70	16.70	16.70	16.70	16.66	16.66	16.66	16.66	16.66	16.66	16.66	16.66	16.66	16.66
	H16-11	最高	18.04	18.24	18.32	18.09	18.49	18.49	18.59	18.48	18.58	18.58	18.48	18.58	18.48	18.58	18.48	18.58	18.48
		最低	16.75	16.98	17.38	17.14	17.16	17.16	17.23	17.15	17.15	17.15	17.15	17.15	17.15	17.15	17.15	17.15	17.15
	H16-10	最高	17.67	17.82	17.91	17.67	18.09	18.09	18.13	18.05	18.12	18.12	18.05	18.12	18.05	18.12	18.05	18.12	18.05
		最低	16.38	16.53	16.98	16.66	16.72	16.72	16.69	16.58	16.52	16.52	16.58	16.52	16.58	16.52	16.58	16.52	16.58
	No.5	最高	17.82	18.14	18.31	18.04	18.55	18.55	18.27	18.45	18.31	18.31	18.27	18.45	18.31	18.31	18.27	18.45	18.31
		最低	16.10	16.66	16.76	16.64	16.80	16.80	16.82	16.77	16.76	16.76	16.77	16.76	16.77	16.76	16.77	16.76	16.77
	H16-3	最高	17.57	17.89	17.96	17.73	18.14	18.27	18.27	18.17	18.22	18.22	18.17	18.22	18.17	18.22	18.17	18.22	18.17
		最低	16.51	16.74	16.97	16.83	16.86	16.86	16.87	16.86	16.71	16.71	16.86	16.71	16.86	16.71	16.86	16.71	16.86
H16-13	最高	16.91	16.90	16.90	16.82	17.03	17.19	17.19	16.88	17.38	17.38	16.88	17.38	16.88	17.38	16.88	17.38	16.88	
	最低	15.95	16.07	16.32	16.13	16.16	16.16	16.05	15.95	15.82	15.82	15.95	15.82	15.95	15.82	15.95	15.82	15.95	
下流	H16-5	最高	17.16	17.26	17.28	17.23	17.33	17.33	17.37	17.36	17.36	17.37	17.36	17.37	17.36	17.37	17.36	17.37	
		最低	16.08	16.25	16.56	16.37	16.50	16.50	16.38	16.38	16.25	16.25	16.38	16.25	16.38	16.25	16.38	16.25	
H17-15	最高	16.14	16.70	16.73	16.74	16.74	16.80	16.75	16.76	16.85	16.85	16.75	16.76	16.85	16.75	16.76	16.85	16.75	
	最低	15.84	15.88	16.10	16.02	16.02	16.04	16.03	16.20	15.88	15.88	16.03	15.88	16.03	15.88	16.03	15.88	16.03	
H26-3a	最高	-	-	-	16.93	17.93	17.93	17.37	17.70	17.36	17.36	17.70	17.36	17.70	17.36	17.70	17.36	17.70	
	最低	-	-	-	16.29	15.71	15.71	15.62	15.69	15.79	15.79	15.62	15.69	15.79	15.62	15.69	15.79	15.62	
H26-3b	最高	-	-	-	17.37	17.91	17.91	17.21	17.62	17.26	17.26	17.62	17.26	17.62	17.26	17.62	17.26	17.62	
	最低	-	-	-	16.52	15.74	15.74	15.70	15.70	15.67	15.67	15.70	15.67	15.70	15.67	15.70	15.67	15.70	

※ 上流：最高水位 下流：最低水位
 ※ H16-3は平成25年10月1日～10月4日のデータが計器故障のため欠測

H28年度下期



※ 高さ方向については20倍とし、標高差を強調している。

※ H28 下期のそれぞれの地点での最高水位・最低水位をグラフ化しているため、同一時間ではない。

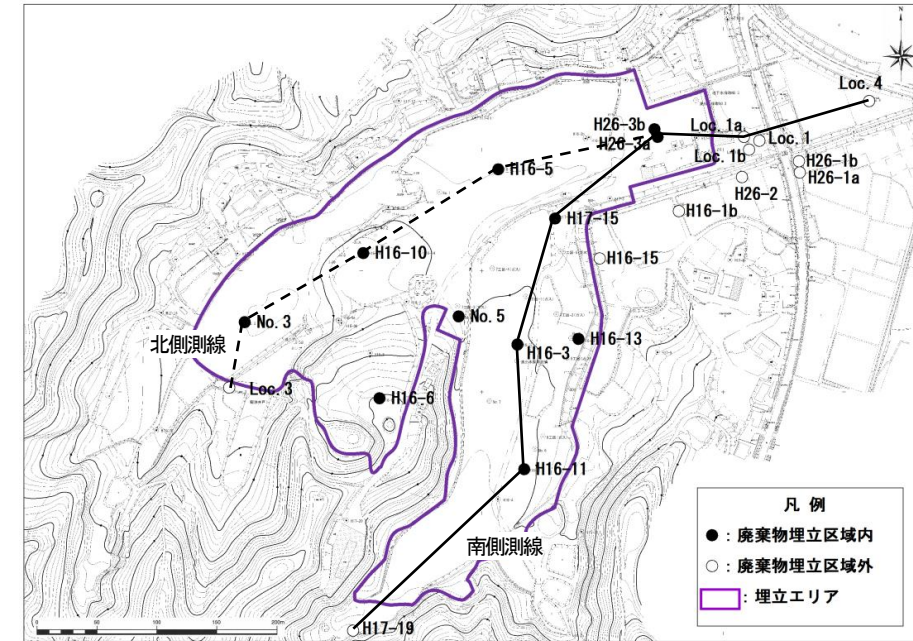
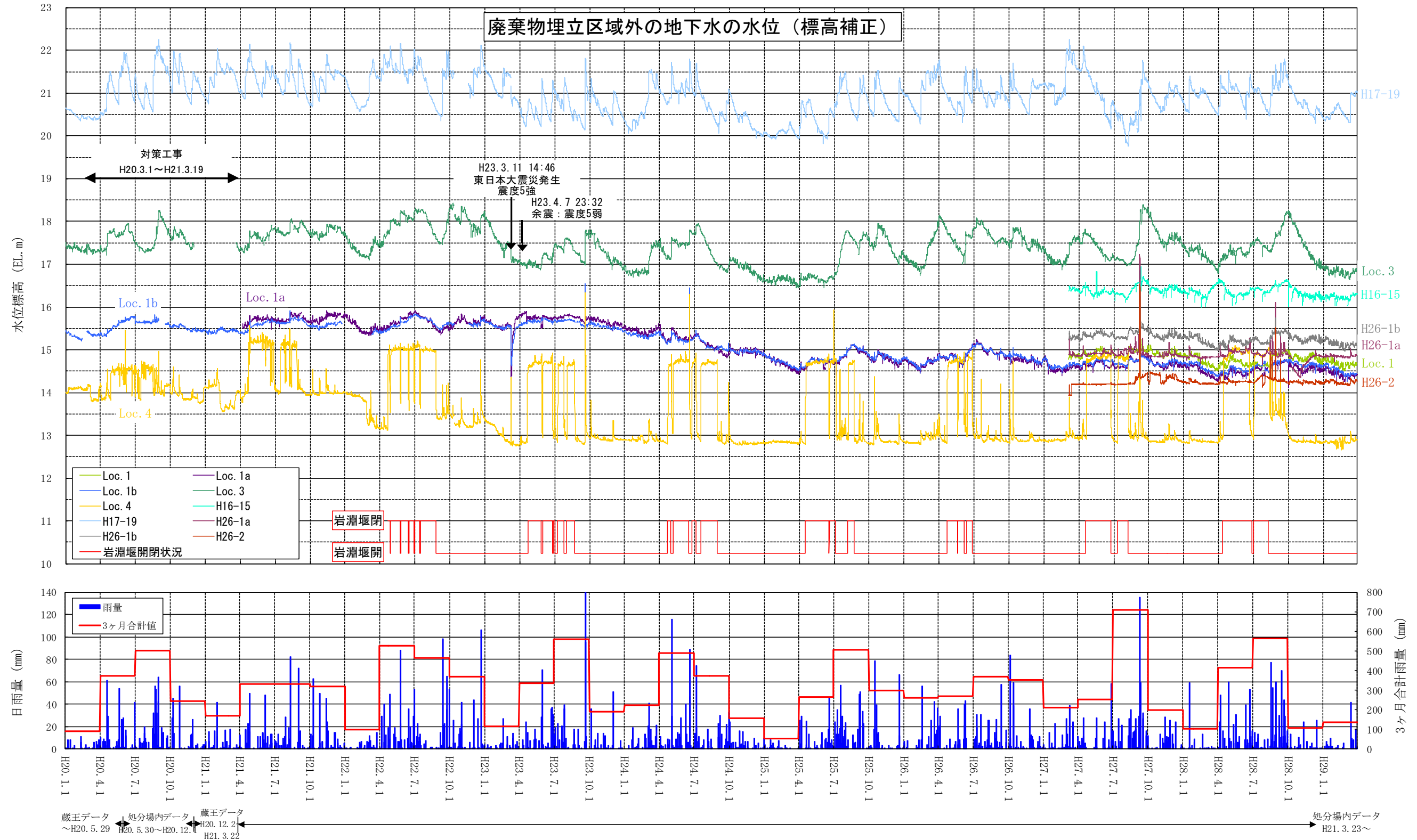


図 5-11 平成 28 年度下期の上流側～下流側にかけての水位標高変化

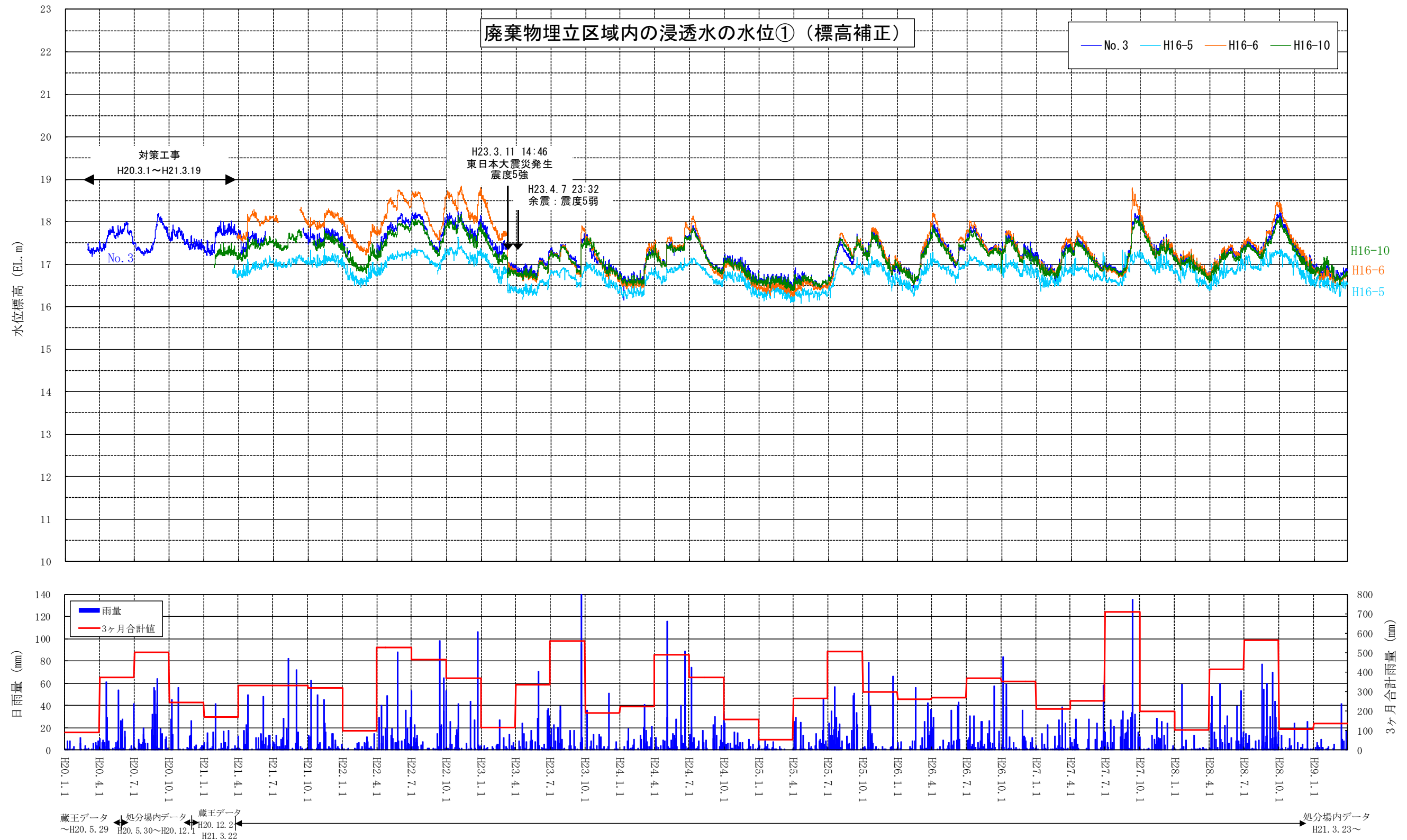
5.2.2 廃棄物埋立区域外の地下水の水位図



※岩淵堰の開閉については、H21年度より記載。□
 ※平成23年3月の発生ガス等調査に関しては、震災の影響により未実施。

図 5-12 地下水位経時変化図（廃棄物埋立区域外の地下水の水位）

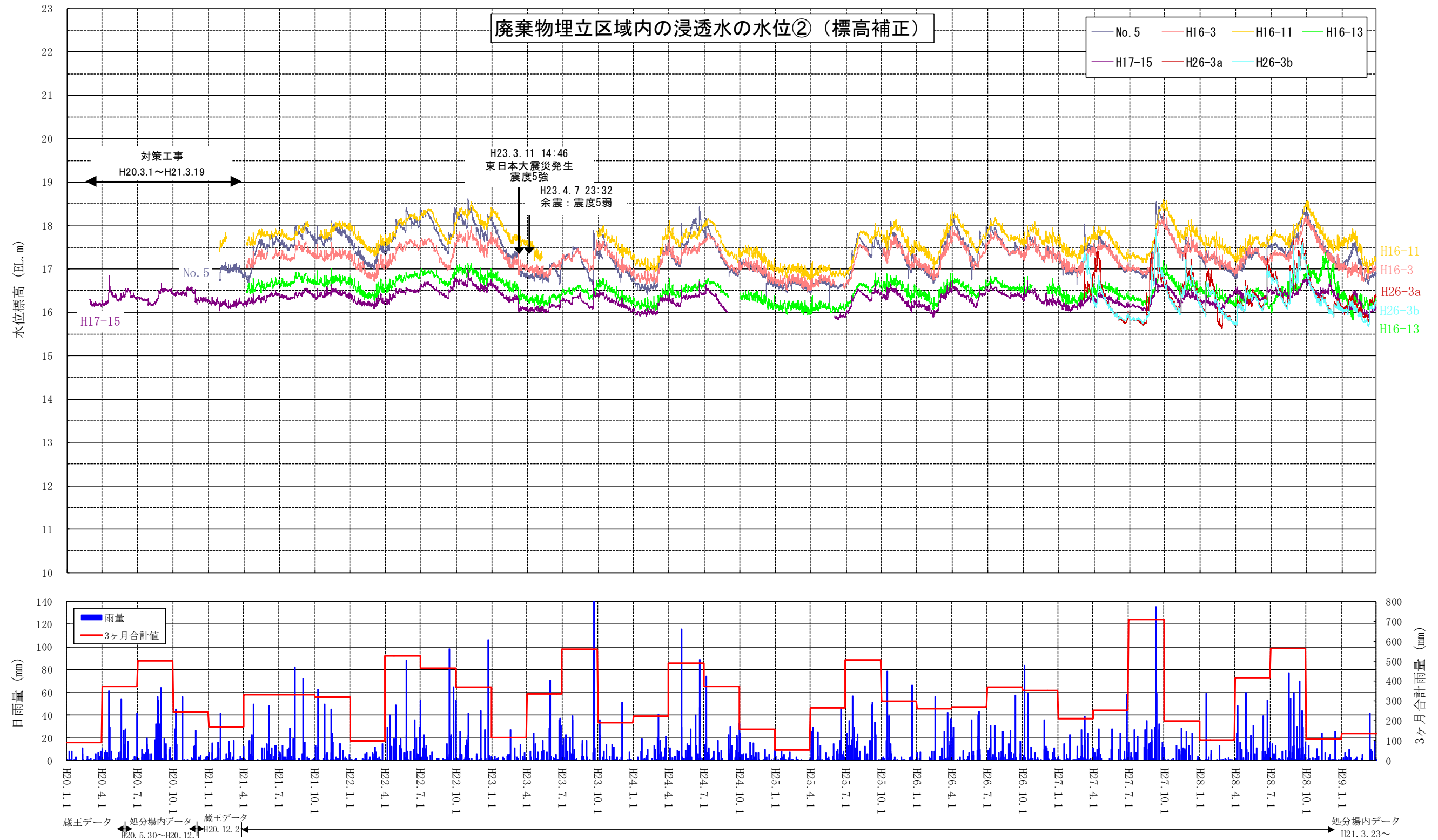
5.2.3 廃棄物埋立区域内の浸透水の水位図①



※平成23年3月の発生ガス等調査に関しては、震災の影響により未実施。

図 5-13 地下水位経時変化図 (廃棄物埋立区域内の浸透水の水位①)

5.2.4 廃棄物埋立区域内の浸透水の水位図②



※平成23年3月の発生ガス等調査に関しては、震災の影響により未実施。

図 5-14 地下水位経時変化図 (廃棄物埋立区域内の浸透水の水位②)

※H16-13 平成 26 年 10 月 26 日~12 月 4 日は機器故障のため欠測

5.2.5 日降雨量一覧表

表 5-6 日降雨量一覧表 (H28 年 10 月~H29 年 3 月)

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
観測月日	降雨量(mm)	観測月日	降雨量(mm)	観測月日	降雨量(mm)	観測月日	降雨量(mm)	観測月日	降雨量(mm)	観測月日	降雨量(mm)
10月1日	0	11月1日	4	12月1日	5.5	1月1日	0	2月1日	0	3月1日	0
10月2日	0	11月2日	0	12月2日	0	1月2日	0	2月2日	0.5	3月2日	0
10月3日	0	11月3日	0	12月3日	0	1月3日	0	2月3日	0	3月3日	0
10月4日	0	11月4日	0	12月4日	0	1月4日	2.5	2月4日	0	3月4日	0
10月5日	0	11月5日	0	12月5日	0	1月5日	0.5	2月5日	0.5	3月5日	0
10月6日	1	11月6日	0	12月6日	0.5	1月6日	0	2月6日	1.5	3月6日	0
10月7日	0	11月7日	0	12月7日	0	1月7日	0	2月7日	3	3月7日	0
10月8日	13	11月8日	0	12月8日	0.5	1月8日	3.5	2月8日	3	3月8日	0
10月9日	2	11月9日	0	12月9日	0	1月9日	6.5	2月9日	0	3月9日	0
10月10日	0	11月10日	0	12月10日	0	1月10日	0.5	2月10日	0	3月10日	0
10月11日	0	11月11日	24	12月11日	0.5	1月11日	1	2月11日	0	3月11日	0
10月12日	0	11月12日	0	12月12日	0	1月12日	4	2月12日	0	3月12日	0
10月13日	0	11月13日	0	12月13日	0.5	1月13日	2.5	2月13日	0	3月13日	0
10月14日	0	11月14日	0	12月14日	25.5	1月14日	0	2月14日	0	3月14日	42
10月15日	0	11月15日	0	12月15日	0	1月15日	0.5	2月15日	0	3月15日	9.5
10月16日	0	11月16日	0	12月16日	0	1月16日	2.5	2月16日	0	3月16日	0
10月17日	2.5	11月17日	0	12月17日	1	1月17日	0	2月17日	0	3月17日	0
10月18日	0	11月18日	0	12月18日	0	1月18日	0	2月18日	0	3月18日	0
10月19日	0	11月19日	7	12月19日	0	1月19日	0	2月19日	0	3月19日	0
10月20日	0	11月20日	0	12月20日	0	1月20日	10	2月20日	0	3月20日	0
10月21日	0	11月21日	0	12月21日	0	1月21日	2.5	2月21日	1.5	3月21日	8.5
10月22日	0	11月22日	0	12月22日	0	1月22日	0	2月22日	0	3月22日	0
10月23日	0	11月23日	0	12月23日	1	1月23日	2.5	2月23日	5	3月23日	0
10月24日	0	11月24日	0	12月24日	0	1月24日	1.5	2月24日	0	3月24日	0
10月25日	2	11月25日	0	12月25日	0	1月25日	0	2月25日	0	3月25日	0
10月26日	0	11月26日	0	12月26日	0	1月26日	0	2月26日	0	3月26日	1.5
10月27日	0	11月27日	2.5	12月27日	0.5	1月27日	0	2月27日	0	3月27日	18
10月28日	10.5	11月28日	1	12月28日	0	1月28日	0	2月28日	0	3月28日	1
10月29日	3.5	11月29日	0	12月29日	0	1月29日	0			3月29日	0
10月30日	0	11月30日	0	12月30日	0	1月30日	0			3月30日	0
10月31日	0			12月31日	0	1月31日	0			3月31日	0.5

※降雨量は、処分場内観測地点の一日の総雨量を指す。

6 バイオモニタリング調査

6.1 バイオモニタリング調査結果



図 6-1 バイオモニタリング (AOD 試験) 位置図

表 6-1 バイオモニタリング結果表

採取日	AOD 値 (%)	
	荒川上流	荒川下流
平成 28 年 11 月 9 日	600	520
平成 29 年 2 月 1 日	410	720

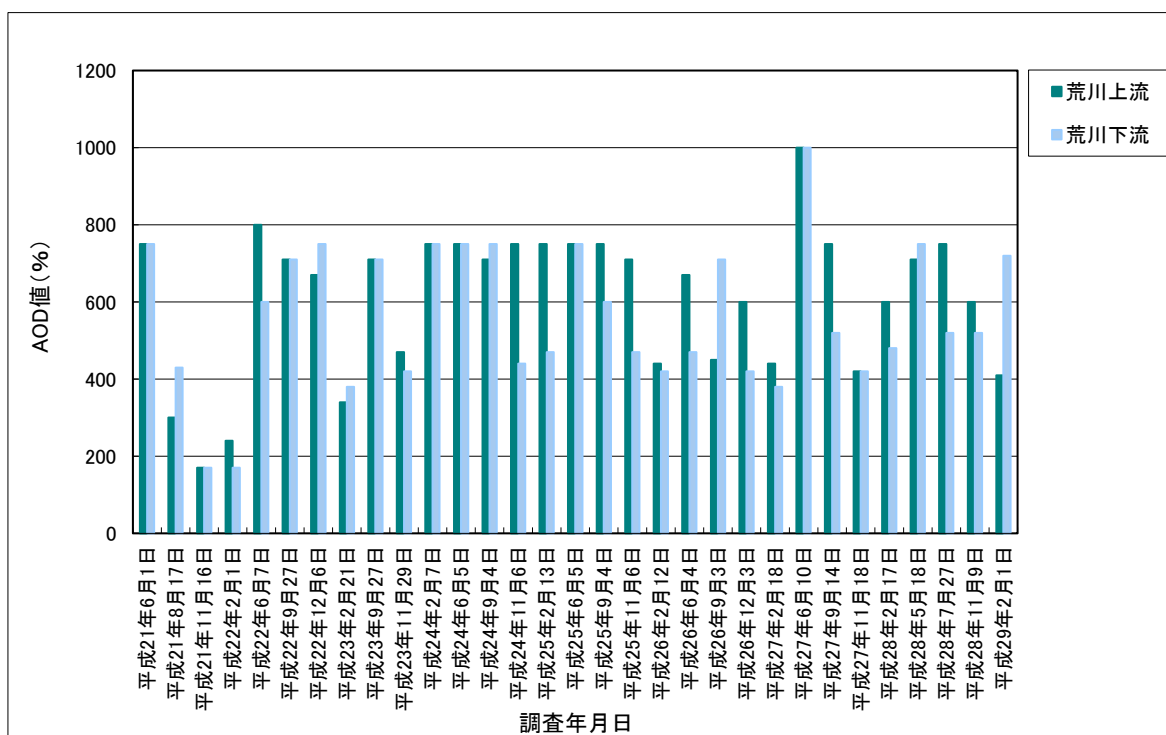


図 6-2 バイオモニタリング調査結果

■ 最終処分場の廃止基準項目等とその経年変化（～平成 29 年 3 月）

1 廃棄物処理法による最終処分場の廃止基準及び達成状況

1.1 最終処分場の廃止基準及び達成状況一覧表

表ア 廃棄物処理法による最終処分場の廃止基準及び達成状況

廃止基準項目	処分場において実施している調査	達成状況	廃止基準達成状況
最終処分場の外に悪臭が発散しないように必要な措置が講じられていること。	<u>硫化水素連続調査（24 時間）</u> 処分場敷地境界及び村田第二中学校において硫化水素による悪臭の影響を確認	○	<ul style="list-style-type: none"> 覆土整形（一部多機能性覆土）を実施。 平成 21 年 4 月以降 0.02ppm 以上の硫化水素濃度は測定されていない。
火災の発生を防止するために必要な措置が講じられていること。		○	<ul style="list-style-type: none"> 覆土，ガス抜き管を設置。 火災発生なし。
ねずみが生息し，はえその他の害虫が発生しないように必要な措置が講じられていること。		○	<ul style="list-style-type: none"> 覆土実施。 衛生害虫の異常発生等なし。
地下水等の水質検査の結果，次のいずれにも該当していないこと。ただし，水質の悪化が認められない場合においてはこの限りでない。 イ) 現に地下水質が基準に適合していないこと ロ) 検査結果の傾向に照らし，基準に適合しなくなるおそれがあること	<u>地下水水質調査（年 4 回）</u> 地下水汚染又はそのおそれを把握するため上流地下水，下流地下水において，鉛，砒素，BOD 等を確認	○	<ul style="list-style-type: none"> 下流側観測井戸 H26-1a、H26-2 のダイオキシン*を除き地下水等検査項目基準に適合しており，上昇傾向も認められない。 *同族体組成割合から発生源は農薬であると考えられる。
埋立地からガスの発生がほとんど認められない，又はガスの発生量の増加が 2 年以上にわたり認められないこと。	<u>発生ガス等調査（月 1 回）</u> 処分場内の発生ガスの状況を把握するため観測井戸における硫化水素濃度，メタン濃度等を確認	△	<ul style="list-style-type: none"> 一部の観測井戸でガスの発生量の変動が見られる。
埋立地の内部が周辺の地中温度に比して異常な高温になっていない*こと。 *異常な高温になっていないとは，埋立地の内部と周辺の地中の温度の差が摂氏 20℃未満である状態をいう。	<u>地中温度調査（年 4 回）</u> 廃棄物の分解による地中温度変化を把握するため，観測井戸において鉛直方向 1m 毎の温度を確認	△	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の対照地点との差が小さくなっていく傾向にある（H28 年度下期は最大で温度差 13.1℃）。
おおむね 50cm 以上の覆いにより開口部が閉鎖されていること。		○	<ul style="list-style-type: none"> 50cm 以上の覆土により開口部は閉鎖されている。
現に生活環境保全上の支障が生じていないこと。		○	<ul style="list-style-type: none"> 環境モニタリングの結果から生活環境保全上の支障は生じていない。
地滑り，沈下防止工，雨水等排出設備について，構造基準に適合していないと認められないこと。		○	<ul style="list-style-type: none"> 雨水排水溝を整備
浸透水の水質が次の要件を満たすこと。 ・ 地下水等検査項目：基準に適合 ・ BOD：20mg/L 以下	<u>浸透水水質調査（年 4 回，ダイオキシンは年 2 回）</u> 浸透水の汚染状況を把握するため，処分場内浸透水の砒素，1,4-ジオキサン，BOD 等を確認	×	<ul style="list-style-type: none"> 砒素，1,4-ジオキサン，BOD が地下水等検査項目基準超過（ほう素，ふっ素が地下水環境基準超過，ダイオキシン類が環境基準超過）

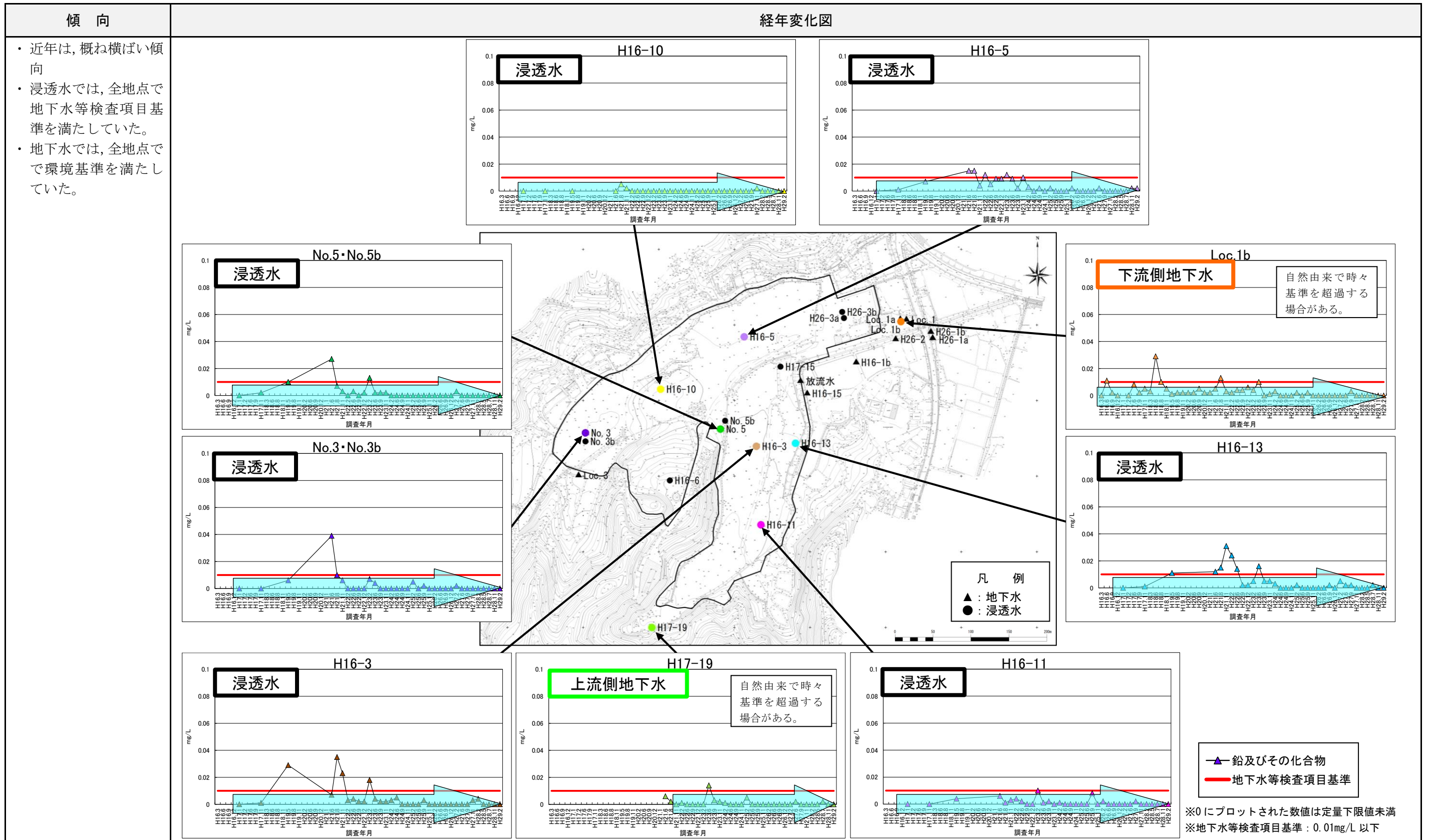
1.2 廃棄物処理法基準及び地下水環境基準一覧表

表イ 廃棄物処理法における地下水等検査項目基準及び地下水環境基準

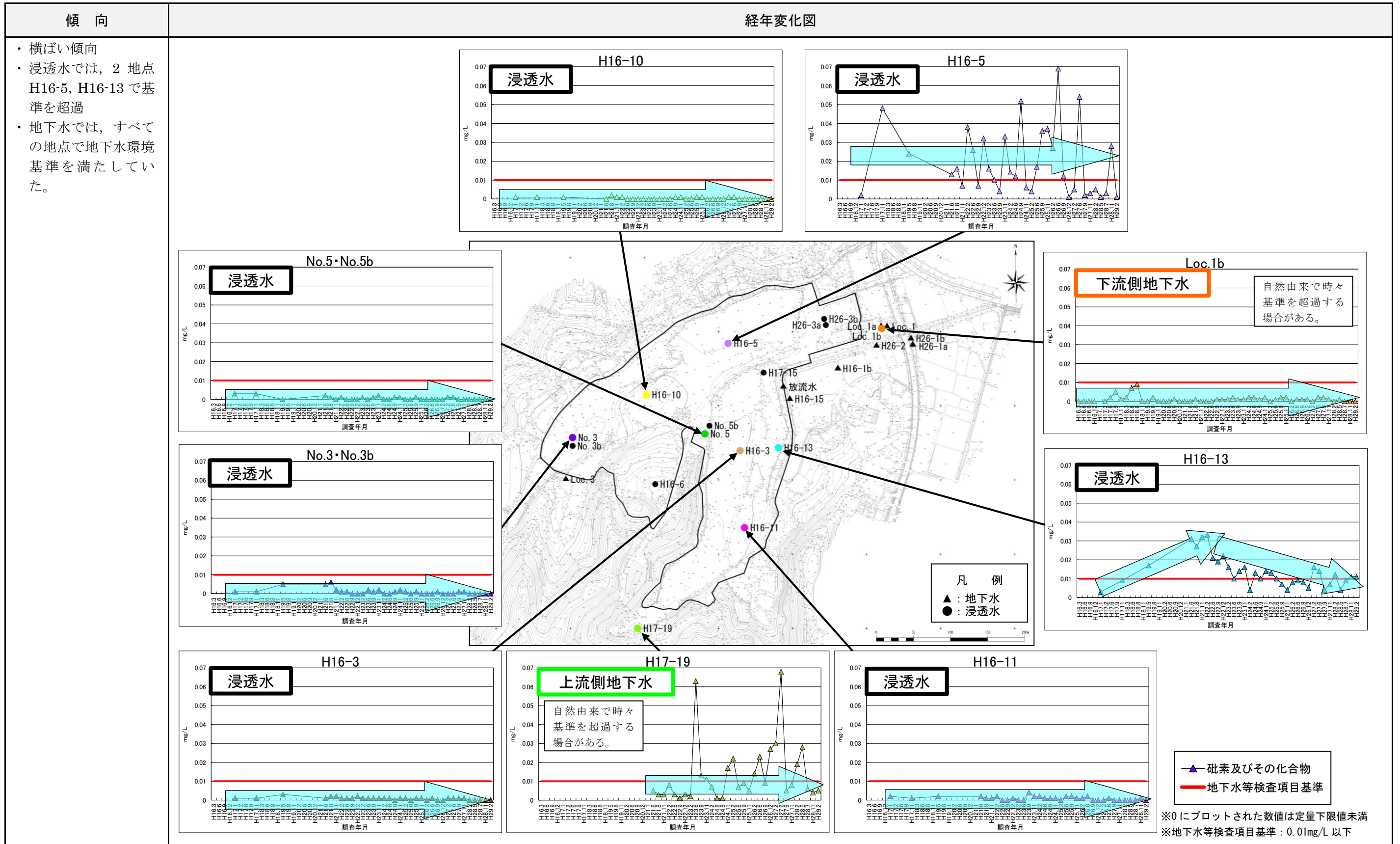
項目	廃棄物処理法基準	地下水環境基準
アルキル水銀	不検出	
総水銀	0.0005mg/L 以下	
カドミウム	0.003mg/L 以下	
鉛	0.01mg/L 以下	
六価クロム	0.05mg/L 以下	
砒素	0.01mg/L 以下	
全シアン	不検出	
PCB	不検出	
トリクロロエチレン	0.01mg/L 以下	
テトラクロロエチレン	0.01mg/L 以下	
ジクロロメタン	0.02mg/L 以下	
四塩化炭素	0.002mg/L 以下	
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L 以下	
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L 以下	
1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L 以下	
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L 以下	
チウラム	0.006mg/L 以下	
シマジン	0.003mg/L 以下	
チオベンカルブ	0.02mg/L 以下	
ベンゼン	0.01mg/L 以下	
セレン	0.01mg/L 以下	
1,4-ジオキサン	0.05mg/L 以下	
塩化ビニルモノマー	0.002mg/L 以下	
BOD	20mg/L 以下	—
ほう素	—	1mg/L 以下
ふっ素	—	0.8mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	—	10mg/L 以下
ダイオキシン類	—	1pg-TEQ/L 以下

2 廃棄物処理法による最終処分場の廃止基準項目等の経年変化

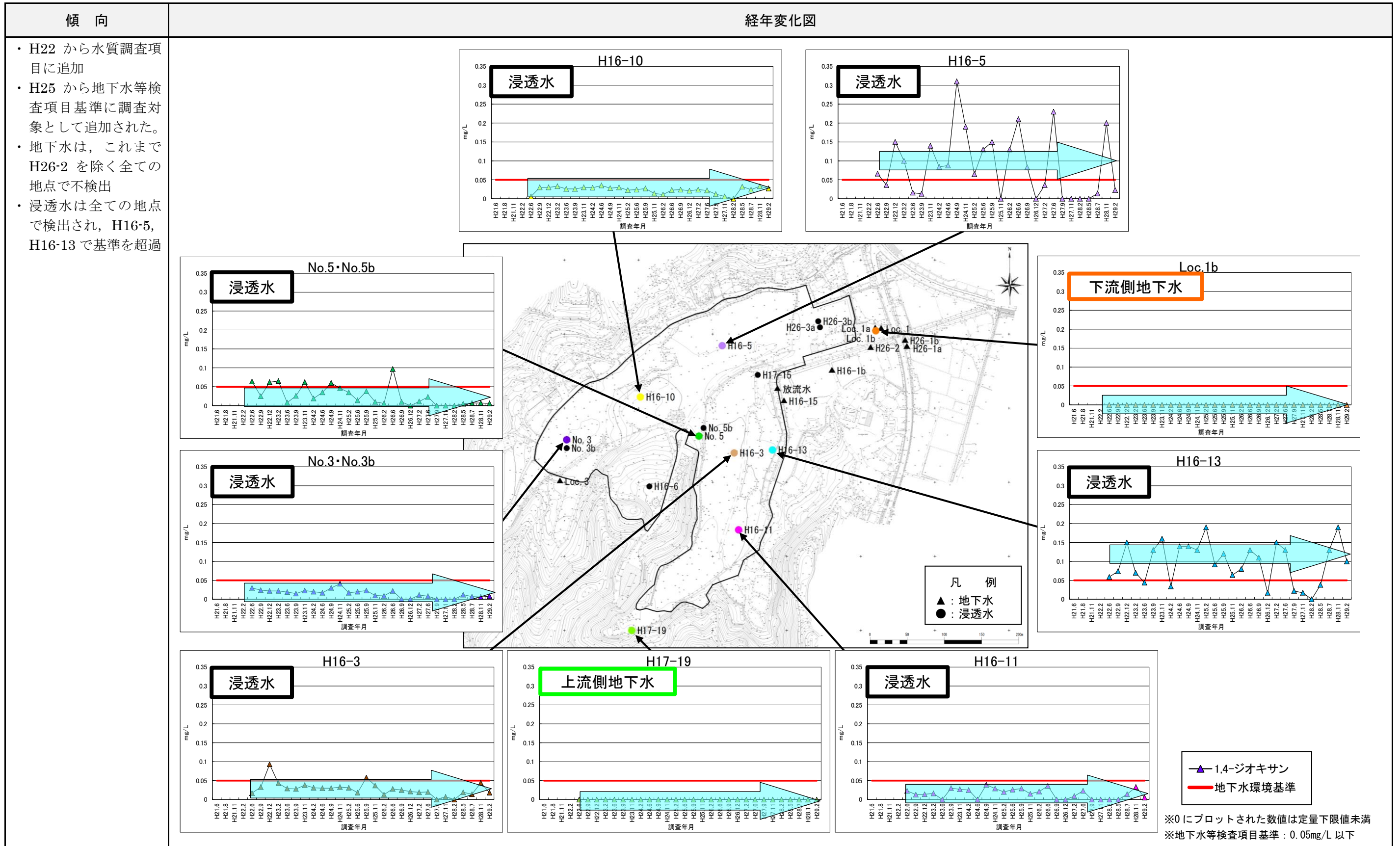
2.1 鉛



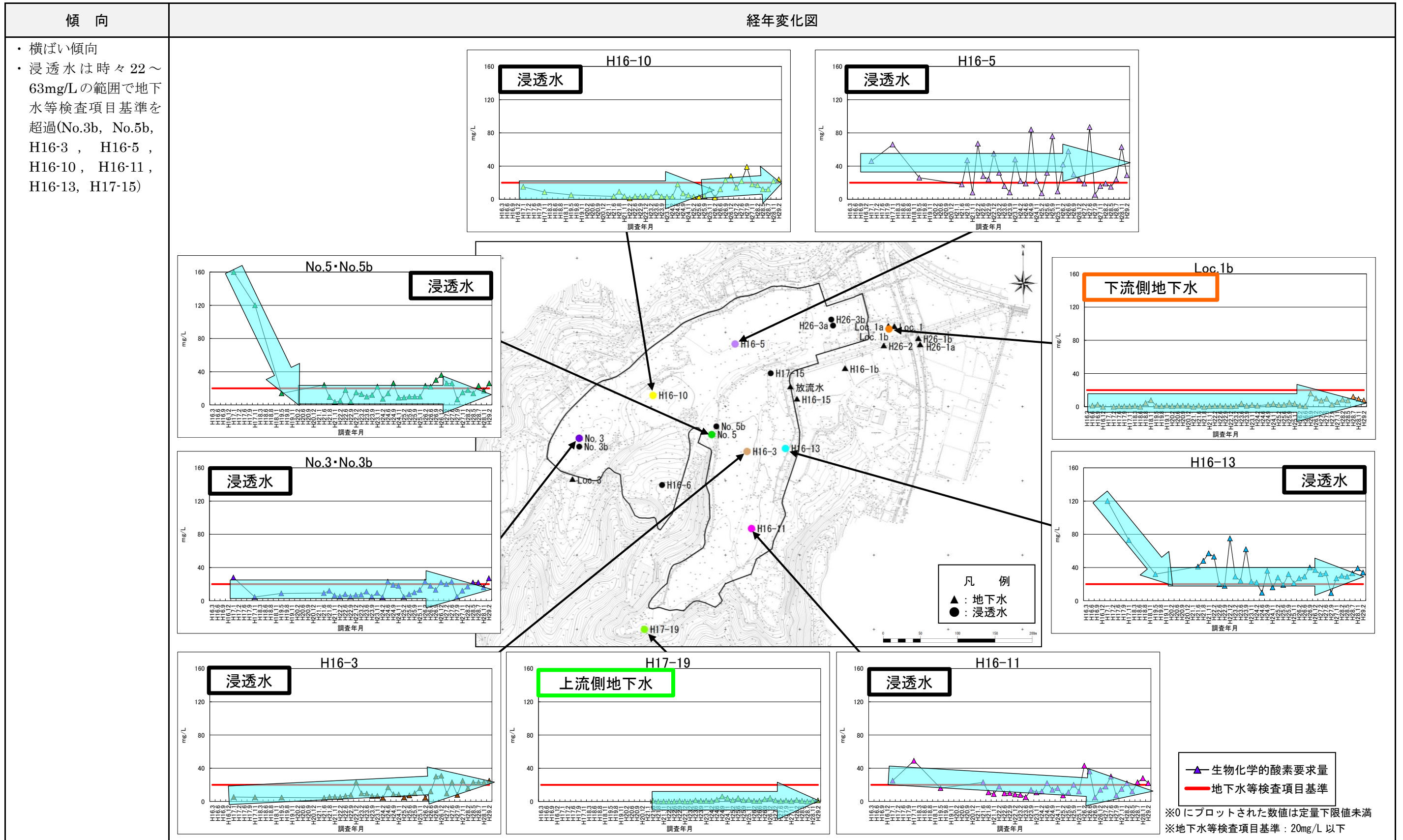
2.2 砒素



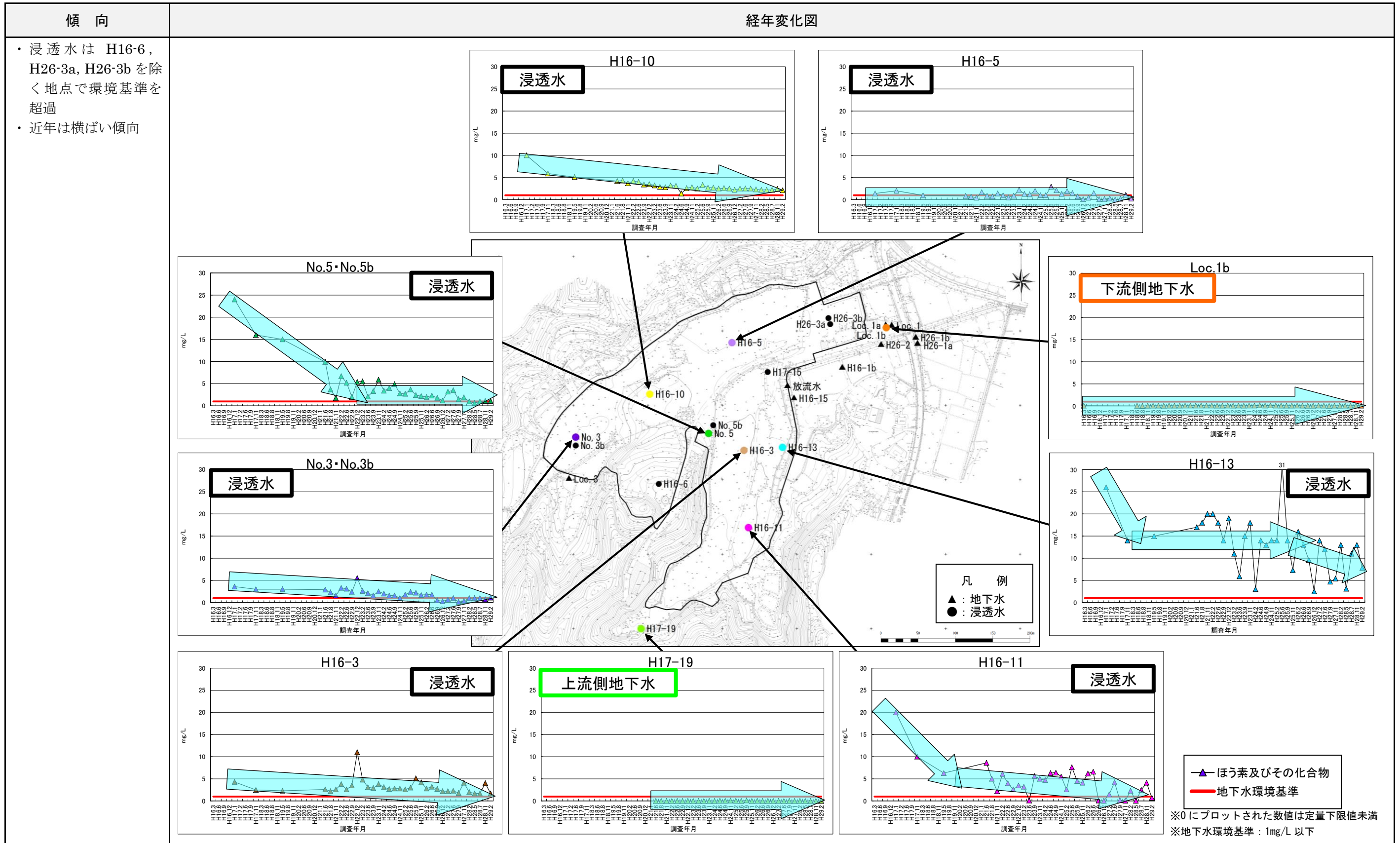
2.3 1,4-ジオキサン



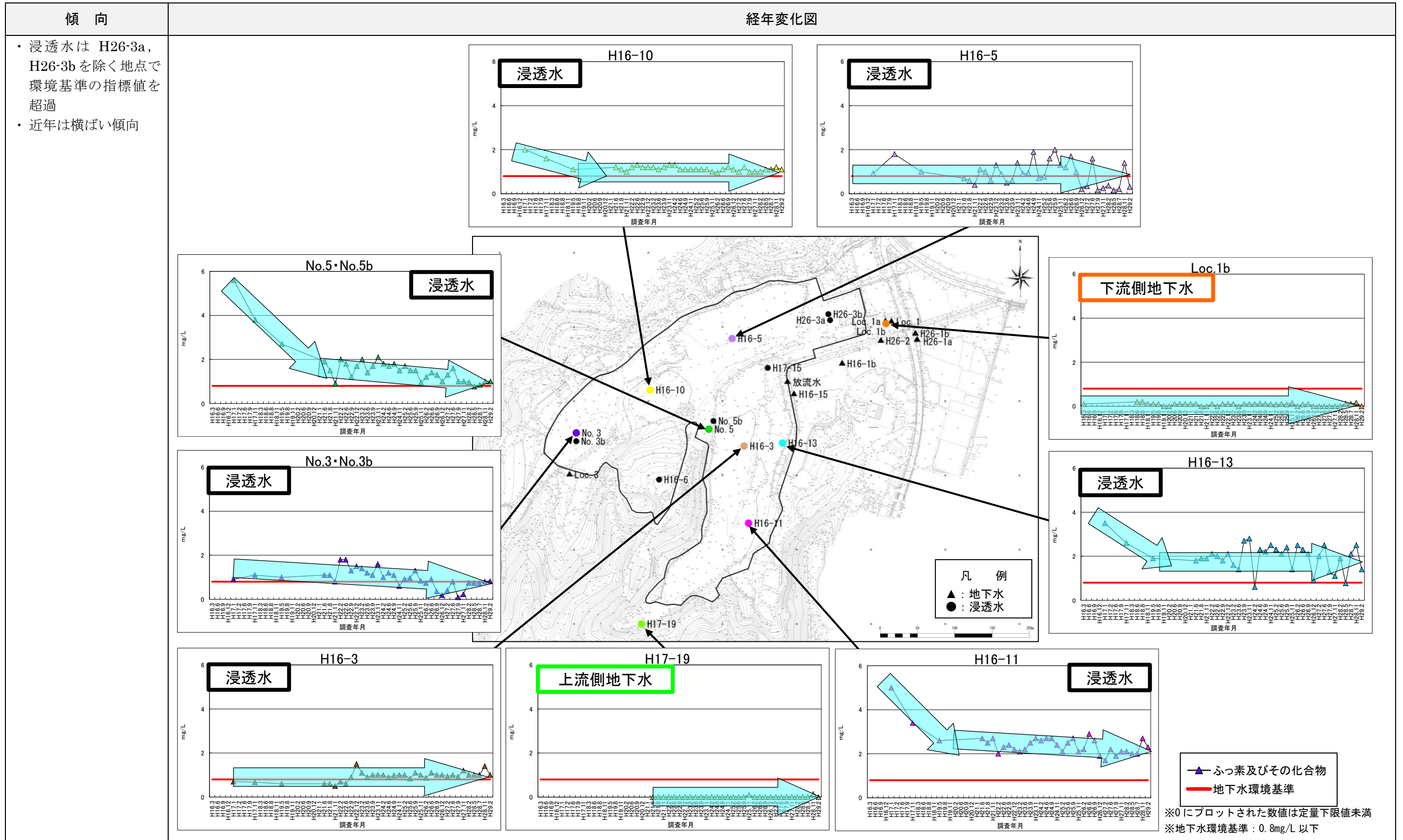
2.4 BOD



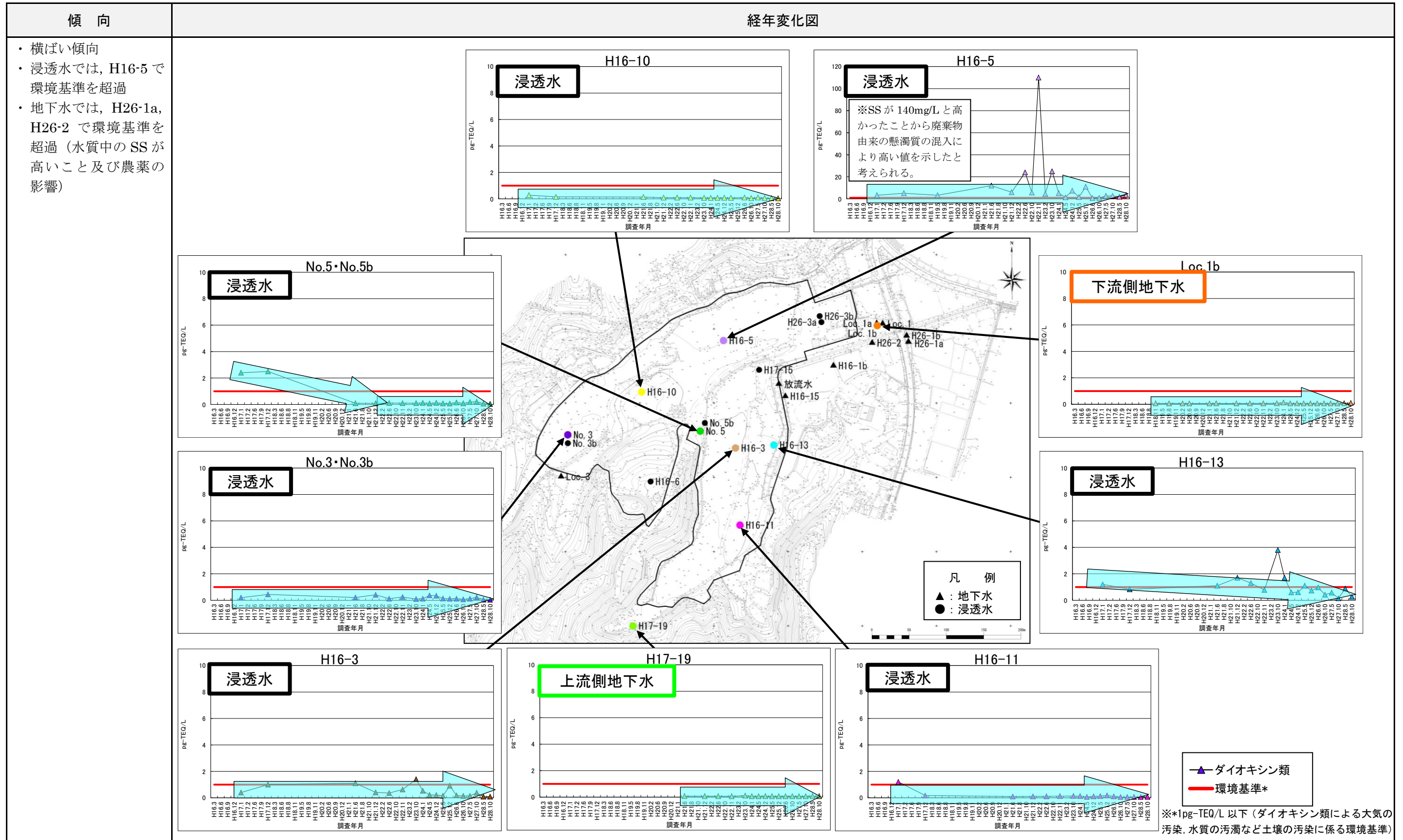
2.5 ほう素



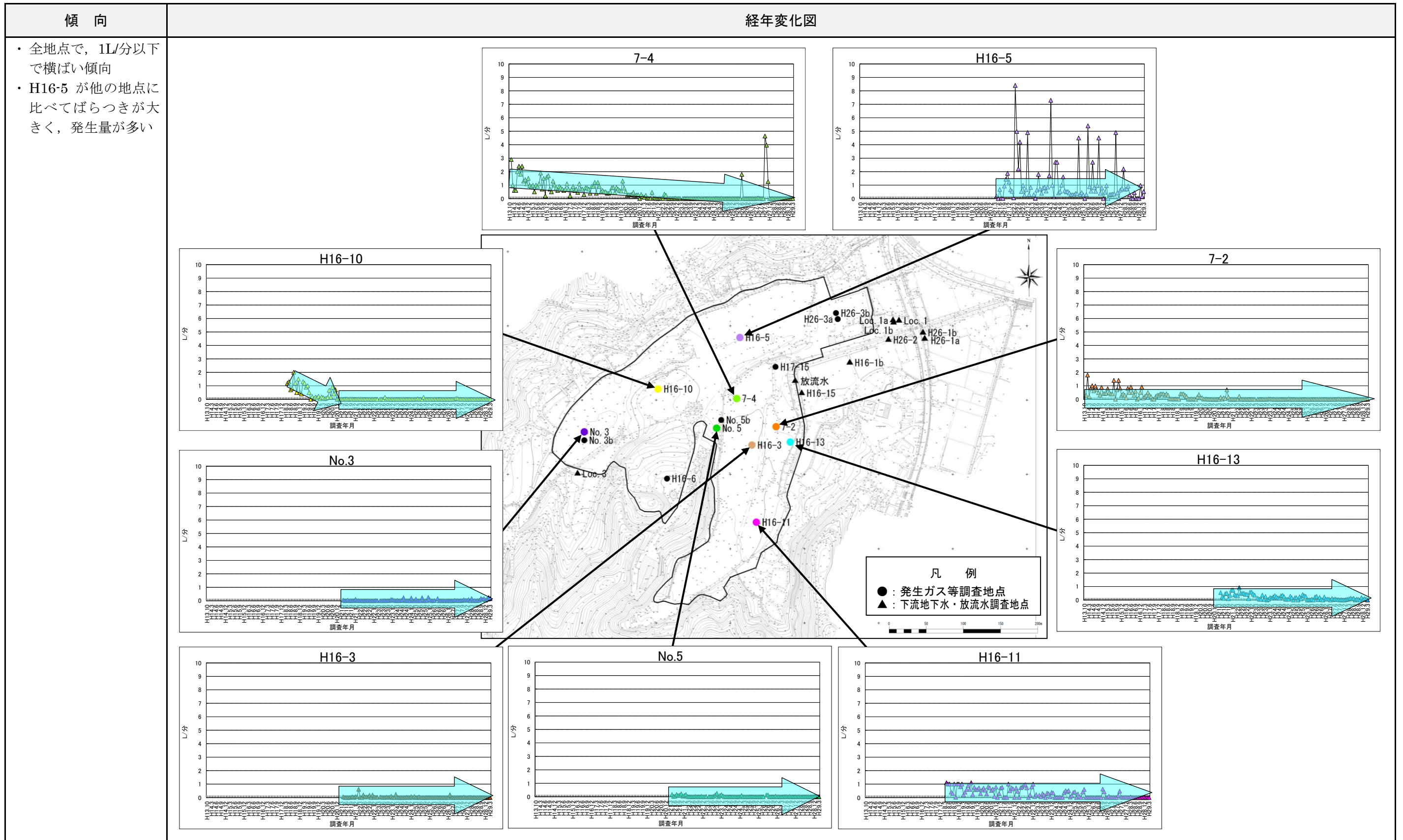
2.6 ふっ素



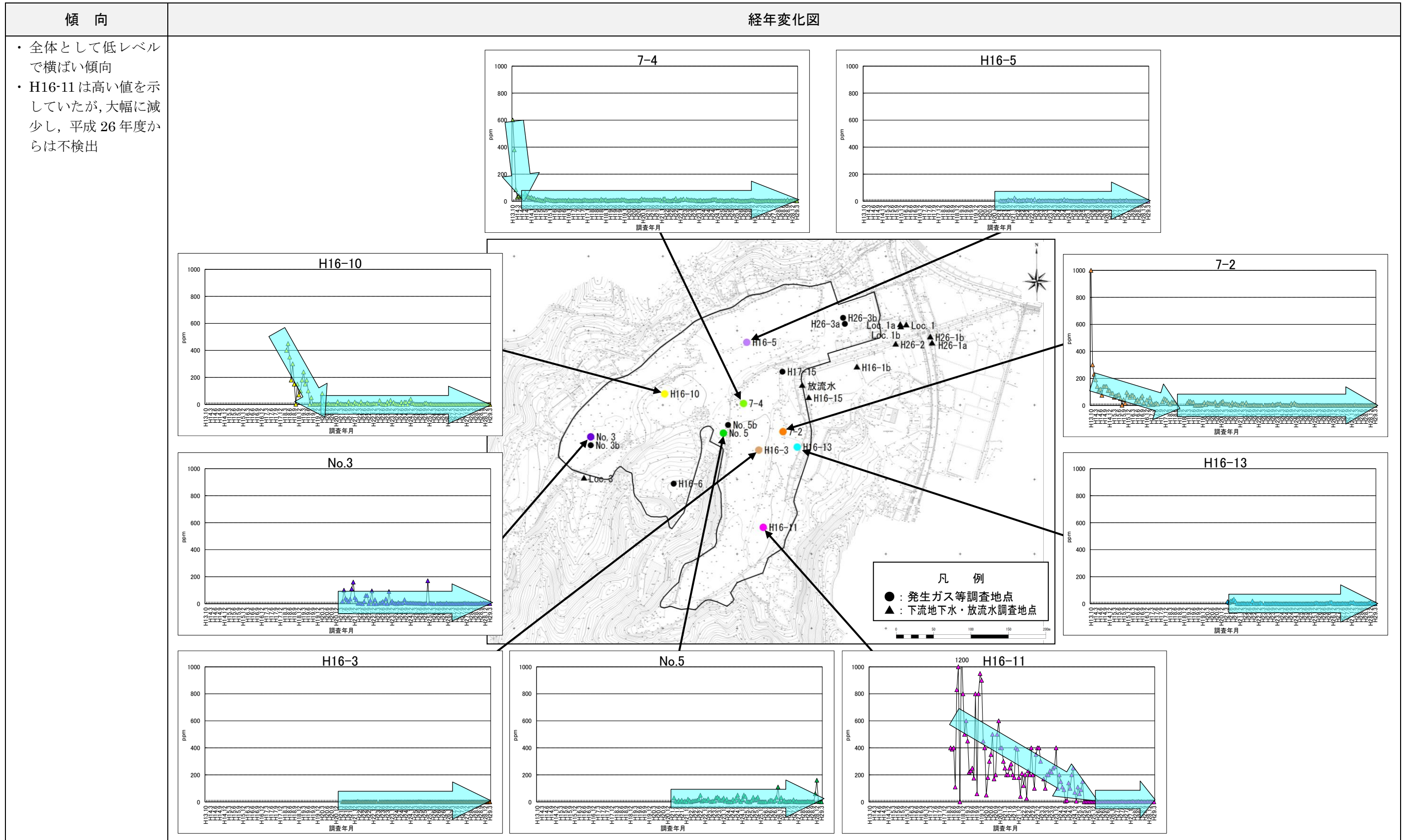
2.7 ダイオキシン類



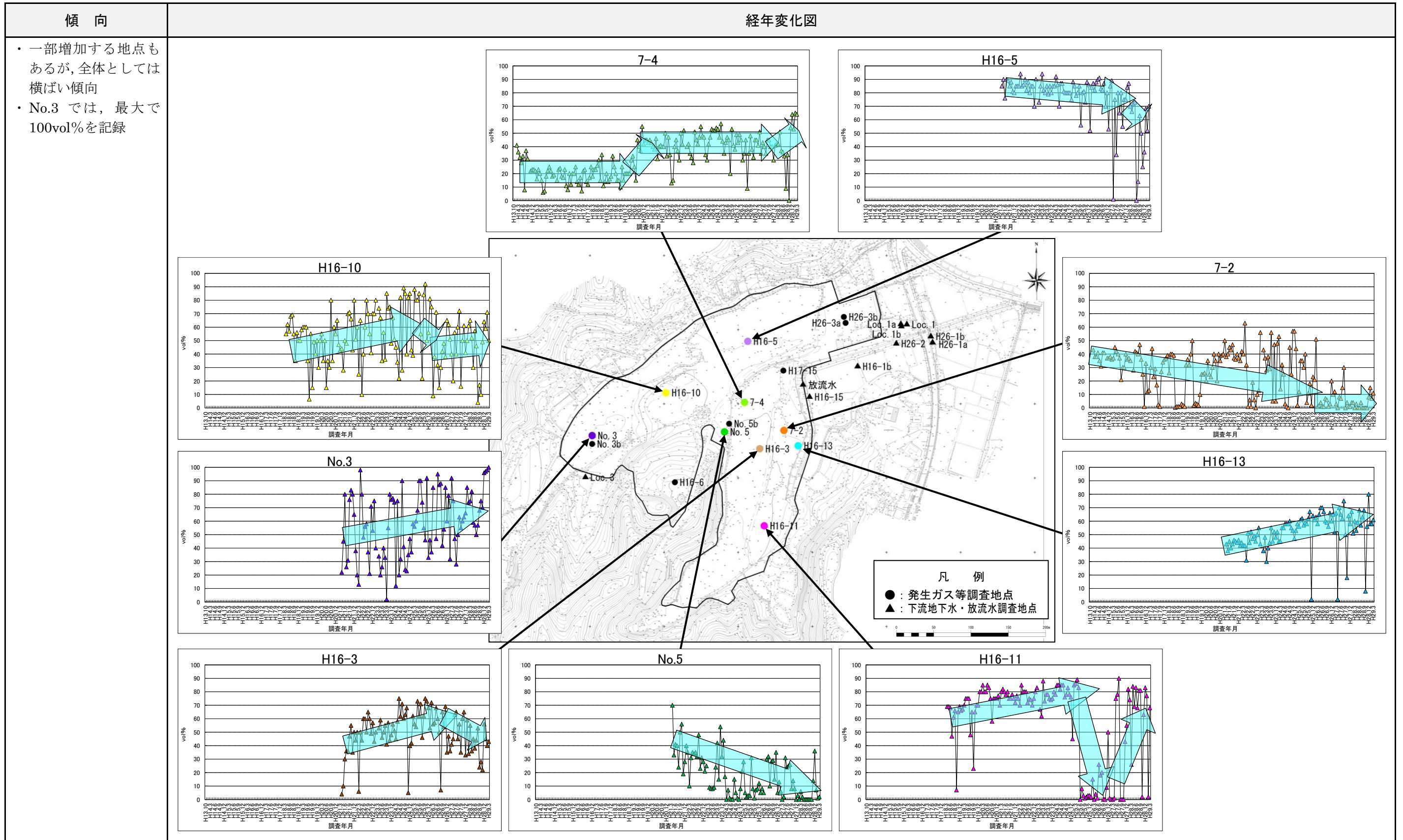
2.8 発生ガス量



2.9 硫化水素濃度



2.10 メタン濃度



2.11 地中温度

